

元總社蒼海遺跡群

(74)～(80)・(92)～(94)

前橋都市計画事業元總社蒼海土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

2017.3

前橋市教育委員会

元総社蒼海遺跡群

(74)～(80)・(92)～(94)

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

2017.3

前橋市教育委員会



元總社蒼海遺跡群 (75) W-1号溝跡全景（西から）



元總社蒼海遺跡群 (78) 全景（上が北）

図版2



元總社倉海遺跡群 (79) 全景 (上が北)



元總社倉海遺跡群 (80) 全景 (上が北)

はじめに

関東平野の北西部に群馬県は位置し、前橋市はその中央、上毛三山のひとつ名峰赤城を背にし、利根川や広瀬川が市街地を貫流する、四季折々の風情に溢れる県都です。豊かな自然環境にも恵まれ、2万年前から人々が生活を始め、縄文時代の遺跡も、市内の随所に存在します。

古代において前橋台地は、広大な穀倉地帯を控え、前橋天神山古墳などの初期古墳をはじめ王山古墳・天川二子山古墳といった首長墓が連綿と築かれ、上毛野国の中心地として栄えました。また、律令時代になってからは總社・元總社地区に山王庵寺、国分僧寺、国分尼寺、国府など上野國の中核をなす施設が次々に造られました。

中世になると、戦国武将の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎧をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した関東三名城の一つに数えられ、「関東の華」とも呼ばれた厩橋城が築かれました。

やがて近代になると、生糸の大生産地であったことから、横浜に至る街道は「日本のシルクロード」とも呼ばれ、横浜港からは前橋シルクの名前で海外に輸出され、近代日本の発展の一翼を担いました。

今回、報告書を上梓する「元總社蒼海遺跡群(74)・(75)・(76)・(77)・(78)・(79)・(80)・(92)・(93)・(94)」は、上野国府の想定域そのものではありませんが、国府周辺域の遺跡の有様を考察する上で重要な地域であり、その成果に期待がもたれていました。今回の調査では、古代の住居跡、中世の堀跡等が調査されました。残念ながら、現状のまでの保存が困難なため、記録保存という形になりましたが、今後、地域の歴史・前橋の歴史を解明する上で、貴重な資料を得ることができました。

最後になりましたが、関係機関や各方面の多大なるご配慮・ご尽力により調査事業を円滑に進められましたことに感謝いたします。また、発掘調査にあたられた担当者・作業員のみなさんのご尽力にも、厚くお礼申しあげます。

本報告書が斯学の発展に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

平成29年3月

前橋市教育委員会
教育長 佐藤博之

例　　言

- 1 本書は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴って実施した元総社蒼海遺跡群（74）（75）（76）（77）（78）（79）（80）（92）（93）（94）の発掘調査報告書である。
- 2 遺跡の所在地 群馬県前橋市総社町3015-11・12・13、元総社町1375 ほか
- 3 調査は、前橋市教育委員会の指導のもとに委託者 前橋市長 山本 龍（都市計画部区画整理第二課）の委託を受け、スナガ環境測設株式会社（代表取締役 須永慎弘）が実施した。
調査担当者 板垣 宏・荻野博巳・瀧澤典雄（スナガ環境測設株式会社）
- 4 発掘調査期間 平成26年9月19日～平成27年3月27日
- 整 理 期 間 平成28年8月5日～平成29年3月24日
- 5 調査面積 2,491.2m²
- 6 本調査における図面・写真・遺物は、前橋市教育委員会文化財保護課で保管している。
- 7 測量・調査計画…須永（眞）、調査助言…金子正人、調査担当…板垣・荻野・瀧澤、測量調査…山口慶太
岡田弥生・松井直人・西谷徳雄・細井美佐子・齊藤和代・新井益子・高橋祐巳子・奈良啓子、安全管理…金子・重機オペレータ…金子・松井・武井知司、作業事務…須永豊が担当した。
- 8 本書は、前橋市教育委員会の指導のもと、スナガ環境測設株式会社が作成に当たり、原稿執筆…Ⅰについては藤坂和延（前橋市教育委員会）、Ⅱ～Ⅶは板垣、遺物観察は板垣・瀧澤が担当した。編集・校正…須永（眞）・金子・実測図の整理…板垣・遺構・遺物のトレース…夏原・瀧澤・須永薫子、遺物の整理実測…瀧澤・岡田・遺物洗浄…中川絹子・山崎由紀枝・宇田紀代、写真整理…岡田が担当した。
- 9 発掘調査に参加した方々（敬称略・順不同）
長澤俊男 小林隆一 大浜利幸 山口淳太郎 菊川 純 芳川孝夫 菊川 勝 飯島正孝
石原 功 秋間直人 竹内利夫 関根ちさと 清水宏通 古森東一 塚越 昇 名島松生
山形春男 清水源治 長岡 保 久保田一郎 入江 清 佐藤 修 武藤 光 加藤嘉昭
笹尾信治 清水萬年 須田友造 金子登喜夫 石坂 満 斎藤祐次 高橋民雄

凡　　例

- 1 遺跡の略称は、26A168、26A169、26A173、26A174、26A175、26A176、26A177、26A183、26A184、26A189である。
- 2 挿図に国土地理院発行の1:200,000地形図「宇都宮・長野」、1:25,000「前橋」、1:6,000前橋市現形図を使用した。
- 3 遺構名の略称および遺構実測図中の記号は、次のとおりである。
古墳・奈良・平安時代の堅穴住居跡…H 堅穴状遺構…T 溝跡…W
井戸跡…I 土坑…D ピット…P
- 4 実測図の縮尺は、原則的に次のとおりである。
遺構 住居跡・堅穴状遺構・溝跡・円形有段遺構・井戸跡・土坑・ピット…1/60
竪平・断面図…1/30 全体図…1/100・200
遺物 土器…1/3・1/4 瓦…1/6 石製品・土製品…2/3・1/3・1/4 鉄器・鉄製品…1/2
埴輪…1/3 古錢…1/1
- 5 計測値については、（ ）は現存値、〔 〕は推定値を表す。
- 6 土層断面の土色名及び土器類の色調名は、『新版標準土色帖』（農林省農林水産技術会議事務局監修財団法人日本色彩研究所 色票監修）2000によった。
- 7 遺構・遺物実測図中のスクリーントーンは下記のとおりである。
遺構平面図 焼土…■■■■■
遺構断面図 構築面…■■■■■
遺物実測図 須恵器断面…■■■■■ 灰釉陶器断面…■■■■■ 緑・灰釉陶器表面…■■■■■
綠釉陶器断面…■■■■■ 黒色土器…■■■■■
いぶし焼成…■■■■■ 煤・炭化物付着…■■■■■
- 8 主な火山降下物等の略称と年代は次のとおりである。
A s-B（浅間B軽石：1108年） H r-F P（榛名山ニッ岳伊香保テフラ：6世紀中葉）
H r-F A（榛名山ニッ岳渋川テフラ：6世紀初頭） A s-C（浅間C軽石：3世紀後半～4世紀前半）

目 次

口絵写真
はじめに
例言・凡例
目次・図版・挿図・表

I 調査に至る経緯	1
II 遺跡の位置と歴史的環境	1
1 遺跡の位置	1
2 歴史的環境	1
III 調査の方針と経過	8
1 調査方針	8
2 調査経過	8
IV 基本層序	9
V 検出された遺構と遺物	17
1 元總社蒼海遺跡群(74)の遺構	17
2 元總社蒼海遺跡群(75)の遺構	17
3 元總社蒼海遺跡群(76)の遺構	18
4 元總社蒼海遺跡群(77)の遺構	19
5 元總社蒼海遺跡群(78)の遺構	19
6 元總社蒼海遺跡群(79)の遺構	24
7 元總社蒼海遺跡群(80)の遺構	28
8 元總社蒼海遺跡群(92)の遺構	29
9 元總社蒼海遺跡群(93)の遺構	29
10 元總社蒼海遺跡群(94)の遺構	30
VII まとめ	31

図 版

- 口絵 1 (75)W-1全景 口絵 2 (79)調査区全景
 (78)調査区全景 (80)調査区全景
 PL. 1 (74)西・東側全景、(74)H-1・2、W-1、I-1全景
 (75)全景、(75)H-1・2全景
 PL. 2 (75)H-2・3全景
 (76)全景、(76)H-1、W-1・2、B-2全景
 (77)全景、I-1全景
 PL. 3 (78)南端部全景、(78)H-1～4・6全景
 (78)H-5掘り方全景、(78)H-7遺物出土状況
 PL. 4 (78)H-7壙、H-8～11・13～16・25全景
 PL. 5 (78)H-17～19・21～23・23・26・28全景
 (78)H-20遺物出土状況
 PL. 6 (78)H-27・29・T-1、W-1～3、I-1全景
 (78)D-40遺物出土状況
 PL. 7 (79)H-1・3・7～9、H-4・7・8壙全景
 PL. 8 (79)H-12・15・20全景、H-16壙遺物出土状況
 PL. 9 (79)H-30・32、W-2全景
 (79)円形有段埴輪、D-10・13全景
 PL. 10 (80)H-1～6、W-1全景
 PL. 11 (92)全景
 (93)全景、(93)W-1～5、調査区西侧全景
 PL. 12 (94)全景 (94)W-1～3、D-1～3・5全景
 PL. 13 (74) (75)出土遺物
 PL. 14 (76) (78)出土遺物
 PL. 15 (78)出土遺物
 PL. 16 (78)出土遺物
 PL. 17 (79)出土遺物
 PL. 18 (79)出土遺物
 PL. 19 (79)出土遺物
 PL. 20 (79)出土遺物
 PL. 21 (79)出土遺物
 PL. 22 (79)出土遺物
 PL. 23 (79)出土遺物
 PL. 24 (80) (93) (94)出土遺物

攝 図

- Fig. 1 遺跡位置図 2
 Fig. 2 周辺遺跡図 6
 Fig. 3 元総社蒼海遺跡群位置図・グリッド設定図 *** 7
 Fig. 4 基本順序 9
 Fig. 5 元総社蒼海遺跡群(74)・(76)全体図 *** 10
 Fig. 6 元総社蒼海遺跡群(75)全体図 11
 Fig. 7 元総社蒼海遺跡群(77)・(92)全体図 12
 Fig. 8 元総社蒼海遺跡群(78)全体図 13
 Fig. 9 元総社蒼海遺跡群(79)全体図 14
 Fig. 10 元総社蒼海遺跡群(80)全体図 15
 Fig. 11 元総社蒼海遺跡群(93)・(94)全体図 16
 Fig. 12 蒼海城闕張図と周辺遺跡図 32
 Fig. 13 (74)H-1-2 47
 Fig. 14 (74)I-1、W-1 (75)H-1 48
 Fig. 15 (75)H-2 49
 Fig. 16 (75)H-3・4、W-1 50
 Fig. 17 (75)土坑群 51
 Fig. 18 (75)土坑群、ピット群 52
 Fig. 19 (75)ピット群 (76)H-1 53
 Fig. 20 (76)W-1・2、土坑群、ピット群 (77)I-1 54
 Fig. 21 (78)H-1～4 55
 Fig. 22 (78)H-3～5、T-1 56
 Fig. 23 (78)H-5～7 57
 Fig. 24 (78)H-6・7 58
 Fig. 25 (78)H-8～10・25 59
 Fig. 26 (78)H-9～11 60
 Fig. 27 (78)H-13・14 61
 Fig. 28 (78)H-15・16、D-40 62

- Fig. 29 (78)H-17～19 63
 Fig. 30 (78)H-20～22 64
 Fig. 31 (78)H-23・26～28 65
 Fig. 32 (78)H-29、I-1 66
 Fig. 33 (78)W-1～3 67
 Fig. 34 (78)土坑群 68
 Fig. 35 (78)土坑群 69
 Fig. 36 (79)H-1・3・9 70
 Fig. 37 (79)H-4・5 71
 Fig. 38 (79)H-5・7 72
 Fig. 39 (79)H-8・11 73
 Fig. 40 (79)H-12 74
 Fig. 41 (79)H-14・15 75
 Fig. 42 (79)H-15 76
 Fig. 43 (79)H-16 77
 Fig. 44 (79)H-17・20・32 78
 Fig. 45 (79)H-24・26・32 79
 Fig. 46 (79)H-25・27 80
 Fig. 47 (79)H-27・30 81
 Fig. 48 (79)H-31 82
 Fig. 49 (79)W-1～4・6・7 83
 Fig. 50 (79)円形有段埴輪・D-10・11・13～15 84
 Fig. 51 (80)H-1～3 85
 Fig. 52 (80)H-2～4 86
 Fig. 53 (80)H-5・6、W-1、P-2 87
 Fig. 54 (93)W-1～5 88
 Fig. 55 (93)W-2～4、土坑群 89
 Fig. 56 (93)土坑群、ピット群 90
 Fig. 57 (93)ピット群、(94)全体図 91
 Fig. 58 (94)W-1～4、土坑群 92
 Fig. 59 (94)土坑群、ピット群 93
 Fig. 60 (74) (75)出土遺物 94
 Fig. 61 (75) (76)出土遺物 95
 Fig. 62 (76) (78)出土遺物 96
 Fig. 63 (78)出土遺物 97
 Fig. 64 (78)出土遺物 98
 Fig. 65 (78) (79)出土遺物 99
 Fig. 66 (79)出土遺物 100
 Fig. 67 (79)出土遺物 101
 Fig. 68 (79)出土遺物 102
 Fig. 69 (79)出土遺物 103
 Fig. 70 (79)出土遺物 104
 Fig. 71 (79)出土遺物 105
 Fig. 72 (79)出土遺物 106
 Fig. 73 (79)出土遺物 107
 Fig. 74 (79)出土遺物 108
 Fig. 75 (79) (80)出土遺物 109
 Fig. 76 (80) (93) (94)出土遺物 110

表

- Tab. 1 周辺遺跡概要一覧表 3
 Tab. 2 住居跡等計測表 33
 Tab. 3 溝跡計測表 35
 Tab. 4 戸井跡・土坑・ピット計測表 35
 Tab. 5 調文土器観察表 39
 Tab. 6 幼生土器観察表 39
 Tab. 7 出土遺物観察表 39
 Tab. 8 石器・石製品観察表 45
 Tab. 9 金属器・金属製品観察表 45
 Tab. 10 土製品観察表 46
 Tab. 11 瓦観察表 46
 Tab. 12 古錢観察表 46

I 調査に至る経緯

本発掘調査は、前橋市都市計画事業元総社着海土地区画整理事業に伴い実施された。

平成26年8月20日付けで、前橋市長 山本 龍（区画整理第二課）より埋蔵文化財発掘調査業務に係る依頼書が教育委員会に提出された。教育委員会では既に直営による発掘調査を実施しており、直営による発掘調査の実施が困難であるため、民間調査組織に業務を委託するよう前橋市に回答し、前橋市の同意も得られたところから、「群馬県内の記録保存を目的とする埋蔵文化財の発掘調査における民間調査組織導入事務取扱要綱」に則り、教育委員会の作成する調査仕様書に基づく監理・指導の下、発掘調査を実施することとなった。同年9月19日付けで前橋市と民間調査組織であるスナガ環境測設株式会社との間で発掘調査業務委託の契約を締結され、9月26日から現地調査が順次実施された。

II 遺跡の位置と歴史的環境

1 遺跡の位置

本遺跡群は、前橋市總社町總社、前橋市元総社町に所在し、前橋市役所の西方約3kmで、JR新前橋駅の北西約1.5~2.0km、また関越自動車道前橋インターチェンジから北へ約1.6~2.5kmに位置する。北東に赤城山、北西に棟名山、西に浅間山・妙義山という上信の山々を望む集落の広がる地域である。

前橋市の地形は、北東部の赤城山山頂から山麓、東部の広瀬川低地帯、南西部の前橋台地、南部の利根川の氾濫原という4地域に大別される。本遺跡群は前橋台地上に立地しており、棟名山の南東麓に広がる相馬ヶ原扇状地の扇端部にあたる。また、棟名山麓を源流として南東方向に流下する河川のうちの、染谷川と牛池川の中間付近に(75)(76)(77)(79)(80)(92)(93)(94)調査区があり、牛池川の左岸に(74)(78)調査区がある。

2 歴史的環境

本遺跡群ではこれまでに土地区画整理事業に伴う発掘調査によって、多くの遺構、遺物の史料が集積されている。また周辺には多くの遺跡がある。中でも古墳時代後期から終末までの上野地域と中央政権との関連をうかがわせる總社古墳群と王山廐寺、古代の中心地であった上野国府とそれに近接する上野国分僧寺・尼寺、中世では国府の掘削を利用して築かれたとされる着海城などがあり、連続と続いてきた歴史を物語る。

繩文時代の遺跡は、産業道路東[12]・西遺跡[13]、上野国分僧寺・尼寺中間地城[14]、元総社小見Ⅲ遺跡[16]等があり、当該期の遺跡を知る上で貴重な資料といえる。

弥生時代では調査例は少なく、日高遺跡[17][18]、上野国分僧寺・尼寺中間地城[14]、下東西遺跡[15]、元総社小見Ⅳ遺跡[19]等で報告されている。

古墳時代では、本遺跡群周辺に5世紀後半の遠見山古墳[5]から6世紀代には王山古墳[4]、總社二子山古墳[7]、終末期には愛宕山古墳[8]、宝塔山古墳[9]、蛇穴山古墳[10]という首長墓からなる總社古墳群が形成される。その近くには白鳳期の建立と考えられる王山廐寺[4]があり古墳文化と仏教文化の併存がうかがえる。

奈良・平安時代になると、上野国府、国分僧寺[2]、國分尼寺[3]の建設と相まって、本地域は古代の政治、経済、文化の中心地としての様相を呈てくる。

上野国府は本遺跡周辺のおよそ900m四方が推定地とされ、関連遺跡として大型の掘立柱建物跡が検出され

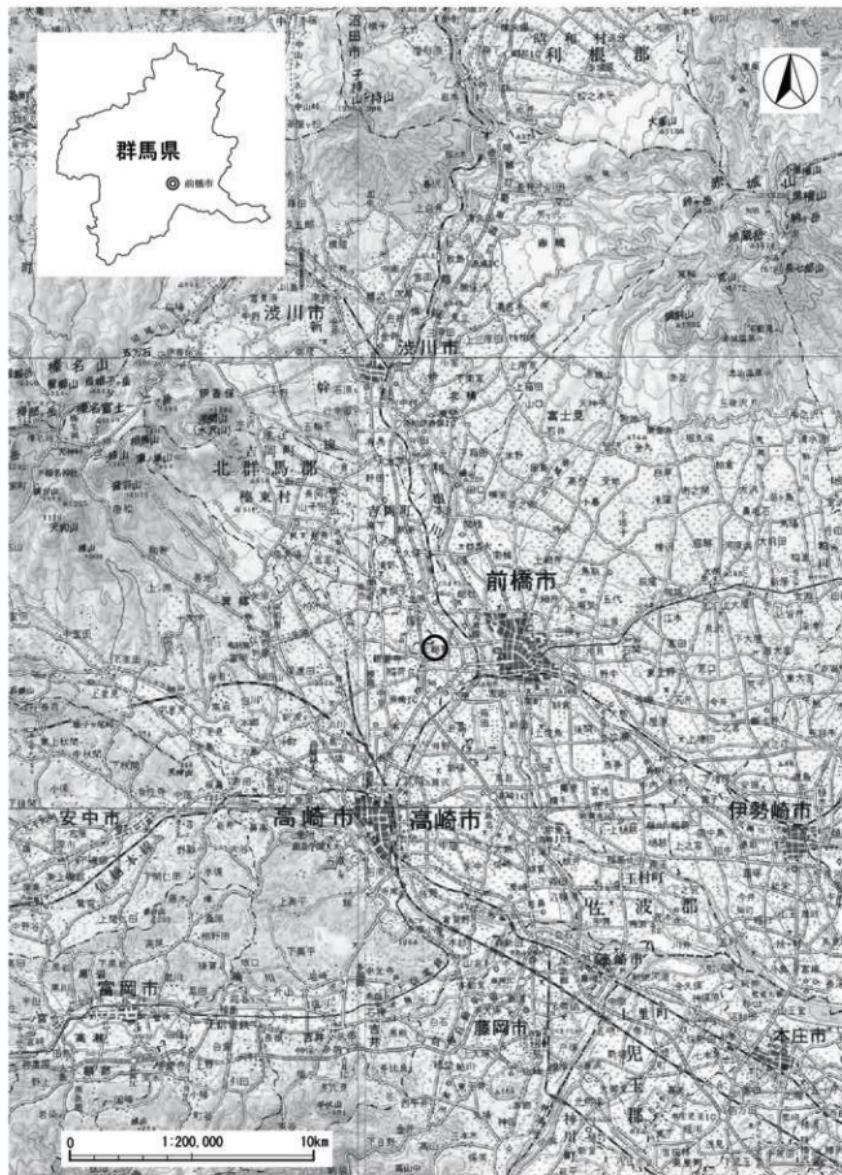


Fig. 1 遺跡位置図

た元総社小学校校庭遺跡[20]や「国厨」「曹司」「国」等と書かれた墨書き土器や人形が出土した元総社寺田遺跡[21]などがある。また元総社明神遺跡[22]では南北方向の溝跡、閑泉橋遺跡[23]では東西方向の大溝が確認され、国府城の北東外郭線が想定されるに至る。

また、本遺跡群から南へおよそ1.5kmの地点には東山道(国府ルート)が推定され、日高遺跡で検出された幅約4.5mの日高道は、上野国府正面へ続く道と考えられている。

中世では、永享元年(1429年)に上野国守護代の長尾氏によってこの地に蒼海城が築かれる。蒼海城は県下最古級に位置づけられる城郭で、その構張りは上野国府跡と関連が深く、現在の元総社地区の基盤をなしていると考えられる。元総社蒼海遺跡群(6)(21)等で蒼海城堀跡が検出されている。

Tab. 1 周辺遺跡概要一覧表

番号	遺跡名	調査年度	時代：主な遺構・出土遺物
1-1	元総社蒼海遺跡群(74)	2017	本報告書所収遺跡
1-2	元総社蒼海遺跡群(75)	2017	本報告書所収遺跡
1-3	元総社蒼海遺跡群(76)	2017	本報告書所収遺跡
1-4	元総社蒼海遺跡群(77)(92)	2017	本報告書所収遺跡
1-5	元総社蒼海遺跡群(78)	2017	本報告書所収遺跡
1-6	元総社蒼海遺跡群(79)(90)	2017	本報告書所収遺跡
1-7	元総社蒼海遺跡群(93)(94)	2017	本報告書所収遺跡
2	上野国分寺跡	1980～1988	奈良：金堂基礎・塔基礎
3	上野国分尼寺	(1999)	奈良：西南隅・東南隅埴垣
4	山王廃寺	(1974)	奈良：塔心礎・根巻石
5	遠見山古墳	未調査	古墳：前方後円墳(5C後半)
6	玉山古墳	1972	古墳：前方後円墳(6C中)
7	絶社二子山古墳	未調査	古墳：前方後円墳(6C末～7C初)
8	愛宕山古墳	1996	古墳：円墳(7C期)
9	宝塔山古墳	未調査	古墳：方墳(7C末)
10	蛇穴山古墳	1975	古墳：方墳(8C初)
11	稻荷山古墳	1988	古墳：円墳(6C後半)
12	座薬師路東遺跡	1966	縄文：住居跡
13	座薬師路西遺跡	1969	縄文：住居跡
14	上野国分僧房・尼寺中間地域(事業団)	1980～1983	縄文：住居跡、弥生：住居跡、方形周溝墓、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、櫛立柱建物跡、中世：櫛立柱建物跡、道路状遺構
15	下東西遺跡(事業団)	1980～1984	縄文：履外埋甕、弥生：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、櫛立柱建物跡、櫛列、中世：住居跡、溝跡
16	元総社小見Ⅲ	2002	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、溝跡、中世：溝跡、道路状遺構
17	日高遺跡(事業団)	1977	弥生：水田跡、方形周溝墓、住居跡、木製農具、平安：条里制水田跡
18	日高遺跡(高崎市)	(1978)	弥生：水田跡
19	元総社小見Ⅳ	2017	古墳：住居跡、溝跡、奈良・平安：住居跡、櫛立柱建物跡、溝跡、中世：櫛立柱建物跡、溝跡
20	元総社小学校校庭遺跡	1962	平安：櫛立柱建物跡、柱穴群、周溝跡
21	元総社寺田遺跡Ⅰ～Ⅲ(事業団)	1988～1991	古墳：水田跡、溝跡、奈良・平安：住居跡、木製農具、平安：条里制水田跡
22	元総社明神遺跡Ⅰ～ⅩⅢ	1982～1996	古墳：住居跡、水田跡、廻廊、奈良・平安：住居跡、溝跡、中世：住居跡、溝跡
23	閑泉橋遺跡	1983	奈良・平安：溝跡
24	清里南前遺跡群Ⅲ	1980	縄文： ^上 ・ ^下 、奈良・平安：住居跡、溝跡
25	熊谷遺跡・Ⅱ・Ⅲ	1988・1989	縄文：住居跡、平安：住居跡、溝跡
26	北原遺跡(群馬町)	1982	縄文：土坑、集石遺構、古墳：水田跡、奈良・平安：住居跡、櫛立柱建物跡
27	中島遺跡	1980	奈良・平安：住居跡
28	柿木遺跡・Ⅱ遺跡	1983・1988	奈良・平安：住居跡、溝跡
29	後正門遺跡Ⅰ～Ⅲ(群馬町)	1985～1987	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：道路状遺構
30	国分塙遺跡(事業団)	1990	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
31	村東遺跡	1988	古墳：住居跡、溝跡、奈良・平安：住居跡、中世：堤跡
32	大屋敷遺跡Ⅰ～Ⅳ	1992～2000	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：櫛立柱建物跡、地下式土坑、溝跡

33	昌楽寺廻向遺跡・II遺跡	1988	奈良・平安:住居跡
34	稻荷坂道東遺跡(事業団)	2003	古墳:住居跡、溝跡、奈良・平安:住居跡、溝跡、竪構築材採掘痕、井戸跡
35	元總社西川遺跡(事業団)	2000	古墳:住居跡、晶跡、奈良・平安:住居跡、溝跡
36	上野国寺參道遺跡	1996	古墳:住居跡、平安:住居跡
37	塙田村東遺跡(群馬町)	1985	平安:住居跡
38	元總社小見II遺跡	2002	縄文:住居跡、吉墳:住居跡、奈良・平安:住居跡、中世:溝跡
39	元總社小見遺跡	2000	縄文:住居跡、古墳:平安:住居跡、掘立柱建物跡、溝跡、道路状遺構
40	元總社小見内Ⅷ遺跡	2003	縄文:住居跡、古墳:奈良・平安:住居跡
41	元總社小見内IV遺跡	2002	奈良・平安:住居跡、掘立柱建物跡、溝跡、中世:土坑墓
42	元總社宅地遺跡1~23レシ	2000	古墳:住居跡、奈良・平安:住居跡、掘立柱建物跡、畿治場跡、溝跡、道路状遺構、中世:講跡、近世:住居跡
43	絶社閑泉明神V遺跡	2004	古墳:奈良・平安:住居跡、中世:溝跡
44	絶社大根桜坂大道西遺跡	2001	奈良・平安:住居跡、溝跡、中世:晶跡、近世:溝跡
45	閑泉舎南遺跡	1985	古墳:住居跡、奈良・平安:溝跡
46	星敷遺跡・II遺跡	1986・1995	古墳:住居跡、平安:住居跡、中世:堀跡、石敷遺構
47	雁越II遺跡	1988	平安:住居跡
48	大友寺地遺跡	1998	平安:水田跡
49	元總社稻葉遺跡	1993	縄文:土堤、平安:住居跡、瓦塔
50	履越遺跡	1987	奈良・平安:住居跡、溝跡
51	大友寺東II・III遺跡	1987	古墳:住居跡、平安:住居跡、堀跡、地下式土坑
52	寺田遺跡	1986	平安:溝跡
53	天神遺跡・II遺跡	1986・1988	奈良・平安:住居跡
54	弥勒遺跡・II遺跡	1989・1995	古墳:住居跡、平安:住居跡
55	鳥羽遺跡(事業団)	1978~1983	古墳:住居跡、畿治場跡、奈良・平安:住居跡、掘立柱建物跡(神殿跡)
56	中尾遺跡(事業団)	1976	奈良・平安:住居跡
57	正觀寺遺跡I~IV(高崎市)	1979~1981	弥生:住居跡、古墳:住居跡、奈良・平安:住居跡、中世:溝跡
-	元總社蒼海遺跡群(1)	2005	奈良・平安:住居跡、溝跡、中世:溝跡、土坑墓
-	元總社蒼海遺跡群(2)	2005	奈良・平安:住居跡、溝跡、中世:溝跡、土坑墓
-	元總社蒼海遺跡群(3)	2005	縄文:住居跡、古墳:住居跡、奈良・平安:住居跡
-	元總社蒼海遺跡群(4)	2005	縄文:住居跡、古墳:住居跡、奈良・平安:住居跡
-	元總社蒼海遺跡群(5)	2005	古墳:住居跡、奈良・平安:住居跡、溝跡、中世:周溝状遺構、土坑墓
-	元總社蒼海遺跡群(6)	2005	奈良・平安:住居跡、畿治工房跡、溝跡、中世:蒼海城の堀跡、土坑墓
-	元總社蒼海遺跡群(7)	2005	奈良・平安:住居跡、溝跡
-	元總社蒼海遺跡群(8)	2006	奈良・平安:住居跡
-	元總社蒼海遺跡群(9)(10)	2006	縄文:住居跡、吉墳:住居跡、奈良・平安:住居跡、掘立柱建物跡、溝跡、土坑墓
-	元總社蒼海遺跡群(11)	2006	古墳:住居跡、奈良・平安:住居跡、中世:溝跡
-	元總社蒼海遺跡群(12)	2006	古墳:住居跡、奈良・平安:住居跡、中世:井戸跡
-	元總社蒼海遺跡群(13)	2008	縄文:住居跡、吉墳:住居跡、奈良・平安:住居跡、工房跡、中世:土坑墓
-	元總社蒼海遺跡群(14)	2008	古墳:住居跡、水田跡、奈良・平安:住居跡、掘立柱建物跡、中世:溝跡
-	元總社蒼海遺跡群(15)	2008	奈良・平安:住居跡、溝跡、中世:溝跡
-	元總社蒼海遺跡群(16)	2008	奈良・平安:住居跡、晶跡、中世:溝跡
-	元總社蒼海遺跡群(17)	2008	古墳:住居跡、奈良・平安:住居跡、堅穴状遺構、中世以降:土坑墓、井戸跡
-	元總社蒼海遺跡群(18)	2008	平安:住居跡
-	元總社蒼海遺跡群(19)	2008	古墳:小区画水田、中世:井戸跡
-	元總社蒼海遺跡群(20)	2008	古墳:住居跡、奈良・平安:住居跡、堅穴状遺構、溝跡、中世:土坑墓、溝跡
-	元總社蒼海遺跡群(21)	2009	中世:蒼海城の堀跡、盛土状遺構
-	元總社蒼海遺跡群(22)	2009	古墳:住居跡、奈良・平安:住居跡
-	元總社蒼海遺跡群(23)	2009	古墳:住居跡、平安:土坑、中世:蒼海城の堀跡
-	元總社蒼海遺跡群(24)	2009	縄文:住居跡、吉墳:住居跡、奈良・平安:住居跡、中世:方形堅穴、井戸跡
-	元總社蒼海遺跡群(25)	2009	古墳:住居跡、平安:住居跡、中世:南宋～元時代の青白磁梅瓶2個体
-	元總社蒼海遺跡群(26)	2009	古墳:住居跡、奈良・平安:住居跡、堅穴状遺構、中世:溝跡、火葬墓
-	元總社蒼海遺跡群(27)	2009	奈良・平安:住居跡、中世:蒼海城の堀跡
-	元總社蒼海遺跡群(28)	2009	古墳:住居跡、平安:住居跡
-	元總社蒼海遺跡群(29)	2009	古墳:平安:住居跡、中近世:土坑墓、火葬墓、地下式坑、蒼海城の堀跡
-	元總社蒼海遺跡群(30)	2009	古墳:住居跡、平安:住居跡、中世:道路状遺構、土坑墓、火葬墓、堀跡
-	元總社蒼海遺跡群(31)	2010	古墳:住居跡、中近世:道路状遺構、溝跡、井戸跡、土坑、蒼海城の堀跡
-	元總社蒼海遺跡群(32)	2010	古墳:住居跡、奈良・平安:住居跡、溝跡、中世:堅穴状遺構、溝跡
-	元總社蒼海遺跡群(33)	2010	古墳:住居跡、奈良・平安:住居跡、溝跡、中世:住居跡、堅穴状遺構、溝跡
-	元總社蒼海遺跡群(34)	2010	奈良・平安:住居跡、中世:土坑、ピット、堅穴状遺構
-	元總社蒼海遺跡群(35)	2010	縄文:住居跡、奈良・平安:住居跡、中世:蒼海城の堀跡

-	元總社舊海道跡群(36)	2010	古墳：壘跡、平安：住居跡、中世：土坑、蒼海南城の壠跡
-	元總社舊海道跡群(37)	2011	古墳：住居跡、平安：壘跡、中世：土坑、ピット、堅穴状造構
-	元總社舊海道跡群(38)	2011	古墳～平安：住居跡、中世：壘跡
-	元總社舊海道跡群(39)	2012	古墳～住居跡、奈良・平安：壘跡、土坑。中世：壘跡
-	元總社舊海道跡群(40)	2012	縄文：住居跡、古墳～平安：住居跡、鐵治造構、中世：井戸跡
-	元總社舊海道跡群(41)	2012	縄文：住居跡、吉墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、鐵治工跡、中世：壘跡
-	元總社舊海道跡群(42)	2012	奈良・平安：住居跡、壘跡
-	元總社舊海道跡群(43)	2012	奈良・住居跡、壘跡、中近世：壘跡、土坑墓、井戸跡
-	元總社舊海道跡群(44)	2012	古墳：住居跡、壘跡、壘跡、中近世：土坑墓、井戸跡
-	元總社舊海道跡群(45)	2012	平安～住居跡、中世：井戸跡
-	元總社舊海道跡群(46)	2012	中近世：柱列跡、壘跡、井戸跡
-	元總社舊海道跡群(47)	2012	縄文：住居跡、古墳～奈良・平安：住居跡、壘跡
-	元總社舊海道跡群(48)	2012	奈良・平安：住居跡、壘跡
-	元總社舊海道跡群(49)	2012	平安：住居跡、中世：土坑、井戸跡
-	元總社舊海道跡群(50)	2012	縄文：住居跡、古墳～平安：住居跡
-	元總社舊海道跡群(51)	2013	奈良・平安：住居跡
-	元總社舊海道跡群(52)	2013	なし
-	元總社舊海道跡群(53)	2013	奈良・平安：住居跡、壘跡、土坑
-	元總社舊海道跡群(54)	2013	なし
-	元總社舊海道跡群(55)	2013	奈良・平安：住居跡、壘跡、土坑
-	元總社舊海道跡群(56)	2013	古墳～平安：住居跡
-	元總社舊海道跡群(57)	2013	平安：壘跡、中世：蒼海南城の壠跡
-	元總社舊海道跡群(58)	2013	平安・壘跡、中世：蒼海南城の壠跡
-	元總社舊海道跡群(59)	2013	平安：住居跡、中世：蒼海南城の壠跡
-	元總社舊海道跡群(60)	2013	平安：住居跡、中世：蒼海南城の壠跡
-	元總社舊海道跡群(61)	2013	古墳～平安：住居跡、堅穴状造構、方形周溝墓、壘跡、中近世：墓坑、井戸跡
-	元總社舊海道跡群(62)	2015	古墳：壘跡
-	元總社舊海道跡群(63)	2015	古墳～平安：住居跡、壘跡
-	元總社舊海道跡群(64)	2015	奈良・製鐵炉跡、中世：堅穴状造構、土坑墓
-	元總社舊海道跡群(65)	2015	古墳～平安：住居跡、壘跡、中世：蒼海南城の壠跡
-	元總社舊海道跡群(66)	2013	奈良・平安：住居跡、壘跡、土坑、井戸跡
-	元總社舊海道跡群(67)	2013	奈良・平安：住居跡、壘跡、土坑
-	元總社舊海道跡群(68)	2013	奈良・平安：住居跡、堅穴状造構、土坑
-	元總社舊海道跡群(72)	2013	平安：住居跡、壘跡
-	元總社舊海道跡群(73)	2013	時期不明：道路状造構
-	元總社舊海道跡群(81)	2015	古墳～住居跡、方形周溝墓、奈良・平安：住居跡、堅穴状造構、壘跡、土坑
-	元總社舊海道跡群(82)	2015	古墳～平安：住居跡、土坑
-	元總社舊海道跡群(83)	2015	奈良・平安：土坑、中世：壘跡
-	元總社舊海道跡群(84)	2015	古墳～平安：住居跡、中世：壘跡、土坑。ピット
-	元總社舊海道跡群(85)	2014	平安：住居跡、壘跡、土坑、中世：蒼海南城の壠跡
-	元總社舊海道跡群(88)	2014	古墳：壘跡、中世：壘跡
-	元總社舊海道跡群(89)	2014	中世：堅穴状造構、壘跡
-	元總社舊海道跡群(90)	2014	中世：堅穴状造構
-	元總社舊海道跡群(91)	2014	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：壘跡
-	元總社舊海道跡群(95)	2014	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：井戸跡
-	元總社舊海道跡群(97)	2014	奈良・平安：住居跡、土坑、中世：蒼海南城の壠跡
-	元總社舊海道跡群(98)	2014	平安～中世：権立柱建物跡、井戸跡、土坑、ピット
-	元總社舊海道跡群(102)	2014	奈良・平安：落ち込み、壘跡、中世：壘、井戸、土坑

調査年度の欄の（ ）は調査開始年度を示す。

遺跡名の欄の（事業団）は（公益財團法人）群馬県埋蔵文化財調査事業団を表す。

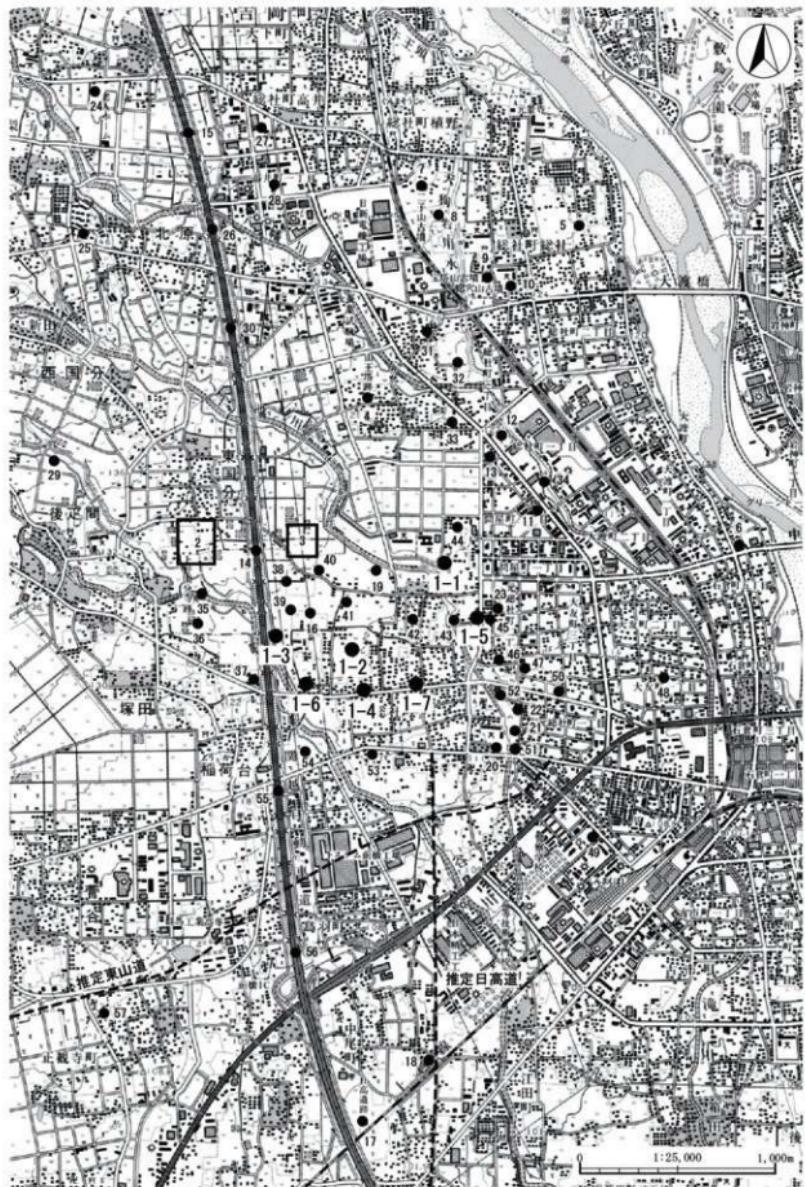


Fig. 2 周辺遺跡図

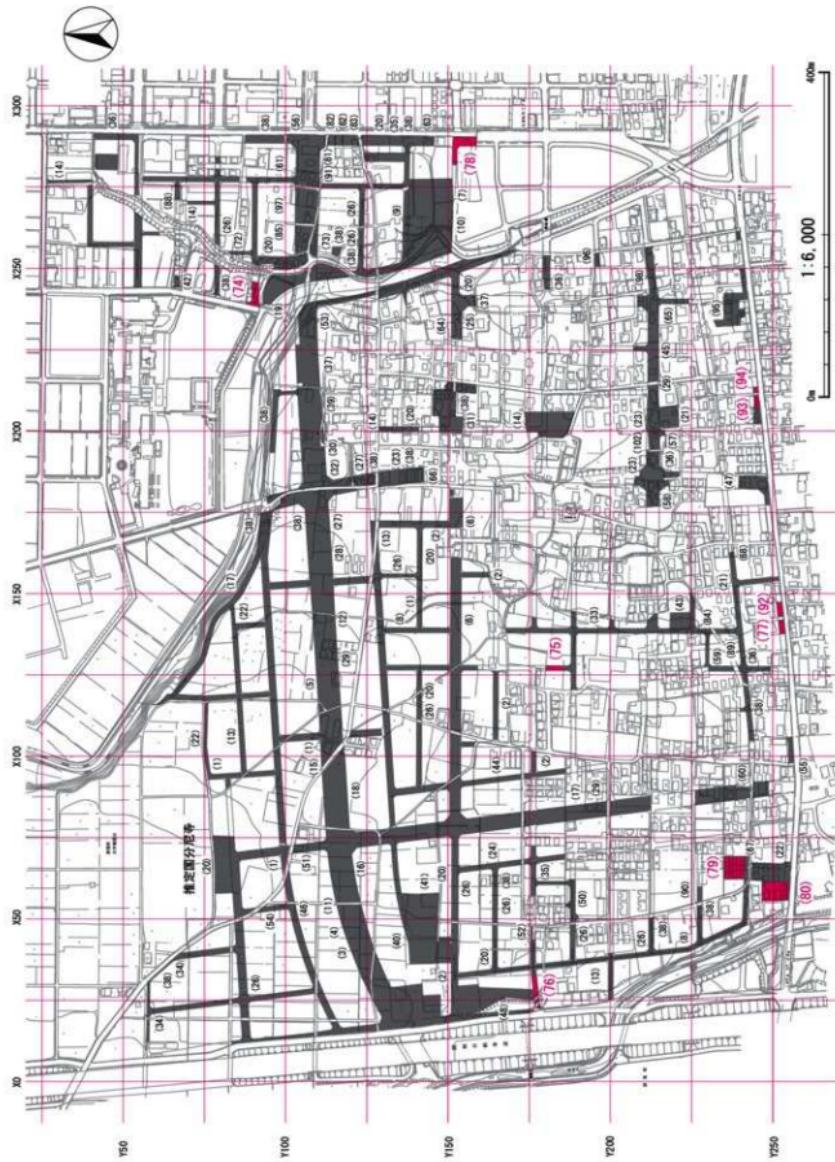


Fig. 3 元総社蒼海遺跡群位置図・グリッド設定図

III 調査の方針と経過

1 調査方針

委託された調査箇所は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴うもので、調査面積は元総社蒼海遺跡群(74) 165.9m²、元総社蒼海遺跡群(75) 117.9m²、元総社蒼海遺跡群(76) 132.0m²、元総社蒼海遺跡群(77) 98.4m²、元総社蒼海遺跡群(78) 398.7m²、元総社蒼海遺跡群(79) 648.9m²、元総社蒼海遺跡群(80) 703.8m²、元総社蒼海遺跡群(92) 101.6m²、元総社蒼海遺跡群(93) 78.4m²、元総社蒼海遺跡群(94) 45.6m²、総調査面積は2,491.2m²である。

遺構番号は、調査区ごとに付番することとし、74-H-1号住居跡、75-H-1号住居跡のように遺構の前に必ず遺跡番号を付すこととした。

グリッド座標については国家座標（日本測地系）X = +44,000・Y = -72,200を基点（X 0・Y 0）とする4mピッチのものを使用し、元総社蒼海遺跡群(74)においては、西から東へX240、241、242…、北から南へY89、90、91…と付番し、グリッド呼称は北西杭の名称を使用した。

調査方法については、表土掘削、遺構確認、グリッド杭設置、遺構掘下、遺構精査、写真撮影、測量の手順で行った。このうちの遺構確認については、基本的にA s-C・H r-F P軽石とA s-B軽石が混入する土層を手がかりとした。

図面作成は、平板・造り方測量を用い、遺構平面図は原則として1/20、住居跡は1/10の縮尺で作成し、溝跡等は1/40、全体図を1/100の縮尺でおこなった。遺物については遺物分布図を作成し、遺物台帳に記載しながら収納した。包含層の遺物は、グリッド単位で収納した。写真記録は35mmモノクロ、35mmリバーサル、デジタルカメラの3種類を併用した。

2 調査経過

現地調査は、平成26年9月26日から平成27年3月27日まで行った。調査経過は下記のとおりである。

元総社蒼海遺跡群(74)…9月29日から重機による表土掘削を開始した。検出された遺構は堅穴住居跡2軒、
(遺跡コード:26A168) 溝跡1条、井戸跡1基である。10月17日から埋戻を行った。

元総社蒼海遺跡群(75)…11月10日から重機による表土掘削を開始した。遺構は堅穴住居跡4軒、溝跡1条、
(遺跡コード:26A169) 土坑20基、ピット19基である。溝跡は、蒼海城関連の堀と思われる。12月8日に
全て終了した。

元総社蒼海遺跡群(76)…10月24日から重機による表土掘削を開始した。調査区中央から西側は深く搅乱を
(遺跡コード:26A173) 受けていた。遺構は堅穴住居跡1軒、溝跡2条、土坑8基、ピット2基である。
11月11日に全て終了した。

元総社蒼海遺跡群(77)…平成27年1月9日から重機による表土掘削を開始した。表土を取り除くとすぐに
(遺跡コード:26A174) 総社砂層の面が検出された状態であった。遺構は時期不明の井戸跡1基である。
1月19日に埋戻を行い調査終了となった。

元総社蒼海遺跡群(78)…12月12日から重機による表土掘削を開始した。遺構は堅穴住居跡27軒、堅穴状遺
(遺跡コード:26A175) 構1基、溝跡3条、井戸跡1基、土坑36基、ピット43基である。空中撮影を実施
し、平成27年3月27日に全て終了した。

元総社蒼海遺跡群(79)…平成27年1月24日から重機による表土掘削を開始した。検出された遺構は堅穴住

- (遺跡コード:26A176) 居跡21軒、溝跡6条、円形有段遺構1基、土坑13基、ピット23基である。空中撮影を実施し、平成27年3月27日に全て終了した。
- 元総社着海遺跡群(80)…平成27年2月3日から重機による表土掘削を開始した。調査区中央部分に大きな
(遺跡コード:26A177) 搾乱範囲があり遺構が検出できたのは北端と南端部分のみである。検出された遺構は堅穴住居跡6軒、溝跡1条、ピット1基である。空中撮影を実施し、平成27年3月13日に全て終了した。
- 元総社着海遺跡群(92)…平成27年1月9日から重機による表土掘削を開始した。(77)と同様に表土下がす
(遺跡コード:26A183) ぐに総社砂層面であった。遺構は、擾乱をうけ検出されていない。1月19日に埋戻を行った。
- 元総社着海遺跡群(93)…平成27年2月27日から重機による表土掘削を開始した。検出された遺構は溝跡5
(遺跡コード:26A184) 条、土坑15基、ピット13基である。溝跡のうち2条は着海城関連の堀と思われる。平成27年3月20日に全て終了した。
- 元総社着海遺跡群(94)…平成27年2月14日から重機による表土掘削を開始した。検出された遺構は溝跡4
(遺跡コード:26A189) 条、土坑6基、ピット6基である。溝跡のうち1条は着海城関連の堀と思われる。平成27年2月26日に全て終了した。

整理作業は、平成28年8月5日から平成29年3月24日まで行った。

IV 基本層序

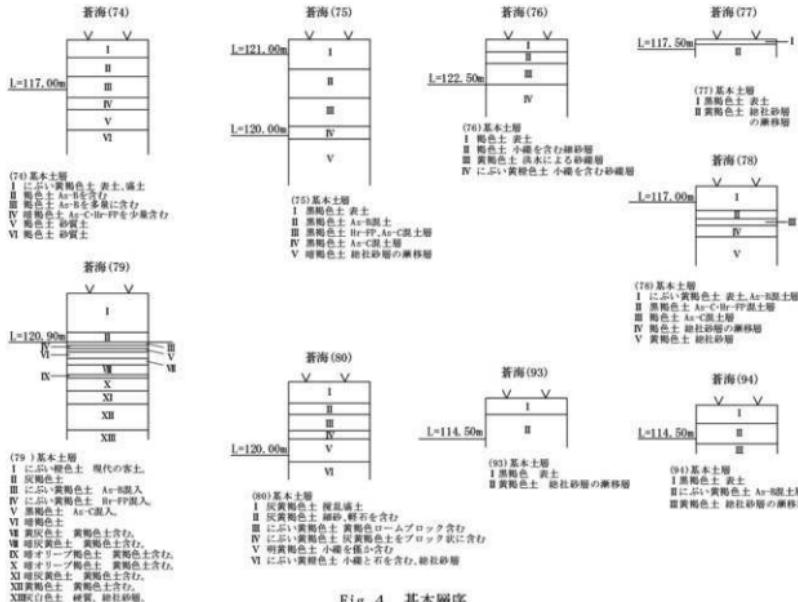
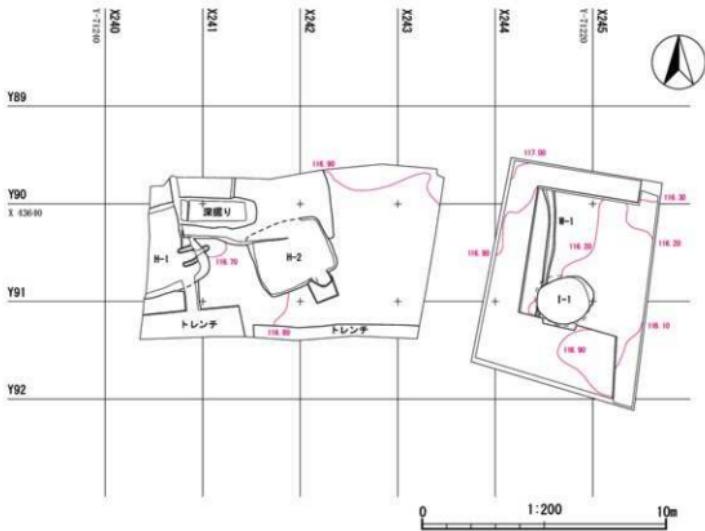


Fig. 4 基本層序

元總社蒼海遺跡群(74)



元總社蒼海遺跡群(76)

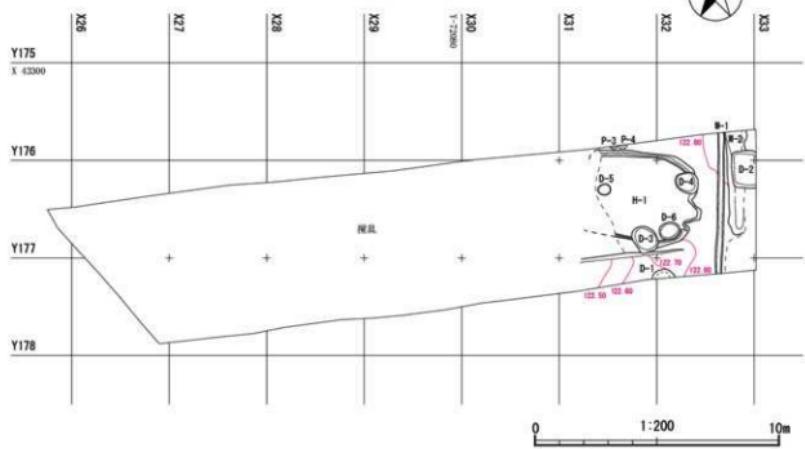


Fig. 5 元總社蒼海遺跡群(74)・(76)全体図

元總社蒼海遺跡群(75)

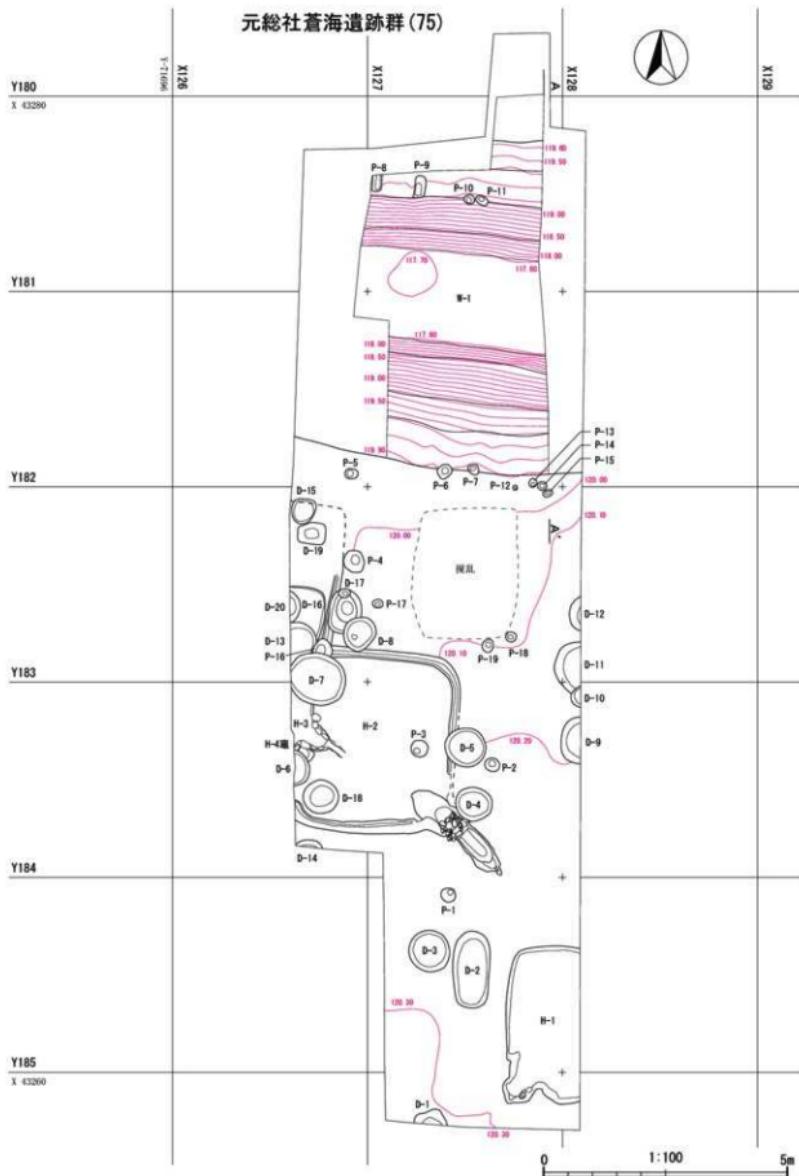


Fig. 6 元總社蒼海遺跡群(75)全体図

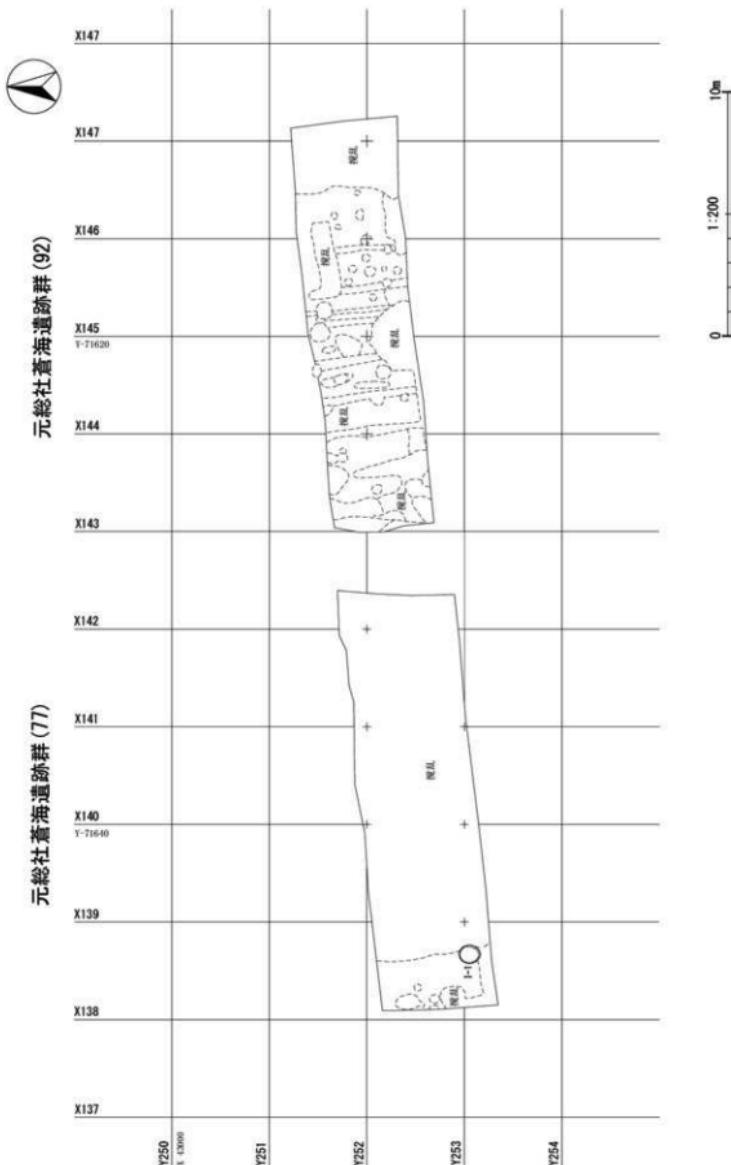


Fig. 7 元總社蒼海遺跡群(77)・(92)全体図

元總社苔海遺跡群(78)

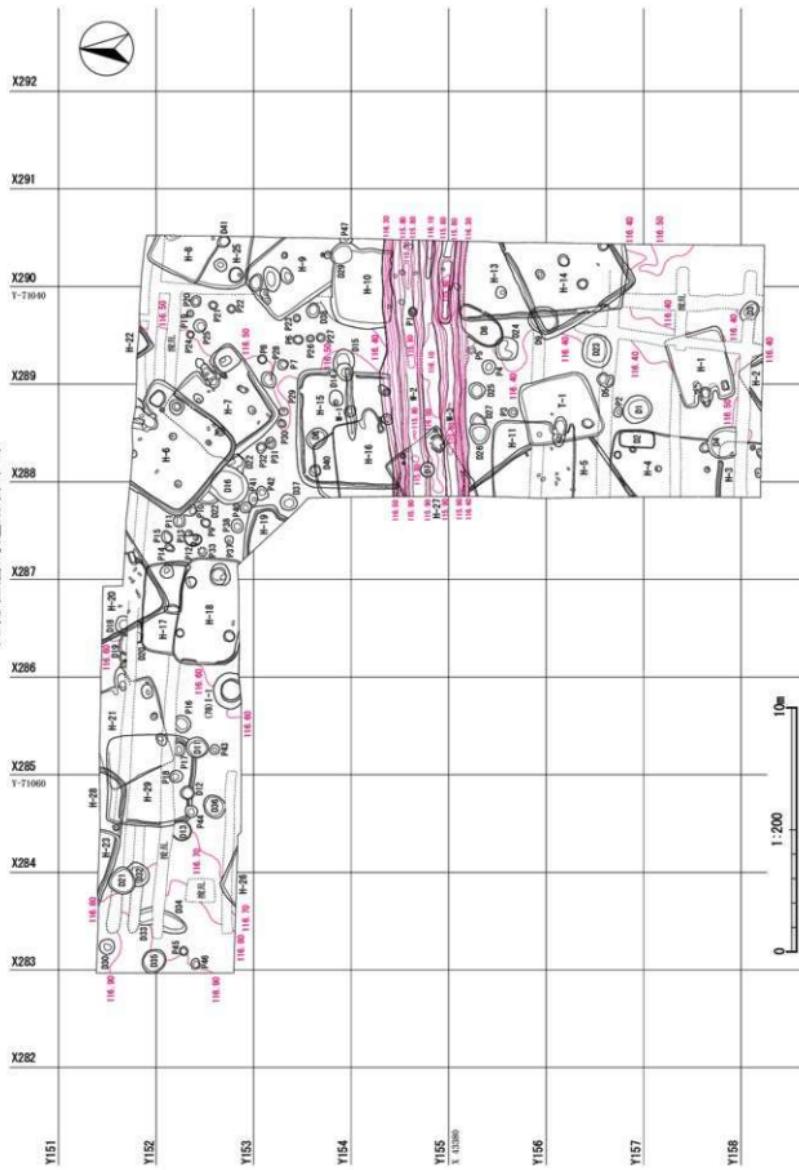


Fig. 8 元總社苔海遺跡群(78)全体図

元總社舊海遺跡群(79)



Fig. 9 元總社舊海遺跡群(79)全体図

元総社蒼海遺跡群(80)

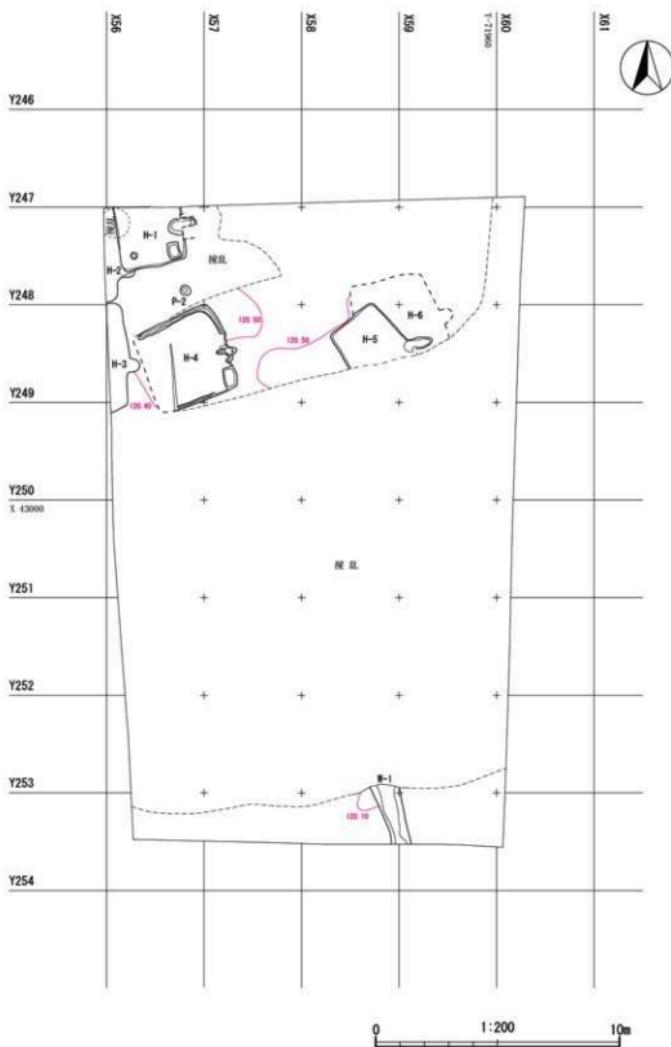


Fig. 10 元総社蒼海遺跡群(80)全体図

元總社蒼海遺跡群(93)



元總社蒼海遺跡群(94)

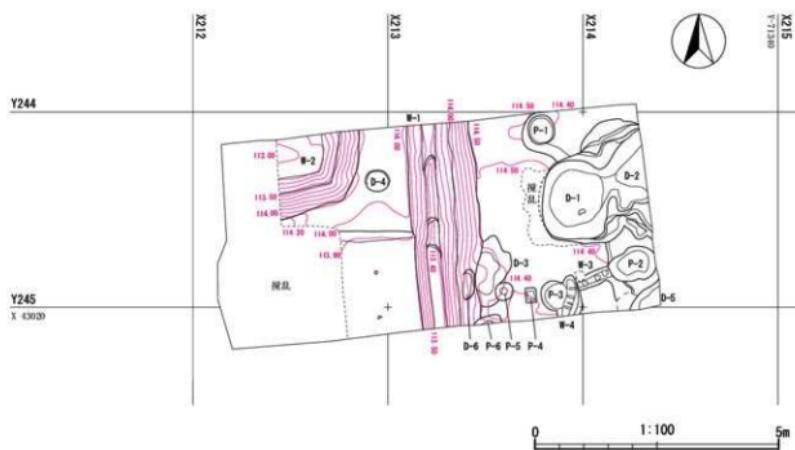


Fig. 11 元總社蒼海遺跡群(93)・(94)全体図

V 検出された遺構と遺物

1 元総社蒼海遺跡群(74)

本調査区は牛池側の左岸に位置し、西側調査区と東側調査区に分かれている。西側から竪穴住居跡2軒、東側から溝跡1条、井戸跡1基を検出している。

(1) 竪穴住居跡

(74) H-1号住居跡 [Fig. 13, PL. 1]

遺構名	(74) H-1	位置(°' ″)	X240・241, Y90	重複	単独・西側調査区外
形状・規模	両面長方形か・東西(3.10)m×南北3.40m×深53cm			主軸方向	(N-28°-W) 面積 (7.28)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	検出されていない。			床面	標高116.07m
カマド	位置 東壁中央南 優先	規格 全長125cm、最大幅80cm、焚口部幅40cm,		主軸方向	N-64°-E
備考	遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺が出土し、土師器壺2点・甕2点を図示。			時期	6世紀後半

(74) H-2号住居跡 [Fig. 13, PL. 1]

遺構名	(74) H-2	位置(°' ″)	X241・242, Y90	重複	単独
形状・規模	長方形・東西3.28m×南北2.52m×深47cm			主軸方向	(N-68°-E) 面積 [8.36]m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	検出されていない。			床面	標高116.33m
カマド	位置 南壁中央東 優先	規格 全長58cm、最大幅74cm、焚口部幅50cm,		主軸方向	N-153°-E
備考	遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・甕、羽釜、灰軸陶器高台付壇、瓦が出土し、須恵器羽			時期	11世紀後半
	釜1点を図示。				

(2) 溝跡

(74) W-1号溝跡 [Fig. 14, PL. 1]

X244、Y89~91グリッドに位置する。南北に走行し、中世の井戸跡に切られている。全長は(5.18)m、上幅0.18~0.43m、下幅0.06~0.25m、深さ0.07~0.14mを測る。北側底面の標高は116.19m、南側は116.08mで北から南へ下がる。断面形状は皿状である。出土遺物は3点で、土師器壺・甕、瓦の小片である。時期は、覆土にHr-Fa・As-C軽石が見られることから古代と考えられる。

(3) 井戸跡

(74) I-1号井戸跡 [Fig. 14, PL. 1]

遺構名	(74) I-1	位置(°' ″)	X244・245, Y90・91	重複	W-1を切る。
形状・規模	円形で長径240cm×短径190cm×深さは148cm掘り下げた。底面は検出されていない。			標高	(114.82)m
備考	遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付壇・甕、かわらけ、軟質陶器内耳縁、砾石があり、かわらけ2点、軟質陶器内耳縁1点、砾石1点を図示。時期は、覆土にAs-B軽石が確認でき、中世と考えられる。			時期	中世

2 元総社蒼海遺跡群(75)

本調査区は、竪穴住居跡4軒、溝跡1条、土坑20基、ピット19基を検出している。住居跡の壠は全て隅に設置するものと思われる。溝跡は、中世の蒼海城の堀の可能性が高い。

(1) 竪穴住居跡

(75) H-1号住居跡 [Fig. 14, PL. 1]

遺構名	(75) H-1	位置(°' ″)	X127・128, Y184・185	重複	単独・東側調査区外
形状・規模	長方形か・東西(1.51)m×南北3.24m×深17cm			主軸方向	(N-0°-E) 面積 (4.59)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	検出されていない。			床面	標高120.05m
カマド	位置 南西隅 優先	規格 全長87cm、最大幅62cm、焚口部幅54cm,		主軸方向	N-135°-W
備考	遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付壇が出土し、須恵器高台付壇1点を図示。			時期	10世紀前半

(75) H-2号住居跡 [Fig. 15, PL. 1・2]

遺構名	(75) H-2	位置(°' ″)	X127・128, Y184・185	重複	H-4より新、H-3-D-4~8・18-P-16より古
形状・規模	隅丸方形か・東西(3.32)m×南北3.76m×深さ28cm			主軸方向	(N-4°-E) 面積 (11.64)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	ヶ月は3基 P-1長径45cm×短径40cm×深さ21cm、P-2長径53cm×短径42cm×深さ18cm、P-3長径(28)cm×短径(14)cm×深さ19cm、貯蔵穴は未検出。周溝は全周する。			床面	標高119.98m

カマド	位置	南東隅	規模	全長193cm、最大幅49cm、焚口部幅28cm。	主軸方向	N-135°-E
備考	遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・甕、瓦、埴輪が出土し、瓦2点、埴輪1点を図示。		時期	10世紀後半以前		

(75) H-3号住居跡 [Fig. 15, PL. 2]

遺構名	(75) H-3	位置	(北東)	X126, Y182-183	重複	H-2-4より新、D-7-13-16-17-20-P-16より古。
形状・規模	不明・東西(1.04)m×南北[5.04]m×深さ15cm			主軸方向 (N-11°-E)	面積	(4.34)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は1基 P-1長径45cm×短径40cm×深さ21cm。貯蔵穴は未検出。周溝			床面	標高	119.98m
	は東壁に確認された。					
カマド	位置	南東隅か	規模	全長(83)cm、最大幅48cm、焚口部幅40cm。	主軸方向	N-110°-E
備考	住居の北側は確認できず。西側は調査区外。遺物は、土師器が主体を占めるが、量は少な い。土師器壺・甕、須恵器壺・高台付壺・羽釜、瓦が出土し、羽釜1点を図示。			時期	10世紀後半	

(75) H-4号住居跡 [Fig. 16, PL. 2]

遺構名	(75) H-4	位置	(北東)	X126, Y183	重複	H-2-3-D-6より古い。	
形状・規模	不明			主軸方向	一	面積	一
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴	一		床面	一		
カマド	位置	不明	規模	全長(48)cm、最大幅(35)cm、焚口部幅(22)cm。	主軸方向	N-113°-E	
備考	遺みの検出で、遺物は出土しなかった。			時期	10世紀後半以前		

(2) 溝跡

(75) W-1号溝 [Fig. 6・16、図解 1]

X126・127、Y181・182グリッドに位置し、東西に走行する。6~11号ピットに切られる。全長は(3.80)m、上幅(6.84)m、下幅1.82~1.90m、深さ2.20~2.28mを測り、断面形状は逆台形状である。底面の標高は、西側で117.72m、東側は117.75mを測る。遺物の出土は少なく、土師器壺・甕、須恵器壺・甕・蓋、灰釉陶器片がある。時期は覆土の観察から中世と考えられ、蒼海城に関連する堀の可能性が高い。

(3) 土坑 [Fig. 17]

土坑は20基検出した。覆土の様相や重複の関係から古代と考えられるものは、D-15・17・18・19の4基である。それ以外の土坑は、覆土にA s-B軽石を含むものや土坑の形態から中世以降と考えられるもので、16号土坑は、その形態から土坑墓の可能性が高い。計測値等は、Tab. 4にまとめた。

(4) ピット [Fig. 18]

ピットは19基検出した。覆土の様相から古代と考えられるものは、P-1・2・4・8~16・19の13基である。それ以外のピットは、覆土にA s-B軽石を含むものや土坑の形態から中世以降と考えられる。計測値等は、Tab. 4にまとめた。

3 元総社蒼海遺跡群(76)

本調査区は染谷川の左岸に位置し、竪穴住居跡1軒、溝跡2条、土坑6基、ピット2基を検出している。

(1) 竪穴住居跡

(76) H-1号住居跡 [Fig. 19, PL. 2]

遺構名	(76) H-1	位置	(北東)	X31・32, Y175-176	重複	D-3~8より古い。
形状・規模	楕円長方形か・東西(4.14)m×南北3.56m×深さ28cm			主軸方向 (N-98°-E)	面積	(15.73)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は未検出。貯蔵穴 長形85cm×短径69cm×深さ16cm。周溝は北壁			床面	標高	122.28m
	沿いに検出。					
カマド	位置	東壁中央南	規模	全長66cm、最大幅75cm、焚口部幅69cm。	主軸方向	N-103°-E
備考	遺物は、縄文土器、土師器甕、須恵器壺・高台付壺・甕、灰釉陶器片、鉄製品が出土し、 縄文土器2点・高台付壺2点、刀子1点を図示。			時期	9世紀後半	

(2) 溝跡

(76) W-1号溝 [Fig. 20, PL. 2]

X32、Y175~177グリッドに位置し、南北に走行する。全長は(5.78)m、上幅0.22~0.30m、下幅0.14~0.21m、深さ0.07~0.14mを測り、断面形状はU字状である。底面の標高は、北側で122.67m、南側は122.

80mを測る。遺物の出土は少なく、土師器壺・甕・須恵器壺・甕・蓋、灰釉陶器片、鉄製品1点を図示した。

(76) W-2号溝 [Fig. 20, PL. 2]

X32、Y175・176グリッドに位置し、南北に走行する。全長は(4.22)m、上幅(0.59)~0.86m、下幅0.32~0.66m、深さ0.25mを測り、断面形状は不明である。底面の標高は、北側で122.61m、南側は122.54mを測る。遺物の出土は少なく、土師器甕・須恵器壺・高台付塊、灰釉陶器高台付皿があり、灰釉陶器高台付皿1点を図示した。

(3) 土坑 [Fig. 20, PL. 2]

土坑は6基検出した。覆土の様相から古代と考えられるものは、D-1・3・4・5の4基である。時期の特定は難しいが、D-2は、その形態から中世の土坑墓と思われる。計測値等は、Tab. 4にまとめた。

(4) ピット

ピットは、2基検出した。時期は不明。計測値等は、Tab. 4にまとめた。

4 元総社蒼海遺跡群(77)

本調査区は、調査区のほとんどが搅乱をうけており、検出された遺構は、井戸跡1基のみである。

(1) 井戸跡

(77) I-1号井戸跡 [Fig. 20, PL. 2]

遺構名	(77) I-1	位置(''丁目'')	X138、Y252・253	重複	単独
形状・規模	椭円形・長径86cm×短径73cm×深さ9cm	柱穴	底面は検出していない。	標高	(116, 19)m
備考	土堆東側は搅乱により欠損。遺物は、出土していない。			時期	不明

5 元総社蒼海遺跡群(78)

本調査区は牛池側の左岸に位置し、昭和の時代には桑園として使用されている。確認面の標高は117mを測る。検出された遺構は、竪穴住居跡27軒、堅穴状遺構1基、溝跡3条、井戸跡1基、土坑36基、ピット43基である。

(1) 竪穴住居跡

(78) H-1号住居跡 [Fig. 21, PL. 3]

遺構名	(78) H-1	位置(''丁目'')	X288・289、Y157	重複	単独
形状・規模	両面長方形・東西2.96m×南北2.37m×深さ23cm	柱穴	主軸方向 N-72°-E	面積	[6.58] m ²
柱穴・貯藏穴・周溝	柱穴・周溝は未検出。貯藏穴・長径37cm×短径26cm×深さ29cmの長方形。			床面	標高116.18m
カマド	位置 西壁中央	規模 金長1cm、最大幅99cm、焚口部幅41cm	主軸方向 N-80.5°-E		
備考	遺物は、土師器壺・甕・甕・須恵器壺・高台付塊が出土し、土師器壺1点を図示。			時期	7世紀前半

(78) H-2号住居跡 [Fig. 21, PL. 3]

遺構名	(78) H-2	位置(''丁目'')	X288・289、Y158	重複	単独
形状・規模	不明・東西(1.86)m×南北(1.30)m×深さ38cm	柱穴	主軸方向 N-57°-E	面積	(1.24) m ²
柱穴・貯藏穴・周溝	柱穴・貯藏穴は未検出。周溝は、検出できた範囲内においてすべてまわっている。			床面	標高116.21m
カマド	位置 一	規模 一	主軸方向 一		
備考	所側は調査区外。遺物は出土量は少なく、土師器甕・高壺がある。			時期	古墳時代後期

(78) H-3号住居跡 [Fig. 21, PL. 3]

遺構名	(78) H-3	位置(''丁目'')	X287・288、Y157・158	重複	H-4より新。H-4より古。
形状・規模	不明・東西(2.33)m×南北(1.78)m×深さ18cm	柱穴	主軸方向 N-3°-E	面積	(3.96) m ²
柱穴・貯藏穴・周溝	柱穴は3基 P-1長径45cm×短径30cm深さ21cm、P-2長径53cm×短径42cm深さ18cm、P-3長径(28)cm×短径(14)cm深さ19cm。貯藏穴は未検出。周溝は北壁の一部に検出。			床面	標高116.28m
カマド	位置 一	規模 一	主軸方向 一		

備考	南・西側は調査区外。遺物の出土量は少ない。土師器壺、須恵器壺、かわらけが出土し、かわらけ1点を図示。	時期	11世紀後半
----	--	----	--------

(78) H-4号住居跡 [Fig. 21, PL. 3]

遺構名	(78) H-4	位置(°'±±')	X287・288, Y156・157	重複	H-5より新、H-3-D-2-4より古。
形状・規模	長方形か・東西(2.74)m×南北(4.44)m×深さ10cm		主軸方向	N-5°-E	面積 (11.20)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は3基 P-1長径20cm短径18cm深さ12cm, P-2長径33cm短径(21)cm深さ17cm, P-3長径36cm短径(23)cm深さ14cm, 貯蔵穴・周溝は未検出。		床面	標高116.30m	
カマド	位置 一	規模 一		主軸方向	一
備考	西側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺、灰釉陶器高台付壺が出土した。灰釉陶器高台付壺1点を図示。		時期	10世紀後半	

(78) H-5号住居跡 [Fig. 22, PL. 3]

遺構名	(78) H-5	位置(°'±±')	X287・288, Y155・156	重複	H-27より新、H-4-11-T-1-W-3より古
形状・規模	方形か・東西(4.32)m×南北(5.90)m×深さ27cm		主軸方向	N-37°-W	面積 (11.42)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴は未検出。周溝は全周回する。掘り方の結果、内側に周溝を検出し、拡張住居と判明した。		床面	標高116.18m	
カマド	位置 一	規模 一		主軸方向	一
備考	西側は調査区外。遺物は土師器が主体で、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付壺・甕が出土している。土師器壺1点を図示。		時期	6世紀中	

(78) H-6号住居跡 [Fig. 23, PL. 3]

遺構名	(78) H-6	位置(°'±±')	X287・288, Y151・152	重複	H-7より新、D-16-22-P-10-11より古
形状・規模	方形か・東西(4.33)m×南北(1.31)m×深さ49cm		主軸方向	N-38°-E	面積 (15.87)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は5基 P-1長径28cm短径(18)cm深さ24cm, P-2長径27cm短径29cm深さ30cm, P-3長径31cm短径27cm深さ3cm, P-4長径23cm短径18cm深さ33cm, P-5長径19cm短径17cm深さ45cm, 貯蔵穴1長径66cm短径56cm深さ13cm, 貯蔵穴2 長径38cm短径33cm深さ55cm, 周溝はほぼ全周する。		床面	標高116.14m	
カマド	位置 東側中央東	規模 全長(111)cm, 最大幅110cm, 烟口部幅39cm,		主軸方向	N-34°-E
備考	北側は調査区外。遺物は土師器が主体で、土師器壺・甕・壺、須恵器壺・甕・高坪		時期	6世紀前～中	
	が出土している。土師器壺2点、土師器高坪1点、砾石1点を図示。				

(78) H-7号住居跡 [Fig. 23, PL. 3・4]

遺構名	(78) H-7	位置(°'±±')	X288・289, Y152・153	重複	H-6より古
形状・規模	方形か・東西(2.93)m×南北(2.79)m×深さ56cm		主軸方向	(N-55°-E)	面積 (9.35)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は5基 P-1長径42cm短径32cm深さ24cm, P-2長径36cm短径32cm深さ48cm, P-3長径36cm短径28cm深さ47cm, P-4長径45cm短径21cm深さ35cm, P-5長径25cm短径21cm深さ24cm。貯蔵穴 長径45cm短径34cm深さ13cm。周溝は西側と南側の一部にまるる。		床面	標高116.09m	
カマド	位置 東側中央南	規模 全長140cm, 最大幅80cm, 烟口部幅31cm,		主軸方向	N-54°-E
備考	遺物は土師器が主体で、土師器壺・甕・壺、須恵器壺・甕が出土している。土師器壺2点、土師器甕1点、土師器壺1点、土師器甕1点、砾石1点を図示。		時期	6世紀前半	

(78) H-8号住居跡 [Fig. 25, PL. 4]

遺構名	(78) H-8	位置(°'±±')	X290・290, Y151・152	重複	H-25より新、D-41より古
形状・規模	方形か・東西(2.75)m×南北(2.36)m×深さ9cm		主軸方向	(N-27°-E)	面積 (3.95)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴・周溝は未検出。		床面	標高116.16m	
カマド	位置 一	規模 一		主軸方向	一
備考	東側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・甕が出土しているが、量は少ない。		時期	不明	

(78) H-9号住居跡 [Fig. 25, PL. 4]

遺構名	(78) H-9	位置(°'±±')	X289・290, Y152・153	重複	H-10・D-29より古
形状・規模	長方形・東西2.64m×南北[4.13]m×深さ22cm		主軸方向	N-35°-E	面積 (2.17)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は5基 P-1長径[37]cm短径29cm深さ13cm, P-2長径35cm短径[32]cm深さ21cm, P-3長径27cm短径23cm深さ56cm、P-4長径15cm短径15cm深さ20cm, P-5長径30cm短径(29)cm深さ27cm。土塙を3基検出 D-1長径105cm短径68cm深さ21cm, D-2長径71cm短径53cm 深さ9cm, D-3長径68cm短径49cm深さ9cm。貯蔵穴・周溝は未検出。		床面	標高116.15m	
カマド	位置 一	規模 一		主軸方向	一
備考	東側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・甕、羽釜、灰釉陶器高台付壺・甕、鉢・瓦、瓦製品が出土し、土師器台付壺1点、須恵器高台付壺1点、甕1点を図示。		時期	9世紀代	

(78) H-10号住居跡 [Fig. 25, PL. 4]

遺構名	(78) H-10	位置(°'±±')	X289・290, Y153・154	重複	H-9より新、D-29-W-2より古
形状・規模	方形か・東西3.30m×南北(2.49)m×深さ41cm		主軸方向	(N-1°-E)	面積 (1.96)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴・周溝は未検出。		床面	標高116.01m	

カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	一
備考	遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付壇・甕、灰釉陶器小片、鉄製品が出土し、須恵器高台付壇1点、釘2点を図示。				時期	10世紀前半

(78) H-11号住居跡 [Fig. 26, PL. 4]

遺構名	(78) H-11	位置	($\sigma^{\prime} \# \tau'$)	X 287 - 288, Y 155 - 156	重複	H-5-T-1より新
形状・規模	方形か・東西(3.12)m × 南北3.39m × 深さ18cm			主軸方向	N - 2° - E	面積 (10.39) m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴・周溝は未検出。			床面	標高116.30m	
カマド	位置 東壁南	規模 全長124cm、最大幅102cm、焚口部幅30cm,		主軸方向	N - 92° - E	
備考	西側は調査区外。遺物は、土師器壺、須恵器壺・甕、鉄製品が出土し、須恵器壺1点、かわらけ2点、釘1点を図示。			時期	11世紀後半	

(78) H-12号住居跡 番垂

(78) H-13号住居跡 [Fig. 27, PL. 4]

遺構名	(78) H-13	位置	($\sigma^{\prime} \# \tau'$)	X 289 - 290, Y 155 - 156	重複	H-14より新、D-8・9・W-3より古
形状・規模	長方形か・東西(3.29)m × 南北(6.92)m × 深さ38cm			主軸方向	N - 5° - W	面積 (20.42) m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は4基 P-1長径47cm短径43cm深さ50cm、P-2長径43cm短径42cm深さ50cm、P-3長径39cm短径33cm深さ24cm、P-4長径48cm短径44cm深さ35cm。貯蔵穴は未検出。周溝は西壁に検出した。			床面	標高116.04m	
カマド	位置	規格	一	主軸方向	一	
備考	東側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器高台付壇・甕、灰釉陶器が出土し、土師器壺2点、甕2点、須恵器高台付壇2点、灰釉陶器高台付壇1点、高台付壇1点を図示。			時期	8世紀前半	

(78) H-14号住居跡 [Fig. 27, PL. 4]

遺構名	(78) H-14	位置	($\sigma^{\prime} \# \tau'$)	X 289 - 290, Y 155 - 156	重複	H-13-D-9より古
形状・規模	長方形か・東西(4.46)m × 南北4.45m × 深さ32cm			主軸方向	N - 65° - E	面積 (14.11) m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は未検出。周溝はほぼ全周する。			床面	標高115.90m	
カマド	位置	規格	一	主軸方向	一	
備考	東側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕・甕、須恵器が出土し、土師器壺2点を図示。			時期	5世紀前～6世紀前	

(78) H-15号住居跡 [Fig. 28, PL. 4]

遺構名	(78) H-15	位置	($\sigma^{\prime} \# \tau'$)	X 288 - 289, Y 153 - 154	重複	H-16・27・D-40より新、D-6・14・15、W-1・2より古
形状・規模	方形か・東西4.84m × 南北(4.05)m × 深さ30cm			主軸方向	N - 2° - E	面積 (18.76) m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は5基 P-1長径46cm短径46cm深さ11cm、P-2長径63cm短径56cm深さ5cm、P-3長径45cm短径43cm深さ7cm、P-4長径56cm短径34cm深さ45cm、P-5長径47cm短径41cm深さ31cm。貯蔵穴は未検出。周溝はほぼ全周する。			床面	標高116.32m	
カマド	位置	規格	一	主軸方向	一	
備考	遺物は、土師器壺、須恵器壺・甕、高台壇環、灰釉陶器片、瓦、鉄製品、埴輪が出土し、土師器壺2点・羽釜1点、鉄製品3点、埴輪1点を図示。			時期	11世紀後半	

(78) H-16号住居跡 [Fig. 28, PL. 4]

遺構名	(78) H-16	位置	($\sigma^{\prime} \# \tau'$)	X 287 - 288, Y 153 - 154	重複	H-27・D-40より新、H-15・W-1・2より古
形状・規模	方形か・東西3.09m × 南北(2.55)m × 深さ5cm			主軸方向	N - 85° - E	面積 (8.25) m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は未検出。			床面	標高116.28m	
カマド	位置	規格	一	主軸方向	N - 85° - E	
備考	西側は調査区外。出土遺物：すべて土師器で、量は少ない。土師器壺・甕が出土し、土師器壺2点を図示。出土した土器の時期と住居形態が合わない。			時期	5世紀後～6世紀前	

(78) H-17号住居跡 [Fig. 29, PL. 5]

遺構名	(78) H-17	位置	($\sigma^{\prime} \# \tau'$)	X 286 - 287, Y 151 - 152	重複	H-20より新、H-18より古
形状・規模	長方形か・東西3.85m × 南北(1.46)m × 深さ8cm			主軸方向	N - 94° - E	面積 (5.33) m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は1基 P-1長径53cm短径53cm深さ30cm。土坑は1基 D-1兵怪(58) cm短径37cm深さ10cm。床下土坑は1基 長径(88)cm短径53cm深さ68cm。貯蔵穴は未検出。周溝は東壁の一部に検出。			床面	標高116.50m	
カマド	位置	規格	一	主軸方向	一	
備考	遺物は、土師器壺・甕・甕、須恵器壺が出土し、かわらけ1点を図示。			時期	11世紀前半	

(78) H-18号住居跡 [Fig. 29, PL. 5]

遺構名	(78) H-18	位置	($\sigma^{\prime} \# \tau'$)	X 286 - 287, Y 152	重複	H-17より新
形状・規模	南北長方形・東西4.38m × 南北2.68m × 深さ10cm			主軸方向	N - 99° - E	面積 (10.46) m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は3基 P-1長径33cm短径32cm深さ35cm、P-2長径45cm短径41cm深さ20cm、P-3長径45cm短径45cm深さ40cm。土坑は1基 D-1長径85cm短径80cm深さ67cm。床下土坑は1基 長径119cm短径			床面	標高116.50m	

カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	一
備考	南側は調査区外。遺物は、縄文土器、土師器壺・甕、須恵器壺・甕、鉄製品が出土し、かわらけ1点、釘1点を示す。				時期	11世紀後半

(78) H-19号住居跡 [Fig. 29, PL. 5]

遺構名	(78) H-19	位置(°'±")	X287・Y152・153	重複	単独	
形状・規模	不明・東西(1.63)m×南北(2.39)m×深さ23cm		主軸方向	N-99°-E	面積	(2.07)m ²
柱穴・貯蔵穴・周縁	柱穴・貯蔵穴は未検出。周縁は全回する。			床面		
カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	一
備考	西側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕・甕・壺、須恵器壺・甕が出土した。			時期	古墳時代後期	

(78) H-20号住居跡 [Fig. 30, PL. 5]

遺構名	(78) H-20	位置(°'±")	X286・287、Y151・152	重複	H-17・D-18・20より古	
形状・規模	長方形・東西(3.67)m×南北(3.27)m×深さ31cm		主軸方向	N-59°-E	面積	(6.14)m ²
柱穴・貯蔵穴・周縁	柱穴・貯蔵穴は未検出。周縁は全回する。			床面		
カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	一
備考	北側は調査区外。遺物はすべて土師器で、甕・壺・甕が出土している。土師器壺8点を図示。			時期	5世紀後半	

(78) H-21号住居跡 [Fig. 30, PL. 5]

遺構名	(78) H-21	位置(°'±")	X284・285、Y151・152	重複	H-28・29より古	
形状・規模	長方形・東西3.84m×南北(2.50)m×深さ23cm		主軸方向	N-71°-E	面積	(10.42)m ²
柱穴・貯蔵穴・周縁	柱穴は2基 P-1長径30cm短径26cm深さ49cm、P-2長径51cm短径39cm深さ14cm、貯蔵穴は長径59cm短径44cm深さ68cm。周縁は未検出。			床面		
カマド	位置	東西南北中央	規模	全長6cm、最大幅(57)cm、蟹口部幅(30)cm	主軸方向	N-77°-E
備考	北側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕・甕、須恵器壺が出土し、土師器壺1点を図示。			時期	7世紀代	

(78) H-22号住居跡 [Fig. 30, PL. 5]

遺構名	(78) H-22	位置(°'±")	X289・Y151	重複	単独	
形状・規模	不明・東西(1.02)m×南北(0.91)m×深さ71cm		主軸方向	N-56°-E	面積	(0.49)m ²
柱穴・貯蔵穴・周縁	柱穴・貯蔵穴は未検出。周縁は全回する。			床面		
カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	一
備考	北側は調査区外。出土遺物はない。			時期	不明	

(78) H-23号住居跡 [Fig. 31, PL. 5]

遺構名	(78) H-23	位置(°'±")	X283・284、Y151	重複	H-28より新	
形状・規模	不明・東西(3.06)m×南北(0.96)m×深さ41cm		主軸方向	N-109°-E	面積	(1.61)m ²
柱穴・貯蔵穴・周縁	柱穴・貯蔵穴は未検出。周縁は南壁に検出。			床面		
カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	一
備考	北側は調査区外。遺物は、弥生土器、土師器壺・甕・甕、須恵器壺・甕・甕、灰釉陶器が出土し、弥生土器1点を図示。			時期	不明	

(78) H-24号住居跡 欠番

(78) H-25号住居跡 [Fig. 25, PL. 4]

遺構名	(78) H-25	位置(°'±")	X290・Y152	重複	H-8・D-41より古	
形状・規模	不明・東西(2.17)m×南北(2.09)m×深さ7cm		主軸方向	N-99°-E	面積	(3.44)m ²
柱穴・貯蔵穴・周縁	柱穴・貯蔵穴・周縁は未検出。土坑は1基 長径60cm短径58cm深さ49cm。床下土坑は1基 長径60cm短径55cm深さ52cm。			床面		
カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	一
備考	東側は調査区外。出土遺物：土師器壺・甕・甕、須恵器小片が出土し、須恵器高台壙環1点を図示。			時期	11世紀後半	

(78) H-26号住居跡 [Fig. 31, PL. 5]

遺構名	(78) H-26	位置(°'±")	X283・284、Y152	重複	単独	
形状・規模	不明・東西(2.17)m×南北(2.09)m×深さ40cm		主軸方向	N-114°-E	面積	(0.89)m ²
柱穴・貯蔵穴・周縁	柱穴・貯蔵穴・周縁は未検出。			床面		
カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	一
備考	南側は調査区外。遺物は少量で、土師器・須恵器の小片が出土し、土師器壺1点を図示。			時期	不明	

(78) H-27号住居跡 [Fig. 31, PL. 6]

遺構名	(78) H-27	位置(°'±")	X287・288、Y154・155	重複	H-5・15・16・W-1・2より古	
形状・規模	長方形・東西(2.40)m×南北2.68m×深さ19cm		主軸方向	N-60°-E	面積	(6.65)m ²

柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は3基 P-1長径10cm短径10cm深さ7cm、P-2長径22cm短径19cm深さ5cm、P-3長径17cm短径16cm深さ8cm。貯蔵穴は長径72cm短径57cm深さ48cm。周溝は未検出。	床面	標高116.01m
カマド	位置 一 規模 一	主軸方向	一
備考	西側は調査区外。遺物はすべて土師器で、壇・壺・甕が出土し、土師器壇3点・壺1点。	時期	5世紀前～6世紀前

(78) H-28号住居跡 [Fig. 31, PL. 5]

遺構名	(78) H-28	位置(°'")	X284・285, Y151	重複	H-21より新、H-23・29より古
形状・規模	不明・東西(1.22)m×南北(2.75)m×深さ32cm		主軸方向	N-98°-E	面積 (2.44)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は1基 P-1長径26cm短径23cm深さ20cm。貯蔵穴は未検出。周溝は一部に検出。		床面	標高116.42m	
カマド	位置 一 規模 一	主軸方向	一		
備考	北側は調査区外。遺物は少なく、須恵器壺1点を図示。		時期	10世紀か	

(78) H-29号住居跡 [Fig. 32, PL. 6]

遺構名	(78) H-29	位置(°'")	X284・285, Y151・152	重複	H-21・284より新、D-11～13・P-17・18・44より古
形状・規模	方形・東西3.74m×南北3.53m×深さ17cm		主軸方向	N-3°-E	面積 (12.83)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴は未検出。周溝は南・西壁にめぐる。		床面	標高116.55m	
カマド	位置 一 規模 一	主軸方向	一		
備考	遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・甕が出土した。		時期	不明	

(2) 穫穴状遺構

(78) T-1号竪穴状遺構 [Fig. 22, PL. 6]

遺構名	(78) T-1	位置(°'")	X288, Y155・156	重複	H-5より新、H-11より古
形状・規模	方形・東西2.68m×南北2.15m×深さ48cm		主軸方向	N-15°-W	面積 (7.93)m ²
柱穴	柱穴は1基 P-1長径48cm短径37cm深さ8cm。		床面	標高115.99m	
備考	遺物はほとんど土師器で、土師器壺・甕、須恵器壺が出土し、土師器壺を1点図示。		時期	不明	

(3) 溝跡

(78) W-1号溝跡 [Fig. 33, PL. 6]

X 288・289、Y 153・154グリッドに位置する。重複関係は、H-15・16、D-14より新しい。東西に走行し、確認できた全長は2.96m、上幅0.23～0.41m、下幅0.09～0.15m、確認面からの深さ0.07mを測る。北側底面の標高は116.51m、南側は116.55mで、断面形状は皿状である。出土遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺の小片である。時期は、覆土にA s-B軽石が見られることから中世と考えられる。

(78) W-2号溝跡 [Fig. 33, PL. 6]

X 287～290、Y 154グリッドに位置し、W-3と並走する。重複関係は、H-10・15・16・27より新しく、W-3より古い。東西に走行し、全長は(10.55)m、上幅1.41～1.74m、下幅0.30～0.57m、確認面からの深さ0.87mを測る。西側底面の標高は115.80m、東側は115.72mで、断面形状は逆台形状である。出土遺物は、土師器壺・壇・甕、須恵器壺・甕、陶器があり、火鉢1点を図示した。時期は、覆土にA s-B軽石が見られることから中世と考えられる。

(78) W-3号溝跡 [Fig. 33, PL. 6]

X 287～290、Y 154・155グリッドに位置し、W-2と並走する。重複関係は、H-5・13・27、W-2、D-8より新しい。東西に走行し、全長は(10.48)m、上幅0.93～1.36m、下幅0.23～0.42m、確認面からの深さ0.86mを測る。底面の標高は、西側は115.81m、東側は115.72mを測り、長さ2.60mにわたり段差が確認できた。断面形状は、逆台形状である。出土遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・甕、灰釉陶器高台壙、瓦がある。時期は、覆土にA s-B軽石が見られることから中世と考えられる。

(4) 井戸跡

(78) I-1号井戸跡 [Fig. 32, PL. 6]

遺構名	(78) I-1	位置(°'")	X285・286, Y152	重複	単独
-----	----------	---------	----------------	----	----

形状・規模	円形で長径147cm×短径(112)cm×深さは145cm隔り下がった。底面は検出していない。	標高	(115.15)m
備考	遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺が出土している。時期は、覆土にA s-B輕石が見られることから中世と考えられる。	時期	中世

(5) 土坑 [Fig. 28・34]

土坑は36基検出した。覆土の様相や重複の関係から古代と考えられるものは、D-2・3・5・11・14・15・18~20・22~27・29・30・32~38・40・41の26基である。それ以外の10基は、覆土にA s-B輕石が見られ、中世以降の土坑と考えられる。計測値等は、Tab. 4にまとめた。

(6) ピット

ピットは43基検出した。P-40は、覆土にA s-B輕石を含み、中世のピットと考えられる。それ以外のピット42基は、覆土の様相や重複の関係から古代と考えられる。計測値等は、Tab. 4にまとめた。

6 元総社蒼海遺跡群(79)

検出された遺構は、堅穴住居跡21軒、溝跡6条、円形有段遺構1基、土坑13基、ピット23基である。

(1) 堅穴住居跡

(79) H-1号住居跡 [Fig. 36, PL. 7]

遺構名	(79) H-1	位置(''×'')	X68・69, Y237・238	重複	H-4より古
形状・規模	楕丸長方形・東西2.96m×南北3.33m×深さ53cm	主軸方向	N-21°-W	面積	(8.84)m ²
柱穴・貯蔵穴・周縁	柱穴・周縁は未検出。貯蔵穴・長径(30)cm短径(30)cm深さ53cm。	床面	標高120.18m		
カマド	位置 東壁中央南	規模 全長(40)cm、最大幅(66)cm、焚口部幅28cm。	主軸方向	N-78°-E	
備考	東側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・甕、石製品、鐵製品、瓦が出土し、		時期	古代	
	うな玉1点、砥石1点、針1点を図示。				

(79) H-2号住居跡 欠番

(79) H-3号住居跡 [Fig. 36, PL. 7]

遺構名	(79) H-3	位置(''×'')	X68・69, Y235・236	重複	H-9・30より新、W-7より古
形状・規模	長方形か・東西(2.66)m×南北4.46m×深さ23cm	主軸方向	N-11°-W	面積	(9.95)m ²
柱穴・貯蔵穴・周縁	柱穴・貯蔵穴・周縁は未検出。	床面	標高120.56m		
カマド	位置 一	規模 一	主軸方向	一	
備考	東側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付壇・甕、灰釉陶器、瓦が出土し、		時期	10世紀前半	
	し、土師器付台壇1点、須恵器壺1点、高台付壇1点、高台付壇1点、灰釉陶器高台付壇1点、鐵鏃1点を図示。				

(79) H-4号住居跡 [Fig. 37, PL. 7]

遺構名	(79) H-4	位置(''×'')	X67・68, Y235・236	重複	H-5・12・30より新、D-12より古
形状・規模	楕丸長方形・東西4.12m×南北3.34m×深さ33cm	主軸方向	N-75°-E	面積	13.62m ²
柱穴・貯蔵穴・周縁	柱穴は3基 P-1長径38cm短径20cm深さ22cm、P-2長径43cm短径40cm深さ2	床面	標高120.50m		
	4cm、P-3長径46cm短径45cm深さ16cm。貯蔵穴 長径37cm短径36cm深さ9cm。周縁は北・南側の一帯に検出。				
カマド	位置 東壁中央南	規模 全長54cm、最大幅70cm、焚口部幅61cm。	主軸方向	N-97°-E	
備考	遺物は、土師器壺・甕、台付壇、須恵器壺・高台付壇・甕、羽釜、綠釉陶器、鐵製品、瓦が出土した。土師器壺1点、台付壇2点、須恵器壺3点、高台付壇8点、羽釜1点、綠釉陶器1点、針4点、刀子1点を図示。		時期	10世紀前半	

(79) H-5号住居跡 [Fig. 37]

遺構名	(79) H-5	位置(''×'')	X67・68, Y235・236	重複	H-12・30より新、H-4-D-7より古
形状・規模	楕丸方形・東西4.06m×南北4.03m×深さ28cm	主軸方向	N-85°-E	面積	16.20m ²
柱穴・貯蔵穴・周縁	柱穴・貯蔵穴・周縁は未検出。床下土坑 長径108cm短径55cm深さ20cm。	床面	標高120.43m		
カマド	位置 東壁中央南	規模 全長79cm、最大幅71cm、焚口部幅53cm。	主軸方向	N-76°-E	
備考	遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付壇・甕、灰釉陶器、瓦が出土している。土師器壺4点、須恵器壺4点、灰釉陶器4点、鐵製品刀子など3点を図示。		時期	9世紀後半	

(79) H-6号住居跡 欠番

(79) H-7号住居跡 [Fig. 38, PL. 7]

遺構名	(79) H-7	位置(''×'')	X65・66, Y235・236	重複	H-12より新、W-3-D-11より古
形状・規模	楕丸長方形・東西4.51m×南北3.52m×深さ6cm	主軸方向	N-87°-E	面積	15.49m ²
柱穴・貯蔵穴・周縁	柱穴は4基 P-1長径53cm短径46cm深さ14cm、P-2長径75cm短径63cm 深さ	床面	標高120.48m		

20cm、P-3長径44cm短径39cm深さ18cm、P-4長径60cm短径58cm深さ13cm。貯蔵穴 長径99cm短径72cm深さ17cm。周溝は未検出。					
カマド	位置 東壁中央南	規模 全長110cm、最大幅71cm、焚口部幅43cm。	主軸方向 N-103°-E		
備 考 遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付壇・甕・壺・羽釜、灰釉陶器、石製品、鉄製品、瓦が出土している。土師器甕1点、須恵器高台付壇3点、砾石1点、鐵製3点、瓦1点を図示。			時期 9世紀代		

(79) H-8号住居跡 [Fig. 39, PL. 7]

遺構名	(79) H-8	位置(''×'')	X66・67、Y239	重複	H-27より新
形状・規模	陶丸長方形・東西2.95m×南北(3.38)m×深さ40cm		主軸方向 N-22°-W	面積	(8.20)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴・周溝は未検出。		床面	標高120.29m	
カマド	位置 東壁中央南	規模 全長92cm、最大幅69cm、焚口部幅40cm。	主軸方向 N-77°-E		
備 考 南側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付壇・甕・壺、瓦が出土している。土師器甕1点、須恵器高台付壇3点、砾石1点、鐵製3点、瓦1点を図示。			時期 10世紀前半		

(79) H-9号住居跡 [Fig. 36, PL. 7]

遺構名	(79) H-9	位置(''×'')	X68・69、Y235	重複	H-3より古
形状・規模	不明・東西(1.57)m×南北(1.66)m×深さ24cm		主軸方向 不明	面積	(2.44)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴・周溝は未検出。		床面	標高120.26m	
カマド	位置 一	規模 一	主軸方向 一		
備 考 東・北側は調査区外。遺物は、土師器の小片が出土している。			時期 10世紀前半以前		

(79) H-10号住居跡 番垂

(79) H-11号住居跡 [Fig. 39]

遺構名	(79) H-11	位置(''×'')	X64・65、Y239	重複	単独
形状・規模	不明・東西2.58m×南北(0.68)m×深さ20cm		主軸方向 N-50°-E	面積	(1.08)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴・周溝は未検出。		床面	標高120.60m	
カマド	位置 一	規模 一	主軸方向 一		
備 考 南側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付壇・甕があるが、出土量は少ない。須恵器壺1点を図示。			時期 9世紀後～10世紀前		

(79) H-12号住居跡 [Fig. 40, PL. 8]

遺構名	(79) H-12	位置(''×'')	X66・67、Y235・236	重複	H-4・5・7・30、W-3、D-11より古
形状・規模	方形・東西4.70m×南北(1.80)m×深さ31cm		主軸方向 N-24°-W	面積	(21.71)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は4基 P-1長径37cm短径34cm深さ32cm、P-2長径46cm短径42cm深さ40cm、P-3長径41cm短径38cm深さ35cm、P-4長径130cm短径87cm深さ17cm。貯蔵穴 長径63cm短径53cm深さ32cm。周溝は西側の一部を除き全周する。床下土坑 長径105cm短径91cm深さ10cm。		床面	標高120.34m	
カマド	位置 北壁中央東	規模 全長(97)cm、最大幅108cm、焚口部幅59cm。	主軸方向 N-17°-E		
備 考 北側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付壇・甕・壺、緑釉陶器が出土し、土師器壺2点・甕1点、須恵器高台付壇1点を図示。			時期 6世紀後半		

(79) H-13号住居跡 番垂

(79) H-14号住居跡 [Fig. 41]

遺構名	(79) H-14	位置(''×'')	X65・66、Y235	重複	D-4より古
形状・規模	不明・東西(3.50)m×南北(2.71)m×深さ29cm		主軸方向 N-63°-E	面積	(5.50)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は1基 P-1長径32cm短径24cm深さ28cm。貯蔵穴・周溝は未検出。		床面	標高120.66m	
カマド	位置 一	規模 一	主軸方向 一		
備 考 北側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器高台付壇・甕・壺、緑釉陶器が出土し、須恵器高台付壇2点・甕1点、緑釉陶器1点を図示。			時期 9世紀後半		

(79) H-15号住居跡 [Fig. 41, PL. 8]

遺構名	(79) H-15	位置(''×'')	X63・64、Y235・236	重複	H-17・20、D-2・3-13より古
形状・規模	方形・東西6.29m×南北6.04m×深さ50cm		主軸方向 N-79°-E	面積	38.68m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は4基 P-1長径27cm短径26cm深さ60cm、P-2長径24cm短径24cm深さ56cm、P-3長径26cm短径24cm深さ38cm、P-4長径24cm短径24cm深さ43cm。貯蔵穴は2基 北貯蔵穴 長径77cm短径50cm深さ64cm。西貯蔵穴 長径64cm短径48cm深さ31cm。周溝は全周する。		床面	標高120.29m	
カマド	位置 北壁中央東	規模 北 全長151cm、最大幅111cm、焚口部幅51cm、西 全長194cm、最大幅124cm、焚口部幅54cm。	主軸方向 N-12°-W N-97°-W		
備 考 遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・甕が出土し、土師器が主体である。土師器壺6点・甕1点を図示。			時期 6世紀後半		

(79) H-16号住居跡 [Fig. 43, PL. 8]

遺構名	(79) H-16	位置(''×'')	X62~64、Y238・239	重複	H-31より新、W-4より古
-----	-----------	-----------	-----------------	----	----------------

形状・規模	周丸長方形か・東西5.24m×南北(4.36)m×深さ43cm	主軸方向	N-82°-E	面積	(22.19)m ²
柱穴・貯藏穴・周溝	柱穴は2基 P-1長径37cm短径35cm深さ54cm、P-2長径30cm短径26cm深さ43cm、貯藏穴・長径55cm短径(40)cm深さ51cm。周溝は全周回する。	床面	標高120.35m		
カマド	位置 東壁南寄 規模 全長168cm、最大幅100cm、焚口部幅48cm。	主軸方向	N-103°-E		
備考	南側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器高台付壇・甕・甌、石製品が出土している。土師器壺2点・甕4点、須恵器4点。砾石1点を図示。	時期	8世紀前半		

(79) H-17号住居跡 [Fig. 44]

遺構名	(79) H-17	位置(''×''×'')	X63・64、Y236・237	重複	H-15より新
形状・規模	周丸方形・東西3.58m×南北3.43m×深さ10cm	主軸方向	N-23°-W	面積	11.50m ²
柱穴・貯藏穴・周溝	柱穴は未検出。貯藏穴・長径101cm・短径77cm・深さ25cm、床下土坑・長径15・1cm・短径8cm・深さ23cm。周溝は西・北壁と東壁の一部に検出。	床面	標高120.73m		
カマド	位置 東壁中央南 優規 全長64cm、最大幅53cm、焚口部幅46cm。	主軸方向	N-66°-E		
備考	遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付壇・甕、灰釉陶器が出土し、土師器壺1点、須恵器壺1点・高台付壇1点、灰釉陶器高台付壇1点・長頸壺1点を図示。	時期	9世紀後半		

(79) H-18号住居跡 欠番

(79) H-19号住居跡 欠番

(79) H-20号住居跡 [Fig. 44, PL. 8]

遺構名	(79) H-20	位置(''×''×'')	X62・63、Y235	重複	H-15より新、H-32より古
形状・規模	長方形か・東西(2.42)m×南北(2.63)m×深さ7cm	主軸方向	N-10°-W	面積	(5.43)m ²
柱穴・貯藏穴・周溝	柱穴・貯藏穴・周溝は未検出。	床面	標高120.76m		
カマド	位置 東壁南側 優規 全長89cm、最大幅60cm、焚口部幅30cm。	主軸方向	N-100°-E		
備考	遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付壇・甕、灰釉陶器が出土し、土師器壺1点、須恵器壺1点・高台付壇1点、灰釉陶器高台付壇1点・長頸壺1点を図示。	時期	10世紀前半		

(79) H-21号住居跡 欠番

(79) H-22号住居跡 欠番

(79) H-23号住居跡 欠番

(79) H-24号住居跡 [Fig. 45]

遺構名	(79) H-24	位置(''×''×'')	X68・69、Y239	重複	円形有段より新、H-25・26より古
形状・規模	長方形か・東西3.50m×南北(3.37)m×深さ39cm	主軸方向	N-15°-W	面積	(11.40)m ²
柱穴・貯藏穴・周溝	柱穴・貯藏穴は未検出。周溝は全周回する。	床面	標高120.11m		
カマド	位置 東壁中央 優規 全長(141)cm、最大幅106cm、焚口部幅43cm。	主軸方向	N-83°-E		
備考	南側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付壇・甕、石製品、鉄製品、瓦が出土している。土師器壺1点・甕1点、須恵器壺3点・高台付壇5点・高台付壇2点、石製品1点、瓦1点、釘1点・刀子1点、瓦1点を図示。	時期	9世紀後半		

(79) H-25号住居跡 [Fig. 46]

遺構名	(79) H-25	位置(''×''×'')	X68・69、Y238・239	重複	H-24より新、H-26より古
形状・規模	不明・東西(0.54)m×南北(3.30)m×深さ39cm	主軸方向	不明	面積	(2.07)m ²
柱穴・貯藏穴・周溝	柱穴・貯藏穴は未検出。周溝は南壁に確認できた。	床面	標高120.11m		
カマド	位置 北壁 優規 全長(36)cm、最大幅(56)cm	主軸方向	N-3°-E		
備考	東側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、鉄製品、瓦が出土し、土師器壺2点・鉄製品1点、瓦1点を図示。	時期	9世紀後半		

(79) H-26号住居跡 [Fig. 45]

遺構名	(79) H-26	位置(''×''×'')	X69、Y238・239	重複	H-24・25より新
形状・規模	不明・東西(1.04)m×南北(3.11)m×深さ36cm	主軸方向	N-7-E	面積	(2.29)m ²
柱穴・貯藏穴・周溝	柱穴・貯藏穴は未検出。	床面	標高120.34m		
カマド	位置 一 優規 一	主軸方向	一		
備考	東側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器高台付壇・甕、瓦が出土し、須恵器壺1点・高台付壇1点を図示。	時期	9世紀後半以降		

(79) H-27号住居跡 [Fig. 46]

遺構名	(79) H-27	位置(''×''×'')	X66・68、Y238・239	重複	H-8、円形有段より古
形状・規模	不明・東西(5.11)m×南北(3.90)m×深さ53cm	主軸方向	N-62°-E	面積	(15.34)m ²
柱穴・貯藏穴・周溝	柱穴・貯藏穴・周溝は未検出。	床面	標高120.11m		
カマド	位置 東壁 優規 全長101cm、最大幅85cm、焚口部幅35cm。	主軸方向	N-61°-E		
備考	東・南側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、瓦が出土し、土師器壺1点を図示。	時期	8世紀代か		

(78) H-28号住居跡 欠番

(78) H-29号住居跡 欠番

(79) H-30号住居跡 [Fig. 47, PL. 9]

遺構名	(79) H-30	位置(°' ″)	X67・68、Y235	重複	H-12より新、H-4・5、D-7、P-1～3より古
形状・規模	不明、東西5.97m×南北(2.35)m×深さ51cm			主軸方向	N-87°-E 面積 (11.66) m ²
柱穴・貯藏穴・周溝	柱穴は3基 P-1長径28cm短径22cm深さ58cm、P-2長径75cm短径48cm深さ43cm、P-3長径47cm短径42cm深さ38cm。貯藏穴 長径57cm短径35cm深さ60cm。周溝は全周する。			床面	標高120.21m
カマド	位置 一 規模 一			主軸方向	一
備考	北側は調査区外。出土遺物は多めで、土師器が主体である。土師器壺・甕・須恵器壺・甕が出土し、土師器壺6点を図示。			時期	6世紀後半

(79) H-31号住居跡 [Fig. 48]

遺構名	(79) H-31	位置(°' ″)	X62～64、Y238・239	重複	H-16、W-4より古
形状・規模	不明、東西(0.58)m×南北(4.75)m×深さ28cm			主軸方向	N-9°-W 面積 (3.11) m ²
柱穴・貯藏穴・周溝	柱穴・貯藏穴・周溝は未検出。			床面	標高120.50m
カマド	位置 東壁中央 規模 全長54cm、最大幅70cm、焚口部幅61cm。			主軸方向	N-81°-E
備考	南側は調査区外。遺物は少く、土師器壺・須恵器壺の小片が出土している。			時期	8世紀前半以前

(79) H-32号住居跡 [Fig. 44, PL. 9]

遺構名	(79) H-32	位置(°' ″)	X62・63、Y235	重複	H-20より新
形状・規模	不明			主軸方向	不明 面積 不明
柱穴・貯藏穴・周溝	柱穴・貯藏穴・周溝は不明。			床面	不明
カマド	位置 不明 規模 全長(44)cm、最大幅62cm、焚口部幅21cm。			主軸方向	N-9°-W
備考	北・西側は調査区外。遺物は、土師器壺・須恵器羽釜が出土し、須恵器羽釜5点を図示。			時期	10世紀後半

(2) 溝跡

(79) W-1号溝跡 [Fig. 49]

X67～69、Y236・237グリッドに位置する。重複する遺構はない。東西に走行し、確認できた全長は(9.50)m、上幅0.35～0.57m、下幅0.22～0.41m、確認面からの深さ0.05～0.07m測る。西側底面の標高は120.84m、東側は120.76mで、断面形状は皿状である。出土遺物はない。

(79) W-2号溝跡 [Fig. 49, PL. 9]

X62～69、Y237・238グリッドに位置する。W-4と並走し、W-3と調査区中央付近で合流する。東西に走行し、全長は(26.92)m、上幅0.94～1.72m、下幅0.54～1.41m、確認面からの深さ0.21～0.30mを測る。西側底面の標高は120.68m、東側は120.51mで、断面形状は皿状である。遺物は、土師器壺・甕・須恵器壺・高台付塊・甕・壺・灰釉陶器、瓦が出土し、須恵器壺1点、灰釉陶器高台付塊1点、瓦1点を図示した。

(79) W-3号溝跡 [Fig. 49]

X66、Y235～237グリッドに位置し、W-2と並走する。H-7・12、D-9と重複する。南北に走行し、全長は(9.95)m、上幅0.47～0.68m、下幅0.25～0.48m、確認面からの深さ0.05～0.24mを測る。底面の標高は、北側は120.62m、南側は120.77mで、断面形状は、皿状である。出土遺物はない。

(79) W-4号溝跡 [Fig. 49]

X63～69、Y237～239グリッドに位置する。重複関係は、H-1・16・31より新しい。東西に走行し、確認できた全長は(23.31)m、上幅0.76～1.53m、下幅0.32～1.04m、確認面からの深さ0.21～0.40mを測る。西側底面の標高は120.68m、東側は120.42mで、断面形状は皿状である。遺物は、須恵器壺・甕の小片が僅かに出土している。

(79) W-5号溝跡 欠番

(79) W-6号溝跡 [Fig. 49]

X66・67、Y236・237グリッドに位置する。重複する遺構はない。東西に走行し、全長は3.03m、上幅0.

38~0.60m、下幅0.05~0.44m、確認面からの深さ0.04mを測る。西側底面の標高は120.74m、東側は120.80mで、断面形状は皿状である。遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付壺、石製品が出土し、墓石1点を図示した。

(79) W-7号溝跡 [Fig. 49]

X 68・69、Y 236グリッドに位置する。重複関係は、H-3より新しい。東西に走行し、全長は(5.19)m、上幅0.30~0.80m、下幅0.15~0.57m、確認面からの深さ0.07mを測る。底面の標高は、西側は120.77m、東側は120.47mを測る。断面形状は、皿状である。遺物は、土師器甕、須恵器高台付壺、綠釉陶器片が出土し、綠釉陶器1点を図示した。

(3)円形有段遺構 [Fig. 50、PL. 9]

X 67・68、Y 239グリッドに位置する。重複関係は、H-27より新しく、H-24より古い。長径3.55m、短径(2.23)mの円形を呈し、確認面からの深さ2.01mを測る。中位に段を有し、底面の標高は118.75mである。遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・甕・蓋、石製品が出土し、土師器壺6点・須恵器壺2点・高台付皿1点・蓋2点、礎石と思われる石製品1点を図示した。時期は、出土遺物から8世紀代と考えられる。

(4)土坑 [Fig. 50、PL. 9]

土坑は13基検出した。D-10は段を有し、外形は長径2.35m短径1.61m深さ53cmの梢円形を呈する。内形は長軸2.35m短軸0.65m深さ28cmの隅丸長方形を呈する。遺物は、土師器小片、いぶし焼成の須恵器高台付壺、鉄製品が出土し、須恵器高台付壺1点、釘1点を図示した。覆土には焼土・炭化物を含まず土葬土坑墓と考えられる。D-11は梢円形を呈し、出土遺物に羽口がある。D-13は梢円形を呈し、人頭大からこぶし大の石が11個出土している。計測値等は、Tab. 4にまとめた。

(5)ピット

ピットは23基検出した。計測値等は、Tab. 4にまとめた。

7 元総社蒼海遺跡群(80)

検出された遺構は、堅穴住居跡6軒、溝跡1条、ピット1基である。

(80) H-1号住居跡 [Fig. 51, PL. 10]

遺構名	(80) H-1	位置(°'±'+')	X 56, Y 247	重複	H-2より新。
形状・規模	長方形か、東西(2.71)m×南北(2.62)m×深さ21cm		主軸方向	N-80°-E	面積 (6.73)m ²
柱穴・貯藏穴・周溝	柱穴は1基 P-1長径29cm短径25cm深さ20cm、貯藏穴 長軸68cm×短軸47cm×深さ15cmの長方形。周溝は未検出。		床面	標高120.21m	
カマド	位置 東堀中央	規模 全長17cm、最大幅(37)cm、焚口部幅(24)cm。	主軸方向	N-83°-E	
備考	北側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付壺・蓋、瓦が出土し、土師器壺1点・甕1点、須恵器壺1点、高台付壺1点を図示。		時期	8世紀	

(80) H-2号住居跡 [Fig. 51, PL. 10]

遺構名	(80) H-2	位置(°'±'+')	X 56, Y 247	重複	H-1より古。
形状・規模	不明、東西(0.58)m×南北(3.84)m×深さ18cm		主軸方向	N-4°-W	面積 (2.19)m ²
柱穴・貯藏穴・周溝	柱穴・貯藏穴・周溝は未検出。		床面	標高120.23m	
カマド	位置 東堀中央南	規模 全長(90)cm、最大幅(35)cm、焚口部幅(22)cm。	主軸方向	N-74°-E	
備考	西側は調査区外。遺物は、土師器甕、須恵器高台付壺・甕、瓦が出土し、須恵器壺1点を図示。		時期	世紀	

(80) H-3号住居跡 [Fig. 51, PL. 10]

遺構名	(80) H-3	位置(°'±'+')	X 56, Y 248	重複	単独
形状・規模	不明、東西(0.80)m×南北(4.30)m×深さ6cm		主軸方向	N-4°-W	面積 (3.38)m ²
柱穴・貯藏穴・周溝	柱穴・貯藏穴・周溝は未検出。		床面	標高120.35m	
カマド	位置 東堀中央南	規模 全長(45)cm、最大幅[50]cm、焚口部幅不明。	主軸方向	N-88°-E	
備考	西側は調査区外。遺物の出土量は少ない。土師器甕、須恵器壺が出土した。		時期	不明	

(80) H-4号住居跡 [Fig. 52, PL. 10]

遺構名	(80) H-4	位置 (3' 9")'	X 56・57, Y 248	重複	単独
形状・規模	方形か・東西[3.47]m × 南北3.57m × 深さ11cm		主軸方向	N-23°-W	面積 (12.57)m ²
柱穴・貯蔵穴・周縁	柱穴は未検出。貯蔵穴 長軸96cm × 短軸55cm × 深さ12cmの長方形。周縁は北・東・南壁の一部に検出。		床面	標高120.41m	
カマド	位置 東壁中央南	規模 全長99cm、最大幅[67]cm、焚口部幅(48)cm	主軸方向	N-67°-E	
備考	遺物は、土師器壺・甕が出土し、土師器壺1点を図示。		時期	8世紀中	

(80) H-5号住居跡 [Fig. 53, PL. 10]

遺構名	(80) H-5	位置 (3' 9")'	X 58・59, Y 248	重複	H-6より新
形状・規模	方形か・東西2.56m × 南北(2.58)m × 深さ6cm		主軸方向	N-42°-W	面積 (5.76)m ²
柱穴・貯蔵穴・周縁	柱穴・貯蔵穴・周縁は未検出。		床面	標高120.48m	
カマド	位置 東壁南寄り	規模 全長[117]cm、最大幅[62]cm、焚口部幅25cm	主軸方向	N-69°-E	
備考	南側は搅乱をうけている。遺物は、土師器壺・甕・須恵器壺・蓋が出土している。土師器壺1点、須恵器蓋1点を図示。		時期	8世紀前半	

(80) H-6号住居跡 [Fig. 53, PL. 10]

遺構名	(80) H-6	位置 (3' 9")'	X 58・59, Y 247・248	重複	H-5より古
形状・規模	方形か・東西[3.12]m × 南北[3.28]m × 深さ9cm		主軸方向	N-24°-W	面積 (7.06)m ²
柱穴・貯蔵穴・周縁	柱穴・貯蔵穴・周縁は未検出。		床面	標高120.51m	
カマド	位置 東壁中央南	規模 全長[46]cm、最大幅[55]cm、焚口部幅不明cm	主軸方向	N-66°-E	
備考	遺物は少ない。土師器壺・須恵器壺・蓋が出土している。		時期	6世紀前～中	

(2) 溝跡

(80) W-1号溝跡 [Fig. 53, PL. 10]

X 58・59、Y 253グリッドに位置し、南北に走行する。全長は(2.63)m、上幅0.73~1.14m、下幅0.20~0.68m、確認面からの深さ0.03~0.21mを測り、断面形状は皿状である。底面の標高は、北側で119.98m、南側は120.24mを測る。遺物は少なく、土師器、須恵器の小片が出土した。時期は、覆土の観察から古代と考えられる。

(3) ピット [Fig. 53]

ピットは1基検出した。X 56、Y 247グリッドに位置し、単独で占地する。規模は、長径43cm、短径40cm、深さ19cmの円形である。時期は、覆土の観察から古代と考えられる。

8 元総社蒼海遺跡群(92)

本調査区は、搅乱をうけており、検出された遺構はない。

9 元総社蒼海遺跡群(93)

本調査区は一般県道 足門・前橋線沿いに位置し、(94)調査区の西に隣接する。検出された遺構は、溝跡5条、土坑15基、ピット13基である。

(1) 溝跡

(93) W-1号溝跡 [Fig. 54, PL. 11]

X 208、Y 244・245グリッドに位置する。重複関係は、W-5、D-16、P-12・13より古い。南北に走行し、全長は(5.03)m、上幅0.53~0.68m、下幅0.24~0.40m、深さ0.07~0.15mを測る。北側底面の標高は114.62m、南側は114.56mで、断面形状は皿状である。出土遺物は、土師器壺・甕・須恵器壺がある。時期は、覆土の観察から古代と考えられる。

(93) W-2号溝跡 [Fig. 11・54, PL. 11]

X 208~210、Y 244・245グリッドに位置する。重複関係は、W-3・4より古い。南北に走行し、全長は

(3.21)m、上幅3.10~5.16m、下幅2.54~2.62m、深さ2.86~2.88mを測る。北側底面の標高は111.91m、南側は111.83mで、断面形状は逆台形状である。底面は一定ではなく、北側では30cm程の段差があり、中央部は断面皿状で通水した痕跡が見える。遺物は、土師器甕・須恵器高台付塊・甕・瓦、軟質陶器・磁器が出土し、瓦1点、軟質陶器内耳鍋1点、磁器1点を図示した。時期は、覆土と出土遺物から中世と考えら、蒼海城に関連する掘の可能性が高い。

(93) W-3号溝跡 [Fig. 11・54, PL. 11]

X210、Y244・245グリッドに位置する。重複関係は、W-2より新しく、W-4より古い。全長は(2.30)m、上幅(1.80)m、下幅(0.24)m、深さ2.91mを測る。底面の標高は111.78mで、断面形状は逆台形状と思われる。遺物は、土師器甕・須恵器高台付塊・甕・灰釉陶器高台坏塊・壺が出土した。時期は、覆土から中世と考えら、蒼海城に関連する掘の可能性が高い。

(93) W-4号溝跡 [Fig. 11・54, PL. 11]

X210、Y244・245グリッドに位置する。重複関係は、W-2・3より新しい。全長は(3.11)m、深さ2.08mを測る。北側底面の標高は112.64m、南側は113.08mで南側が高い。断面形状は皿状と思われる。遺物は、土師器坏・甕・須恵器坏・高台付塊・甕・灰釉陶器壺・陶器、軟質陶器が出土し、陶器常滑1点を図示した。時期は、覆土と出土遺物から中世と考えられる。

(93) W-5号溝跡 [Fig. 54, PL. 11]

X207・208、Y244・245グリッドに位置する。重複関係は、W-1、D-6・8・15より新しい。南北に走行し、全長は(5.26)m、上幅0.20~3.50m、下幅0.09~[3.10]m、深さ0.05~0.07mを測る。北側底面の標高は114.78m、南側は114.63mで、断面形状は皿状だが、氾濫跡の状況を呈し、流路は定まっていない。遺物は、土師器坏・甕・須恵器坏・高台付塊・甕・瓦、灰釉陶器片が出土し、須恵器坏1点、瓦1点を図示した。時期は、覆土の観察から中世と考えられる。

(2) 土坑 [Fig. 55]

土坑は15基検出した。覆土にA s-B輕石を含む中世以降と考えられるものはD-1・4・5・12・15・17の6基で、そのほかのものは時期不明である。D-2から羽口1点、D-3から温石と思われるものが2点出土し図示した。計測値等は、Tab. 4にまとめた。

(3) ピット [Fig. 56]

ピットは13基検出した。覆土にA s-B輕石を含む中世以降と考えられるものはP-7・9・11の3基で、そのほかのものは時期不明である。計測値等は、Tab. 4にまとめた。

10 元総社蒼海遺跡群(94)

本調査区は一般県道 足門・前橋線沿いに位置し、(93)調査区の東に隣接する。検出された遺構は、溝跡4条、土坑6基、ピット6基である。

(1) 溝跡

(94) W-1号溝跡 [Fig. 57, PL. 12]

X214、Y244・245グリッドに位置する。重複関係は、D-3・6、P-6と重複。南北に走行し、全長は(4.16)m、上幅1.18~1.40m、下幅0.20~0.28m、深さ0.98~1.08mを測る。北側底面の標高は113.52m、南側は113.35mで、断面形状は逆台形状である。出土遺物は、土師器坏・甕・須恵器甕がある。時期は、覆土と出土遺物から古代と考えられる。

(94) W-2号溝跡 [Fig. 57, PL. 12]

X213、Y244・245グリッドに位置する。重複関係は、単独。全長は(1.71)m、上幅(1.62)m、下幅(0.77)m、深さ1.01mを測る。底面の標高は112.99mで、断面形状は逆台形状か。遺物は、灰釉陶器小片が出土した。時期は、覆土から中世と考えら、蒼海城に関連する掘の可能性が高い。

(94) W-3号溝跡 [Fig. 57, PL. 12]

X214・215、Y244グリッドに位置する。重複関係は、W-4、P-2より古い。全長は(0.72)m、上幅0.28m、下幅0.10m、深さ0.07mを測る。底面の標高は114.31mで、断面形状は皿状と思われる。底面に農具痕がある。遺物は、出土していない。時期は、覆土から中世と考えられる。

(94) W-4号溝跡 [Fig. 57]

X214、Y244・245グリッドに位置する。重複関係は、W-3より新しく、P-3より古い。全長は(0.78)m、上幅0.17~0.50m、下幅0.17m、深さ0.30mを測る。底面の標高は114.10mで、断面形状は逆台形状である。底面に農具痕がある。遺物は、出土していない。時期は、覆土から中世と考えられる。

(2) 土坑 [Fig. 57, PL. 12]

土坑は6基検出した。覆土にA s-B軽石を含む中世と考えられるものはD-1・2・5の3基で、白色粘土を採掘する土坑の様を呈す。その他の土坑の時期は不明である。計測値等は、Tab. 4にまとめた。

(3) ピット [Fig. 57]

ピットは6基検出した。P-1は覆土の観察ができなかった。その他のピットの時期についても不明である。計測値等は、Tab. 4にまとめた。

V まとめ

古代と中世の溝跡と周辺遺跡について

元総社蒼海遺跡群(75)の調査で検出された東西に走行するW-1は、遺物の出土はほとんどなかったものの、土層の観察から中世に属するものと考えられる。周辺遺跡を見てみると、W-1の東側43mほどの位置に元総社蒼海遺跡群(33)2区のW-2がある。(75)W-1の底面の標高は117.70m、(33)W-2は117.20mを測り、0.50mの高低差である。また、(33)3区で検出されたW-6は、南北に走行し底面の標高は117.80mを測るもので、25m北のX131, Y181グリッド付近で上記の堀と交差すると推察でき、中世の蒼海城に関連する堀跡の可能性がある。

元総社蒼海遺跡群(78)W-2・W-3は東西に並走して検出された。W-3から土師器・須恵器・馬齒が出土しており、W-2からはW-3と同時期の遺物と共に火鉢が出土している。出土遺物と土層の観察からW-2よりW-3は新しく、共に中世に属するものである。周辺遺跡を見てみると、調査区東側を南北に走る現道をはさみ閑泉極遺跡と閑泉極南遺跡がある。閑泉極遺跡で検出されたW-1(古代の大溝)とW-2(中世の溝)は、元総社蒼海遺跡群(9)のW-1・W-2に繋がることが判明している。閑泉極南遺跡で検出された東西に走行するW-1は、(78)W-2・W-3を東に延長した場所に位置しているが、調査区内の西側と東側で共に立ち上がりっている。遺物は土師器・須恵器・瓦のほかに内耳鍋・片口鉢・古錢等が出土していて、構築年代はB軽石が認められないことから古代末以降の所産と考えられている。以上のことから(78)W-2・W-3は、閑泉極南遺跡W-1との関連性は薄く、現道で立ち上がるか屈曲する可能性が高いと判断できよう。

元総社蒼海遺跡群(93)では5条の溝跡が検出されている。そのうちのW-1は南北に走行し、北側の底面の標高は114.62mを測る。W-2は南北に走行し、北側の底面の標高は111.91mを測る。周辺遺跡を見てみると、96m北に元総社蒼海遺跡群(21)W-1・W-2がある。(21)W-1は上野国府に関連する溝跡との指摘があり、南に延長し

た先に(93)W-1が存在することが判明した。このことから連続している可能性が高いと言えよう。(21)W-2は蒼海城古段階の溝跡との指摘があるもので、南の延長方向には(93)W-2が存在し、繋がる可能性が高い。(93)W-2を切る(93)W-3は一部を検出しているだけで、その規模等は判然としないが、蒼海城新段階の溝跡の可能性が高い。(93)W-3の底面の標高は111.72mを測る。

元社蒼海遺跡群(94)では4条の溝跡が検出されている。そのうちのW-1は南北に走行し、北側の底面の標高は113.52mを測る。W-2は一部を検出しただけで全容は不明で、底面の標高は113.00mを測る。土層の観察からW-1は古代の溝跡、W-2は蒼海城の溝跡の可能性が高い。



Fig. 12 蒼海城縹張り図と周辺遺跡図

参考文献

- 群馬県教育委員会・(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 『上野国分僧寺・尼寺中間地城(1)』 1986
- 群馬県教育委員会・(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 『上野国分僧寺・尼寺中間地城(2)』 1987
- 前橋市教育委員会 『元社蒼海遺跡群(9)(10)』 2007
- 前橋市教育委員会 『元社蒼海遺跡群(21)』 2009
- 前橋市教育委員会 『元社蒼海遺跡群(22)』 2009
- 前橋市教育委員会 『元社蒼海遺跡群(32)(33)』 2011
- 前橋市教育委員会 『元社蒼海遺跡群(65)』 2016
- 前橋市教育委員会 『推定上野国府 平成25年度調査報告』 2013
- 前橋市教育委員会 『推定上野国府 平成25年度調査報告』 2015
- 前橋市教育委員会 『関東築造跡』 1982
- 前橋市教育委員会 『関東築造跡』 1986
- 山崎一 『古城遺跡の研究 上巻』 1978

Tab. 2 住居跡等計測表

() は現存値、〔 〕は推定値を示す。

造構番号	位置	規模(m) (cm)			平面形状	長軸方向	窓		周構	主な出土遺物		
		東西	南北	壁高			位置・方向	構造材		土器	須恵器	その他
(74)H-1	X240・1 Y90	(3.10)	3.40	53~70	圓丸 長方形か	N-28° -W	東壁中央南 N-64° -E	粘土 石	無	坏・甕	甕	-
(74)H-2	X241・2 Y90	3.28	2.52	47	長方形	N-68° -E	南壁中央東 N-153° -E	無	坏・甕	高台付塊 羽釜	瓦	
(75)H-1	X127・8 Y184・5	(1.51)	3.24	17	長方形か	N-0° -E	南西隅 N-135° -W	粘土	無	坏・甕	高台付塊	-
(75)H-2	X126・7 Y182・3	(3.32)	3.76	28	圓丸 方形か	N-4° -E	南東隅 N-135° -E	粘土 鐵石	有	坏・甕	坏・甕 瓦・埴輪	
(75)H-3	X126 Y182・3	(1.04)	[5.04]	15	不明	N-11° -E	南東隅か N-110° -E	粘土 石	有	坏・甕	高台付塊 羽釜	瓦
(75)H-4	X126 Y183	-	-	-	不明	-	N-113° -E	-	無	-	-	-
(76)H-1	X31・2 Y175・6	(4.14)	3.66	28	圓丸 長方形か	N-98° -E	東壁中央南 N-103° -E	粘土 劑石	有	甕	坏 灰釉陶器 刀子	高台付塊
(78)H-1	X288・9 Y157	2.96	2.37	23	圓丸 長方形	N-72° -E	西壁中央 N-80.5° -E	粘土 石	無	坏・甕	坏	高台付塊
(78)H-2	X288・9 Y158	(1.86)	(1.30)	38	不明	N-57° -E	-	-	有	甕 高坏	-	-
(78)H-3	X287・8 Y157・8	(2.33)	(1.78)	18	不明	N-3° -E	-	-	有	甕	坏	かわらけ
(78)H-4	X287・8 Y156・7	(2.74)	(4.44)	10	長方形か	N-6° -E	-	-	無	坏・甕	坏	灰釉陶器 高台付塊
(78)H-5	X287・8 Y155・6	(4.32)	(5.90)	27	方形か	N-37° -W	-	-	有	坏・甕	坏	高台付塊
(78)H-6	X287・8 Y151・2	4.33	4.31	49	方形	N-38° -E	東壁中央南 N-34° -E	粘土 石	有	坏・甕 甕・高坏	坏・甕	砾石
(78)H-7	X288・9 Y152・3	(2.93)	3.79	56	方形か	N-55° -E	東壁中央南 N-54° -E	粘土 石	有	坏・甕	坏	砾石
(78)H-8	X290 Y151・2	(2.75)	2.36	9	方形か	N-27° -E	-	-	無	甕	坏	高台付塊
(78)H-9	X289・90 Y152・3	2.64	[4.13]	22	長方形	N-35° -W	-	-	無	坏・甕	高台付塊	灰釉陶器 羽釜
(78)H-10	X289・90 Y153・4	3.30	(2.49)	41	方形か	N-1° -E	-	-	無	坏・甕	坏・甕	灰釉陶器 鉄製品釘
(78)H-11	X287・8 Y155・6	[3.12]	3.39	18	方形か	N-2° -E	東壁南 N-92° -E	粘土 石	無	甕	坏・甕	鉄製品釘
(78)H-12	欠番											
(78)H-13	X289・90 Y155・6	(3.29)	(6.92)	38	長方形	N-5° -W	-	-	有	坏・甕	甕	灰釉陶器 高台付塊
(78)H-14	X289・90 Y155・6	(4.46)	4.45	32	長方形か	N-65° -E	-	-	有	坏・甕	坏・甕	瓦・埴輪
(78)H-15	X288・9 Y153・4	4.84	(4.05)	30	方形か	N-2° -E	-	-	有	甕	坏・甕	灰・埴輪 高台付塊
(78)H-16	X287・8 Y153・4	3.09	(2.55)	5	方形か	N-85° -E	東壁 N-85° -E	粘土	無	堵・甕	-	-
(78)H-17	X286・7 Y151・2	3.85	(1.46)	8	長方形か	N-94° -E	-	-	有	堵・甕	坏	-
(78)H-18	X286・7 Y152	4.38	2.68	10	圓丸 長方形	N-99° -E	-	-	有	坏・甕	坏・甕	鉄製品釘
(78)H-19	X287 Y152・3	(1.63)	(2.39)	23	不明	N-99° -E	-	-	有	坏・甕 甕・高坏	坏・甕	-
(78)H-20	X286・7 Y151・2	(3.67)	(3.27)	31	方形か	N-59° -E	-	-	有	坏・甕	-	-
(78)H-21	X284・5 Y151・2	3.84	[2.50]	23	長方形	N-71° -E	東壁中央南 N-77° -E	粘土	無	坏・甕	坏	-
(78)H-22	X289 Y151	(1.02)	(0.91)	71	不明	N-56° -E	-	-	有	-	-	-
(78)H-23	X283・4 Y151	(3.06)	(0.96)	41	不明	N-109° -E	-	-	有	坏・甕	坏・甕	灰釉陶器 弥生土器
(78)H-24	欠番											
(78)H-25	X290 Y152・3	(2.17)	(2.09)	7	不明	N-99° -E	-	-	無	堵・甕	高台付塊	-
(78)H-26	X283・4 Y152	(1.70)	(1.10)	40	不明	N-114° -E	-	-	無	坏	甕	-
(78)H-27	X287・8 Y154・5	(3.40)	2.68	19	長方形	N-60° -E	-	-	有	坏・甕	-	-
(78)H-28	X284・5 Y151	(1.22)	(2.75)	32	不明	N-98° -W	-	-	有	-	-	-
(78)H-29	X284・5 Y151・2	3.74	3.53	17	方形	N-3° -E	-	-	有	坏・甕	坏・甕	-

() は現存値、〔 〕は推定値を示す。

遺構番号	位置	規模(m) (cm)			平面形状	長軸方向	竪		周溝	主な出土遺物		
		東西	南北	壁高			位置・方向	構築材		土師器	須恵器	その他
(78) T-1	X288 Y155-6	2.68	3.15	48	方形	N-15° -W	-	-	-	坏・甕	坏	-
(79) H-1	X68・9 Y237-8	2.96	3.33	53	隅丸 長方形	N-21° -W	東壁中央南 N-78° -E	粘土	無	坏・甕	坏・甕	うす玉 砥石・釘
(79) H-2	欠番											
(79) H-3	X68・9 Y235-6	(2.66)	4.46	23	長方形か	N-11° -W	-	-	無	甕 台付甕	坏	灰釉陶器 铁鍔
(79) H-4	X67・8 Y235-6	4.12	3.34	33	隅丸 長方形	N-75° -E	東壁中央南 N-97° -E	粘土	有	坏 台付甕	坏・羽釜	綠釉陶器 刀子・釘
(79) H-5	X67・8 Y235-6	4.06	4.03	28	隅丸方形	N-85° -E	東壁中央南 N-76° -E	粘土 石	無	坏	坏・甕	灰釉陶器 刀子
(79) H-6	欠番											
(79) H-7	X65・6 Y235-6	4.51	3.52	26	隅丸 長方形	N-87° -E	東壁中央南 N-103° -E	粘土	有	甕	高台付塊	砥石・瓦 鐵鍔
(79) H-8	X66・7 Y239	2.95	(3.38)	40	隅丸 長方形	N-22° -W	東壁中央南 N-77° -E	粘土 石	無	甕・高坏	高台付塊	瓦
(79) H-9	X68・9 Y235	(1.57)	(1.66)	24	不明	不明	-	-	無	-	-	-
(79) H-10	欠番											
(79) H-11	X64・5 Y239	2.58	(0.68)	20	不明	N-80° -E	-	-	無	-	坏	-
(79) H-12	X66・7 Y235-6	4.70	4.80	31	方形	N-24° -W	北壁中央南 N-17° -E	粘土	有	坏・甕	高台付塊	-
(79) H-13	欠番											
(79) H-14	X65・6 Y235	(3.50)	(2.71)	29	不明	N-63° -E	-	-	無	-	高台付塊 高台付甕	綠釉陶器
(79) H-15	X63・4 Y235-6	6.29	6.04	50	方形	N-79° -E	N-12° -W N-97° -W	粘土	有	坏・甕	-	-
(79) H-16	X62～4 Y238-9	5.24	(4.36)	43	隅丸 長方形か	N-82° -E	東壁南寄 N-103° -E	粘土 石	無	坏・甕	甕	砥石
(79) H-17	X63・4 Y236-7	3.58	3.43	10	隅丸方形	N-23° -W	東壁中央南 N-66° -E	粘土	有	甕	高台付塊	灰釉陶器
(79) H-18	欠番											
(79) H-19	欠番											
(79) H-20	X62・3 Y235	(2.42)	(2.63)	7	不明	N-10° -W	東壁南隅 N-100° -E	粘土 石	無	坏	坏	灰釉陶器
(79) H-21	欠番											
(79) H-22	欠番											
(79) H-23	欠番											
(79) H-24	X65・9 Y239	3.50	(3.37)	39	長方形か	N-15° -W	東壁中央 N-83° -E	粘土	無	甕	高台付塊	砥石・釘 刀子・瓦
(79) H-25	X65・9 Y238-9	(0.54)	3.30	39	不明	不明	北壁 N-3° -E	粘土	無	甕	-	鉄製品 瓦
(79) H-26	X69 Y238-9	(1.04)	3.11	36	不明	N-7° -E	-	-	無	-	高台付塊	-
(79) H-27	X66～8 Y238-9	5.11	(3.90)	53	不明	N-62° -E	東壁中央 N-61° -E	粘土	有	甕	-	-
(79) H-28	欠番											
(79) H-29	欠番											
(79) H-30	X67・8 Y235	5.97	(2.35)	51	不明	N-87° -E	-	-	有	坏	-	-
(79) H-31	X62～4 Y238-9	(0.58)	(4.75)	28	不明	N-9° -W	東壁中央 N-81° -E	粘土 石	有	坏	甕	-
(79) H-32	X62・3 Y235	不明	不明	不明	不明	N-2.5° -E	不明 N-9° -W	粘土 石	有	-	羽釜	-
(80) H-1	X56 Y247	(2.71)	(2.62)	21	長方形か	N-80° -E	東壁中央 N-83° -E	粘土	無	坏・甕	高台付塊	瓦
(80) H-2	X56 Y247	(0.58)	(3.84)	18	不明	N-4° -W	東壁中央南 N-74° -E	粘土	無	甕	坏・甕	高台付塊
(80) H-3	X56 Y248	(0.80)	4.30	0	不明	N-4° -W	東壁中央南 N-67° -E	粘土	無	甕	-	瓦
(80) H-4	X56・7 Y248	[3.47]	3.57	11	方形か	N-23° -W	東壁中央南 N-67° -E	粘土	有	坏・甕	-	
(80) H-5	X58・9 Y248	2.56	(2.58)	6	方形か	N-42° -W	東壁南寄 N-69° -E	粘土 石	無	坏・甕	坏・甕	
(80) H-6	X58・9 Y247-8	[3.12]	[3.28]	-	方形か	N-24° -W	東壁中央南 N-66° -E	粘土	無	坏	坏・甕	

Tab. 3 溝跡計測表

() は現存値、〔 〕 は推定値を示す。

溝跡番号	グリッド	長さ (m)	深さ (cm)	上幅 (cm)	下幅 (cm)	主軸方向	所由形狀	出土遺物	
(74)W-1	X244, Y99~93	(5.18)	14	7	43	18	25	6	N-6° - E 直状 土師器、須也器、瓦
(75)W-1	X127, Y180~1	(3.80)	228	220	(684)	(684)	190	182	N-84° - W 逆台形状 土師器、須也器
(76)W-1	X32, Y175~176	(5.78)	14	7	30	22	21	14	N-1° - E U字状 土師器、須也器、執製品
(76)W-2	X32, Y175~176	(4.22)	25	-	86	(59)	66	32	N-3° - W 不規 土師器、須也器、灰陶陶器
(78)W-1	X289~9, Y153~4	2.96	7	-	41	23	15	9	N-96° - E 直状 土師器
(78)W-2	X287~90, Y154	(10.55)	87	-	174	141	57	30	N-87° - E 逆台形状 土師器、瓦、火鉢
(78)W-3	X287~90, Y154~5	(10.48)	86	-	136	93	42	23	N-89° - E 逆台形状 土師器、須也器、灰陶陶器、瓦
(79)W-1	387~69, Y236~7	(9.59)	7	5	57	35	41	22	N-80° - E 直状 -
(79)W-2	382~69, Y236~7	(26.92)	30	21	172	94	141	54	N-77° - E 直状 須也器、灰陶陶器、瓦
(79)W-3	386, Y235~37	(9.95)	24	5	68	47	48	25	N-0° - E 直状 -
(79)W-4	383~69, Y237~39	(23.31)	40	21	153	76	104	32	N-77° - E 直状 須也器、甕
(79)W-5	矢番								
(79)W-6	366~67, Y236~7	3.03	4	-	60	38	44	5	N-81° - E 直状 土師器、甕、須也器、甕、基石
(79)W-7	369~69, Y236	(5.19)	7	-	80	30	57	15	N-66° - E 直状 土師器、須也器、灰陶陶器
(80)W-1	X58~9, Y253	(2.63)	21	3	114	73	68	20	N-16° - W 直状 土師器、須也器
(93)W-1	X206, Y244~5	(5.03)	15	7	68	53	40	24	N-6° - W 直状 土師器、須也器
(93)W-2	X208~10, Y244~5	(3.21)	288	286	516	310	262	254	N-1° - E 逆台形状 土師器、須也器、瓦、執製品
(93)W-3	X210, Y244~5	(2.36)	291	-	(180)	-	(24)	-	N-5° - W 逆台形状小 土師器、甕、須也器、甕
(93)W-4	X210, Y244~5	(3.11)	208	-	83	33	73	23	N-32° - W 直状 須也器、灰陶陶器、執製品、陶器
(93)W-5	X207~8, Y244~5	(5.26)	7	5	356	20	[319]	9	N-18° - W 直状小 土師器、須也器、瓦、E、灰陶陶器
(94)W-1	X214, Y244~5	(4.16)	108	90	140	118	28	20	N-4° - W 逆台形状 土師器
(94)W-2	X213, Y244~5	(1.71)	101	-	(162)	-	(77)	-	N-80° - E 逆台形状か 灰陶陶器
(94)W-3	X214~5, Y244	(9.72)	7	-	28	-	10	-	N-68° - E 直状
(94)W-4	X214, Y244~5	(0.78)	30	-	50	17	17	-	N-13° - E 逆台形状

Tab. 4 井戸跡・土坑・ピット計測表

() は現存値、〔 〕 は推定値を示す。

遺跡番号	グリッド	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	型狀	垂標	重標	出土遺物
(74)I-1	X244~5, Y90~1	246	190	(148)	円形	I-1より新	かわらけ、灰陶陶器、瓦石	
(75)I-1	X127, Y185	67	(30)	23	不規	単槽		
(75)I-2	X127, Y184	157	72	20	楕円形	単槽	土師器、須也器小片	
(75)I-3	X127, Y184	85	83	25	円形	単槽	土師器、須也器小片、執製品縦か	
(75)I-4	X127, Y183	75	69	14	円形	H-2より新		
(75)I-5	X127, Y183	84	80	20	円形	H-2より新	土師器、須也器小片	
(75)I-6	X126, Y183	74	(31)	15	円形か	H-2より新		
(75)I-7	X126, Y182~3	117	105	12	円形	H-3,D-13,P-16より新	土師器、甕、須也器、刀子	
(75)I-8	X126~7, Y182	70	61	16	円形	H-2,D-9より新		
(75)I-9	X127~8, Y183	95	(43)	27	円形か	単槽	土師器小片	
(75)I-10	X127~8, Y183	46	(24)	17	円形か	D-11より新	土師器小片、瓦片	
(75)I-11	X127~8, Y182~3	107	(60)	36	円形か	D-10より古		
(75)I-12	X126, Y182	73	(27)	22	不規	単槽		
(75)I-13	X126, Y182	(85)	(68)	11	不明	H-3,D-16より新D-7,20,P-16より古		
(75)I-14	X126, Y183	(52)	(15)	36	不明	単槽		
(75)I-15	X126, Y182	57	47	17	円形	H-3より新		
(75)I-16	X126, Y182	113	(80)	28	長方形か	H-3,2より新,D-13-20より古		
(75)I-17	X126, Y182	93	67	11	椭円形	H-3より新,D-8より古	須也器小片	
(75)I-18	X126, Y183	73	69	73	円形	H-2より新	土師器小片、縦29片	
(75)I-19	X126, Y182	56	45	15	菱形	H-2,2より新		
(75)I-20	X126, Y182	(64)	(19)	54	不明	H-3,D-13-16より新	土師器小片	
(75)I-21	X127, Y184	30	29	46	円形	単槽		
(75)I-22	X127, Y183	30	26	38	円形	単槽	土師器小片	
(75)I-23	X127, Y183	35	34	20	円形	H-2より新		
(75)I-24	X126, Y182	48	42	19	円形	単槽	土師器、須也器小片	
(75)I-25	X126, Y183	26	20	11	円形	単槽		
(75)I-26	X127, Y181	30	26	16	円形	H-1と重複		
(75)I-27	X127, Y181	24	21	10	円形	H-1と重複		
(75)I-28	X127, Y180	(33)	19	6	楕円形か	H-1と重複		
(75)I-29	X127, Y180	46	21	9	楕円形	H-1と重複	瓦	
(75)I-30	X127, Y180	22	18	7	円形	H-1と重複		
(75)I-31	X127, Y182	11	9	14	円形	単槽		
(75)I-32	X127, Y181	17	16	20	円形	単槽		

遺構番号	グリッド	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	重複	出土遺物
(75)P-14	X127, Y181-2	19	18	10	円形	単独	
(75)P-15	X127, Y182	20	15	14	楕円形	単独	
(75)P-16	X126, Y182	47	40	27	円形か	H-2-3上り斜・D-7より古	土師器・須恵器小片
(75)P-17	X127, Y182	22	18	31	椭円形	単独	土師器小片
(75)P-18	X127, Y182	22	21	12	円形	単独	土師器小片
(75)P-19	X127, Y182	27	22	29	円形	単独	土師器小片
(76)P-1	X31-2, Y177	95	(37)	40	円形か	単独	
(76)P-2	X32, Y175-6	151	(102)	28	長方形	H-2上り斜	土師器坏・甕、須恵器坏・壺
(76)P-3	X31, Y176	119	90	40	楕円形	H-1上り斜	須恵器小片
(76)P-4	X32, Y176	103	85	29	椭円形	H-1上り斜	土師器便片
(76)P-5	X31, Y176	53	45	5	円形	H-1上り斜	土師器便片
(76)P-6	X32, Y176	86	69	16	椭円形	H-1上り斜	
(76)P-7	欠番						
(76)P-8	欠番						
(76)P-9	X31, Y175	(26)	(12)	17	円形か	単独	
(76)P-10	X31, Y175	(37)	(15)	13	円形か	単独	
(77)J-1	X136, Y252-3	86	[75]	(97)	椭円形	単独	
(78)J-1	X285-6, Y152	147	(112)	(145)	円形	単独	土師器坏・甕、須恵器坏
(78)J-2	X288, Y156-7	129	119	36	円形	単独	
(78)J-3	X288, Y156-7	146	71	13	長方形	H-4上り斜	土師器坏・甕、須恵器坏・灰釉陶器
(78)J-4	X289, Y158	91	67	49	椭円形	単独	土師器坏・灰色20坪
(78)J-5	X288, Y157	127	(112)	31	椭円形か	H-3-4上り斜	土師器坏・甕、須恵器坏・甕
(78)J-6	X289, Y156	69	55	69	円形	単独	
(78)J-7	X288, Y153	90	74	12	椭円形	H-15-D-40上り斜	土師器坏・灰器坏
(78)J-8	X288, Y154	61	56	47	円形	H-27-W-22上り斜	土師器坏・甕、須恵器坏・瓦
(78)J-9	X289, Y155	(213)	122	13	椭円形	H-13-D-24上り斜、W-3上り古	土師器坏・甕、須恵器坏、瓦
(78)J-10	X289, Y155-6	124	112	26	円形	H-13-14上り斜	土師器坏・須恵器坏
(78)J-11	欠番						
(78)J-12	X285, Y152	92	83	17	円形	H-29上り斜	土師器坏・灰釉陶器
(78)J-13	X284, Y152	57	53	13	円形	H-29上り斜	土師器小片
(78)J-14	X289, Y153	81	[75]	7	椭円形	H-29上り斜	須恵器坏
(78)J-15	X289, Y153	(74)	(62)	59	椭円形	H-15-D-15上り斜、W-1上り古	
(78)J-16	X289, Y153	103	86	32	椭円形	H-15上り斜、D-14上り古	
(78)J-17	X287-6, Y152	(153)	143	49	椭円形	H-6-D-22上り斜	土師器坏・甕、須恵器坏
(78)J-18	欠番						
(78)J-19	X286, Y151	68	(48)	29	円形か	H-20上り斜	土師器坏
(78)J-20	X286, Y151	130	(35)	10	不明	単独	土师器坏
(78)J-21	X286, Y151	149	(20)	13	椎円形か	H-20上り斜	
(78)J-22	X283-4, Y152	108	(105)	43	円形	D-32上り斜	
(78)J-23	X287-6, Y152	254	(68)	33	椭円形	H-6-T-1上り斜、D-16上り古	
(78)J-24	X289, Y156	[130]	[118]	30	椭円形	単独	土师器坏・甕、須恵器坏
(78)J-25	X289, Y155	94	[93]	15	円形	D-6上り古	
(78)J-26	X288, Y155	67	66	15	円形	単独	
(78)J-27	X288, Y155	87	82	21	円形	D-27上り斜	土师器坏
(78)J-28	X288, Y155	(65)	56	36	椎円形か	D-26上り古	須恵器高台付塊
(78)J-29	欠番						
(78)J-30	X290, Y153	112	[90]	24	椭円形	H-9-10上り斜	
(78)J-31	欠番						
(78)J-32	X283-4, Y151	98	[90]	17	円形	D-21上り古	
(78)J-33	X283, Y151	67	(55)	20	椎円形か	単独	
(78)J-34	X283, Y152	(103)	81	12	椭円形	単独	
(78)J-35	X282-3, Y151-2	104	97	14	円形	単独	
(78)J-36	X284, Y152	98	86	8	円形	単独	
(78)J-37	X287, Y153	70	63	16	円形	単独	土师器坏
(78)J-38	X289, Y153	61	53	27	椭円形	単独	
(78)J-39	欠番						
(78)P-40	X287-6, Y153	(270)	(86)	7	椎円形か	H-15-16より古	鉄製品・鍵か
(78)P-41	X290, Y152	50	45	47	円形	H-8-25上り斜	かわらけ
(78)P-42	X289, Y154	36	34	55	円形	H-2上り斜	須恵器高台坏塊
(78)P-43	X288, Y155	39	37	20	円形	単独	
(78)P-44	X289, Y155	57	55	30	円形	単独	
(78)P-45	X289, Y155	[33]	[30]	25	円形	単独	
(78)P-46	X289, Y153	40	36	19	円形	単独	

遺物番号	グリッド	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	裏面	出土遺物
(78)P-7	X289, Y153	44	41	21	円形	半透	
(78)P-8	X289, Y153	36	35	21	円形	半透	
(78)P-9	X287, Y152	41	34	20	円形	半透	須恵器高台付焼
(78)P-10	X287, Y152	57	(37)	31	椭円形	H-6より新	土師器焼
(78)P-11	X287, Y152	(50)	46	21	椭円形	P-6より新	
(78)P-12	X287, Y152	73	48	29	椭円形	P-13より古	土師器焼
(78)P-13	X287, Y152	31	22	20	椭円形	P-12より新	土師器焼
(78)P-14	X287, Y152	40	30	8	椭円形	半透	土師器焼
(78)P-15	X287, Y152	52	(44)	19	椭円形	半透	土師器焼
(78)P-16	X285, Y152	72	67	21	円形	半透	
(78)P-17	X285, Y152	53	(37)	24	円形	H-29より新	
(78)P-18	X284-5, Y152	55	49	30	円形	P-29より新	
(78)P-19	X289, Y152	28	27	28	円形	半透	土師器焼
(78)P-20	X289, Y152	45	39	19	椭円形	半透	
(78)P-21	X289, Y152	36	33	23	円形	半透	
(78)P-22	X289, Y153	34	33	23	円形	半透	
(78)P-23	X289, Y153	32	29	18	円形	半透	須恵器
(78)P-24	X289, Y152	31	30	21	円形	半透	
(78)P-25	X289, Y152	53	52	13	円形	半透	
(78)P-26	X289, Y153	32	28	29	円形	半透	
(78)P-27	X289, Y153	36	35	16	円形	半透	
(78)P-28	X288-9, Y153	70	59	19	椭円形	半透	
(78)P-29	X288, Y153	36	29	13	椭円形	半透	
(78)P-30	X288, Y153	36	30	8	円形	半透	
(78)P-31	X288, Y153	48	40	15	椭円形	半透	
(78)P-32	X288, Y153	46	40	14	円形	半透	
(78)P-33	X287, Y152	[36]	[35]	9	円形	半透	
(78)P-34	欠番						
(78)P-35	欠番						
(78)P-36	欠番						
(78)P-37	X287, Y152	35	35	28	円形	半透	
(78)P-38	X287, Y152	57	49	13	円形	半透	
(78)P-39	欠番						
(78)P-40	X287, Y152	47	42	23	円形	半透	
(78)P-41	X287, Y152-3	54	35	12	椭円形	半透	
(78)P-42	X287, Y153	59	49	15	三角形	半透	
(78)P-43	X285, Y152	41	38	29	円形	半透	土師器焼
(78)P-44	X284, Y152	52	47	21	円形	H-29より新	
(78)P-45	X283, Y152	35	33	11	円形	半透	
(78)P-46	X283, Y152	45	38	18	円形	半透	
(78)P-47	X290, Y152-3	52	(21)	19	椭円形	H-9,D-29より新	
(79)円形容器	367-68, Y239	355	(223)	201	円形	H-27より新,H-24より古	土師器焼,須恵器,石製品
(79)P-1	欠番						
(79)P-2	X64, Y235-236	296	254	46	椭円形	H-15より新	須恵器高台付焼・甕,瓦
(79)P-3	X64, Y235	195	164	13	椭円形	H-15より新	土師器焼・甕,須恵器,从輪陶器
(79)P-4	X65, Y235	233	110	15	椭円形	H-14より新	須恵器高台付焼
(79)P-5	X64, Y237	164	89	12	椭円形	半透	土師器焼・甕,須恵器・甕
(79)P-6	欠番						
(79)P-7	X67, Y235	100	86	30	椭円形	H-5-30より新	
(79)P-8	X66, Y236	87	77	15	椭円形	半透	土師器焼,須恵器焼・甕
(79)P-9	X66, Y237	80	64	13	不透	半透	
(79)P-10	X65, Y236	235	163	53	椭円形	須恵器高台付焼,甕	
(79)P-11	X66, Y236	108	82	17	椭円形	H-7-12より新	土師器焼,羽口
(79)P-12	X66, Y236	88	84	48	円形	H-4-2より新	
(79)P-13	X64, Y236	120	[105]	44	円形か	H-15より新	人頭大・拳大の石
(79)P-14	X64-65, Y237	249	(155)	19	不定形	H-15より古	
(79)P-15	X64-65, Y237	(221)	179	14	不定形	D-14より新,P-9-10より古	
(79)P-16	X66, Y237	70	60	12	椭円形	H-30,P-2より新	
(79)P-17	X66, Y235	47	41	43	円形	H-30より新,P-1より古	
(79)P-18	X66, Y235	74	69	17	円形	H-30より新	
(79)P-19	X63, Y237-238	47	44	16	円形	半透	
(79)P-20	X63, Y237	51	42	28	円形	半透	
(79)P-21	X63, Y237	42	40	14	円形	半透	
(79)P-22	X64, Y237	39	36	13	円形	半透	
(79)P-23	X64, Y237	52	47	26	円形	半透	

遺物番号	グリッド	長径(cm)	幅径(cm)	深さ(cm)	形状	重複	出土遺物
(79)P-9	X64, Y237	44	38	20	円形	D-15より新	
(79)P-10	X64, Y237	49	39	23	円形	D-15より新	土師器耳・甕、黒曜石片
(79)P-11	欠番						
(79)P-12	X64, Y237	41	39	21	円形	単個	
(79)P-13	X63, Y237	49	44	12	円形	単個	
(79)P-14	X65, Y237	61	53	22	円形	単個	
(79)P-15	X66, Y236	38	36	38	円形	単個	土師器耳・甕、須恵器高台付端・甕
(79)P-16	X66, Y236	34	32	28	円形	単個	
(79)P-17	X66, Y237	69	36	21	椭円形	単個	
(79)P-18	X66, Y237	71	60	35	椭円形	単個	
(79)P-19	X65, Y237	61	53	23	円形	単個	土師器耳・甕、須恵器高台付端・甕
(79)P-20	X67, Y237	52	50	18	円形	単個	
(79)P-21	X67, Y236	43	36	45	円形	単個	土師器耳・甕
(79)P-22	X67, Y236	(39)	(16)	(24)	円形か	H-4より新	
(79)P-23	X63, Y237	48	46	19	円形	単個	
(79)P-24	X63, Y237	40	36	18	円形	単個	
(80)P-1	欠番						
(80)P-2	X56, Y247	43	40	19	円形	単個	
(93)P-1	X207, Y244	(58)	(55)	33	不明	単個	軟質陶器、瓦
(93)P-2	X207, Y245	55	44	14	椭円形	単個	乳毛器耳・羽口
(93)P-3	X207, Y245	69	(44)	21	椭円形	単個	須恵器耳・火輪陶器・石製品
(93)P-4	X207, Y245	(45)	(23)	(60)	不明	D-17より新	須恵器高台付端
(93)P-5	X207, Y245	(47)	(30)	10	円形か	D-17より新	
(93)P-6	X207-6, Y245	48	47	7	円形	W-5と重複	
(93)P-7	欠番						
(93)P-8	X207-6, Y245	124	76	10	椭円形	D-12, W-5と重複	
(93)P-9	X208, Y244	34	32	26	方形	D-10と重複	
(93)P-10	X208, Y244	54	(39)	10	椭円形か	D-9と重複	土師器小片
(93)P-11	X208, Y244-5	59	41	10	椭円形	単個	
(93)P-12	X207-6, Y245	(52)	(24)	10	円形か	D-8と重複	瓦
(93)P-13	X207, Y244	44	32	10	椭円形	単個	
(93)P-14	欠番						
(93)P-15	X208, Y244-5	67	60	21	椭円形	W-5と重複	
(93)P-16	X208, Y244	103	(88)	9	不整形	W-1と重複	
(93)P-17	X207, Y245	(68)	31	38	長方形か	D-4-5より古	
(93)P-1	X207, Y244	52	29	6	円形	単個	
(93)P-2	X207, Y244	39	34	35	円形	単個	
(93)P-3	X207, Y245	38	15	13	長方形	単個	
(93)P-4	X207, Y244	38	34	7	円形	単個	
(93)P-5	X207, Y244-5	15	14	12	方形	単個	
(93)P-6	X208, Y244	39	34	7	円形	単個	
(93)P-7	X207, Y245	32	29	35	方形	単個	
(93)P-8	X207-6, Y245	36	25	26	椭円形	D-8, W-5と重複	
(93)P-9	X207, Y245	24	(17)	29	方形か	単個	
(93)P-10	X208, Y244	17	16	9	円形	単個	
(93)P-11	X207, Y244	38	(16)	7	円形か	単個	
(93)P-12	X208, Y244	(35)	29	20	椭円形	W-1と重複	
(93)P-13	X208, Y245	34	30	17	円形	W-1と重複	
(94)P-1	X214-4, Y244	186	(149)	38	椭円形	D-2と重複	陶器、瓦
(94)P-2	X215, Y244	(235)	(84)	78	不明	D-1と重複	
(94)P-3	X214, Y244	148	(66)	13	不整形	W-1, P-5と重複	
(94)P-4	X213, Y244	50	(43)	3	円形	単個	
(94)P-5	X215, Y244	(64)	(52)	69	不明	単個	土師器便
(94)P-6	X214, Y245	62	(21)	(23)	椭円形	W-1と重複	
(94)P-7	X214, Y244	59	55	22	円形	単個	
(94)P-8	X215, Y244	(94)	71	15	椭円形	W-3と重複	
(94)P-9	X214, Y244	62	(55)	25	円形か	W-4と重複	土師器便
(94)P-10	X214, Y244	36	22	23	長方形	単個	
(94)P-11	X214, Y244	39	35	12	円形	D-3と重複	
(94)P-12	X214, Y244	56	(16)	17	椭円形か	W-1と重複	

Tab. 5 繩文土器観察表

法量は①口径②底径③最大径④器高を表し、単位はcmである。また（ ）は現存値、〔 〕は推定値を表す。

番号	出土遺構 出土位置	台帳番号	器種	法量	①軽②壺成 ③色刷④残存	器形の特長、成・整形方法	備考
(76)調1	(76)H-1 櫻土	No.13	圓文土器	幅(5.7) 長さ(6.0) 厚さ1.1	①軽②良好 ③にぶい黄④破片	諸調c。	
(76)調2	(76)H-1 櫻土	No.26	圓文土器	幅(4.5) 長さ(3.8) 厚さ1.0	①中軽②良好 ③壺底破片	諸調b。	
(76)調3	(76)D-4 櫻土	H-No.23	圓文土器	幅(4.3) 長さ(5.3) 厚さ1.1	①中軽②良好 ③壺底破片	十三貫式。縁をもつ紐状の細い縦帯(結節溝 縞文)で巻き状の文様。	

Tab. 6 弥生土器観察表

法量は①口径②底径③最大径④器高を表し、単位はcmである。また（ ）は現存値、〔 〕は推定値を表す。

番号	出土遺構 出土位置	台帳番号	器種	法量	①軽②壺成 ③色刷④残存	器形の特長、成・整形方法	備考
(78)弥1	(78)H-23 櫻土	一括	弥生 壺か	幅(4.4) 長さ(2.3) 厚さ0.5	①軽②良好 ③浅黄④破片	縗文。波状文。	

Tab. 7 出土土器観察表

法量は①口径②底径③最大径④器高を表し、単位はcmである。また（ ）は現存値、〔 〕は推定値を表す。

番号	出土遺構 出土位置	台帳番号	器種	法量	①軽②壺成 ③色刷④残存	器形の特長、成・整形方法	備考
(74)1	(74)H-1 櫻土	No.15. 一括	土師器 片	①11.8②4.2	①軽②良好 ③青白④残存	外縁は口縁部 横擴で、体部削り。 内面は口縁部 横擴で、体部削り。	
(74)2	(74)H-1 櫻土	No.13	土師器 片	①(12.2)②(3.4)	①軽②良好 ③青白④残存	外縁は口縁部横擴で、体部削り。内面は口縁部 横擴で、体部削り。	
(74)3	(74)H-1 底底	No.7. 9. 10. 11. 17. 帯り方一括	土師器 片	①(21.9)②(6.6) ③(29.2)④(33.0)	①軽②良好 ③青白④残存	底状の胴部。外縁は斜めに削割り。内面は削 ぐ。	
(74)4	(74)H-1 底底	No.14. 16. 帯り方一 括	土師器 片	①(15.7)②(7.8) ③(19.1)④(17.4)	①軽②良好 ③青白④残存	底状の胴部。口唇部を片口状に整形。胴部に穿 孔。外縁は剥離の削り。内面は無。	胴部 穿孔
(74)5	(74)H-2 電No.2	圓文土器 羽根	羽根	①(16.0)②(23.2) ③(16.6)	①軽②良好(黒化) ③青白④残存	外縁面ロコ窪で削り。	
(74)6	(74)I-1 櫻土	一括	土器	①(9.4)②(25.6) ③(2.4)	①軽②良好 ③青白④残存	ロクロ窪系。回転糸切り。	
(74)7	(74)I-1 櫻土	一括	土器	①(8.4)②(4.4) ③(2.2)	①軽②良好 ③青白④残存	ロクロ窪系。回転糸切り。	
(74)8	(74)I-1 櫻土	一括	直筒形 内腹	①(41.0)②(6.4) ③(5.0)	①軽②良好 ③にぶい黄④壺底破片	内外面ロクロ窪で。外面に媒材付。	
(75)1	(75)H-1 電	圓文土器 羽根	羽根	②9.8③(4.6)	①軽②良好(黒化) ③にぶい黄④残存	ロクロ窪系。回転糸切り。高台貼付。	
(75)2	(75)H-3 櫻土	一括	圓文土器 羽根	①(20.8)②(3.5)	①軽②良好(黒化) ③にぶい黄④残存	口縁部は内縁。ロクロ窪系。	
(75)3	(75)H-18 櫻土	一括	切頭 環付	幅(3.2) 長さ(4.4) 厚さ0.5	①軽②良好 ③(4.6)	ロクロ窪形。回転糸切り。高台貼付。濱け掛 け。	
(76)1	(76)H-1 櫻土	No.16. 一括	圓文土器 高台付陶	①(14.8)②(6.2) ③(4.6)	①軽②良好(黒化) ③にぶい黄④残存	ロクロ窪形。回転糸切り。高台貼付。外縁に 均削付着。	
(76)2	(76)H-1 櫻土	H-1一括、P-2No.1	圓文土器 高台付陶	①(18.6)②(7.2) ③(5.0)	①軽②良好(黒化) ③青白④残存	ロクロ窪形。回転糸切り。高台貼付。	
(76)3	(76)H-2 櫻土	No.1	灰陶輪削 高台付陶	①(16.8)②(7.4) ③(5.0)	①軽②良好 ③青白④残存	ロクロ窪形。回転糸切り。高台貼付。濱け掛 け。	
(76)4	(76)D-2 櫻土	一括	圓文土器 片	①(14.0)②(17.6) ③(3.7)	①軽②良好(黒化) ③灰青白④残存	体部の内外面に施墨付着。	
(76)5	(76)D-3 櫻土	H-No.30	圓文土器 片	①(13.8)②(6.2) ③(3.8)	①軽②良好(黒化) ③灰白④残存	ロクロ窪形。回転糸切り。底部内面に施墨付着。	墨書
(76)6	(76)D-4 櫻土	H-No.27	土師器 片	①(13.4)②(3.4)	①軽②良好 ③にぶい黄④口縁部	外縁は口縁部横擴で、胴部削り。内面は無。	
(78)1	(78)H-1 底底	No.2	土師器 片	①(12.0)②(2.9)	①中軽②良好 ③壺底口縁部	口縁部は直面に立ち上がり半平が僅か外反す る。外縁は口縁部横擴で、体部削り。内面は口 縁部横擴で、体部削り。	
(78)2	(78)H-3 底底	No.1	土器 かわらけ	①(9.2)②(5.4) ③(2.0)	①中軽②良好 ③(2.0)④残存	ロクロ窪系。底部糸切り。	
(78)3	(78)H-4 底底	No.1	灰陶輪削 高台付陶	②(8.6)③(1.8)	①軽②良好 ③灰の(4.6)残存	ロクロ窪形。回転糸切り後調査。濱け掛 け。	
(78)4	(78)H-5 縫口付	No.10	土師器 片	①(14.6)②(4.4)	①軽②良好 ③(2.0)④残存	外縁は口縁部横擴で、体部削り。内面は口縁部 横擴で、体部削り。無で後引き。	
(78)5	(78)H-6 底底	No.8. 13	土師器 片	①(12.8)②(5.0)	①軽②良好 ③(2.0)④残存	内面は口縁部削き。外縁は口縁部横擴で、体部 削り。内面は口縁部横擴で、体部削り。	
(78)6	(78)H-6 底底	No.30. 一括	土師器 片	①(14.6)②(5.3)	①軽②良好 ③(2.0)④残存	内面は口縁部削き。外縁は口縁部横擴で、体部 削り。内面は口縁部横擴で、体部削り。	
(78)7	(78)H-6 底底	No.22	土師器 片	②(9.6)③(5.2)	①軽②良好 ③(2.0)④脚部	脚部内外面横擴。	
(78)8	(78)H-7 電	No.1	土師器 片	①(11.8)②(12.8) ③(6.6)	①中軽②良好 ③青白④残存	底を弓形。口縁部は仄く内湾する。外縁は 斜削り後擦り後調査。内面は底を調整後上半に磨 き。	
(78)9	(78)H-7 底底	No.9. 15. 一括	土師器 片	①(12.6)②(4.7)	①中軽②良好 ③(2.0)④残存	直底器横擴。外縁は口縁部横擴で、体部削り。 内面は口縁部横擴で、体部削り。	
(78)10	(78)H-7 底底	No.28. 30. 一括	土師器 片	①(12.0)②(5.4)	①中軽②良好 ③(2.0)④残存	外縁は口縁部横擴で、体部削り。内面は口縁部 横擴で、体部削り。	
(78)11	(78)H-7 底底	No.1	土師器 片	①(19.0)②(9.6)	①中軽②良好 ③(2.0)④口縁部	長脚型。外縁は口縁部横擴で、胴部削り。内面 は無で。	

番号	出土遺構 出土位置	台帳番号	器種	法 番	①軸②焼成 ③色調④残存	器形の特長、成・整形方法	備考
(78) 12	(78)H-9 床底	No.14	土師器 台付壺	②9.2④(4.6)	①細部②良好 ③擦④脚部	内外面は楕円で。	
(78) 13	(78)H-9 襖土	一括	瓦窓器 高台付壺	②7.6④(2.0)	①細部②良好(焼成) ③擦④破片	ロクロ整形。回転糸切り後高台付片。楕。	
(78) 14	(78)H-10 襖土	No.8	瓦窓器 高台付壺	②[6.8]④(1.7)	①細部②良好(いぶし) ③擦白④底部破片	黒色土器。ロクロ整形。回転糸切り。	
(78) 15	(78)H-11 襖	電No.1	瓦窓器 壺	②4.2④(1.4)	①中軸②良好(焼成) ③淡黄④底部破片	ロクロ整形。回転糸切り。	
(78) 16	(78)H-11 床底	No.5, 6, 7	土器 かわらけ	①9.6②5.0 ③2.0	①細部②良好 ③淡黄(ほぼ)光形	ロクロ整形。回転糸切り。	
(78) 17	(78)H-11 床底	No.13	土器 かわらけ	①[9.8]②5.4 ③1.8	①細部②良好 ③灰褐色④/2	ロクロ整形。回転糸切り。	
(78) 18	(78)H-13 床底	No.23, 一括	土師器 壺	①16.6④[3.7]	①細部②良好 ③擦④口部完形	口縁部は直進に立ち上がり、上半が張り外反する。外縁は口縁部楕円で、体部削り。内面は口縁部楕円で、体部削り。	
(78) 19	(78)H-13 床底	No.24	土師器 壺	①[11.0]④[3.3]	①細部②良好 ③擦④口部	口縁部は内凹する。外縁は口縁部楕円で、体部削り。内面は口縫部楕円で、体部削り。	
(78) 20	(78)H-13 襖土	No.2, 3	土師器 壺	①[20.6]④(24.0)	①細部②良好 ③擦④口部～側	長胴型。口縁部は外反する。胴部外縁は斜方向削り。内面は楕。	
(78) 21	(78)H-13 床底	No.4, 5	土師器 壺	①[22.8]④(12.9)	①細部②良好 ③擦④口部～側	長胴型。胴部最大径は上位に位置するものと思われる。胴部外縁は斜方向削り。内面は椭。	
(78) 22	(78)H-13 襖土	No.14	瓦窓器 高台付壺	①[5.2]②7.6③[6.2]	①細部②良好(慶元) ③灰白色④/5	ロクロ整形。回転糸切り。高台付片。	
(78) 23	(78)H-13 襖土	一括	瓦窓器 高台付壺	①[12.4]②[7.2] ⑤[5.2]	①細部②良好(慶元) ③灰白色④/2	口縁部は口縫部が内凹ぎみに聞く。高台は「」字状。ロクロ整形。回転糸切り。高台付片。	
(78) 24	(78)H-13 襖土	No.15	灰釉陶器 高台付壺	①[12.4]②[6.4] ④[4.2]	①細部②良好 ③灰白色④/5	ロクロ整形。回転糸切り。高台付片。横け掛け(度掛け)	
(78) 25	(78)H-13 襖土	No.8	灰釉陶器 高台付壺	①[13.4]②[7.2] ④[2.9]	①細部②良好 ③灰白色④/2	ロクロ整形。回転糸切り。高台付片。外外面に煤斑有。	
(78) 26	(78)H-14 床底	No.6	土師器 壺	①[14.2]④(7.6)	①細部②良好 ③擦④口縁部	丸底を有する。口縁部は内凹し、口縫部は切く外傾する。外縁は斜削り。内面は椭で調整後削ぎ。	
(78) 27	(78)H-14 襖土	No.14	土師器 壺	①[13.0]④(4.9)	①中軸②良好 ③擦④口縫部	丸底。口縁部は内凹し、口縫部は切く外傾する。外縁斜削り後上方に磨き。	
(78) 28	(78)H-15 襖土	一括	瓦窓器 浴器	①[18.6]④(6.7)	①細部②良好(慶元) ③青白青(口縫部)	ロクロ整形。肩の断面三角形。	
(78) 29	(78)H-15 床底	No.23, 一括	土器 かわらけ	①[8.6]②[26.6] ④[2.2]	①細部②良好 ③青白青(口縫部)④/5	ロクロ整形。回転糸切り。	
(78) 30	(78)H-15 床底	No.25, 26, 一括	土器 かわらけ	①[9.4]②[25.4] ④[2.2]	①細部②良好 ③青白青(口縫部)④/5	ロクロ整形。回転糸切り。	
(78) 31	(78)H-16 床底	No.1, 2	土師器 壺	①[14.2]④(4.9)	①中軸②良好 ③擦④底部破片	口縁部は内凹し、口縫部は切く外傾する。外縁斜削り。尾削り。内面斜削りで、端で後退させ。	
(78) 32	H-18P-3-1 襖土	かわらけ	土器 かわらけ	①[10.0]②[5.0] ④[2.1]	①細部②良好 ③青白青(口縫部)④/4	ロクロ整形。回転糸切り。	
(78) 33	(78)H-18 船の方	かわらけ	土器 かわらけ	①[8.0]②[4.3] ④[1.9]	①細部②良好 ③灰白色④/5	ロクロ整形。回転糸切り。	
(78) 34	(78)H-20 床底	No.1	土師器 壺	①[4.2]②[5.5]	①中軸②良好 ③明赤陶(心形)	丸底を有する。口縫部は切く外傾する。外縁削り。内面削りで後退させ。	
(78) 35	(78)H-20 床底	No.2	土師器 壺	①[3.0]②[13.6] ④[6.7]	①中軸②良好 ③明赤陶(心形)	丸底を有し、口縫部は内凹す。外縁削り。尾削り。内面削りで後退させ。	
(78) 36	(78)H-20 床底	No.5	土師器 壺	①[16.2]②[6.9] ④[2.1]	①中軸②良好 ③擦④口縫部	丸底を有する。口縫部は内凹し、口縫部は切く外傾する。外縁削り。外縁削り、内面削りで後退させ。	
(78) 37	(78)H-20 床底	No.7	土師器 壺	①[4.4]②[5.5]	①中軸②良好 ③擦④口縫部	丸底を有する。口縫部は内凹し、口縫部は切く外傾する。外縁削り。外縁削り、内面削りで後退させ。	
(78) 38	(78)H-20 床底	No.27	土師器 壺	①[3.0]②[6.8] ④[5.2]	①中軸②良好 ③擦④口縫部	丸底を有する。口縫部は内凹し、口縫部は切く外傾する。外縁削り。外縁削り、内面削りで後退させ。	
(78) 39	(78)H-20 床底	No.11, 12, 28, 30	土師器 壺	①[4.0]②[6.0] ④[2.1]	①中軸②良好 ③擦④口縫部	丸底を有する。口縫部は内凹し、口縫部は切く外傾する。外縁削り。外縁削り、内面削りで後退させ。	
(78) 40	(78)H-20 床底	No.31, 32	土師器 壺	①[3.8]②[5.4] ④[2.1]	①中軸②良好 ③擦④口縫部	丸底を有する。口縫部を内凹し、口縫部は切く外傾する。外縁削り。内面削りで後退させ。	
(78) 41	(78)H-20 床底	No.33, 34	土師器 壺	①[2.6]②[13.0] ④[4.9]	①中軸②良好 ③擦④口縫部	丸底を有する。口縫部は内凹す。外縁削り。内面削り。	
(78) 42	(78)H-21 襖土	一括	土師器 壺	①[4.0]②[4.3] ④[2.8]	①中軸②良好 ③擦④底部破片	ロクロ整形。内外面は楕。	
(78) 43	(78)H-25 床底	H-8N6.13	瓦窓器 高台付壺	①[8.3]②[4.8] ④[3.4]	①細部②良好(焼成) ③淡黄陶(心形)	ロクロ整形。高台付片。	
(78) 44	(78)H-26 襖土	一括	土師器 壺	①[11.0]②[3.7] ④[2.1]	①細部②良好 ③擦④口縫部	ロクロ内部外面は楕。	
(78) 45	D-10N1, 5, W-2, 3島-抵	土師器 壺	①[10.2]②[7.2]	①中軸②良好 ③擦④底部	丸底を有し。口縫部は内凹す。外縁削り。内面削り。		
(78) 46	D-10N2	土師器 壺	①[13.2]②[5.5]	①中軸②良好 ③擦④底部破片	丸底を有し。口縫部は内凹す。外縁削り。内面削りで後退させ。		
(78) 47	D-10N7.1 -抵	土師器 壺	①[4.4]②[5.4]	①中軸②良好 ③明赤陶(心形)	丸底を有する。口縫部は内凹し、口縫部は切く外傾する。外縁削り。外縁削り、内面削りで後退させ。		
(78) 48	D-10N7.2 -抵	土師器 壺	①[13.0]②[4.3]	①中軸②良好 ③擦④口縫部	外縁口縫部楕円で、体部削り。内面口縫部楕円で、体部削り。		
(78) 49	D-10N6.27 -抵	土師器 壺	②[6.8]②[18.4] ④[17.4]	①中軸②良好 ③擦④底部	外縁削り方向の削り。内面上半は横方向。下半は斜方向のケ目。		
(78) 50	(78)H-28 襖土	No.10	瓦窓器 壺	②[7.6]②[2.0]	①中軸②良好(焼成) ③灰陶④底部	ロクロ整形。回転糸切り後楕。	

番号	出土遺構 出土位置	台帳番号	器種	法 筆	①新土②焼成 ③色焼④残存	器形の特長、成・整形方法	備考	
(78) 51	(78) T-1 床底	No.7	土師器 片	①[13.2]②(2.7)	①細縁②良好 ③明赤土④口縁部破片	丸底を有すると思われる。外面口縁部横擴で、体部削り。内面口縁部横擴で、体部削り。		
(78) 52	(78) W-2 襖土	一括	火鉢	①[41.0]②(5.2)	①細縁②良好 ③黄灰④口縁部	口縁部内面に重鉢足。		
(78) 53	(78) D-41 襖土 D-2-1房	かわらけ	土器	①[16.0]②(4.4	①細縁②良好 ③白灰④1/2	酸化焰焼成。ロク口整形。回転糸切り。		
(78) 54	(78) P-1 襖土	No.1	更生器 高台付塊	②[5.4]②(2.6)	①細縁②良好(焼化) ③赤黄④口部	ロク口整形。体部内面に窓孔。		
(78) 55	(78) P-47 襖土	H-96a27	更生器 羽釜	①[19.0]②(6.1)	①細縁②良好(焼化) ③灰白④口縁部片	口縁部は直立に立ち4cm。断面三角形状。ロク口整形。		
(78) 56	(78) X285Y151	一括	土器	①[9.4]②(4.6	①細縁②良好 ③黄灰④3/5	ロク口整形。回転糸切り。		
(78) 57	(78) 觀月	一括	更生器 羽釜	①[18.6]②(8.9)	①細縁②良好(焼化) ③灰白④口縁部片	最大径は脚部に有する。口縁部は内側扭る。ロク口整形。		
(79) 1	(79) H-3 襖土	一括	土師器 台脚付	②[19.0] ④(2.7)	①砂縁②良好 ③灰白④底面	輪縞み整形。台脚付。内外面は撫で。	画面か	
(79) 2	(79) H-3 襖土	No.19.	一括	更生器 片	①[14.6]②(6.3 ③0.5	①砂縁②良好(焼化) ③灰白④1/2	ロク口整形。系切り。内外面は撫で。	
(79) 3	(79) H-3 床底	No.15	更生器 高台付塊	①[14.9]②(6.0 ③0.3	①砂粒、小縫合やや不良(焼化) ③灰白④1/2	内外面黒斑部分が多く、近底面内面むき。ロク口整形。糸切り。高台脚付。内外面は撫で。		
(79) 4	(79) H-3 襖土	No.26	更生器 高台付塊	①[13.8]②(7.0 ③2.5	①砂粒、白色粒、角開石②良 好(焼化)(焼灰)(底面)1/2、 口縁部5/5	ロク口整形。糸切り。高台脚付。内外面は撫で。		
(79) 5	(79) H-3 床底	No.4	灰釉陶器 高台付塊	①[15.8]②(6.7) ③2.7	②良好 ③灰白④1/4	灰釉、横筋引け。ロク口水焼き整形。内面は撫で。外縁は回転削り。		
(79) 6	(79) H-4 床底	No.63, 78	土師器 台脚付	②[8.2]②(3.8)	②砂縁②良好 ③にぶい焼灰④台脚1/2	輪縞み整形。台脚付。内外面は撫で。		
(79) 7	(79) H-4 床底	No.8, 9, 16, 20, 27	土師器 台脚付	①[13.6]②(9.2 ③11.3]②(7.0	①砂粒、白色粒、角開石②良 好(焼化)(底面)1/2、 口縁部5/5	輪縞み整形。台脚付。内面は撫で、研磨工具で。外 縁は口縁部で、削跡は削り。		
(79) 8	(79) H-4 床底	No.57	土師器 片	①[18.0]②(8.7)	①薄赤色、白色粒&良好 ③灰白④1/2	輪縞み整形。内面は撫で、研磨工具で。外 縁は口縁部で、削跡は削り。		
(79) 9	(79) H-4 床底	No.71	更生器 片	①[13.6]②(6.4 ③0.3	①砂粒、白色粒&良好(焼化) ③灰白④1/2	ロク口整形。糸切り。内外面は撫で。		
(79) 10	(79) H-4 電	No.19	更生器 片	①[13.5]②(7.3 ③0.1	①砂粒、小縫合やや不良(焼化) ③灰白④1/2	ロク口整形。糸切り。内外面は撫で。		
(79) 11	(79) H-4 床底	No.79	更生器 片	①[12.4]②(6.8 ③0.8	①小縫合、砂粒、石片、角開石 ②良好(焼化)③灰白④1/2	既定瓶あり。ロク口整形。系切り。底面削鉗 状は瓶大。		
(79) 12	(79) H-4 襖土	一括	更生器 高台付塊	①[13.1]②(7.4 ③0.5	①砂粒、白色粒、角開石 ②兩灰石③口縁部5/5、底面5/5	黒底あり。ロク口整形。糸切り。高台脚付。内 外面は撫で。		
(79) 13	(79) H-4 床底	No.11	更生器 高台付塊	①[14.6]②(7.5) ③0.4	①小縫合、角開石やや不良(焼化) ③灰白④1/2	外縁に2条の縦削れを施す。ロク口整形。糸切り。 高台脚付。内外面は撫で。		
(79) 14	(79) H-4 床底	No.18	更生器 高台付塊	①[13.6]②(7.2) ③0.2	①砂粒、白色粒、角開石やや不良(焼化) ③灰白④1/2	ロク口整形。糸切り。高台脚付。内外面は撫 で。		
(79) 15	(79) H-4 電	No.7	更生器 高台付塊	①[14.8]②(7.5 ③0.5	①砂粒、白色粒、角開石 ②やや不良(焼化)③灰白④1/2 ④口縁部一部欠損	底面あり、底部内面二凹状に削る。ロ ク口整形。高台脚付。内外面は撫で。外縁は撫 で。底部削で。		
(79) 16	(79) H-4 床底	No.70	更生器 高台付塊	①[14.4]②(7.5 ④4.5	①小縫合、砂粒、白色粒&良好 ③底面5/5	自然崩壊。輪縞形む。ロク口整形。糸切り。 高台脚付。内外面は撫で。		
(79) 17	(79) H-4 電	No.2	更生器 高台付塊	①[14.7]②(6.2 ④4.6	①小縫合、砂粒、白色粒&良好 ③底面5/5	底面内面巻き伏せに残す。底面外間に口縁部。 ロク口整形。糸切り。高台脚付。内外面は撫 で。	輪刻	
(79) 18	(79) H-4 床底	No.67, 74, 75, 一括	更生器 高台付塊	①[13.7]②(6.5 ④0.4	①砂粒、白色粒&良好(焼化) ③灰白④口縁部5/5	ロク口整形。糸切り。高台脚付。内外面は撫 で。		
(79) 19	(79) H-4 電	No.1	更生器 高台付塊	①[14.6]②(6.3 ④5.4	①小縫合、砂粒、白色粒&良好(焼化) ③底面5/5	外縁に黒斑がある。ロク口整形。内外面は撫 で。		
(79) 20	(79) H-4 電	No.17	更生器 羽釜	④(8.5)	①砂粒、白色粒、角開 石②良好(焼化)③横口④凸縁部 1/2	輪縞み整形。ロク口整形。内外面は撫 で。		
(79) 21	(79) H-4 襖土	一括	縹軸陶器	④(2.0)	②良好③オリパツ灰 ④小片	外縁全面に縹軸を施す。み込み底面に斜柱花 文。背面に3条の階級状を施す。ロク口整形。 輪刻		
(79) 22	(79) H-5 床底	No.12	土師器 片	①[13.5]②(4.9)	①砂縫合②良好 ③砂粒④1/4	内外面は撫で。外縁は口縁部5/5で、底面は削 り。		
(79) 23	(79) H-5 電	H-4 No.10, 23	更生器 片	①[14.0]②(6.0 ④3.8	①小縫合、砂粒、角開石やや不良(焼化) ③底面5/5	盗み多い。ロク口整形。糸切り。内外面は撫 で。		
(79) 24	(79) H-5 襖土	No.1	更生器 片	①[13.4]②(8.0 ④4.3	①砂粒、白色粒、角開石や 不良(焼化)③底面5/5	底面削削で、外縁は口縁部5/5で、削 跡は押さえ削り。		
(79) 25	(79) H-5 襖土	一括	更生器 羽釜	①[13.8]②(6.5 ④4.5	①砂粒、白色粒&良好(焼化)②横口④凸縁部 1/2	ロク口整形。糸切り。内面削削で、撫で。外 縁は削り。		
(79) 26	(79) H-5 床底	H-19No.1	更生器 片	①[13.6]②(8.6 ③3.7	①砂粒、白色粒&良好(焼化) ③灰白④口縁部1/3	外縁中ほどから下へ内面底面に黒斑のうな黒 ズミがあり。ロク口整形。糸切り。底底外縁の糸 切り痕が残されている。内外面は撫で。底部の 状態から高台が付いていた可能性がある。		
(79) 27	(79) H-5 襖土	一括	更生器 底	②[21.6]②(3.5)	②良好	底毛壁り。ロク口水焼き整形。内外面は撫 で。外縁は下方は回転削り、上方は撫で。		
(79) 28	(79) H-5 襖土	No.14	灰釉陶器 高台付塊	①[15.6]②(4.6)	③灰白④口縁部1/3			

番号	出土遺構 出土位置	台帳番号	器種	法 番	①新土②焼成 ③色斑④残存	器形の特長、成・整形方法	備考
(79)29	(79)H-7 塵土	No41	土師器 壺	①[11, 6]②(6, 3)	①砂粒、白色粒、褐色粒、 角閃石②良好 ③赤褐色④口縁部1/3	輪縁み成形。ロクロ整形。内面は擦で。外面は 口縁部削り、胴部は削り。	
(79)30	(79)H-7 床底	No10	直腹器 高台付壺	②[7, 1]④(2, 5)	①砂粒、角閃石②良好(焼化) ③赤褐色④底部は平存	底面部内面が僅む。足高高台。ロクロ整形。高台 貼付。外外面は擦で。	
(79)31	(79)H-7 貯蔵穴	No25	直腹器 高台付壺	①[14, 2]②[6, 9] ⑤[5, 2]	①砂粒、角閃石②良好(焼元) ③赤褐色④口縁部1/3	底面部内面が擦む。足高高台。ロクロ整形。高台 貼付。外外面は擦で。	
(79)32	(79)H-7 貯蔵穴	No6	直腹器 高台付壺	①[14, 7]②[6, 8]	①砂粒、角閃石②やや不良 (焼元)④口縁部1/3	黒斑あり。ロクロ整形。赤切り。高台貼付。内 外面は擦で。	
(79)33	(79)H-8 床底	H-2No5	土師器 壺	④(12, 2)	①砂粒、白色粒、角閃石 ②良好③明治④脚部上部	輪縁み成形。局部削付。	
(79)34	(79)H-8 壺	H-2壺No20	土師器 壺	①[20, 0]④(6, 5)	①砂粒②良好 ③赤褐色	輪縁み成形。内面は擦で。口縁部は削り、胴部 は削り。	
(79)35	(79)H-8 壺	H-2壺No32	土師器 壺	①[23, 6]④(9, 9)	①砂粒、白色粒、角閃石②良好 ③明治④口縁部1/4	輪縁み成形。内面は擦で。外面は口縁部削り、 脚部は削り。	
(79)36	(79)H-8 壺	H-2壺No14, 16, 30	土師器 壺	①[17, 8]②[21, 2] ④(12, 0)	①砂粒、白色粒、角閃石②良好 ③明治④口縁部1/3	輪縁み成形。内面は擦で。外面は口縁部は削 り、胴部は削り。	
(79)37	(79)H-8 壺	No2 H-2No10, 壺No10	土師器 壺	①[16, 4]②[19, 4] ④(17, 0)	①砂粒、白色粒、角閃石 ②良好③脚部 ④口縁部から胴部1/3	輪縁み成形。内面は擦で。外面は口縁部削り、 胴部は削り。	
(79)38	(79)H-8 壺	H-2壺No11	直腹器 壺	①[16, 0]②[9, 4] ⑤[5, 3]	①小砂粒、白色粒、 ②良好(焼元)③口縁部 ④口縁部1/3	ロクロ整形。赤切り。内外面は擦で。	
(79)39	(79)H-8 壺	H-2壺No3	直腹器 高台付壺	①[13, 6]②[6, 2] ⑤[5, 1]	①小砂粒、砂粒②良好(焼元) ③赤褐色④底部は平存	ロクロ整形。赤切り。高台貼付。外外面は擦 で。	
(79)40	(79)H-8 壺	H-2壺No1	直腹器 高台付壺	①[13, 6]②[5, 0]	①小砂粒、砂粒②良好(焼化) ③赤褐色④口縁部2/3	ロクロ整形。赤切り。高台貼付(貼付痕のみ)。 外外面は擦で。	
(79)41	(79)H-8 壺	H-2壺No4 H-8-1括	直腹器 高台付壺	①[15, 8]②[7, 7] ④(4, 8)	①小砂粒、白色粒、角閃石②やや不良 (焼元)③火災灰斑④口縁部 1/4	一部焼化している。ロクロ整形。赤切り。高 台貼付(貼付痕あり)。内外面は擦で。	
(79)42	(79)H-8 塵土	一括	直腹器 壺	①[17, 0]②(4, 2)	①砂粒②良好(焼元) ③灰白土1/5	かえりあり。ロクロ整形。外外面は擦で。	
(79)43	(79)H-8 壺	H-2壺No2, 23	直腹器 壺	①[19, 0]②[24, 0] ④(24, 0)	①砂粒、砂粒②良好(焼元) ③明治④口縁部から胴部 1/3	輪縁み成形。内外面擦で。	
(79)44	(79)H-11 床底	No1	直腹器 壺	①[13, 7]②[7, 5] ④[4, 0]	①砂粒、砂粒②良好(焼元) ③灰白土1/4, 底部1/3	ロクロ整形。赤切り。内外面は擦で。	
(79)45	(79)H-12 床底	H-2No10	土師器 壺	①[14, 0]②[4, 8]	①砂粒、白色粒、角閃石 ②良好③口縁部1/2	内面は擦で。外面は口縁部削り、底部は削り。	
(79)46	(79)H-12 塵土	瓶方No1	土師器 壺	①[13, 9]②(4, 1)	①砂粒、白色粒 ②良好③口縁部1/2	内面は擦で。外面は口縁部削り、底部は削り。	
(79)47	(79)H-12 壺	H-23壺No1	土師器 壺	①[19, 6] ⑥[2, 25/35, 4]	①砂粒、砂粒②良好 ③明治④ほぼ完形	輪縁み成形。内面は擦で。外面は口縁部削り、 胴部から下は削り。	
(79)48	(79)H-12 壺	H-23壺No2	直腹器 高台付壺	②[7, 0]④(4, 6)	①砂粒、小砂粒、褐色粒、白色 粒、火災灰や不良(焼元)③灰白土底部1/3	やや焼化や氣味の部分があり。ロクロ整形。赤切 り。高台貼付。内外面は擦で。	
(79)49	(79)H-14 床底	No1	直腹器 高台付壺	①[12, 5]②[7, 5] ②[3, 2]	①砂粒、良好(焼元) ③灰白土1/3	ロクロ整形。赤切り。高台貼付。内外面は擦 で。	
(79)50	(79)H-14 床底	No2	直腹器 高台付壺	①[14, 7]②[6, 8] ③[5, 6]	①砂粒、良好(焼元) ③灰白土1/3	底部内面中央を爆発状に残す。ロクロ整形。赤 切り。高台貼付。外外面は擦で。	
(79)51	(79)H-14 床底	D-45No1	直腹器 高台付壺	①[13, 5]②[6, 9] ③[5, 4]	①砂粒、良好(焼元) ③灰白土1/2	ロクロ整形。赤切り。高台貼付。内外面は擦 で。	
(79)52	(79)H-14 床底	No3, 一括	縫紉陶器 壺	①[11, 22]②[2, 9] ③[7, 0]	①砂粒、石英、砂粒②良好 ③黄土～灰白土1/3	色々な火候がある。口縁部は土締。ロクロ整 形。内外面は擦で。	縫紉
(79)53	(79)H-15 床底	No25	土師器 壺	①[11, 7]④[4, 1]	①砂粒、白色粒②良好 ③砂粒1/5	内面は擦で。外面は口縁部削り、底部は削り。	
(79)54	(79)H-15 床底	No16	土師器 壺	①[12, 2]④[4, 5]	①砂粒、白色粒②良好 ③灰白土1/4	内面は擦で。外面は口縁部削り、底部は削り。	
(79)55	(79)H-15 床底	No13, 14 一括	土師器 壺	①[19, 9]②[4, 8]	①砂粒、白色粒、角閃石 ②良好③口縁部1/3	内面は擦で。外面は口縁部削り、底部は削り。	
(79)56	(79)H-15 塵土	No10	土師器 壺	①[11, 8]②[4, 2]	①砂粒、白色粒 ②良好③口縁部1/3	内面は擦で。外面は口縁部削り、底部は削り。	
(79)57	(79)H-15 塵土	No5	土師器 壺	①[13, 7]②[4, 4]	②良好③口縁部1/5	内面は擦で。外面は口縁部削り、底部は削り。	
(79)58	(79)H-15 塵土	一括	土師器 壺	①[16, 0]②(7, 5)	①砂粒②良好 ③黄土1/6	内面は擦で。外面は口縁部削り、底部は削 り。	
(79)59	(79)H-15 床底	No23	土師器 壺	①[14, 8]②[6, 8]	①砂粒、砂粒、角閃石 ②良好③口縁部1/4	輪縁み成形。内面は擦で。外面は口縁部削り、 胴部は削り。	
(79)60	(79)H-16 床底	No14	土師器 壺	①[12, 7]②[4, 1]	①砂粒、白色粒、角閃石 ②良好③口縁部1/3④底部は削 り	内面は擦で。外面は口縁部削り、底部は削り。	
(79)61	(79)H-16 床底	No8	土師器 壺	①[12, 2]②[3, 7]	①砂粒、白色粒、角閃石 ②良好③口縁部1/3④底部は削 り	黒斑あり。内面は擦で。外面は口縁部削り、 底面は削り。	
(79)62	(79)H-16 床底	No16	土師器 壺	①[21, 8]②[6, 8] ③[21, 4]③[30, 3]	①砂粒、角閃石②良好 ③赤褐色④脚部欠損	輪縁み成形。内面は擦で。外面は口縁部削り、 脚部から下は削り。	
(79)63	(79)H-16 壺	H-31壺No2, 3, 7, 11, 25	土師器 壺	①[21, 6]②[19, 0] ④[25, 0]	①白色粒、砂粒、角閃石 ②良好③口縁部1/3④底部は削 り	輪縁み成形。内面は擦で。外面は口縁部削り、 胴部は削り。	
(79)64	(79)H-16 壺	No8, 16, 17, 27, 28, 29, 30, 32, 33, 36	土師器 壺	①[24, 0]②[21, 5] ④[27, 0]	①砂粒、白色粒、角閃石 ②良好③口縁部1/3	輪縁み成形。内面は擦で。外面は口縁部削り、 胴部は削り。一部押さえ。	
(79)65	(79)H-16 床底	No3	土師器 壺	①[21, 4]②[8, 4] ③[20, 8]③[33, 0]	①小砂粒、砂粒、角閃石②良好 ③明治④脚部欠損	輪縁み成形。内面は擦で。外面は口縁部削り、 胴部より下は削り。	
(79)66	(79)H-16 塵土	No9	直腹器 壺	①[12, 4]②[2, 3]	①砂粒②良好③口縁部1/2	自然転。ロクロ整形。かえり作り出し。つまみ 貼付。内外面は擦で。	

番号	出土遺構 出土位置	台帳番号	器種	法 量	①軽石②焼成 ③色斑④残存	器形の特長、成・整形方法	備考
(79)67	(79)H-16 櫻土	—	瓦胎器 蓋	⑪11.9②2.6	①砂粒、石斑②良好(還元) ③灰④完形	ロクロ整形。つまり貼付。	
(79)68	(79)H-16 櫻土	No.15	瓦胎器 蓋	⑪12.0②3.1	①砂粒、良好(還元) ③灰黄(ほば)完形	ロクロ整形。つまり貼付。	
(79)69	(79)H-16 床底	No.5	瓦胎器 蓋	⑪11.9②4.3.5	①砂粒、白色粘土良好(還元) ③灰白④1/3	上野型有唇型須頬。ロクロ整形。つまり貼付。	
(79)70	(79)H-17 電	No.1, 9, 11	土師器 甕	⑪22.0②[20.8]	①砂粒②良好 ④(9.0)	輪縁み整形。内面は撫で。外面は口縁部から頭部撫で、脚部削り。	
(79)71	(79)H-17 貯糞穴	—	瓦胎器 甕	⑪14.2②6.9	①砂粒、白色粘土良好(還元) ③灰白④2/3	底面部内面に渦巻状削割。外面に円形削割あり。ロクロ整形。系切り。内外面は撫で。	
(79)72	(79)H-17 電	No.3	瓦胎器 甕	⑪17.8②[9.6] ⑪7.3	①砂粒、白色粘土、褐色粘土良好(焼化)③灰白④2/5	ロクロ整形。系切り。高台貼付。外表面は撫で。	
(79)73	(79)H-17 床底	No.11, 31, 32	灰釉陶器 高台付壺	⑪19.4②4.3.5	①砂粒②良好 ③灰白④口縁部1/3	磨毛塗り。ロクロ水焼き整形。外表面は撫で。	
(79)74	(79)H-17 貯糞穴	—	灰釉陶器 長颈壺	⑪15.2②(9.4)	③灰白(剥離)1/2	磨毛塗り。ロクロ水焼き整形。内面は板撫で。外面上下部削り、上部削り。	
(79)75	(79)H-20 電	No.3	土師器 甕	⑪12.0②(3.3)	①砂粒、白色粘土、角閃石 ②良好(明礬物)④1/5	口縁部と底部の間に接合部。内面は撫で。外表面は口縁部削で、底部は削り。	
(79)76	(79)H-20 電	No.1	瓦胎器 甕	⑪13.6②7.2 ⑪3.4	①砂粒、良好(還元) ③灰白④2/3	自然釉。並みが激しい。ロクロ整形。系切り。外表面は撫で。	
(79)77	(79)H-20 電	No.14	瓦胎器 高台付壺	⑪8.4②(4.5)	①砂粒、白色粘土良好(還元) ③灰白④底部2/3	ロクロ整形。系切り。高台貼付。外表面は撫で。	
(79)78	(79)H-20 床底	No.5	灰釉陶器 高台付壺	⑪9.9②4.2 ⑪3.5	②良好 ③灰白④1/3	系切り痕あり。変色不良。外表面削り。内面磨毛塗り。ロクロ水焼き整形。系切り。高台貼付。内面は撫で。外表面は口縁部削り。	
(79)79	(79)H-20 床底	No.8	灰釉陶器 高台付壺	⑪16.0②[6.7] ⑪3.1	②良好 ③灰白④1/3	外表面削り跡。ロクロ水焼き整形。系切り。高台貼付。内面は撫で。外表面は中ほどまで削り。無て。	
(79)80	(79)H-24 床底	H-25No.22	土師器 甕	⑪12.9②[8.4]	①砂粒②良好 ③灰白④燒結1/2	内面は撫で。外表面は口縁部削で、脚部は押さえ、近部は削り。	
(79)81	(79)H-24 櫻土	円土-1No.60, 64, 65, 68, 69, 72, 89, 91	土師器 甕	⑪21.8②[25.4] ⑪24.0	①砂粒、白色粘土、角閃石 ②良好(明礬物)③灰白④口縁部削	輪縁み整形。内面は撫で。外表面は口縁部削で、脚部は削り。頭部に押さえを施す。	
(79)82	(79)H-24 櫻土	H-25No.39	瓦胎器 甕	⑪12.3②6.4 ⑪4.0	①小粒、砂粒②良好(還元) ③灰白(口縁部削)、底部欠損	ロクロ整形。系切り。内面は撫で。	
(79)83	(79)H-24 櫻土	H-25No.29	瓦胎器 甕	⑪13.2②2.7 ⑪3.5	①砂粒、白色粘土 ②良好(還元) ③口縁部削、底部充てん	ロクロ整形。系切り。内面は撫で。	
(79)84	(79)H-24 櫻土	円土-1No.90	瓦胎器 甕	⑪13.2②[5.8] ⑪3.7	①砂粒、白色粘土、角閃石 ②良好(燒結)③灰白④口縁部削	ロクロ整形。系切り。内面は撫で。	
(79)85	(79)H-24 床底	H-25No.12	瓦胎器 高台付壺	⑪18.6②27.8 ⑪3.0	①砂粒、白色粘土、角閃石②中 や不良(還元)③灰白④1/2	ロクロ整形。系切り。高台貼付。外表面は撫で。	
(79)86	(79)H-24 櫻土	H-25No.49	瓦胎器 甕	⑪13.2②7.0 ⑪2.0	①砂粒、白色粘土良好(還元) ③灰白④底部は充てん	ロクロ整形。系切り。高台貼付。外表面は撫で。	
(79)87	(79)H-24 櫻土	H-25No.34	瓦胎器 高台付壺	⑪7.6②(1.5)	①砂粒②良好(燒結) ③灰白④底部充てん	内面磨削りか、抜付状に擦れ。ロクロ整形。系切り。高台貼付。内面は撫で。外表面は高台部撫で。	
(79)88	(79)H-24 櫻土	H-6No.18, 一括	瓦胎器 蓋	⑪16.6②9.2 ⑪5.3	①砂粒、小粒、角閃石②中や 不良(燒結)③灰白④口縁部削	ロクロ整形。系切り。高台貼付。外表面は撫で。	
(79)89	(79)H-24 櫻土	H-6No.20	瓦胎器 高台付壺	⑪14.8②7.1 ⑪5.6	①砂粒、小粒、角閃石②中や 不良(燒結)③灰白④口縁部削 1/2、底部充てん	部分的に還元状態の部分で黒渕がある。ロクロ整形。系切り。高台貼付。内面は撫で。	
(79)90	(79)H-24 櫻土	H-6No.13, 23	瓦胎器 高台付壺	⑪13.5②[5.3]	①粘土充てん、小粒、砂粒②不 良(燒結)③灰白④口縁部削	ロクロ整形。系切り。高台貼付。外表面は撫で。	
(79)91	(79)H-24 電	H-25No.1, 3, 5	瓦胎器 蓋	⑪18.8②[18.6] ⑪7.6	①砂粒、白色粘土、小粒、石英 ②良好(燒結)③灰白 ④口縁部削2/2、底部充てん	ロクロ整形。系切り。高台貼付。外表面は撫で。	
(79)92	(79)H-25 床底	No.37, 38, 50	土師器 甕	⑪21.4②[19.4] ⑪17.0	①砂粒、角閃石②中や 不良(燒結)③灰白④口縁部削 1/2、底部充てん	口縫部外面に輪縁みを残す。輪縁み整形。口縫部は削取りしたものを貼り付。内面は撫で。外表面は口縁部削で、脚部は削り。	
(79)93	(79)H-25 床底	H-26No.7	土師器 甕	⑪22.0②[20.2] ⑪18.0	①砂粒、角閃石②中や 不良(燒結)③灰白④口縁部削 1/2、底部充てん	輪縁み整形。内面は撫で。外表面は口縁部削で、脚部は削り。	
(79)94	(79)H-26 櫻土	—	瓦胎器 甕	⑪13.8②[7.2] ⑪4.0	①砂粒、白色粘土、角閃石 ②良好(燒結)③灰白④口縁部削 1/2、底部充てん	ロクロ整形。系切り。高台貼付。外表面は撫で。	
(79)95	(79)H-26 櫻土	No.3	瓦胎器 高台付壺	⑪14.9②6.8 ⑪5.4	①砂粒、砂粒②中や不良(燒 結)③灰白④口縁部削 1/2、底部充てん	ロクロ整形。系切り。高台貼付。外表面は撫で。	
(79)96	(79)H-27 床底	No.8, 9, 16	土師器 甕	⑪27.3②32.0 ⑪26.8	①砂粒②良好 ③灰白④口縁部削	ロクロ整形。内面は撫で。外表面は削り。	
(79)97	(79)H-30 床底	No.8	土師器 甕	⑪12.8②[4.5]	①白色粘土、角閃石、砂粒 ②良好③灰白④完形	いぶしか、うるしが。内面は撫で。外表面は口縁部削で、底部は削り。	
(79)98	(79)H-30 床底	No.10	土師器 甕	⑪12.0②[3.9]	①砂粒、白色粘土良好 ③砂粒充てん	内面は撫で。外表面は口縁部削で、底部は削り。	
(79)99	(79)H-30 床底	No.9	土師器 甕	⑪1.4②[4.5]	①砂粒、砂粒、角閃石 ②良好③燒結④完形	内面は撫で。外表面は口縁部削で、底部は削り。	
(79)100	(79)H-30 床底	No.11, 12, 13	土師器 甕	⑪12.8②[4.9]	①砂粒、白色粘土 ②良好③烧成④7.8%	内面は撫で。外表面は口縁部削で、底部は削り。	
(79)101	(79)H-30 床底	No.5	土師器 甕	⑪13.8②[3.9]	①砂粒、角閃石②中や 不良(還元)③灰白④口縁部削 1/2、底部充てん	内面は撫で。外表面は口縁部削で、底部は削り。	
(79)102	(79)H-30 櫻土	No.1	土師器 甕	⑪11.9②[4.5]	①砂粒②良好 ②砂粒④1/3	内面は撫で。外表面は口縁部削で、底部は削り。	
(79)103	(79)H-32 床底	H-20No.16	瓦胎器 羽垂	⑪28.4②[10.5]	①小粒、砂粒、角閃石②中や 不良(還元)③灰白④口縁部 1/5	輪縁み整形。ロクロ整形。内面は撫で。	

番号	出土遺構 出土位置	台帳番号	器種	法 量	①軽石・焼成 ②色斑・残存	器形の特長、成・整形方法	備考
(79)104	(79)H-32 床底	H-20鑑85a5	須恵器 羽釜	①[21, 8]④(7, 7)	①砂粒、白色鉢。角閃石②や 不良(還元)③黒褐色④口縁部 1/8	輪模み盤形。ロクロ整形。内外面は削で。	
(79)105	(79)H-32 床底	H-20a17	須恵器 羽釜	①[21, 6]④(5, 2)	①砂粒。白色鉢。角閃石②良 好(還元)③黄褐色④口縁部1/10	輪模み盤形。ロクロ整形。内外面は削で。	
(79)106	(79)H-32 塵土	H-20-15	須恵器 羽釜	①[21, 8]④(5, 6)	①小鏡、砂粒。石英、角閃石 ②良好(還元)③灰白 ④口縁部1/10	輪模み盤形。ロクロ整形。内外面は削で。	
(79)107	(79)H-32 壇	H-20鑑85a2	須恵器 羽釜	①[22, 0]④(5, 6)	①砂粒、角閃石②や不良 (酸化)③淡黄色④口縁部1/3	輪模み盤形。蹲點。ロクロ整形。内外面は削 で。	
(79)108	(79)W-2 塵土	No.17.	須恵器 片	①[12, 8]②7, 3 ③3, 4	①砂粒、白色鉢。角閃石 ②良好(還元)③灰白 ④底部充存	ロクロ整形。系切り。内外面は削で。	
(79)109	(79)W-2 塵土	No.3	灰釉陶器 高台付塊	①[13, 8]②(3, 6)	②良好(還元)③口縁部欠損 ④小鏡、底部充存	刷毛塗り。ロクロ整形。木挽き整形。高台貼 付。内部は削で。外面は口縁部削り。	
(79)110	(79)W-7 塵土	一括	綠釉陶器	②[6, 6]	②良好③オーブ状 ④小鏡、底部1/5	内外面に輪模を施す。みこと底部に陰刻花文を 施す。ロクロ整形。高台貼付。	陰刻 花文
(79)111	(79)円土-1 塵土	一括	土師器 片	①[12, 0]④4, 0	①砂粒、角閃石②良好 ③明褐色④2/3	内部は削で。外面に口縁部削り。底部は削り。	
(79)112	(79)円土-1 塵土	一括	土師器 片	①[11, 5]②6, 7 ③3, 4	①砂粒。白色鉢。角閃石 ②良好(還元)③灰白④1/3	底部は外央が削る。輪模整形。ロクロ整 形。内部は削で。外面は口縫部削り。胸部は削 り、底部は外周を削る。	
(79)113	(79)円土-1 塵土	No.9. 9.-甚	土師器 片	①[11, 7]③3, 0	①砂粒、角閃石②良好 ③砂粒④2/2	内部は削で。外面は口縫部削り。底部は削り。	
(79)114	(79)円土-1 塵土	No.11. 14. 一括	土師器 片	①[11, 7]③3, 3	①砂粒、角閃石②良好 ③砂粒④2/2	内部は削で。外面は口縫部削り。底部は削り。	
(79)115	(79)円土-1 塵土	No.5. 一括	土師器 片	①[16, 9]③3, 6	①砂粒、角閃石②良好 ③砂粒④3/4	内部は削で。外面は口縫部削り。底部は削り。	
(79)116	(79)円土-1 塵土	No.55	土師器 片	①[17, 8]④4, 5	①砂粒、角閃石②良好 ③灰白④2/2	内部は削で。外面は口縫部削り。底部は削り。	
(79)117	(79)円土-1 塵土	No.41	須恵器 片	①[11, 3]③3, 9	①砂粒、白色和②良好(還元) ③部分充存④底部1/3	須恵器片ではないから、底部は削りにより作り 出され、厚手の片である。口縫部か ら内側に斜めに削り、色褪せた部分がある。 外面は口縫部は削る。底部は削り、底部内側に 砂粒のようなものが付着して焼成されている。	
(79)118	(79)円土-1 塵土	H-27a3	須恵器 片	①[15, 5]②[9, 5] ③3, 7	①砂粒。白色和②良好(還元) ③砂粒④底部1/3	自然端。ロクロ整形。端により高台状の棱を 見る。底面は輪模削り。内部は削で。陶瓶底 が付く。	
(79)119	(79)円土-1 塵土	一括	須恵器 高台付塊	①[13, 4]②[7, 2] ③2, 2	①小鏡、砂粒②良好(還元) ③灰白1/3	内部に墨書きのような黒ズミがある。ロクロ整 形。系切り。高台貼付。内部は削で。	
(79)120	(79)円土-1 塵土	H-27a2	須恵器 片	①[19, 0]④(3, 1)	①砂粒。白色和②良好(還元) ③黄褐色1/3	ロクロ整形。かなりつまみ込まれ付。内部は削 り。	
(79)121	(79)円土-1 塵土	No.20. 一括	須恵器 片	①[17, 0]④(3, 7)	①小鏡②良好(還元) ③灰白④1/3	かなりつまみ、端つまみ少々ちぎ付。ロクロ整 形。内部は削で。	
(79)122	(79)円土-10 塵土	No.1	須恵器 高台付塊	①[13, 8]②6, 7 ③6, 6	①砂粒、小鏡②良好(いぶし) ③灰白④充形	底部内部は削りで。ロクロ整形。底面は削 り。高台貼付。底面あり。内外面は削で。	
(79)123	(79)調査区北 東 墓	一括	灰釉陶器 高台付塊	①[14, 7]②4, 9 ④4, 9	②良好③秋田④底部3/4	色よくない。煮豆焼きの跡があり。縦毛削 り。ロクロ水挽き整形。内部は削で。外面は下 方回転削り。上方削り。	
(79)124	(79)調査区北 東 墓	一括	灰釉陶器 高台付塊	②6, 7③(3, 5)	②良好③灰白④底部1/2	重ね焼きと重複する。崩毛削り。ロクロ水挽き整 形。表面は輪模削り。高台貼付。内部は削で。	
(79)125	(79)調査区北 西 墓	一括	綠釉陶器	②[6, 5]	②良好③灰白	みこと底部に輪模を施す。みこと底部に陰刻花文 を施す。ロクロ整形。高台貼付。	阴刻 花文
(79)126	(79)調査区C 塵土	一括	綠釉陶器	①[11, 4]④(3, 1)	②良好③オーブリーフ ④口縁部1/2	内外面全面に輪模を施す。みこと縁部に陰刻 花文を施す。ロクロ整形。	阴刻 花文
(80)1	(80)H-1 塵土	No.20. 一括	土師器 片	①[20, 0]④(11, 0)	①細粒②良好 ③砂粒④口縁部1/2	外部は輪模削り。胸部削り。内部は口縫部削 り。	
(80)2	(80)H-1 塵土	No.25	須恵器 片	①[12, 2]②7, 4 ③3, 4	①砂粒②良好(還元) ③灰白1/3	ロクロ整形。回転糸切り。	
(80)3	(80)H-1 塵土	No.8	須恵器 高台付塊	①[16, 2]②10, 8 ③6, 4	①砂粒②良好(還元) ③灰白1/2	ロクロ整形。揚起こし。高台貼付。	
(80)4	(80)H-2 塵土	一括	須恵器 片	①[14, 4]②[8, 2] ③3, 3	①砂粒②良好(還元) ③灰白④口縁部～底部	ロクロ整形。手縫と崩毛。	
(80)5	(80)H-4 塵土	No.12	土師器 片	①[11, 8]④(3, 0)	①細粒②良好 ③砂粒④2/2	丸底。外面は口縫部削り。体部削り。内部は 口縫部削りで。体部削り。内部は	
(80)6	(80)H-5 塵土	No.5. 一括	土師器 片	①[12, 6]④(4, 0)	①細粒②良好 ③砂粒④2/2	丸底。外面は口縫部削り。体部削り。内部は 口縫部削りで。体部削り。	
(80)7	(80)H-5 塵土	No.1. 6	須恵器 片	①[18, 0]④(2, 5)	①砂粒②良好(還元) ③灰白④底部	ロクロ整形。内外面ロクロ削。かえりあり。	
(80)8	(80)表塚	一括	須恵器 羽釜	①[17, 0]④(8, 9)	①砂粒②良好(還元) ③灰白④口縁部～胸部	ロクロ整形。胸部削位の削り。	
(80)9	(80)調査区C	一括	須恵器 片	①[16, 0]④(6, 6) ③3, 4	①砂粒②良好(還元) ③灰白④底部	ロクロ整形。回転ヘラ削り。	
(93)1	(93)W-2 塵土	No.1	吹質陶器 内耳壺	①[30, 0]④(11, 0)	①中和②良好 ③黄褐色④破片	内外面ロクロ削。外面に底部削る。	
(93)2	(93)W-2 塵土	No.13	磁器 壺	幅(3.5)長さ(3.5)	①細粒②良好 ④破片		
(93)3	(93)W-4 塵土	一括	陶器 壺	幅(6.6)長さ(4.4) 厚さ1.3	①中和②良好 ③にい帝宝④口縫		常滑
(93)4	(93)W-5 塵土	No.5	須恵器 片	①[10, 0]④(5, 4) ②2.5	①細粒②良好(酸化) ③にい帝宝④口縫	ロクロ整形。回転糸切り。	
(94)1	(94)X212T244	一括	陶器	幅(5.4)長さ(5.8) 厚さ1.0	①中和②良好 ③にい帝宝④口縫		常滑

Tab. 8 石器・石製品観察表

番号	出土遺構 出土位置	台帳番号	器種	法 量	器形の特長、石材、遺存度	備考
(74) 石1	(74) I-1 櫻土	—括	砾石	幅(3.8)長さ(4.8) 厚さ(2.0)重さ(62.0)	4面使用。両端部欠損。	
(78) 石1	(78) II-6 床底	No.40	砾石	幅2.7長さ10.9 厚さ2.8重さ132	4面使用。縦灰岩。	
(78) 石2	(78) II-7 櫻土	No.17	砾石	幅5.6長さ(7.5) 厚さ3.3重さ157	4面使用。縦灰岩。	
(79) 石1	(79) II-1 櫻土	No.8	石 うず玉	幅1.2長さ3.3 重さ0.79孔径0.3	滑石。	
(79) 石2	(79) II-1 櫻土	振り方No.9	砾石	幅(7.0)長さ(6.3) 厚さ(2.8)重さ(212)		
(79) 石3	(79) II-7 床底	No.38	砾石	幅(5.8)長さ(10.0) 厚さ(5.1)重さ(455)		
(79) 石4	(79) II-16 床底	No.21	砾石	幅(5.9)長さ(10.4) 厚さ(5.0)重さ(403)		
(79) 石5	(79) II-24 櫻土	H-6Na.44	基石か	幅1.8厚さ0.6 重さ53	チケットか。	
(79) 石6	(79) II-24 櫻土	H-6Na.25	砾石	幅(1.2)長さ(4.7) 厚さ(0.8)重さ59.44FL径0.7		
(79) 石7	(79) II-6 櫻土	No.1	基石か	幅1.7厚さ0.6 厚さ1.2重さ9.86	蛇紋岩。	
(79) 石8	(79) 円土-1 櫻土	No.38	石製品	長さ4.4幅23.7 厚さ13.8重さ6209	安山岩。	
(93) 石1	(93) D-3 櫻土	—括	石製品 鍬形か	幅3.6長さ3.9 厚さ0.6重さ26.92	粘板岩か。	
(93) 石2	(93) D-3 櫻土	—括	石製品 鍬形か	幅3.3長さ4.0 厚さ0.5重さ14.52	粘板岩か。	

Tab. 9 金属器・金属製品観察表

番号	出土遺構 出土位置	台帳番号	器種	法 量	遺存度	備考
(75) 鋼1	(75) D-3 櫻土	—括	鉄製品 鍬か	幅(2.6)長さ(4.5) 厚さ(0.4)重さ(7.34)	破片。	
(75) 鋼2	(75) D-7 櫻土	No.1	鉄製品 刀子	幅(1.1)長さ(5.1) 厚さ(0.4)重さ(3.39)	破片。	
(76) 鋼1	(76) II-1 櫻土	No.28	鉄製品 刀子	幅(1.4)長さ(9.8) 厚さ(0.4)重さ(13.04)	先端部欠損。	
(76) 鋼2	(76) II-1 櫻土	No.1	鉄製品	幅(2.3)長さ(4.8) 厚さ(0.3)重さ(6.83)	刃物の先端部分。	
(78) 鋼1	(78) II-9 床底	No.1	鉄製品 釘	幅(1.1)長さ(7.2) 厚さ(0.7)重さ(11.67)	一部欠損。	
(78) 鋼2	(78) II-10 床底	No.1	鉄製品 釘	幅0.9厚さ1.1 厚さ0.7重さ14.04	完形。	
(78) 鋼3	(78) II-10 床底	No.2	鉄製品 釘	幅(1.0)長さ(6.3) 厚さ(1.0)重さ(9.44)	一部欠損。	
(78) 鋼4	(78) II-11 櫻土	No.1	鉄製品 釘	幅(1.3)長さ(7.0) 厚さ(0.9)重さ(19.75)	一部欠損。	
(78) 鋼5	(78) II-15 櫻土	No.1	鉄製品 釘	幅(1.0)長さ(7.1) 厚さ(0.6)重さ(16.20)	一部欠損。	
(78) 鋼6	(78) II-15 櫻土	—括	鉄製品 不明	幅(2.5)長さ(4.3) 厚さ(0.8)重さ(17.37)	破片。	
(78) 鋼7	(78) II-15 櫻土	P-1—括	鉄製品 釘	幅(0.7)長さ(4.7) 厚さ(0.3)重さ(4.62)	一部欠損。	
(78) 鋼8	(78) II-18 床底	No.1	鉄製品 釘	幅(1.1)長さ(5.4) 厚さ(0.8)重さ(14.16)	破片。	
(78) 鋼9	(78) II-40 櫻土	No.1	鉄製品 鍬か	幅3.8長さ21.3 厚さ1.1重さ(125.82)	柄の部分が歯骨。ほぼ完形。	
(79) 鋼1	(79) II-1 櫻土	—括	鉄製品 釘	幅1.0長さ7.5 厚さ0.8重さ19.92	完形。	
(79) 鋼2	(79) II-3 床底	No.8	鉄製品	幅(1.0)長さ(10.8) 厚さ(1.1)重さ(14.59)	一部欠損。	
(79) 鋼3	(79) II-4 櫻土	No.6	鉄製品 釘	幅(0.7)長さ(4.9) 厚さ(0.3)重さ(9.15)	一部欠損。	
(79) 鋼4	(79) II-4 床底	No.13	鉄製品 釘	幅(2.0)長さ(6.0) 厚さ(1.2)重さ(8.18)	端部欠損。	
(79) 鋼5	(79) II-4 櫻土	No.22	鉄製品 釘	幅1.3長さ8.0 厚さ0.9重さ10.87	完形。	
(79) 鋼6	(79) II-4 櫻土	No.50	鉄製品 釘	幅(1.0)長さ(4.6) 厚さ(0.7)重さ(5.58)	破片。	
(79) 鋼7	(79) II-4 床底	No.56	鉄製品 刀子	幅(1.5)長さ(17.9) 厚さ(0.9)重さ(8.82)	一部欠損。	
(79) 鋼8	(79) II-5 櫻土	調査No.6	鉄製品 刀子	幅(1.3)長さ(13.6) 厚さ(0.6)重さ(22.36)	一部欠損。	
(79) 鋼9	(79) II-5 櫻土	No.4	鉄製品 棒状	幅(0.7)長さ(9.4) 厚さ(0.6)重さ(14.02)	破片。	
(79) 鋼10	(79) II-5 櫻土	—括	鉄製品 釘か	幅(0.6)長さ(3.9) 厚さ(0.6)重さ(2.97)	破片。	
(79) 鋼11	(79) II-7 櫻土	—括	鉄製品	幅(3.0)長さ(11.8) 厚さ(1.0)重さ(29.65)	一部欠損。	

番号	出土遺構 出土位置	古軒番号	器種	法 量	遺存度	備考
(79)鉄12	(79)H-7 櫻土	一括	鉄鑓	幅(4.5)長さ(10.8) 厚さ(0.7)重さ(29.96)	一部欠損。	
(79)鉄13	(79)H-7 床底	No.28	鉄鑓	幅(3.0)長さ(7.9) 厚さ(0.8)重さ(23.39)	一部欠損。	
(79)鉄14	(79)H-24 櫻土	H-25No.43	鉄製品 釘	幅(1.2)長さ(7.4) 厚さ(0.9)重さ(0.04)	端部欠損。	
(79)鉄15	(79)H-24 櫻土	H-6No.4	鉄製品 刀子	幅(1.9)重さ(3.3) 厚さ(0.6)重さ(7.11)	完形。	
(79)鉄16	(79)H-25 床底	No.30	鉄製品 釘	幅(1.5)長さ(3.8) 厚さ(0.4)重さ(2.81)	破片。	
(79)鉄17	(79)D-10 床底	No.3	鉄製品 釘	幅(0.8)重さ(0.9) 厚さ(0.5)重さ(12.44)	本質付着。結晶化。完形。	
(79)鉄18	(79) 調査区北 東 櫻土	一括	鉄製品 釘	幅(1.5)長さ(8.8) 厚さ(1.0)重さ(23.21)	完形。	
(79)鋼19	(79) 調査区 櫻土	一括	鋼製品	幅(2.0)長さ(1.9) 厚さ(0.1)重さ(0.26)	破片。	

Tab. 10 土製品観察表

注釈は①口径②底径③最大厚さ④高さを表す。単位はcmである。また（ ）は現存値、〔 〕は推定値を表す。

番号	出土遺構 出土位置	古軒番号	器種	法 量	①軸・空筒成 ②色調③現存	器形の特長、成・整形方法	備考
(75)土1	(75)H-2 櫻土	No.2	円筒埴輪	②[(12.5)×(14.0)] 〔(8.5)	①細部②良好 ③明半周の破片	外面はハケ目。内面は撚で。	
(78)土1	(78)H-15 床底 H-16No.16 W-2-括、D-7No.1	一括	円筒埴輪	②[(13.6)×(16.2)] 〔(15.3)	①粗部②良好 ③吸水性良好 部	外面はハケ目。凸面貼付後擦で。内面はハケ目。撚で。	
(79)土1	(79)D-11 櫻土	No.3	羽口	長さ(6.9)幅(5.2) 厚さ(2.6)	①白色細部②良好 〔底	斜めに送り出す羽口の細部端部で鉄分付着。表面は滑らかで。内面は桜色を呈する。	
(93)土1	(93)D-2 櫻土	一括	羽口	長さ(6.6)幅(5.8) 厚さ(3.9)	①中部②良好 ②外面明顯部、外面部	鉄分付着。	

Tab. 11 瓦観察表

幅・長さ・厚さの単位はcmである。（ ）は現存値、〔 〕は推定値を表す。

番号	出土遺構 出土位置	古軒番号	器種	法 量	①軸・空筒成 ②色調③現存	器形の特長、成・整形方法	備考
(75)JL1	(75)H-2 電	電No.9, 13, 15, 18	平瓦	幅(14.3)長さ (17.1)厚さ1.9	①細部②良好 ③凹面部、凸面部黄褐色破片	柄巻つくり。凹面に布目。背面骨張りあり。凸面側で。叩き目あり。側面面取り25%。	
(75)JL2	(75)H-2 電	電No.5	平瓦	幅(14.0)長さ(16.9) 厚さ(2.6)	①細部②良好 ③凹面部、凸面部黄褐色破片	柄巻作り。凹面に布目。背面骨張りあり。凸面側で。叩き目あり。側面面取り25%。	
(79)JL1	(79)H-7 櫻土	一括	平瓦	幅(8.0)長さ(9.5)厚 さ(2.0)	①砂粒、白色細、石英良好 〔陶化〕に沿う柄③破片	「人」「人」「人」の列書きを施す。2分割形刻書	
(79)JL2	(79)H-8 電	H-2電No.21	平瓦	幅(12.5)長さ(14.5) 厚さ(2.6)	①砂粒、白色細、凹面骨張り良好 〔陶化〕③吸水性良好 〔陶化〕③吸水性良好 〔陶化〕破片	「山田」の列書きと、凸にあります。柄巻きか。凹面は和田筋で、側面は布目で消す。	
(79)JL3	(79)H-24 床底	H-25電No.18 円土-No.63, 62	平瓦	幅[28.5]長さ40.0 厚 さ2.0	①白色多量、砂粒②良好 〔陶化〕に沿う柄③破片⑩/10	一枚敷形。凹面は整形時の和田筋模様。指摺で部分的に残る。凸面は板叩き後、斜子目叩きを2ヶ所行う。	
(79)JL4	(79)H-25 床底	円土-No.75, 87	平瓦	幅22.5長さ(14.6)厚 さ(1.3)	①白色多量、砂粒②良好 〔陶化〕③吸水性良好 〔陶化〕破片	柄巻きか。凹面は整形時の和田筋模様。小さめ。押さえ残す。凸面は板叩き後、斜子叩きを行つ。	
(79)JL5	(79)H-2 櫻土	No.26	丸瓦	幅(6.3)長さ(10.9) 厚さ(2.6)	①白色細良好(蓮運) 〔底〕吸水性良好 〔底〕吸水性良好 〔底〕破片	真当部貼付痕を有する。	
(79)JL6	(79) 調査区 櫻土	一括	平瓦	幅(9.5)長さ(6.0)厚 さ(2.2)	①砂粒、白色細、小窓②やや 〔底〕不良(陶化)③吸水性良好 〔底〕吸水性良好 〔底〕破片	柄巻きか。凹面は整形時の和田筋模様。小さめ。押さえ残す。凸面は板叩き後、斜子叩きを行つ。	
(93)JL1	(93)H-2 櫻土	一括	平瓦	幅(13.5)長さ(11.0) 厚さ(2.2)	①細部②良好 〔底〕吸水性良好 〔底〕吸水性良好 〔底〕破片	柄巻作り。凹面に布目。凸面側で。刻書「中」。側面面取り25%。	
(93)JL2	(93)H-5 櫻土	No.10, 12	平瓦	幅(13.5)長さ(15.8) 厚さ(2.3)	①細部②不良 〔底〕吸水性良好 〔底〕吸水性良好 〔底〕破片	凹面に布目。凸面側で。側面面取り25%。	

Tab. 12 古鉢観察表

直徑の単位はcmで、重さの単位はgである。（ ）は現存値、〔 〕は推定値を表す。

番号	出土遺構 出土位置	古軒番号	器種	法 量	器形の特長、成・整形方法	備考
(94)鉄1	(94)X218Y244 櫻土	一括	古鉢	直径2.8重さ5.24	寛永通宝。新寛永。	
(94)鉄2	(94)X218Y244 櫻土	一括	古鉢	直径2.8重さ4.98	寛永通宝。新寛永。	
(94)鉄3	(94)X218Y244 櫻土	一括	古鉢	直径2.3重さ2.49	不明。	

出土位置は床直(床面より10cm以内の層位から出土)と、櫻土(床面から10cmを相える層位から出土)の2段階に分けた。罐内の出土に付いては「電」。鉢蓋穴内は「鉢蓋」とした。

古軒番号は調査時の付番で、遺物の注記番号と一致する。

施土は細粒(0.5mm以下)、中粒(1.0~1.9mm)、粗粒(2mm以上)とし、特徴的な粘土が入る場合には粘土名等を記載した。

焼成は、良好、不良の2段階とし、須恵器については酸化(酸化焰)、還元(還元焰)の別を示した。

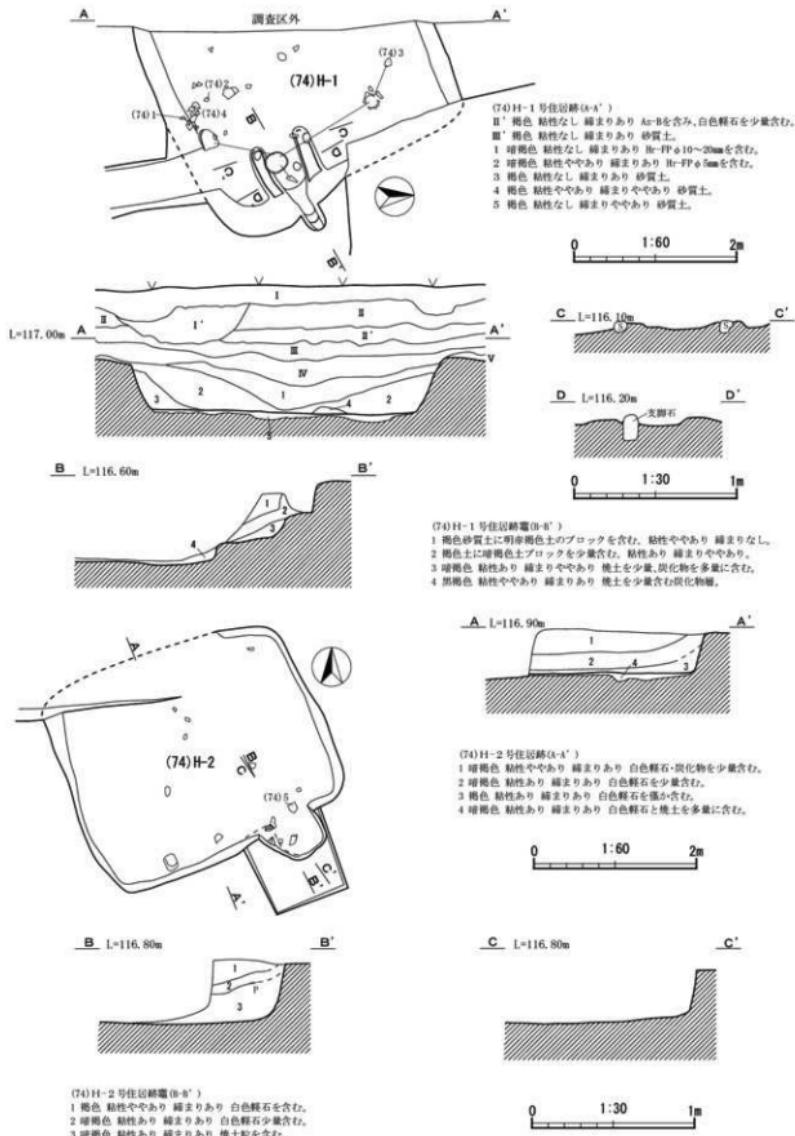


Fig. 13 (74) H-1 + 2

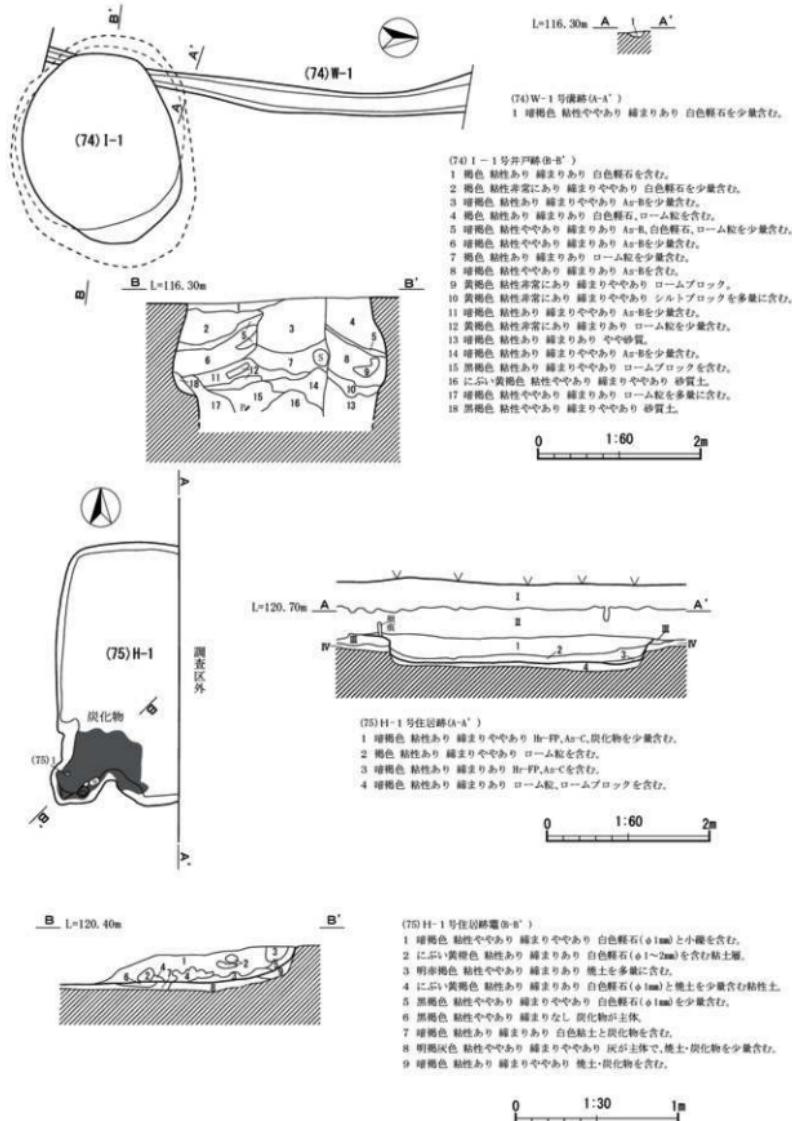


Fig. 14 (74) I-1・W-1, (75) H-1

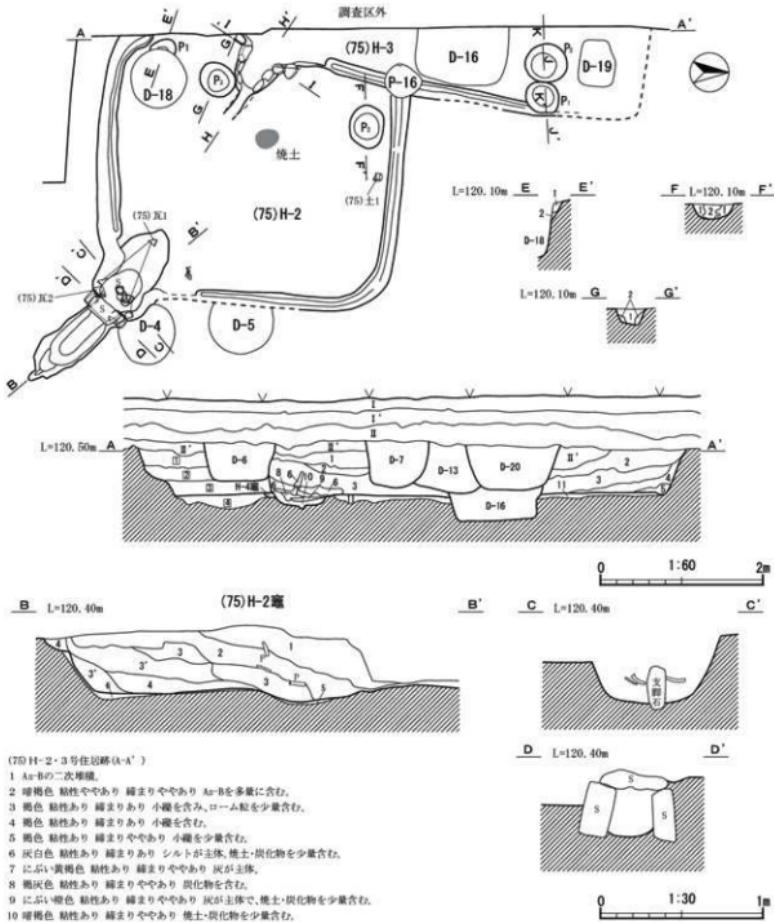
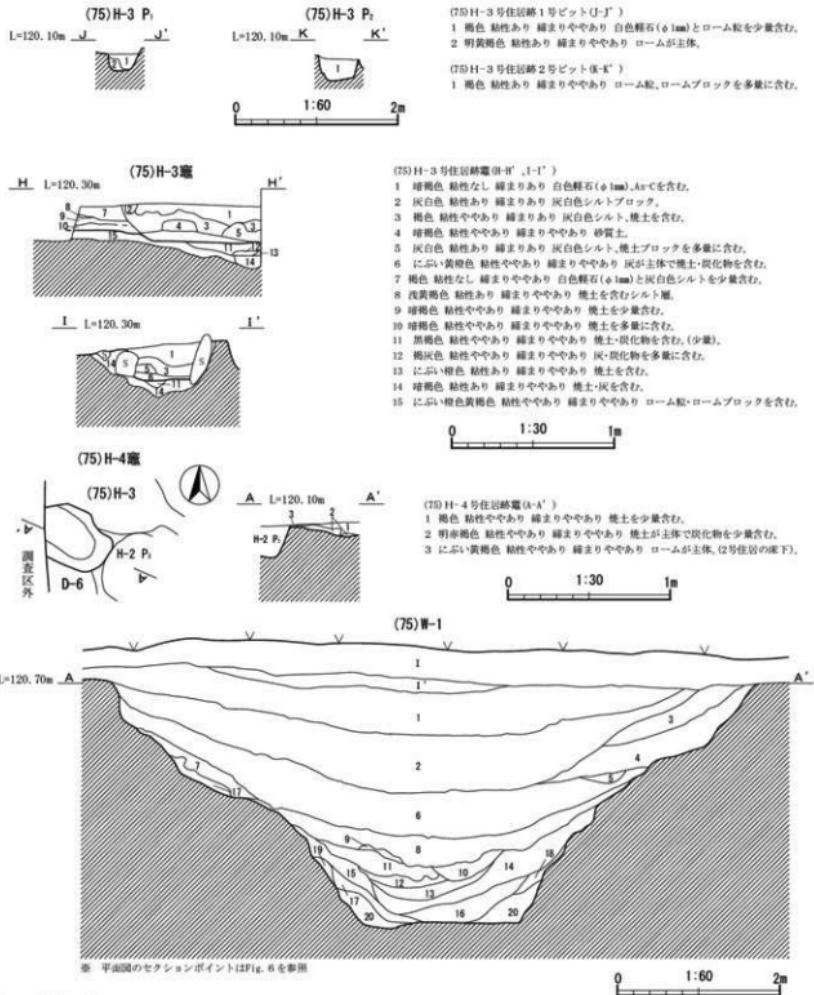


Fig. 15 (75) H-2



- (75) W-1 号溝跡 (A-A')**
- 1 橙色、粘性やややあり 繼まりあり As-Bを多量に含み、白色軽石(φ 1mm)を含む。
 - 2 橙色、粘性やややあり 繼まりあり As-Bを多量に含み、白色軽石(φ 1mm)を含む。
 - 3 増褐色、粘性やややあり 繼まりあり As-Bを含み、明黄色軽石砂ブロックを多量に含む。
 - 4 増褐色、粘性やややあり 繼まりややややあり As-Bを含み、明黄色軽石砂ブロック、小繊を少量含む。
 - 5 増褐色、粘性やややあり 繼まりあり As-Bを含む。
 - 6 増褐色、粘性あり 繼まりあり As-B、白色軽石(φ 1mm)を含む。
 - 7 増褐色、粘性やややあり 繼まりあり As-B、白色軽石(φ 1mm)を含む。
 - 8 黑褐色、粘性やややあり 繼まりあり As-C, Be-FPを含み、部分的に砂質アリバを含む。
 - 9 黄褐色、粘性なし 繼まりあり 明黄色軽石砂質土を多量に含む。
 - 10 増褐色、粘性やややあり 繼まりあり にぶい黄褐色軽石質土を僅かに含む。
 - 11 橙色、粘性やややややややあり 繼まりあり 白色軽石(φ 1mm)を含み、褐色砂質土を多量に含む。
 - 12 橙色、粘性やややややややあり にぶい黄褐色砂質土を多量に含む。
 - 13 増褐色、粘性なし 繼まりやややややややあり にぶい黄褐色砂質土を少量含む。
 - 14 増褐色、粘性あり 繼まりあり 灰白色シルト、にぶい黄褐色砂質土を含む。
 - 15 にぶい黄褐色、粘性やややややややあり 灰白色シルトブロックを含む。
 - 16 増褐色、粘性なし 繼まりやややややややあり にぶい黄褐色砂岩質ブロック、砂粒を多量に含む。
 - 17 にぶい黄褐色、粘性やややややややあり 繼まりやややややややあり 灰白色シルトをブロック状に含む。
 - 18 黑褐色、粘性なし 繼まりやややややややあり シルト。
 - 19 にぶい黄褐色、粘性やややややややあり 繼まりあり シルトと明黄色軽石砂の混土層。
 - 20 黑褐色、粘性あり 繼まりあり シルトが主体で底に褐色のシルト。

Fig. 16 (75) H-3・4、W-1

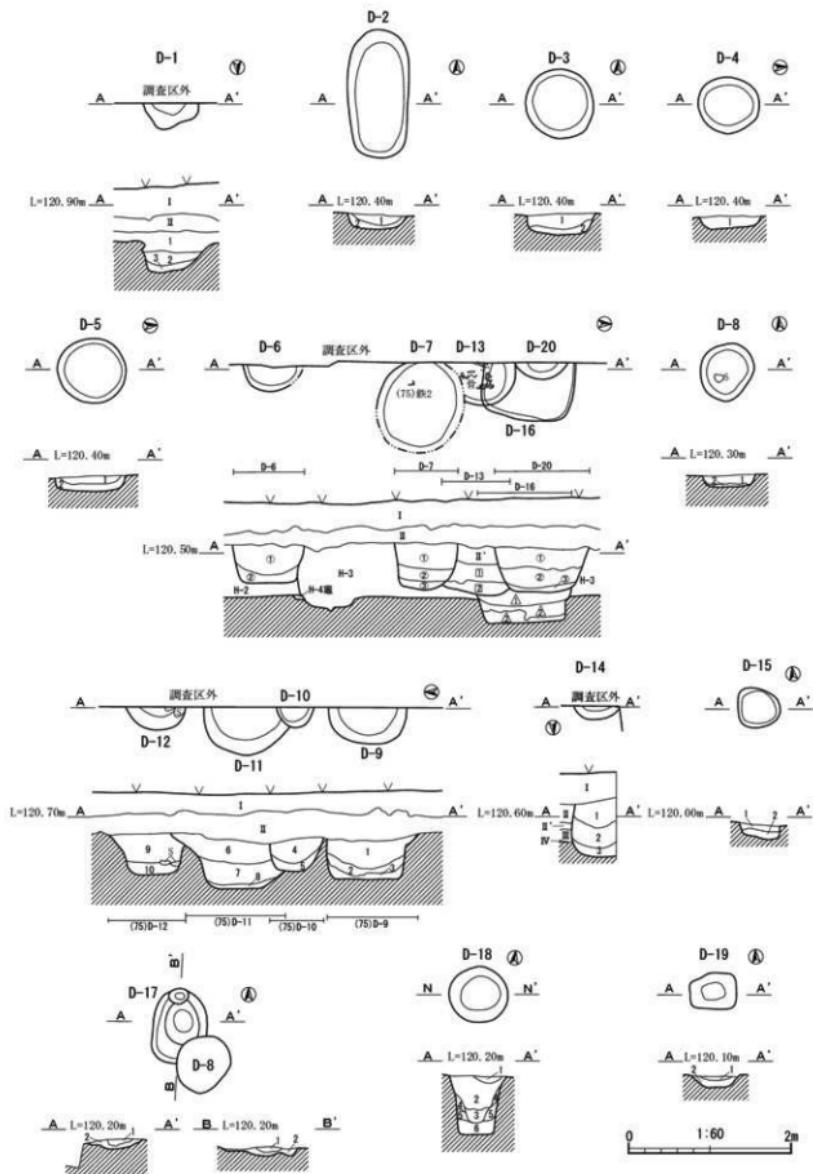


Fig. 17 (75) 土坑群

- (75) D-1 号土坑
 1 棕色 粘性なし 繼まりあり A_n-Bを多量に含む。
 2 棕色 粘性ややあり 繼まりあり A_n-Bを多量に含み、ローム粘を含む。
 3 棕色 粘性ややあり 繼まりややあり A_n-Bを含む。
- (75) D-2 号土坑
 1 黒褐色 粘性なし 繼まりややあり A_n-Bを多量に含み、炭化物を少量含む。
 2 墓褐色 粘性やややあり 繼まりやややあり A_n-Bを含む。
- (75) D-3 号土坑
 1 黑褐色 粘性なし 繼まりややあり A_n-Bを多量に含む。
 2 墓褐色 粘性やややあり 繼まりやややあり A_n-Bを含む。
- (75) D-4 号土坑
 1 黑褐色 粘性なし 繼まりややあり A_n-Bを多量に含む。
- (75) D-5 号土坑
 1 黑褐色 粘性なし 繼まりややあり A_n-Bを多量に含む。
 2 墓褐色 粘性ややあり 繼まりややあり A_n-Bを含む。
- (75) D-6 号土坑
 ① 棕褐色 粘性なし 繼まりあり A_n-Bを多量に含み、小纏を少量含む。
 ② 墓褐色 粘性なし 繼まりやややあり A_n-Bを多量に含み、ローム粘・小纏を少量含む。
- (75) D-7 号土坑
 ① 棕褐色 粘性なし 繼まりややあり A_n-Bを多量に含む。
 ② 墓褐色 粘性なし 繼まりややあり A_n-Bを少量含む。
 ③ 墓褐色 粘性やややあり 繼まりやややあり A_n-Bを含む。
- (75) D-8 号土坑
 1 墓褐色 粘性なし 繼まりやややあり A_n-Bを多量に含み、炭化物を少量含む。
 2 墓褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-B、ローム粘を含む。
- (75) D-9 号土坑
 1 墓褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-B、小纏を含む。
 2 墓褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-B、ローム粘を含む。
 3 墓褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-B、ローム粘・小纏を含む。
 4 墓褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-Bを含み、小纏を少量含む。
 5 墓褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-Bを含む。
 6 墓褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-B、小纏を含む。
 7 墓褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-Bを含む。
 8 墓褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-B、ローム粘を含む。
 9 墓褐色 粘性なし 繼まりやや A_n-Bを含む。
 10 墓褐色 粘性なし 繼まりやや A_n-B、ローム粘を含む。
- (75) D-10号土坑
 1 棕褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-B、小纏を含む。
 2 墓褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-B、ローム粘を含む。
 3 墓褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-B、ローム粘・小纏を含む。
 4 墓褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-Bを含む。
 5 墓褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-B、ローム粘・ロームブロックを含む。
 6 墓褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-Bを含む。
- (75) D-11号土坑
 1 棕褐色 粘性なし 繼まりあり A_n-Bを多量に含み、炭化物を少量含む。
 2 墓褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-B、小纏を含む。
- (75) D-12号土坑
 1 棕褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-Bを多量に含む。
- (75) D-13号土坑
 1 棕褐色 粘性なし 繼まりあり A_n-Bを多量に含み、炭化物を少量含む。
 2 墓褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-B、小纏を含む。
- (75) D-14号土坑
 1 棕褐色 粘性なし 繼まりあり A_n-Bを多量に含み、ローム粘を含む。
 2 墓褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-B、小纏を含む。
- (75) D-15号土坑
 1 棕褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-B、小纏を含む。
 2 黄褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-Bを含む。
- (75) D-16号土坑
 1 棕褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-B、小纏を含む。
 2 黄褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-B、ローム粘を含む。下位に炭化物出土。
 3 黄褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-Bを含む。
- (75) D-17号土坑
 1 棕褐色 粘性なし 繼まりあり A_n-B、小纏を含む。
 2 墓褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-B、小纏を含む。
- (75) D-18号土坑
 1 墓褐色 粘性やややあり 繼まりあり A_n-C、H-F-Pを含む。
 2 墓褐色 粘性あり 繼まりややや A_n-Bを少量含む。
 3 墓褐色 粘性あり 繼まりややや A_n-Bを含む。
 4 墓褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-Bを含む。
 5 墓褐色 粘性あり 繼まりややや A_n-B、ローム粘・ロームブロックを含む。
 6 墓褐色 粘性ややや A_n-Bを含む。
- (75) D-19号土坑
 1 墓褐色 粘性やややあり 繼まりややや A_n-Bを含む。
 2 墓褐色 粘性ややや A_n-B、ローム粘・ロームブロックを含む。
- (75) D-20号土坑
 ① 墓褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-Bを多量に含む。
 ② 墓褐色 粘性やややあり 繼まりやや A_n-Bを多量に含み、ローム粘を含む。
 ③ 墓褐色 粘性なし 繼まりやや A_n-Bの二次堆積。

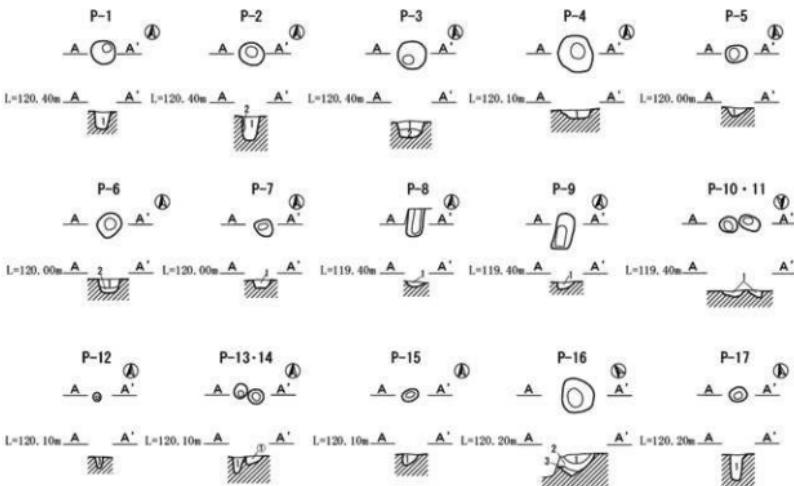
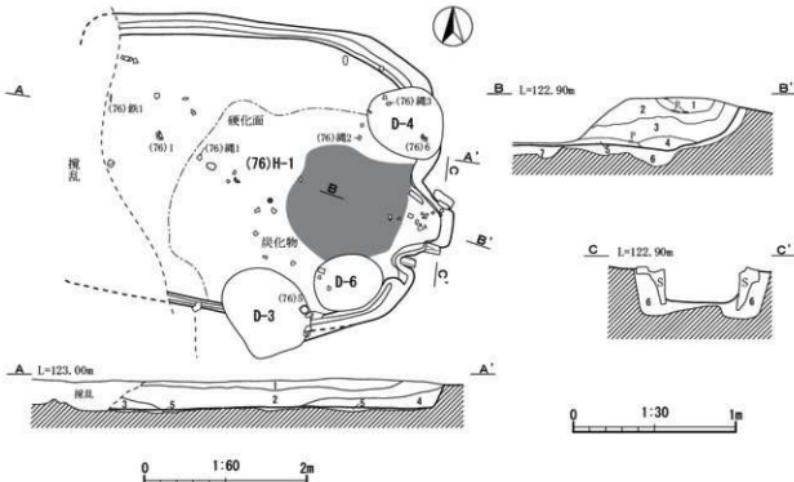
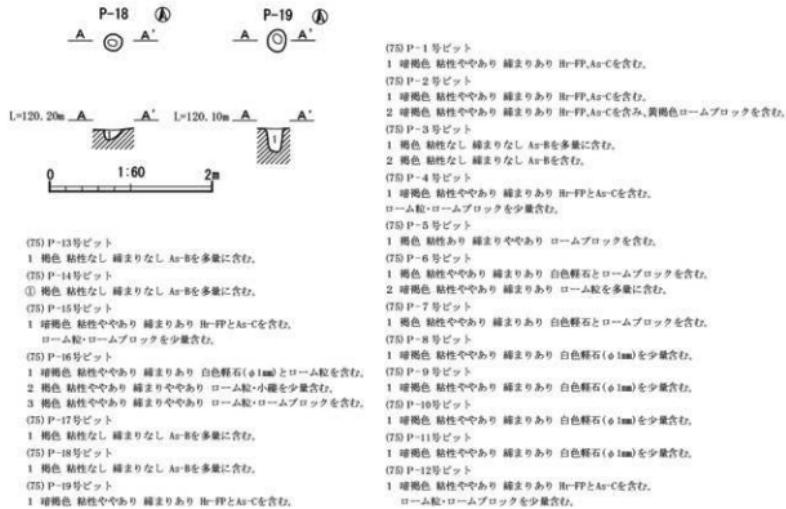


Fig. 18 (75) 土坑群、ピット群



- (76) H-1号住居跡 (B-B')**
- 1 墓園色 粘性ややあり 線まりあり 塘土を多量に含み、土器片を含む。
 - 2 黄褐色 粘性ややあり 線まりあり 塘土、白色軽石を含む。
 - 3 黑褐色 粘性あり 線まりややあり 白色軽石を含む。
 - 4 墓園色 粘性あり 線まりあり 塘化物を少量含む。
 - 5 墓園色 粘性ややあり 線まりあり 塘化物を含む。
 - 6 黄褐色 粘性ややあり 線まりややあり 塼土・塘化物を含む。
 - 7 墓園色 粘性あり 線まりあり 白色軽石(φ 1mm)を少量含む。

Fig. 19 (75) ビット群、(76) H-1

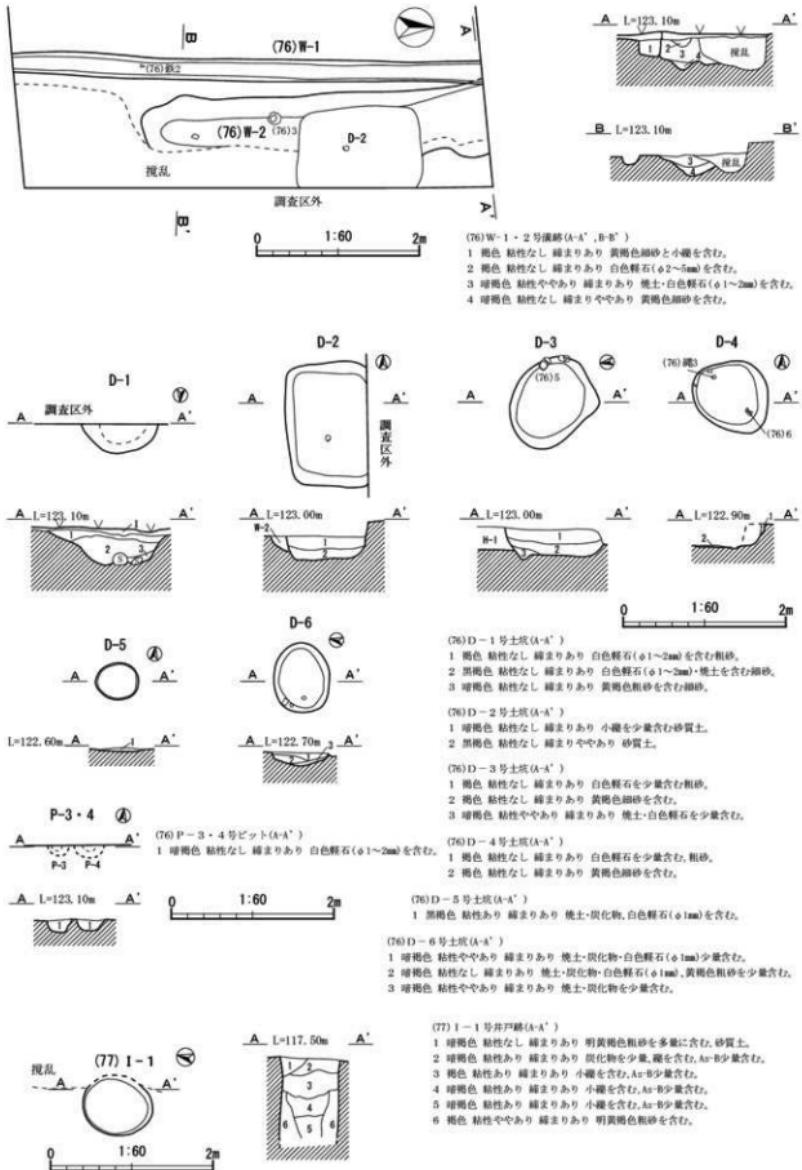


Fig. 20 (76)W-1 • 2、土坑群、ピット群 (77)I-1

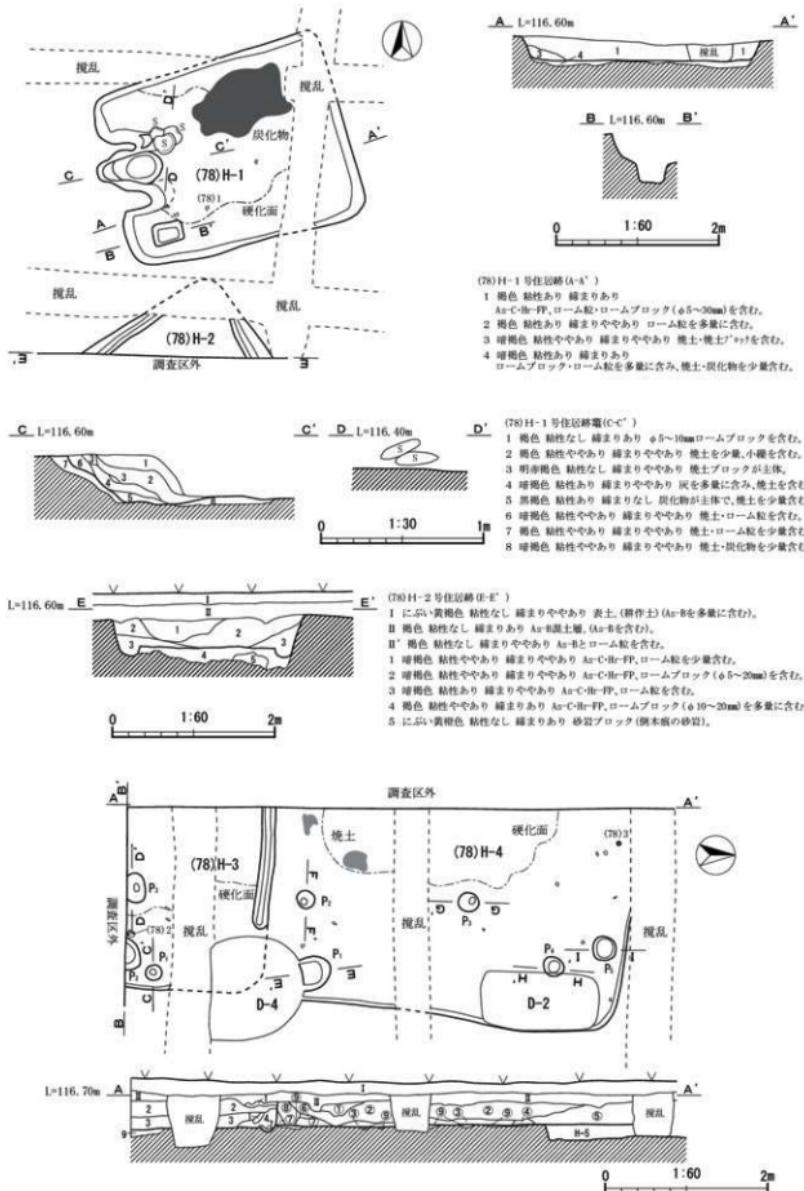
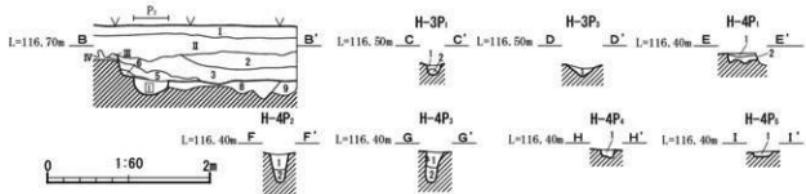


Fig. 21 (78) H-1 ~ 4



(78) H-3 ~ 4号住居跡(A-A', B-B')

- 1 黒色 粘性ややあり 線まりなし As-B, 固化物を少量含む。
- 2 褐色 粘性ややあり 線まりややあり As-B, 白色軽石, 小礫を含む。
- 3 褐色 粘性ややあり 線まりややあり 白色軽石, ローム粒, 小礫を含む。
- 4 褐色 粘性ややあり 線まりややあり ロームブロック(φ30~50mm), ローム粒を多量に含む。
- 5 褐色 粘性ややあり 線まりややあり 砂質アソブ(φ10~50mm)を多量に含む。(木根木の土)。
- 6 墓場地 粘性あり 線まりあり ローム粒を多量に含む。
- 7 褐色 粘性あり 線まりややあり ローム粒を多量に含む。
- 8 墓場地 粘性あり 線まりあり ローム粒を含む。
- 9 褐色 粘性あり 線まりあり ロームブロックを多量に含む。
- 【】 墓場地 粘性ややあり 線まりやややあり 地下・固化物・灰を含む。(P2)
- ① 褐色 粘性やややあり 線まりやややあり As-B, ローム粒を少量含む。
- ② 褐色 粘性なし 線まりややややあり 白色軽石, ローム粒, 小礫を少量含む。
- ③ 褐色 粘性やややややあり 線まりやややややあり ローム粒, 小礫を含む。
- ④ 墓場地 粘性ややややややややあり ローム粒を多量に含む。
- ⑤ 墓場地 粘性やややややややや白色軽石, ローム粒を含む。
- ⑥ 墓場地 粘性やややややややや白色軽石, ローム粒を含む。
- ⑦ 褐色 粘性やややややややや白色軽石, ローム粒, 固化物を少量含む。
- ⑧ 墓場地 粘性やややややややや白色軽石, As-B, 小礫を含む。(巣を積入たあと)。
- ⑨ 褐色 粘性あり 線まりあり ローム粒, ロームブロック(φ5~10mm)を含む。

(78) H-3号住居跡1号ビット(C-C')

- 1 墓場地 粘性あり 線まりあり 白色軽石, ローム粒, 小礫を少量含む。
- 2 褐色 粘性あり 線まりあり ローム粒を多量に含む。

(78) H-3号住居跡2号ビット(B'-B')

- 1 墓場地 粘性あり 線まりやややあり ローム粒, 小礫を含む。

(78) H-4号住居跡1号ビット(E-E')

- 1 墓場地 粘性やややあり 線まりやややあり 白色軽石を含み, 小礫を少量含む。
- 2 墓場地 粘性あり 線まりやややややややや白色軽石, ローム粒, ロームブロックを多量に含む。

(78) H-4号住居跡2号ビット(F-F')

- 1 墓場地 粘性やややややややや白色軽石を含み, 小礫を少量含む。
- 2 墓場地 粘性あり 線まりやややややややや白色軽石, ローム粒を多量に含む。

(78) H-4号住居跡3号ビット(G-G')

- 1 墓場地 粘性やややややややや白色軽石を含み, 小礫を少量含む。
- 2 墓場地 粘性あり 線まりやややややややや白色軽石, ローム粒を含む。

(78) H-4号住居跡4号ビット(H-H')

- 1 墓場地 粘性やややややややや白色軽石を含み, 小礫を少量含む。

(78) H-4号住居跡5号ビット(I-I')

- 1 墓場地 粘性やややややややや白色軽石を含み, 小礫を少量含む。

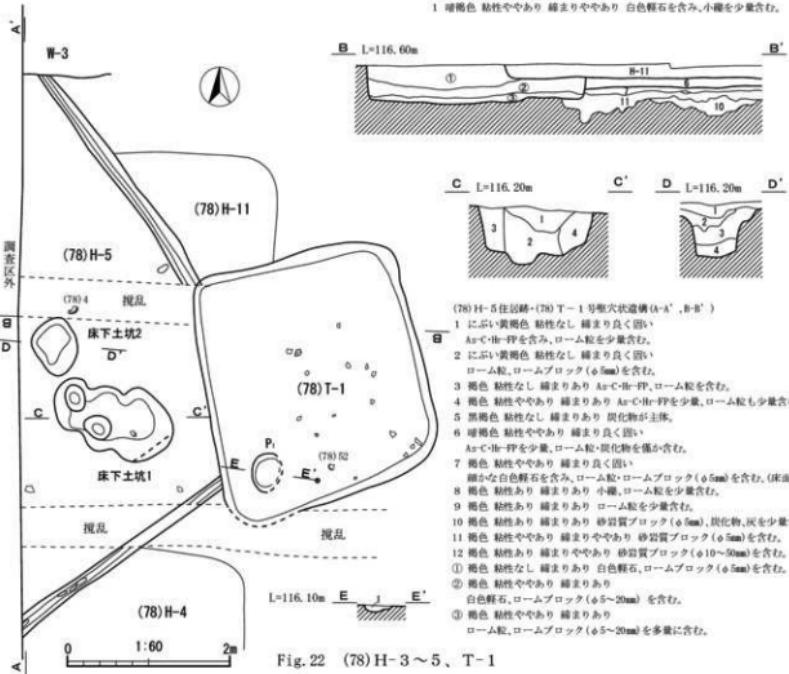
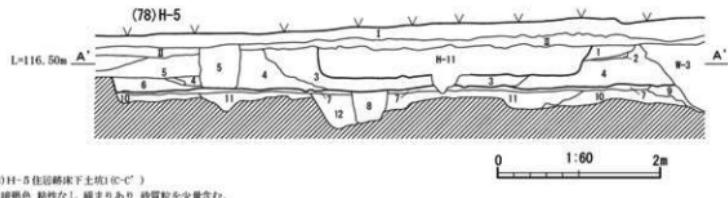


Fig. 22 (78) H-3 ~ 5, T-1



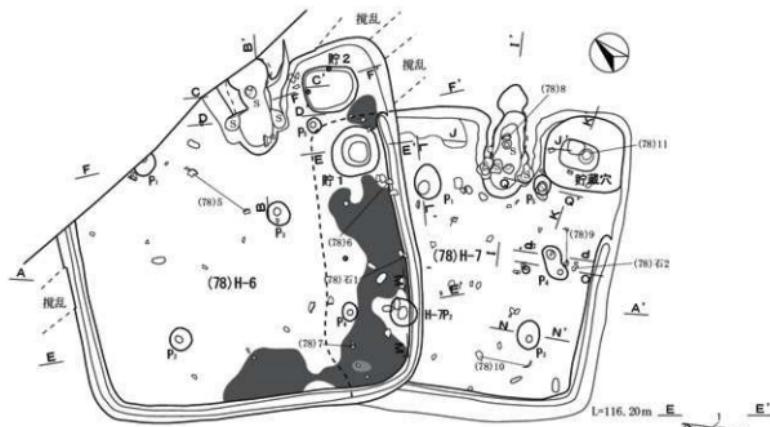
(78) H-5 住居跡下土坑1(H-C')

- 1 塗褐色 粘性なし 繼まりあり 砂質粒を少量含む。
 - 2 棕色 粘性なし 繼まりあり 砂質ブロック(φ10~50mm)を多量に含む。
 - 3 棕色 粘性ややあり 繼まりあり 砂質ブロック(φ5~25mm)を多量に含む。
 - 4 塗褐色 粘性ややあり 繼まりあり 白色軽石を含み、炭化物を少量含む。
- (78) T-1号堅穴状遺構1号ピット(H-E')
- 1 棕色 粘性ややあり 繼まりややあり 白色軽石を含み、炭化物を少量含む。

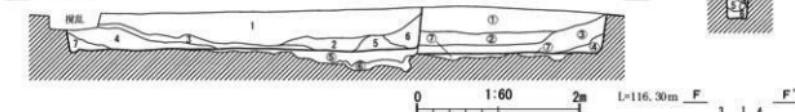
(78) H-5 住居跡下土坑2(H-B')

- 1 棕色 粘性ややあり 繼まり良く固い 細かな白色軽石を含み、ローム粒・ロームブロック(φ5mm)を含む。(床面)。
- 2 棕色 粘性ややあり 繼まりややあり 砂岩質ブロック(φ5mm)を含む。
- 3 塗褐色 粘性なし 繼まりややあり 砂質ブロック(φ10~50mm)を多量に含む。
- 4 黒褐色 粘性なし 繼まりややあり 砂質ブロック(φ10mm)を含む。

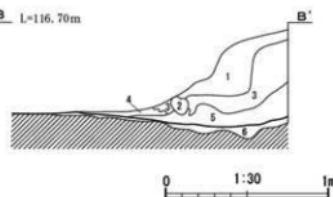
(78) H-6 1号堅穴状遺構1号ピット(H-A')



(78) H-6 1号堅穴状遺構1号ピット(H-A')



(78) H-6 1号堅穴状遺構1号ピット(H-A')



(78) H-6 1号堅穴状遺構1号ピット(H-A')

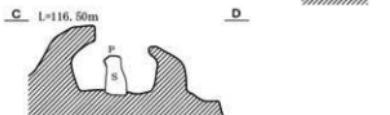
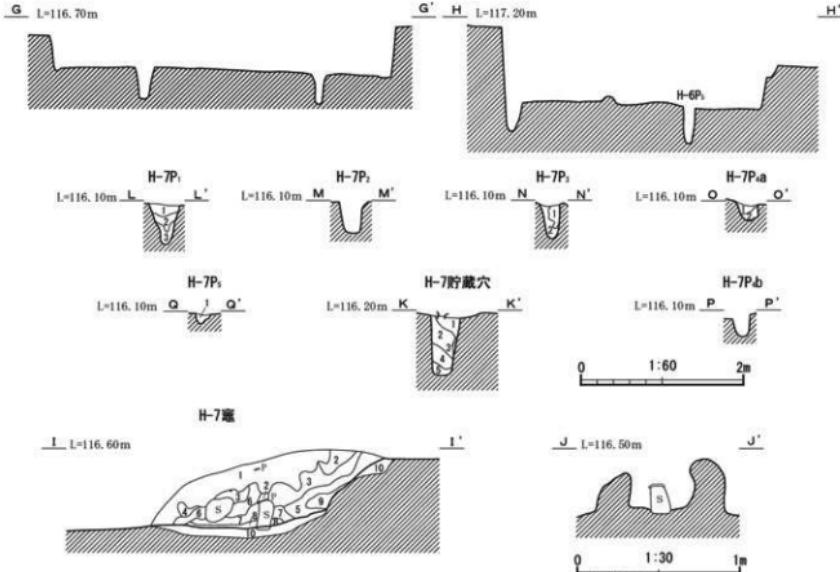


Fig. 23 (78) H-5 ~ 7



(78) 11-6 号住居跡地 (8-8')

- 灰白色 粘性あり 緩まりあり 白色粘土が主体。
 - にふら 韌性あり 緩まりあり 韌性粘土が主体。
 - 明灰色 粘性あり 緩まりややあり 白色粘土を多量に含み、塵土を含む。
 - 褐色 粘性ややあり 緩まりややあり 燃土・褐化物、白色粘土を含む。
 - 灰褐色 粘性ややあり 緩まりややあり 灰土を多量に含む。
 - 褐色 粘性ややあり 緩まりややあり 灰土を少しある。

(20) 11-9 是你相應的標示 (即-#?)

- 1) **萬葉** 刺性やあり 繻毛^{ミツモト}ややあり
白毛鮮石、ロームフロック(4mm)を含む。
2) **暗葉** 柔性あり 繻毛^{ミツモト}ややあり 化物化、ローム粒を少量含む。
3) に^ふい葉^{ヒメ} 色性柔らかさ 繻毛^{ミツモト}ややあり 壊土・ローム粒を少度含む。
4) に^ふい葉^{ヒメ} 黏性柔らかさ 繻毛^{ミツモト}ややあり 壊土が主体。
5) **暗葉** 柔性あり 繻毛^{ミツモト}ややあり 灰を多くに含み、壊土を少度含む。
6) **暗葉** 黏性柔らかさ 繻毛^{ミツモト}ややあり 壊土を含む。

(78) 11-6号住居地の様子(伊于)

- 1 地色 黏性ややあり 繋まりややあり 白色粘土を多量に含む。
 - 2 墓地色 黏性あり 繋まりややあり ローム粒・ロームブロックを含む。
 - 3 明市褐色 黏性ややあり 繋まりあり 焙土が主体。
 - 4 棕褐色 黏性あり 繋まりあり ローム粒を多量に含む。

(78) H-7号住居跡地(I-I')

- 1 黒鶴 緑色ややあり 砂利やさりあり 白色石、ロームや小礫を含む。
 - 2 白鶴 緑色ややあり 砂利やさりあり 白色粘土が主体で、塵土を少含む。
 - 3 黑鶴 緑色ややあり 砂利やさりあり 黄褐色粘土が主体で、塵土・炭化物を含む。
 - 4 にぶー 黃褐色 緑色ややあり 黄褐色粘土を含む。
 - 5 黑色 粘土多めに含み、白色輕石を少含む。
 - 6 黑鶴 緑色ややあり 砂利やさりあり 白色石、塵土・灰を含む。
 - 7 喜鶴 緑色ややあり 砂利やさりあり 白色粘土を含み、塵土・少含む。
 - 8 黑鶴 緑色ややあり 砂利やさりあり 灰を含む。
 - 9 黑鶴 緑色ややあり 砂利やさりあり 土の灰主体で、塵土を含む。
 - 10 鶴 緑色ややあり 砂利やさりあり 土灰・塵土を少含む。
 - 11 黑鶴 緑色ややあり 砂利やさりあり 土灰・塵土を少含む。

(28) 11-6 + 7号住居跡(A-A')

- 1 茶褐色 細胞なし・縮みややか 細胞石岩、ロームブロック(φ 5~20mm)を多量に含む。灰化物を含む。

2 茶褐色 細胞なし・縮みややか 細胞石岩、ロームブロック(φ 10mm)を含む。

3 白灰色 細胞なしややか 緩みややか 白色粘土が主体。

4 茶褐色 細胞なしややか 緩みややか 白色粘土を少量、ロームブロック(φ 5~20mm)を多量に含む。

5 單細胞 細胞なしややか 緩みややか
白色粘土、ロームブロック(φ 5~10mm)を多量、灰化物を多量に含む。

6 單細胞 細胞あり 缓みややか
白色粘土、ロームブロック(φ 5~10mm)を少量含む。

7 茶褐色 細胞あり
細胞なしややか ローム粘土を多く含む。

8 茶褐色 細胞なしややか 細胞石を含む。灰化物・小礫を少量含む。

9 茶褐色 細胞なしややか 細胞石を含む。ローム粘土を少量含む。

10 單細胞 細胞あり 缓みややか
白色粘土を含む。ローム粘土・灰化物を少量含む。

11 單細胞 細胞あり 缓みややか
白色粘土を含む。ローム粘土を少量含む。

12 明黄色 黃褐色 細胞なし・緩みややか 圆錐形ブロック(φ 5~10mm)を含む。

13 茶褐色 細胞なし・縮みややか 砂質ロック(φ 5~10mm)を含む。

14 茶褐色 細胞なしややか 緩みあり 砂質ブロック(φ 5~20mm)を含む。

(78) 11-7 号住町路1号ビット8-1

- 1 墓褐色 粘性なし 繋まりややあり 白色粘土($\phi 5\text{mm}$)を含む。
2 墓褐色 粘性なし 繋まりややあり 砂質ブロック($\phi 5\text{mm}$)を多量に含む。

- (78) II-7 号住居跡3号ピット(3m²)
1 噴褐色 粘性なし 縫まりややあり 白色粘土(Φ5mm)を含む。

- (78) 11-7号住居跡4号ピットa(0'0")

www.ijerpi.org | ijepri@rediffmail.com

- 1 増褐色 粘性なし 繊毛りややあり 白色粘土($\phi 5\text{mm}$)を含む。

1. 颜色：最佳的白色品种，暗米色的次之。

- 1 鷺色 糙性であり 繻まりやであります ローム版・ロームブロックを少量含む。
 - 2 布鳩色 糙性あります 繻まりやであります ローム版を含む。
 - 3 鷺色 糙性あり 繻まりやであります ローム版・ロームブロックを少額含む。
 - 4 布鳩色 糙性あります 繻まりやであります ローム版を少額含む。
 - 5 鷺色 糙性あります 繻まりやであります ローム版・ロームブロックを含む。

Fig. 24 (78) H-6 • 7

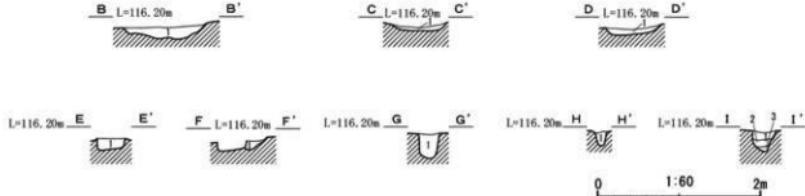
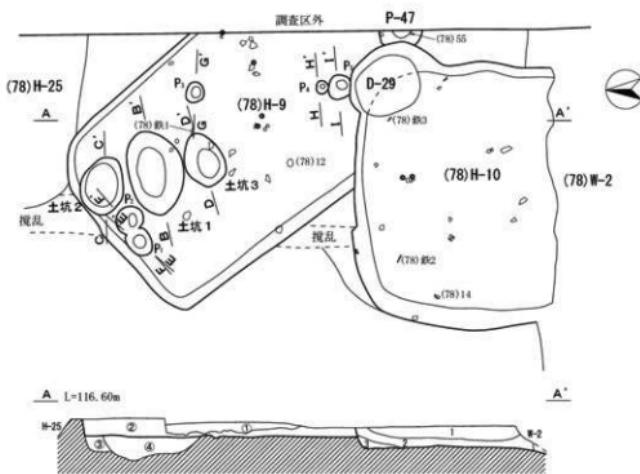
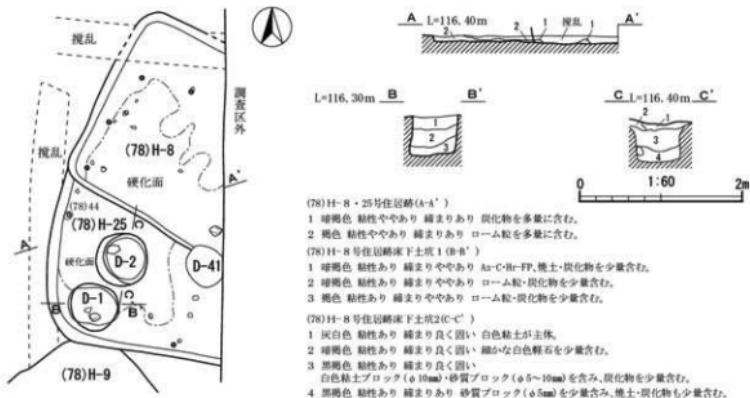


Fig. 25 (78) H-8 ~ 10 · 25

(78) H-9・10号住居跡(A-A')

- ① 黄色 粘性なし 繼まりあり Aa-C-Hr-FPを多量に含む。
- ② 増褐色 粘性ややあり 繼まりあり Aa-C-Hr-FP・ローム粒を含む。
- ③ 黄色 粘性あり 繼まり良く固い
- 細かな白色軽石を少量含み、砂質粒・ブロック(φ5~50mm)を含む。
- ④ 増褐色 粘性あり 繼まりあり 細かな白色軽石を少量含み、砂質粒も少量含む。
- ⑤ 黄色 粘性ややあり 繼まりあり Aa-C-Hr-FP・ローム粒を含み、堆土・炭化物を少量含む。
- ⑥ 増褐色 粘性あり 繼まりあり Aa-C-Hr-FPを少量含み、ロームブロック(φ5~10mm)を含む。
- ⑦ 黄色 粘性ややあり 繼まりややあり ローム粒・ロームブロックを含む。

(78) H-11・9号住居跡1-3号土坑(B-B')

- 1 黄色 粘性あり 繼まりあり ローム粒を少量含む。

(78) H-9号住居跡号土坑(C-C')

- 1 增褐色 粘性なし 繼まり良く固い Aa-Bを含み、炭化物を僅か含む。



(78) H-9号住居跡1号ビット(E-E')

- 1 増褐色 粘性なし 繼まり良く固い Aa-Bを多量に含み、炭化物を僅か含む。

(78) H-9号住居跡2号ビット(F-F')

- 1 増褐色 粘性なし 繼まり良く固い Aa-Bを含み、ローム粒を多量に含む。

(78) H-9号住居跡3号ビット(G-G')

- 1 増褐色 粘性あり 繼まり良く固い Aa-C-Hr-FPを含む。

(78) H-9号住居跡4号ビット(H-H')

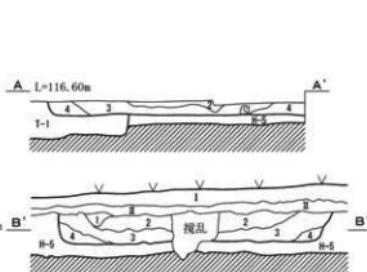
- 1 増褐色 粘性ややあり 繼まりややややあり ローム粒を多量に含む。

(78) H-9号住居跡5号ビット(I-I')

- 1 増褐色 粘性ややあり 繼まりややややあり Aa-C-Hr-FPを含み、ローム粒を少量含む。

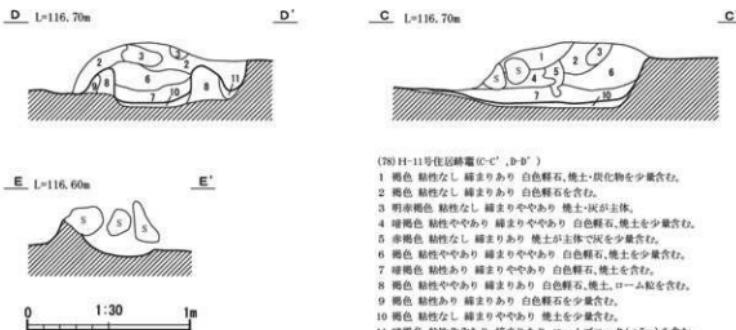
- 2 増褐色 粘性ややあり 繼まりややややあり 砂質ブロック(φ10~50mm)を多量に含む。

- 3 増褐色 粘性ややあり 繼まりややややあり ローム粒を含む。



(78) H-11号住居跡(A-A', B-B')

- 1 黄色 粘性なし 繼まりあり Aa-B-C-Hr-FPを多量に含む。
- 2 黄色 粘性ややあり 繼まりあり Aa-B-C-Hr-FP, 白色粘土を含む。
- 3 黄色 粘性ややあり 繼まりやややや Aa-B-C-Hr-FPを含み、炭化物を少量含む。
- 4 増褐色 粘性やややややや Aa-B-C-Hr-FPを含み、ローム粒を少量含む。



(78) H-11号住居跡(C-C', D-D')

- 1 黄色 粘性なし 繼まりあり 白色軽石、堆土・炭化物を少量含む。

- 2 黄色 粘性なし 繼まりあり 白色軽石を含む。

- 3 明赤褐色 粘性なし 繼まりやややや 堆土・灰が主体。

- 4 増褐色 粘性やややややや 繼まりやややや 白色軽石、堆土を少量含む。

- 5 赤褐色 粘性なし 繼まりあり 堆土が主体で灰を少量含む。

- 6 黄色 粘性やややややや 繼まりやややや 白色軽石、堆土を少量含む。

- 7 増褐色 粘性やややややや 繼まりやややや 白色軽石、堆土を含む。

- 8 黄色 粘性やややややや 繼まりやややや 白色軽石、堆土・ローム粒を含む。

- 9 黄色 粘性なし 繼まりやややや 白色軽石を少量含む。

- 10 黄色 粘性なし 繼まりやややや 白色軽石を少量含む。

- 11 增褐色 粘性やややややや 繼まりあり ロームブロック(φ5mm)を含む。

Fig. 26 (78) H-9 ~ 11

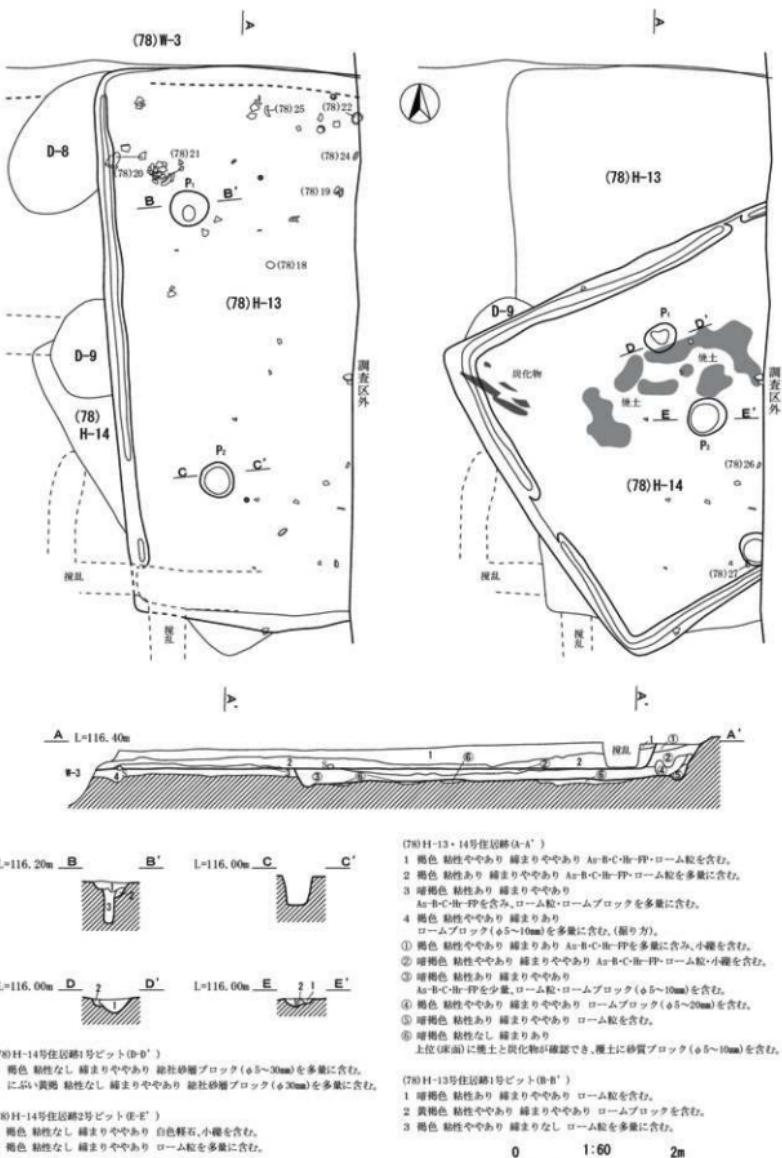
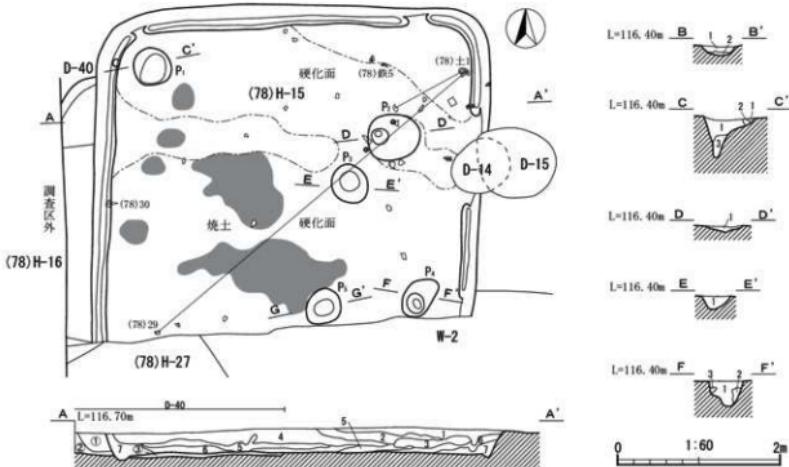


Fig. 27 (78) H-13 + 14



- (78)H-15号住居跡-40号土坑(A-A')
- 褐色 粘性なし 線まりあり As-C-Hr-FPを含み、礁土・炭化物を少量含む。
 - 褐色 粘性ややあり 線まりあり 鹿土・炭化物を含む。
 - 黒褐色 粘性なし 線まりややあり 鹿土・炭化物を多量含む。
 - 褐色 粘性ややあり 線まりあり 鹿土・炭化物を少量含む。
 - 黒褐色 粘性なし 線まりややあり 鹿土・炭化物を含む。
 - 褐色 粘性ややあり 線まりあり ローム粒・ロームブロックを含む。
 - 暗褐色 粘性ややあり 線まりややあり As-C-Hr-FPを少量含む。
 - ① 褐色 粘性なし 線まりややあり As-C-Hr-FPを含み、ローム粒を多量含む。
 - ② 褐色 粘性ややあり 線まりややあり ローム粒を含む。
 - ③ 褐色 粘性あり 線まりややあり As-C-Hr-FPを含み、礁土・炭化物を少量含む。
- (78)H-15号住居跡1号ビット(B-B')
- 褐色 粘性ややあり 線まりあり
 - ローム粒を多量に含み、白色粘土・礁土・炭化物を少量含む。
 - 褐色 粘性なし 線まりややあり As-ローム粒・ロームブロック(ø10mm)を含む。

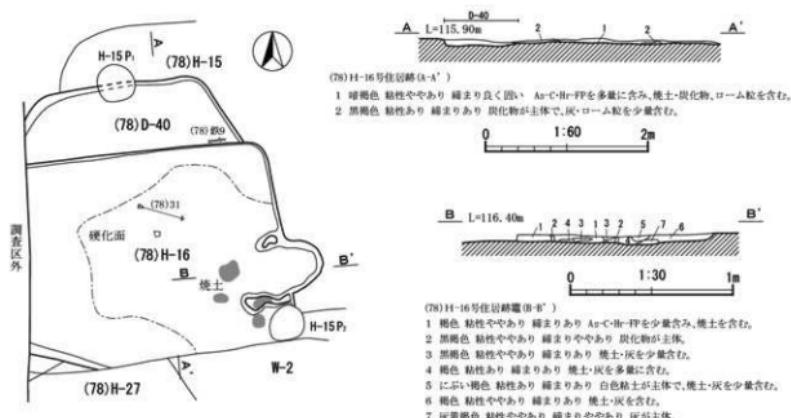


Fig. 28 (78) H-15 • 16, D-40

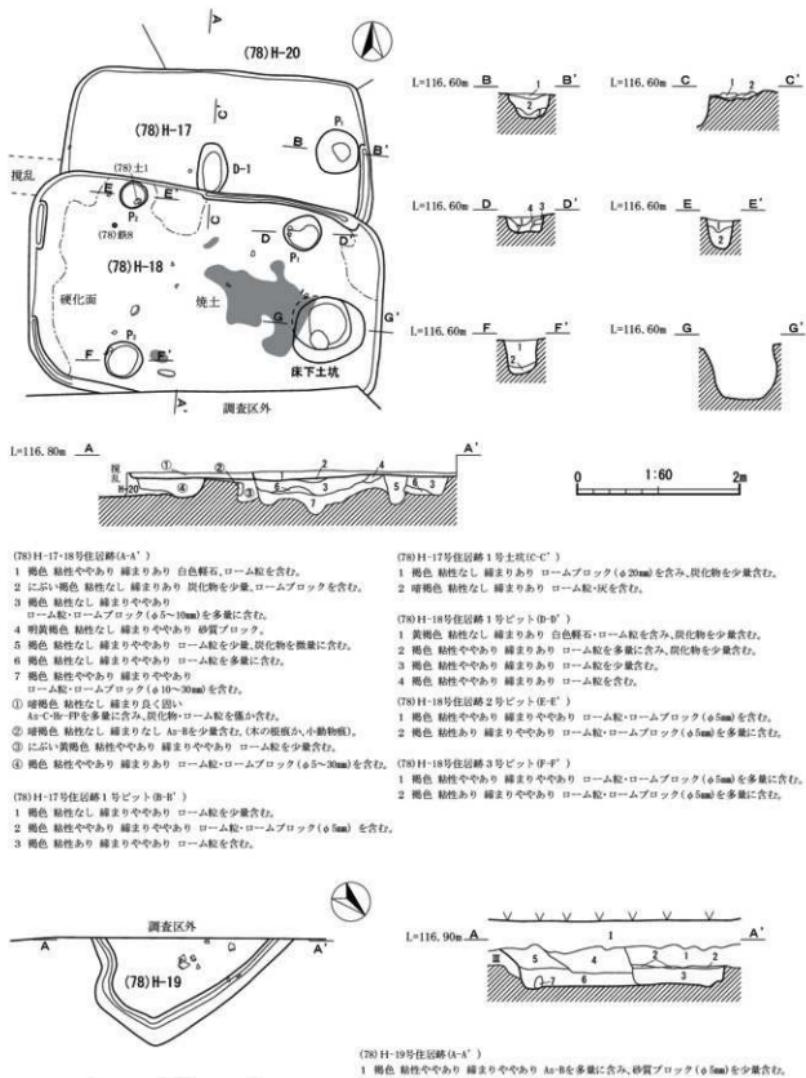


Fig. 29 (78) H-17～19

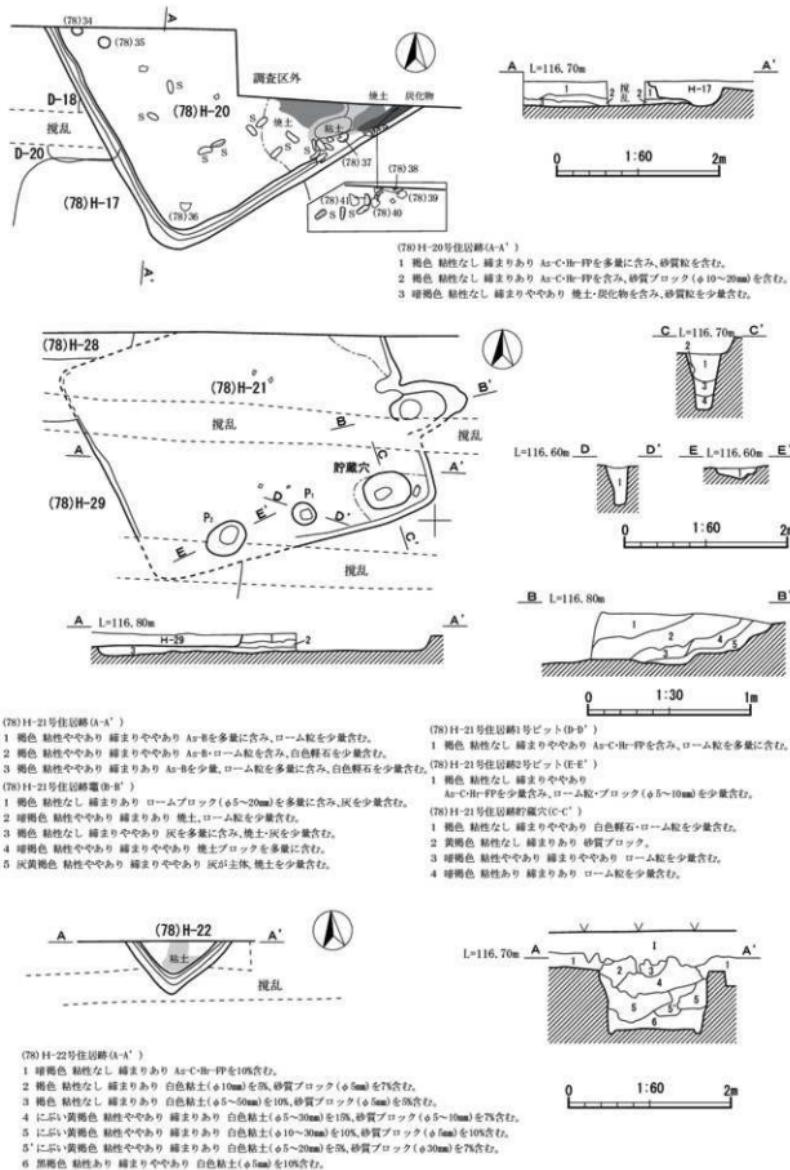
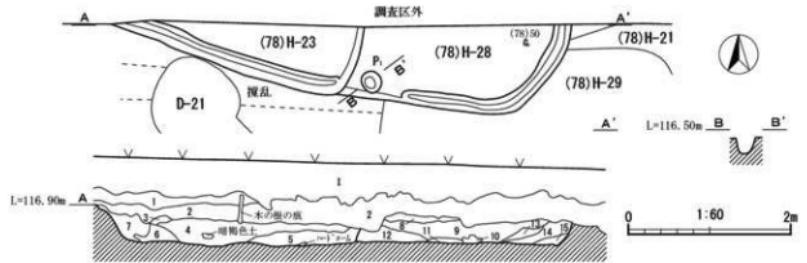
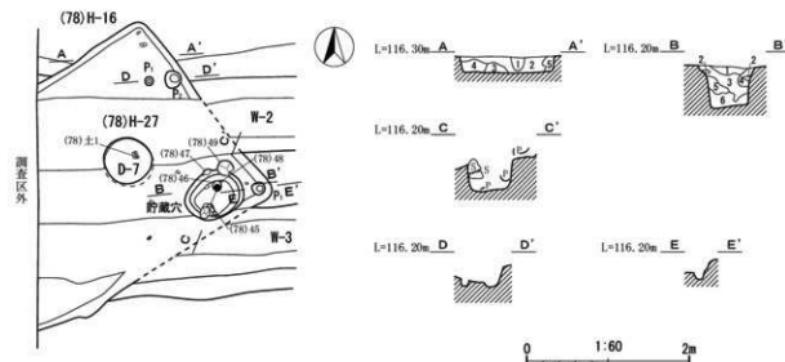
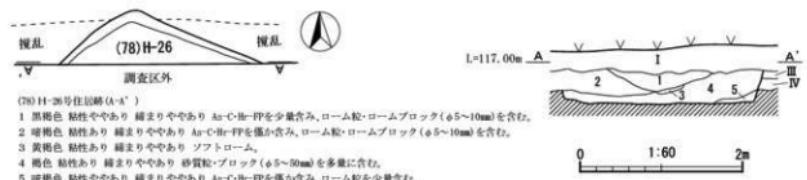


Fig. 30 (78) H-20~22



- (78-H-23-28住居跡(A-A'))
- 1 に、黄褐色 粘性なし 繼まり良く図い As-Bを多量に含む。
 - 2 黄褐色 粘性なし 繼まり良く図い As-Bを含み、ローム粘・ローム粘も少量含む。
 - 3 黄褐色 粘性なし 繼まりあり As-Bを少量含み、ローム粘・ロームブロック ($\phi 5\sim10mm$) も少量含む。
 - 4 黄褐色 粘性なし 繼まりあり As-Bを少量含む。
 - 5 黄褐色 粘性なし 繼まりあり As-Bを少量含み、炭化物を少量含む。
 - 6 黄褐色 粘性ややあり 繼まりあり As-Bを少量含む。
 - 7 黄褐色 粘性ややあり 繼まりあり ローム粘・ロームブロック ($\phi 5\sim30mm$) を多量に含む。
 - 8 黄褐色 粘性ややあり 繼まりあり 岩化物を少量含み、As-Bを少量含む。
 - 9 黄褐色 粘性なし 繼まりあり As-Bを少量含み、ローム粘・ローム粘も少量含む。
 - 10 黄褐色 粘性ややあり 繼まりややあり 岩化物・灰を含む。
 - 11 黄褐色 粘性ややあり 繼まりややあり ローム粘・ロームブロック ($\phi 10mm$) を含む。
 - 12 黄褐色 粘性ややあり 繼まりややあり ローム粘を含む。
 - 13 黄褐色 粘性ややあり 繼まりややあり 岩化物・灰を含む。
 - 14 黄褐色 粘性ややあり 繼まりややあり 岩化物・灰を少量含む。
 - 15 黄褐色 粘性ややあり 繼まりややあり ローム粘・ロームブロック ($\phi 5mm$) を含む。



- (78-H-27住居跡(A-A'))
- 1 黄褐色 粘性ややややあり 繼まりやややや As-C-Hr-FP、炭化物を僅か含む。
 - 2 黄褐色 粘性ややややあり 繼まりあり As-C-Hr-FPを含み、炭化物を少量含む。
 - 3 黄褐色 粘性ややややあり 繼まりやややや白色粘土を含み、炭化物・ローム粘を少量含む。
 - 4 黄褐色 粘性ややややあり 繼まりやややや白色粘土・ローム粘を少量含む。
 - 5 黄褐色 粘性ややややあり 繼まりやややや白色粘土を含み、炭化物・ローム粘を多量に含む。
 - 6 黄褐色 粘性やややや白色粘土を含み、炭化物・ローム粘を少量含む。
- (78-H-27住居跡(Ⅲ-Ⅲ'))
- 1 黄褐色 粘性ややややあり 繼まりやややや白色粘土・炭化物を少量含む。
 - 2 黄褐色 粘性やややや白色粘土を含み、炭化物を少量含む。
 - 3 黄褐色 粘性やややや白色粘土を含み、炭化物・ローム粘を少量含む。
 - 4 黄褐色 粘性やややや白色粘土を含み、炭化物・ローム粘を少量含む。
 - 5 黄褐色 粘性やややや白色粘土を含み、炭化物・ローム粘を多量に含む。

Fig. 31 (78) H-23・26~28

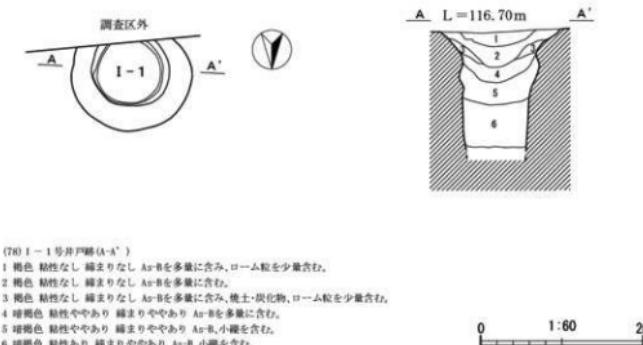
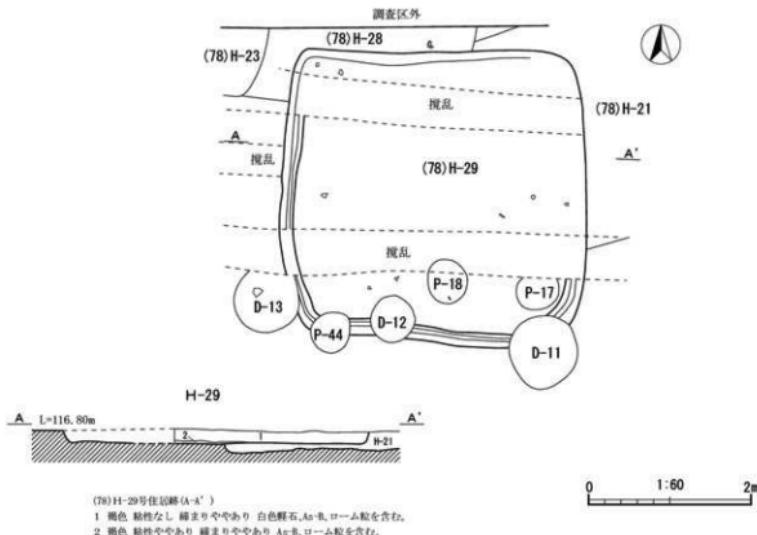
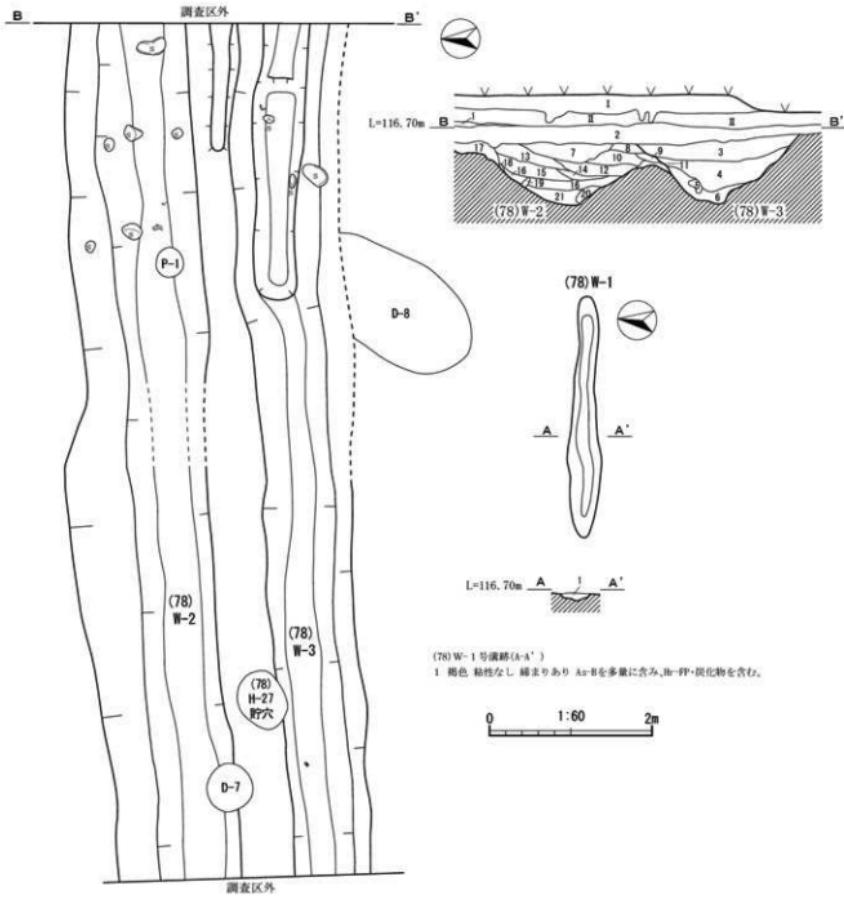


Fig. 32 (78) H-29, I-1



(78) W-2 + 3号断面(B-B')

- 1 黄褐色 粘性なし 線まりあり As-Bを多量に含む。
- 2 にぶい黄褐色 粘性なし 線まりあり As-Bを多量に含み、ローム粒を少量含む。
- 3 にぶい黄褐色 粘性なし 線まりあり As-Bを多量に含み、白色軽石・ローム粒を少量含む。
- 4 黄褐色 粘性なし 線まりややあり As-Bを含み、白色軽石・ローム粒を少量含む。
- 5 墓場色 粘性ややあり 線まりややあり As-Bを含む。
- 6 黄褐色 粘性ややあり 線まりややあり As-Bを含み、ローム粒・ロームブロックを含む。
- 7 にぶい黄褐色 粘性なし 線まりあり As-Bを多量に含み、白色軽石・ローム粒を少量含む。
- 8 黄褐色 粘性なし 線まりややあり As-Bを多量に含み、ロームブロック(5~10mm)を含む。
- 9 黄褐色 粘性なし 線まりややあり As-Bを多量に含み、白色軽石を含む。
- 10 墓場色 粘性なし 線まりあり As-Bを多量に含み、白色軽石を僅か含む。
- 11 墓場色 粘性ややあり 線まりややあり As-B、ローム粒を含む。
- 12 墓場色 粘性なし 線まりあり As-Bを多量に含み、ローム粒を少量含む。
- 13 黄褐色 粘性ややあり 線まりややあり As-Bを多量に含む。
- 14 黄褐色 粘性あり 線まりややあり As-Bを含み、ローム粒を多量含む。
- 15 黄褐色 粘性あり 線まりややあり As-Bを含む。
- 16 墓場色 粘性ややあり 線まりややあり As-Bを含み、ローム粒を少量含む。
- 17 黄褐色 粘性なし 線まりややあり As-Bを多量に含む。
- 18 黄褐色 粘性なし 線まりややあり ロームブロックが土体。
- 19 黄褐色 粘性ややあり 線まりややあり ローム粒が土体。
- 20 黄褐色 粘性あり 線まりややあり ロームブロックを多量に含み、As-Bを含む。
- 21 墓場色 粘性あり 線まりあり As-Bを含み、ローム粒を少量含む。

Fig. 33 (78) W-1 ~ 3

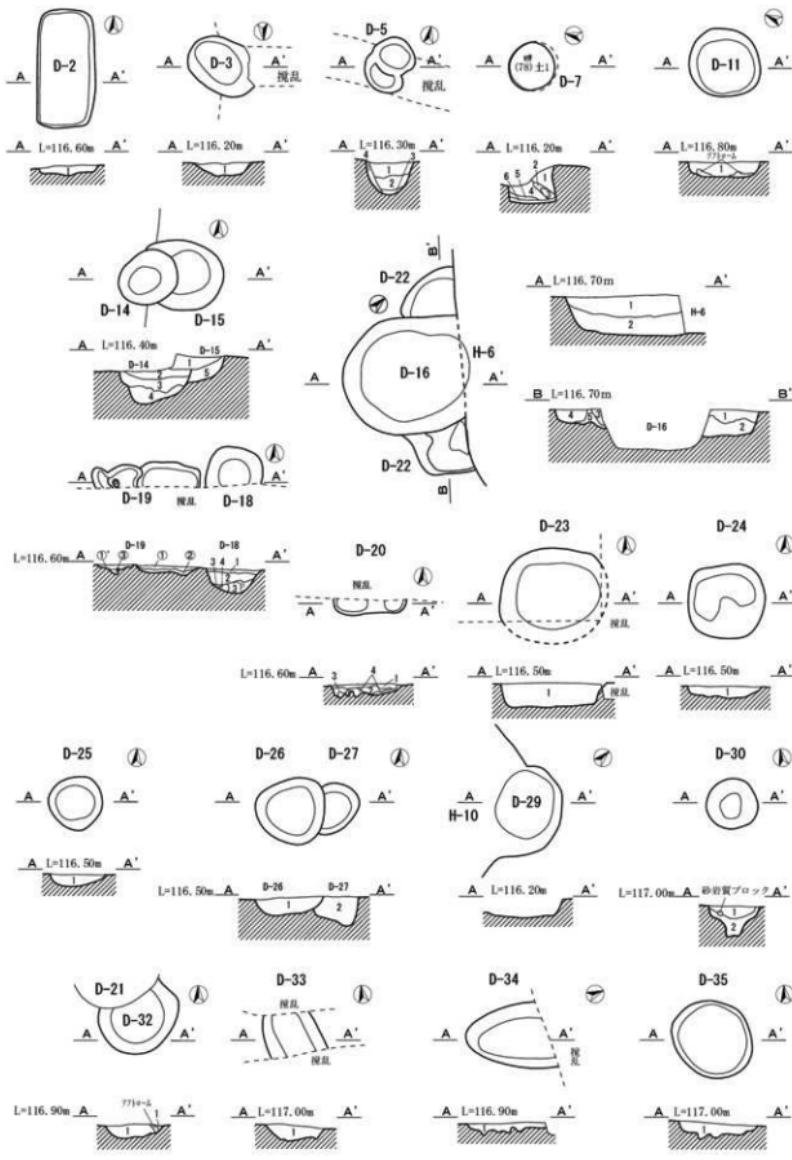
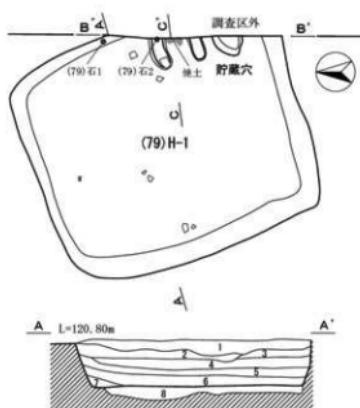
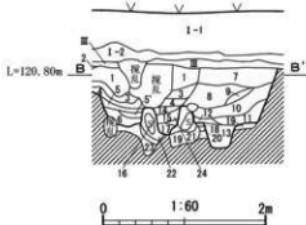


Fig. 34 (78) 土坑群



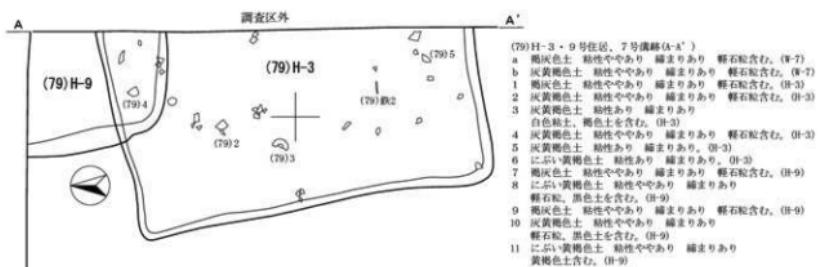
- (79) H-1 号住居跡 (A-A')
- 褐色灰色 粘性ややあり 繼まりあり 軽石粒多量に含む。 (W-2 塗土)
 - 灰褐色 粘性ややあり 繼まりあり 軽石粒含む。 (W-2 塗土)
 - 灰褐色 粘性ややあり 繼まりあり 黄褐色土粒含む。 (W-2 塗土)
 - 褐色 粘性ややあり 繼まりあり 黄褐色土粒含む。
 - 褐色 粘性なし 繼まりあり。
 - 灰褐色 粘性あり 繼まりあり。
 - 灰褐色 粘性あり 繼まりあり 軽石粒含む。 (H-1 地下)
 - 褐色 粘性あり 繼まりあり 黄褐色土粒含む。 (H-1 地下)
 - 灰褐色 粘性あり 繼まりあり 黃褐色土ブロック含む。 (塗り方)
 - 褐色 粘性あり 繼まりあり 黄褐色土ブロック含む。 (塗り方)
 - 褐色 粘性あり 繼まりあり 黄褐色土ブロック含む。 (塗り方)
 - 褐色 粘性あり 繼まりあり 黄褐色土ブロック含む。 (塗り方)
 - 褐色 粘性あり 黄褐色土含む。



- (79) H-1 号住居跡 (I-I')
- 灰褐色 粘性あり 繼まりあり 軽石粒含む。
 - 灰褐色 粘性なし 繼まりあり 軽石粒含む。
 - 灰褐色 粘性なし 粘性あり 黃褐色土粒含む。
 - 灰褐色 粘性あり 繼まりあり 軽石粒含む。
 - 灰褐色 粘性なし 繼まりあり 軽石粒含む。
 - 褐色 粘性あり 繼まりあり。
 - 灰褐色 粘性あり 繼まりあり 軽石粒含む。
 - 灰褐色 粘性なし 粘性あり 黃褐色土粒含む。
 - 灰褐色 粘性あり 繼まりあり 黃褐色土粒含む。
 - 褐色 粘性なし 粘性あり 黃褐色土粒含む。
 - 褐色 粘性あり 繼まりあり。
 - 褐色 粘性あり 繼まりあり。
 - 褐色 粘性あり 黄褐色土含む。
 - 二重層 灰褐色 粘性あり 繼まりあり 黃褐色土粒含む。 (H-1 地下)
 - 灰褐色 粘性あり 繼まりあり 黃褐色土粒含む。 (H-1 地下)
 - 二重層 灰褐色 粘性あり 繼まりあり 黃褐色土粒含む。 (H-1 地下)
 - 褐色 粘性あり 繼まりあり 黄褐色土含む。
 - 褐色 粘性あり 繼まりあり 黄褐色土含む。
 - 褐色 粘性あり 繼まりあり 黄褐色土含む。
 - 褐色 粘性あり 黄褐色土含む。



- (79) H-1 号住居跡 (C-C')
- 褐色灰色 粘性ややあり 繼まりあり 灰褐色物、黄褐色土ブロック含む。
 - 灰褐色 粘性あり 繼まりあり 塗土含む。
 - 黑褐色 粘性あり 繼まりあり 灰土含む。



- (79) H-3・9 号住居、7号道路跡 (A-A')
- 灰褐色土 粘性ややあり 繼まりあり 軽石粒含む。 (H-7)
 - 灰褐色土 粘性ややあり 繼まりあり 軽石粒含む。 (H-7)
 - 灰褐色土 粘性ややあり 繼まりあり 軽石粒含む。 (H-3)
 - 灰褐色土 粘性ややあり 繼まりあり 軽石粒含む。 (H-3)
 - 灰褐色土 粘性あり 繼まりあり 白色土を含む。 (H-3)
 - 灰褐色土 粘性ややあり 繼まりあり 軽石粒含む。 (H-3)
 - 灰褐色土 粘性あり 繼まりあり 黄褐色土を含む。 (H-3)
 - 灰褐色土 粘性ややあり 繼まりあり 軽石粒含む。 (H-9)
 - 灰褐色土 黑褐色土を含む。 (H-9)
 - 灰褐色土 黑褐色土を含む。 (H-9)
 - 灰褐色土 黑褐色土を含む。 (H-9)

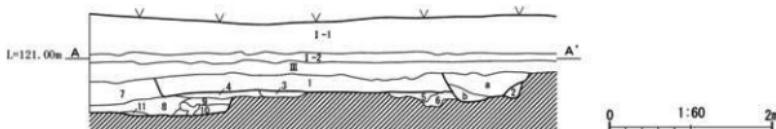


Fig. 36 (79) H-1・3・9

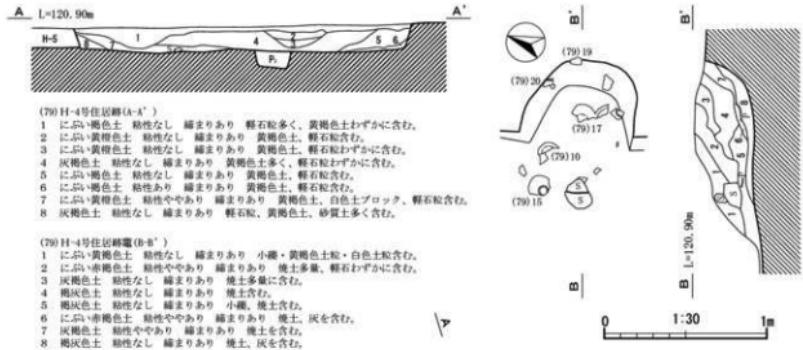
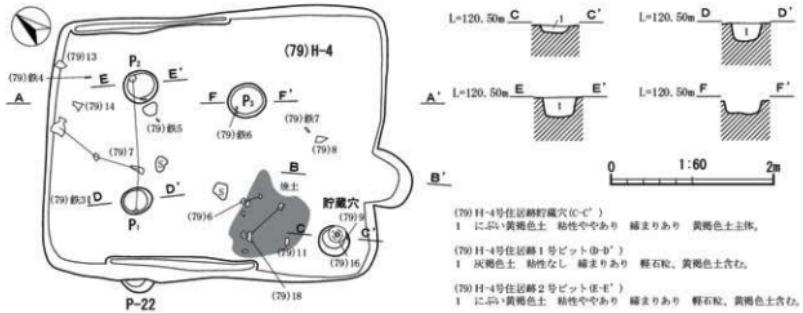


Fig. 37 (79) H-4 • 5

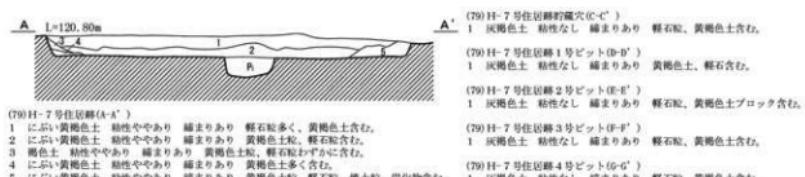
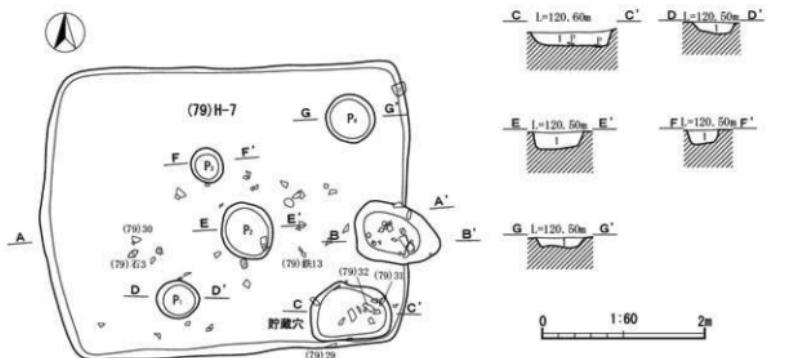
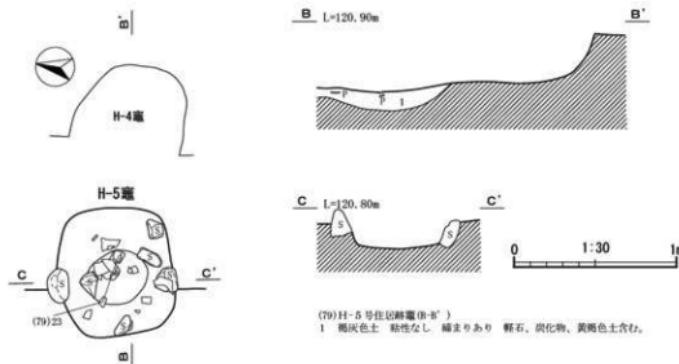
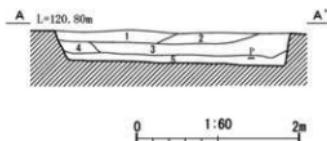
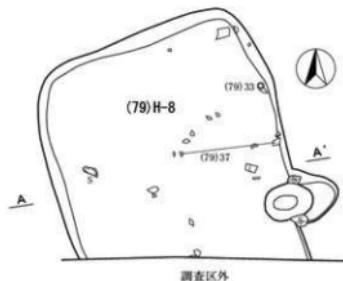
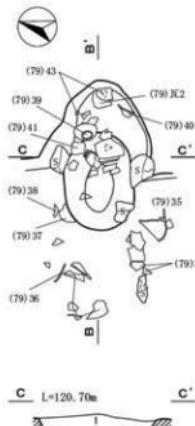


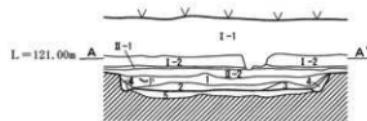
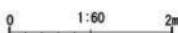
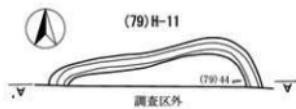
Fig. 38 (79) H-5 + 7



(79) H-8号住居跡(A-A')
 1 灰黄褐色土 粘性なし 繊まりあり 軽石粒、黄褐色土少量含む。
 2 灰黄褐色土 粘性なし 繊まりあり 軽石粒、黄褐色土少量含む。
 3 灰黄褐色土 粘性なし 繊まりあり 軽石粒、黄褐色土少量含む。
 4 にぶい黄褐色土 粘性なし 繊まりあり 軽石粒、黄褐色土含む。
 5 にぶい黄褐色土 粘性ややあり 繊まりあり 軽石粒、黄褐色土含む。



(79) H-8号住居跡(B-B', C-C')
 1 にぶい黄褐色土 粘性あり 繊まりあり かんかくに軽石含む。
 2 灰黄褐色土 粘性ややあり 繊まりあり 軽石粒、軽石含む。
 3 にぶい黄褐色土 粘性あり 繊まりあり 軽石粒、灰含む。
 4 黄褐色土 粘性あり 繊まりあり 黄褐色土ブロック、炭化物含む。



(79) H-11号住居跡(A-A')
 1 深褐色土 粘性あり 繊まりあり 軽石粒含む。
 2 深褐色土 粘性あり 繊まりあり ブロック含む。
 3 灰黄褐色土 粘性あり 繊まりあり。
 4 黑灰色土 粘性あり 繊まりあり。
 5 にぶい黄褐色土 粘性あり 繊まりあり(纏り方)

Fig. 39 (79) H-8・11

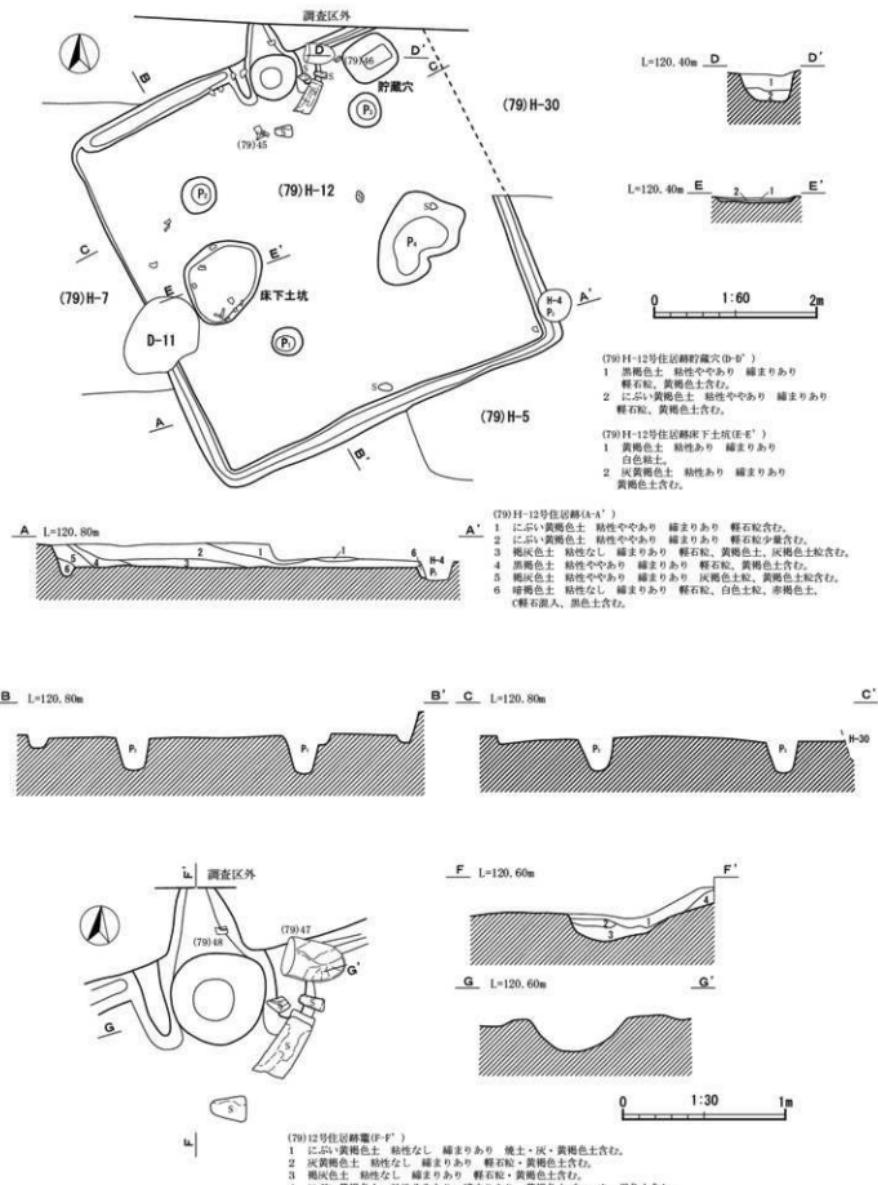
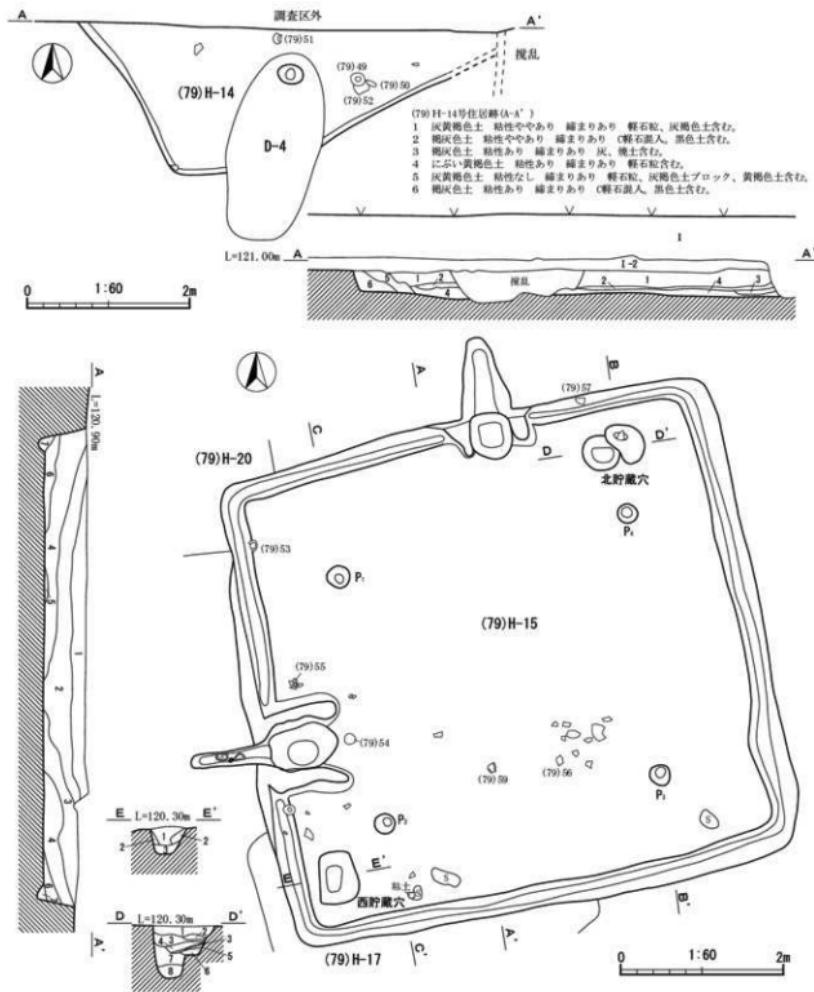


Fig. 40 (79) H-12



(79) H-15号住居跡(A-A')

- 灰黃褐色土 粘性なし 繊まりなし。
- 灰褐色土 粘性なし 繊まりなし 輕石粒含む。
- 褐色灰色土 粘性なし 繊まりなし 砂粒多く含む。
- にぶい黄褐色土 粘性なし 繊まりなし 黄褐色土含む。
- 褐色灰色土 粘性なし 繊まりあり 輕石粒、灰褐色土ブロック含む。
- 灰褐色土 粘性なし 繊まりあり 黃石粒、灰褐色土ブロック含む。
- 褐色灰色土 粘性ややあり 繊まりあり 黃褐色土含む。

(79) H-15号住居跡西野墓穴(E-E')

- 黒褐色土 粘性ややあり 繊まりあり 輕石粒、黄褐色土含む。
- 褐色土 粘性ややあり 繊まりあり 黃褐色土含む。
- 褐色土 粘性ややあり 繊まりあり 黃褐色土含む。

(79) H-15号住居跡北野墓穴(D-D')

- にぶい黄褐色土 粘性あり 繊まりあり 黄褐色土含む。
- 褐色灰色土 粘性あり 繊まりあり 黄褐色土含む。
- 灰黃褐色土 粘性あり 繊まりあり 黄褐色土含む。
- にぶい黄褐色土 粘性あり 繊まりあり 黄褐色土含む。
- 褐色灰色土 粘性あり 繊まりあり 黄褐色土含む。
- にぶい黄褐色土 粘性あり 繊まりあり 黄褐色土含む。
- にぶい黄褐色土 粘性あり 繊まりあり 黄褐色土含む。
- にぶい黄褐色土 粘性あり 繊まりあり 黄褐色土含む。

Fig. 41 (79) H-14・15

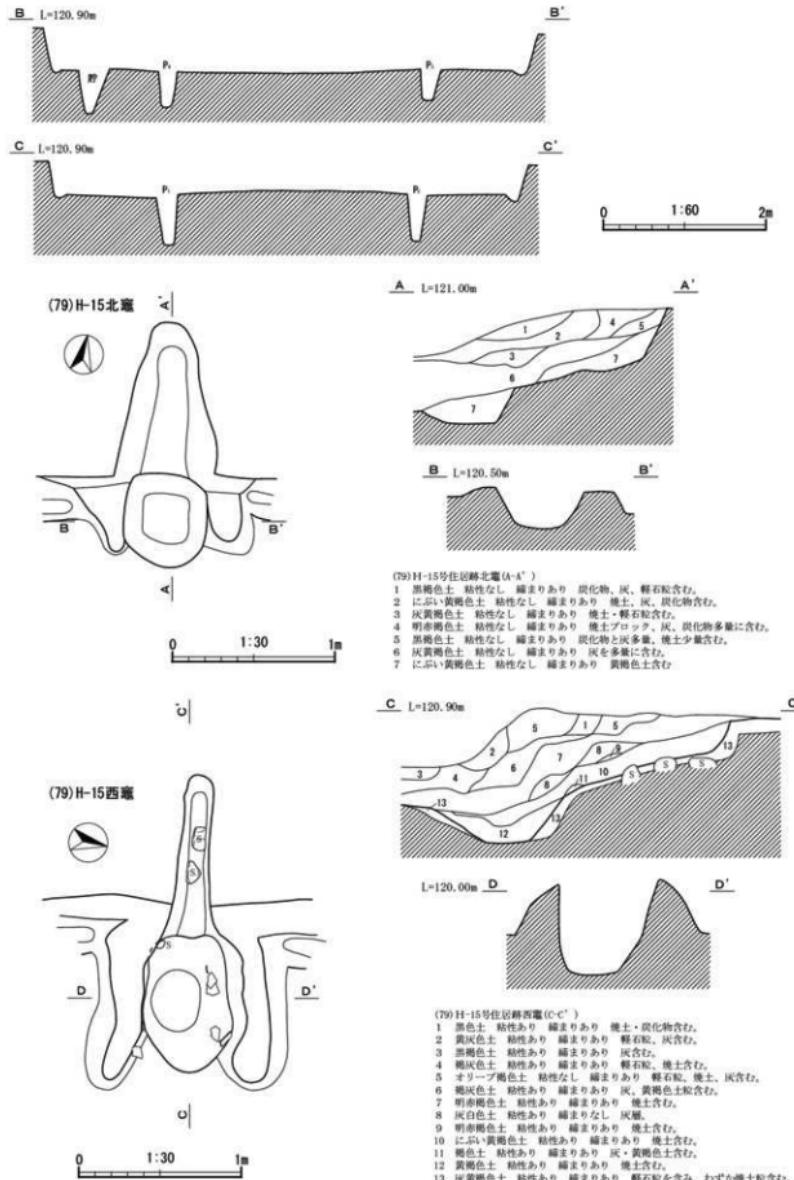
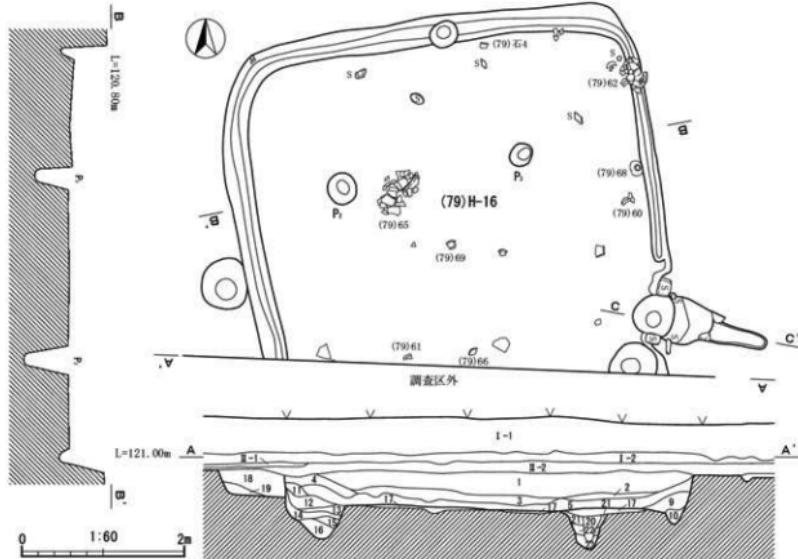


Fig. 42 (79) H-15



(79) H-16-31号住居跡(A-A')

- 1 黒褐色土 粘性なし 繊まりあり 軽石粒含む。(H-16)
 2 黒褐色土 粘性あり 繊まりあり 軽石粒含む。(H-16)
 3 黒褐色土 粘性なし 繊まりあり 軽石粒含む。(H-16)
 4 黒褐色土 粘性なし 繊まりあり 軽石粒含む。(H-16)
 5 黒褐色土 粘性ややあり 繊まりあり 軽石粒。礁土粒含む。(H-16)
 6 黒褐色土 粘性ややあり 繊まりあり 軽石粒。黄褐色土含む。(H-16)
 7 にぶい黄褐色土 粘性ややあり 繊まりあり 軽石粒。黄褐色土含む。(H-16)
 8 灰褐色土 粘性ややあり 繊まりあり 軽石粒。黄褐色土含む。(H-16)
 9 にぶい黄褐色土 粘性ややあり 繊まりあり 軽石粒。黄褐色土含む。(H-16)
 10 褐色土 粘性ややあり 繊まりあり 軽石粒。黄褐色土含む。(H-16)
 11 黒褐色土 粘性なし 繊まりあり 軽石粒含む。(H-16)
- 12 にぶい黄褐色土 粘性あり 繊まりあり (H-16)
 13 淡灰色土 粘性あり 繊まりあり 混合土。(H-16)
 14 にぶい黄褐色土 粘性あり 繊まりあり 黄褐色土含む。(H-16)
 15 灰褐色土 粘性あり 繊まりあり 黄褐色土含む。(H-16)
 16 黑褐色土 粘性あり 繊まりあり (H-16)
 17 淡灰色土 粘性なし 繊まりあり 軽石粒含む。(H-16)
 18 黑褐色土 粘性なし 繊まりあり 軽石粒含む。(H-31)
 19 にぶい黄褐色土 粘性なし 繊まりあり 黄褐色土含む。(H-31)
 20 灰褐色土 粘性あり 繊まりあり 軽石粒含む。(H-31)
 21 褐色土 粘性あり 繊まりあり 黄褐色土含む。(H-31)
 22 にぶい黄褐色土 粘性あり 繊まりあり 軽石粒。黄褐色土含む。(H-31)
 23 淡灰色土 粘性あり 繊まりあり 白色土含む。(H-31)

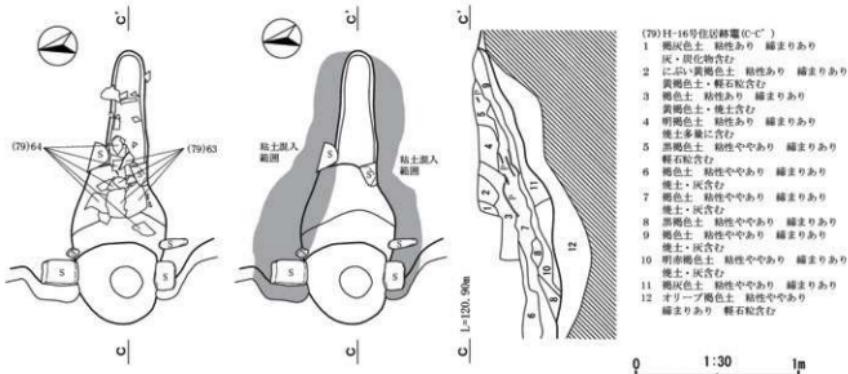


Fig. 43 (79) H-16

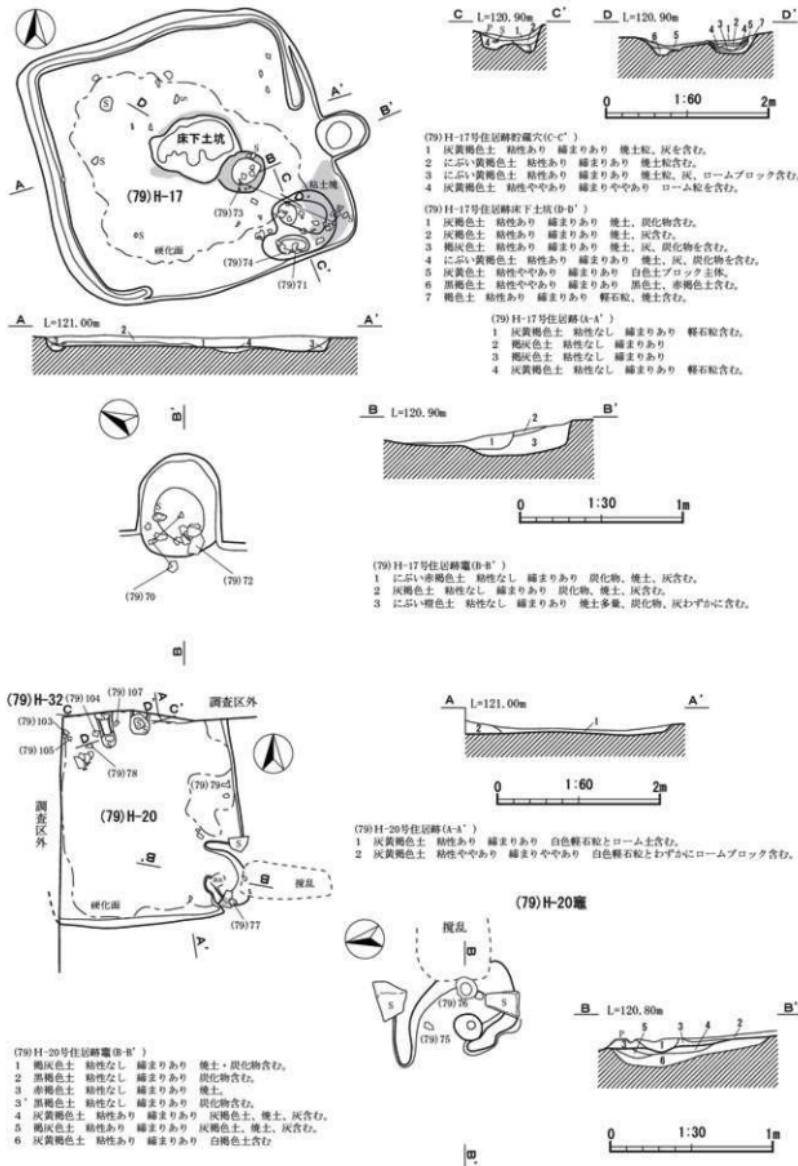


Fig. 44 (79) H-17・20・32

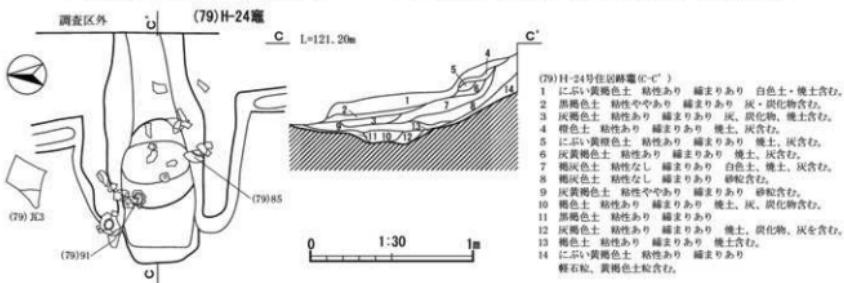
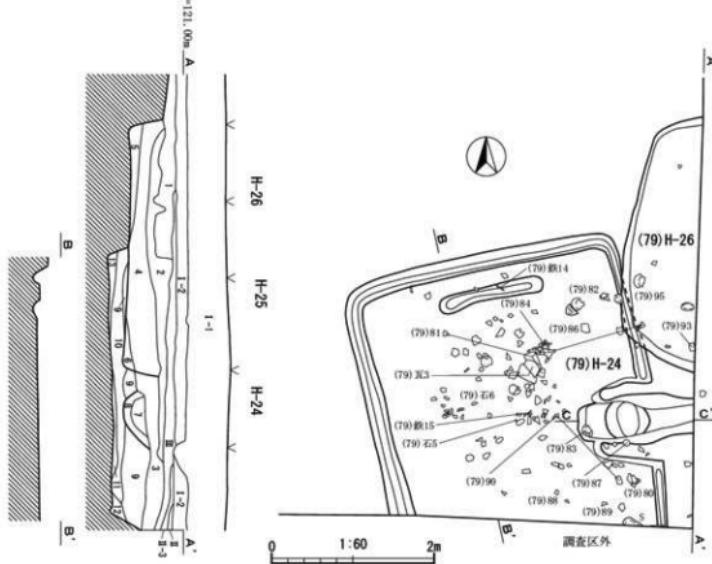
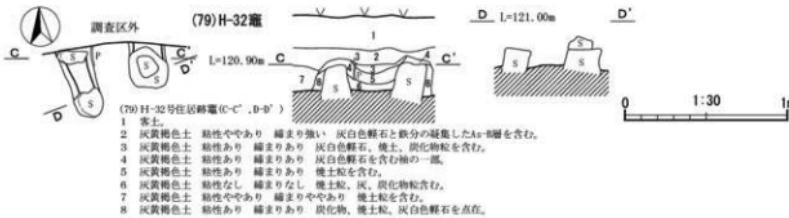


Fig. 45 (79) H-24・26・32

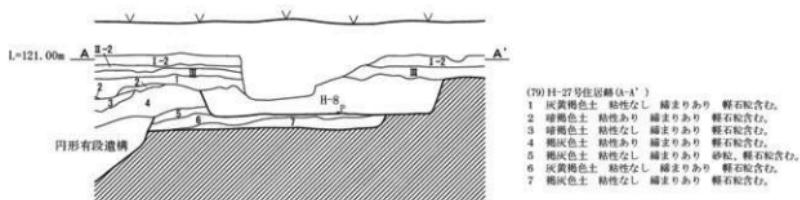
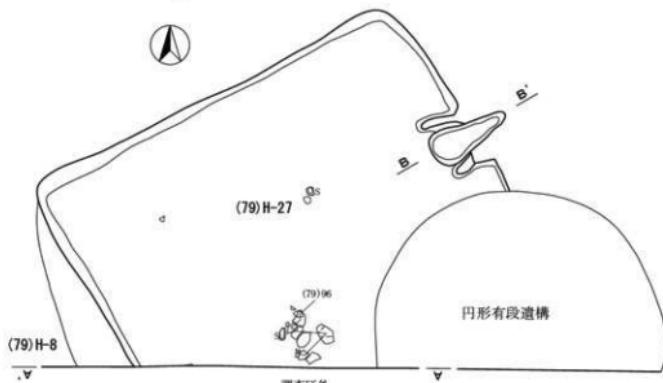
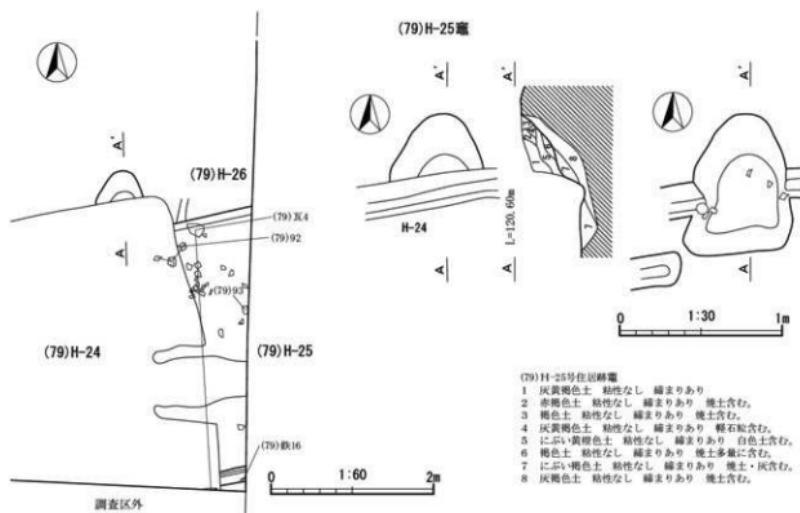


Fig. 46 (79) H-25・27

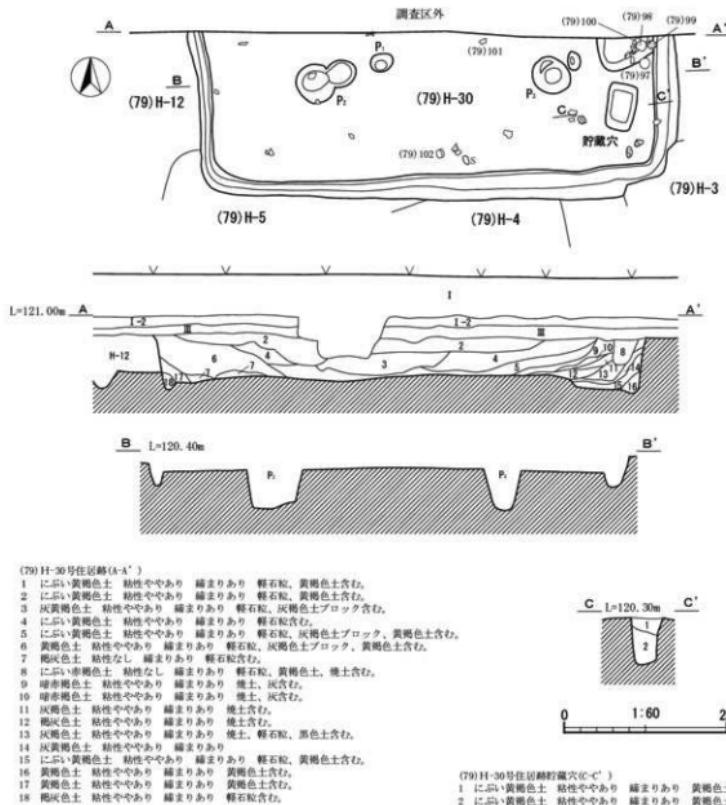
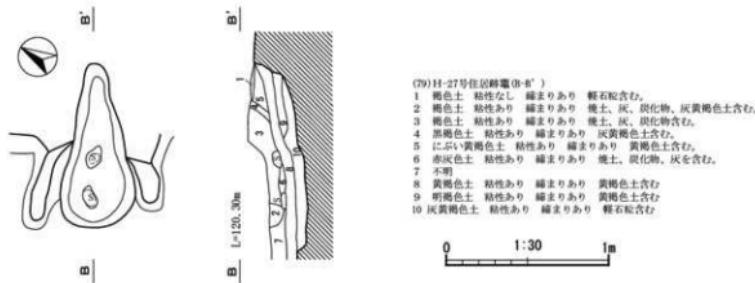
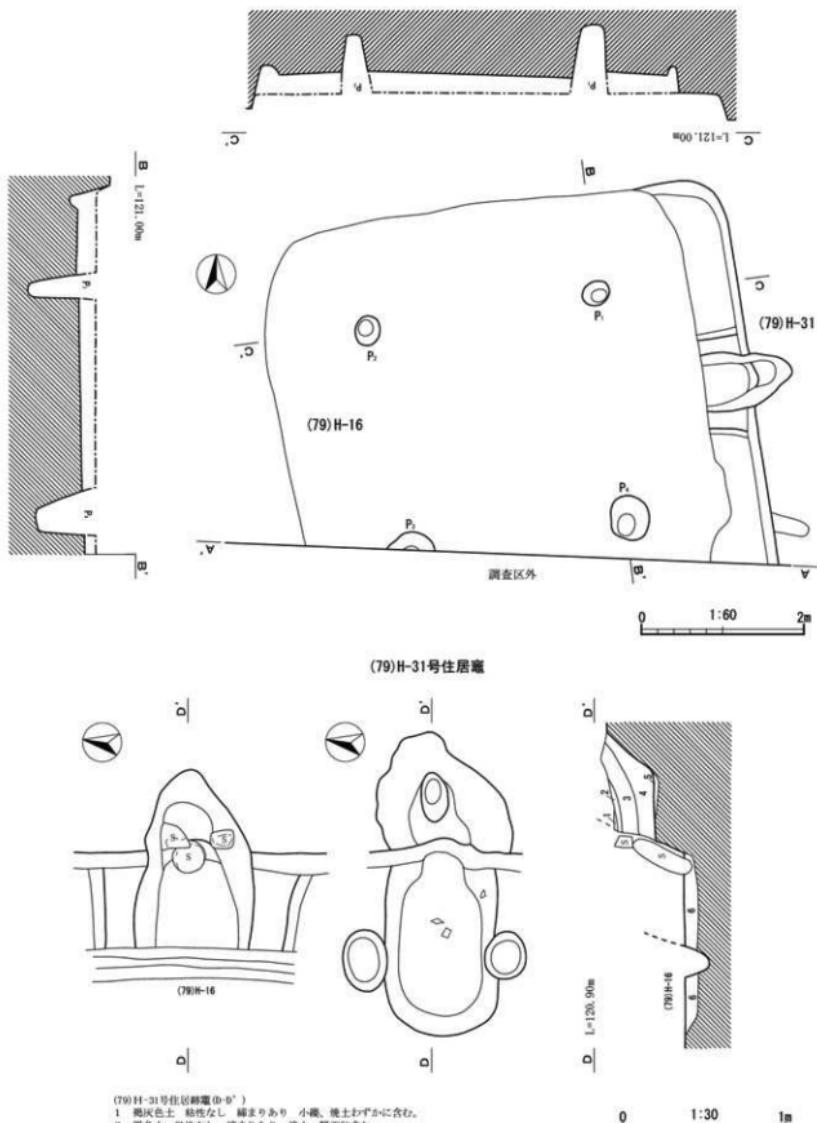


Fig. 47 (79) H-27・30



- (79) H-31号住居竪窓 (D-D')
- 1 黒褐色土 粘性なし 繼まりあり 小礫、焼土わずかに含む。
 - 2 黄褐色土 粘性なし 繼まりあり 燐土、軽石に含む。
 - 3 にじいろ褐色土 粘性なし 繼まりあり 黄褐色土含む。
 - 4 灰黄褐色土 粘性なし 繼まりあり 黄褐色土含む。
 - 5 にじいろ黄褐色土 粘性なし 繼まりあり 黄褐色土含む。
 - 6 灰黄褐色土 粘性なし 繼まりあり 黄褐色土含む。

Fig. 48 (79) H-31

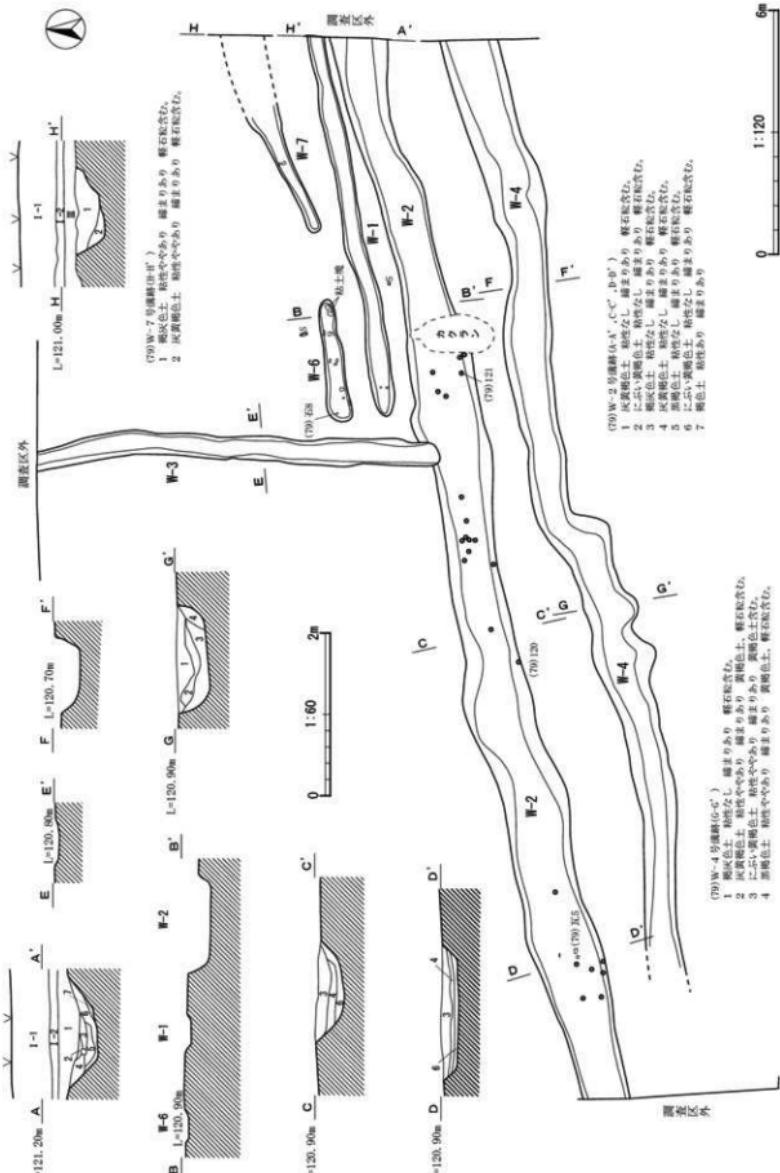


Fig. 49 (79) W-1 ~ 4 + 6 + 7

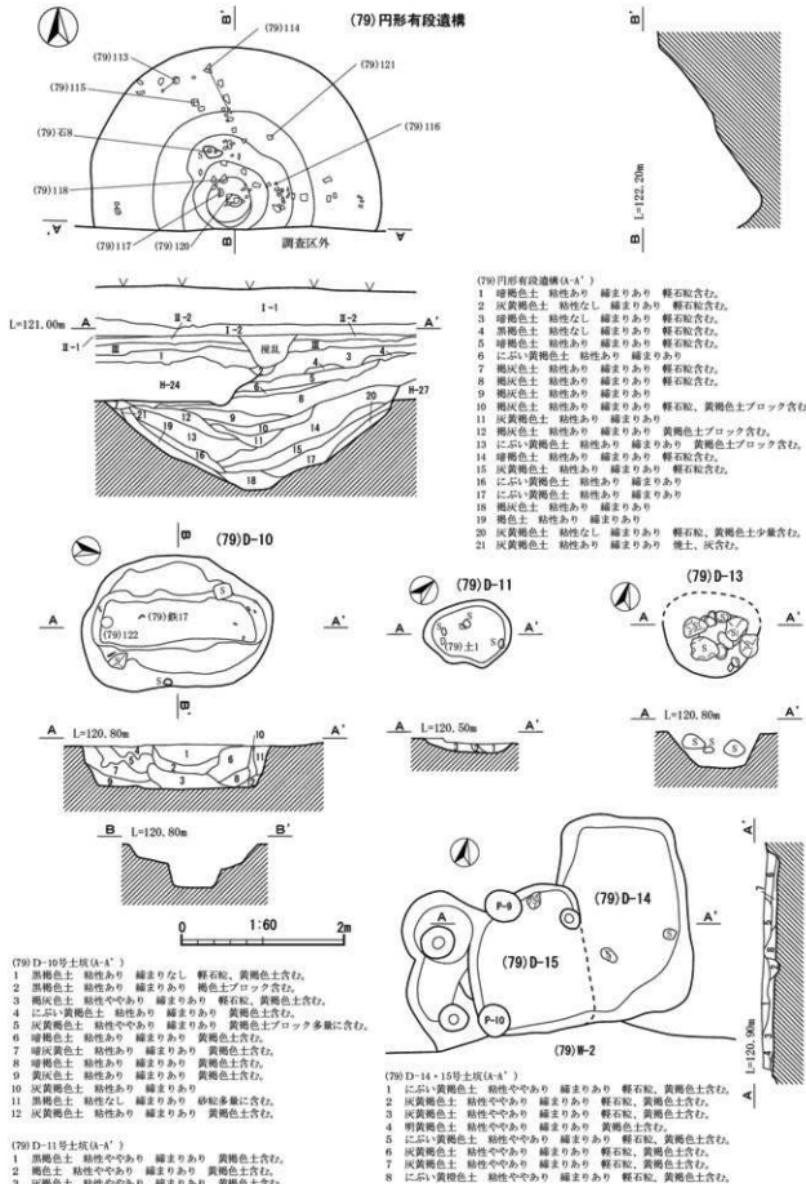
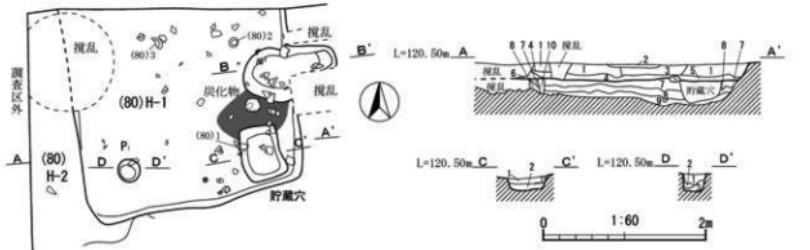
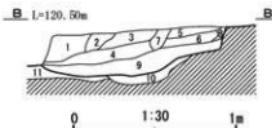


Fig. 50 (79) 円形有段遺構、D-10・11・13～15



(80) H-1 号住居跡(A-A')

- にぶい黄褐色 粘性ややあり 繰まりややあり 白色軽石をローム粒2%含む。
- 灰黃褐色 粘性ややあり 繰まりややあり 白色軽石とロームブロックを僅か含む。
- 灰黃褐色 粘性ややあり 繰まりあり 白色軽石を1%と細砂を含む。
- にぶい黄褐色 粘性ややややあり 白色軽石(φ5~10mm)1%とロームブロックを全体に含む。
- 灰黃褐色 粘性ややややあり 繰まりややややあり 白色軽石、ロームブロックを僅か含む。
- 灰黃褐色 粘性なし 繰まりなし 団土・塊土全体に含む。
- 灰黃褐色 粘性あり 繰まりあり 4倍より白色軽石、ロームブロックが多い。
- 灰黃褐色 粘性あり 繰まりあり 白色軽石、ロームブロックを所々に含む。
- 灰黃褐色 粘性ややややあり 繰まりあり ロームブロックを多く含み、白色軽石を僅か含む。
- 灰褐色 粘性あり 繰まりあり 白色軽土とブロックを全層に含み、僅かロームブロック含む。
- 灰黃褐色 粘性なし 繰まりなし 7-8-9層含む(擾乱、板の跡)。



(80) H-1 号住居跡窓穴(C-C')

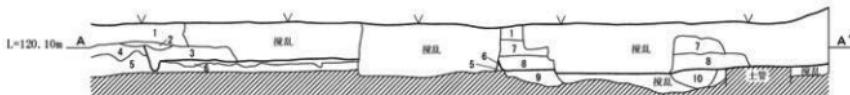
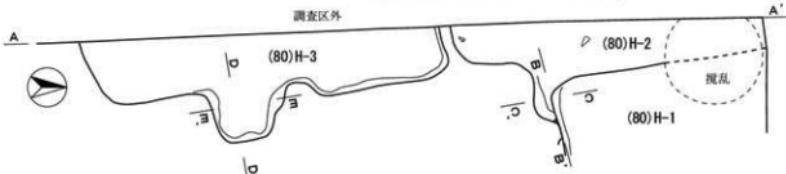
- にぶい黄褐色土 粘性ややあり 繰まりあり 团土・塊土・輕石(1~3mm)を1%含む。
- 灰黃褐色 粘性なし 繰まりややあり ロームブロックを多く含む。

(80) H-1 号住居跡1号ピット(B-B')

- 灰黃褐色 粘性あり 繰まりあり 白色軽石(φ1~2mm)を1%ロームブロック含む。
- 灰黃褐色 粘性あり 繰まりあり ロームブロックを多く含む。
- 灰黃褐色 粘性あり 繰まりあり ロームブロックを多く含む。

(80) H-1 号住居跡竪堀(B-B')

- 灰黃褐色 粘性なし 繰まりややあり 白色軽石(φ1~2mm)を1%含む。
- 灰黃褐色 粘性なし 繰まりややややあり 白色軽石(φ1~2mm)を1%, ロームブロック・炭化物を含む。耕作歴の擾乱と思われる。
- 灰黃褐色 粘性なし 繰まりややややあり 白色軽石(φ1~2mm)を1%と塊土粘土含む。
- にぶい黄褐色 粘性なし 繰まりややややあり 白色軽土を所々に含む。
- 灰黃褐色 粘性なし 繰まりややややあり 白色軽土を所々に含む。
- 灰黃褐色 粘性なし 繰まりなし 塵土・ロームブロック・灰・白色軽土を含む。
- 灰黃褐色 粘性なし 繰まりなし 白色軽土、ブロックを多く含む。
- 灰黃褐色 粘性なし 繰まりなし ロームブロック含む。
- 他土不含む(灰層)。
- 灰黃褐色 粘性ややややあり 繰まりややややあり 团土・塊土・ローム粒含む。
- 灰黃褐色 粘性なし 繰まりあり ロームブロック含む。



(80) H-2・3号住居跡(A-A')

- にぶい黄褐色 粘性ややややあり 白色軽石(φ1~3mm)を2%と細砂を含む。
- にぶい黄褐色 粘性ややややあり 繰まりややややあり 灰黃褐色粘土・ローム粒含む。
- にぶい黄褐色 粘性ややややあり 繰まりややややあり 白色軽石(φ1~5mm)を2%とローム粒、細砂を含む。
- にぶい黄褐色 粘性ややややややあり 繰まりややややややあり 白色軽石を所々に含み、ロームブロックを多く含む。
- にぶい黄褐色 粘性なし 繰まりあり ローム土。
- 灰黃褐色 粘性なし 繰まりあり 5層ロームブロックと白色軽石粘土含む。(貼石)。
- にぶい黄褐色 粘性ややややあり 繰まりややややあり 白色軽石(φ2~5mm)を1%と細砂を含む。
- にぶい黄褐色 粘性ややややあり 繰まりややややあり 白色軽石(φ2~5mm)を2%と塵土・ロームを1%含む。
- 灰黃褐色 粘性ややややあり 繰まりややややあり 塵土板とロームブロックを僅か含む。
- にぶい黄褐色 粘性あり 繰まりあり 軽石(φ4~8mm)とローム粒を含む。

Fig. 51 (80) H-1 ~ 3

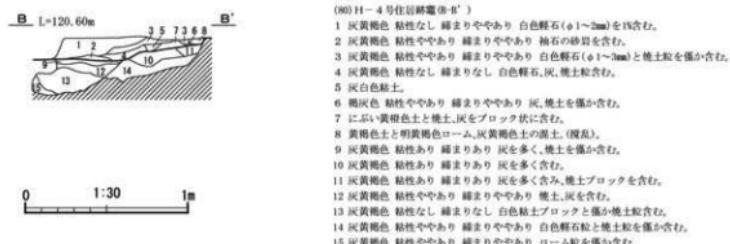
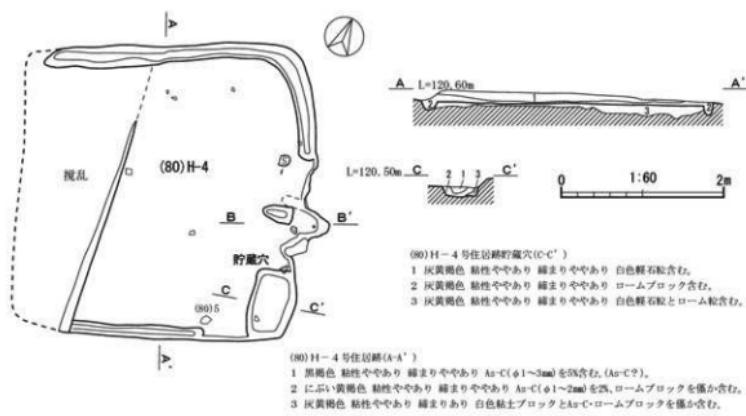
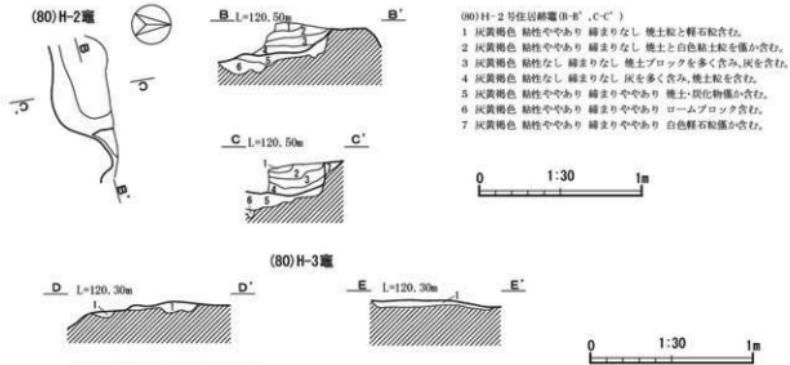


Fig. 52 (80) H-2 ~ 4

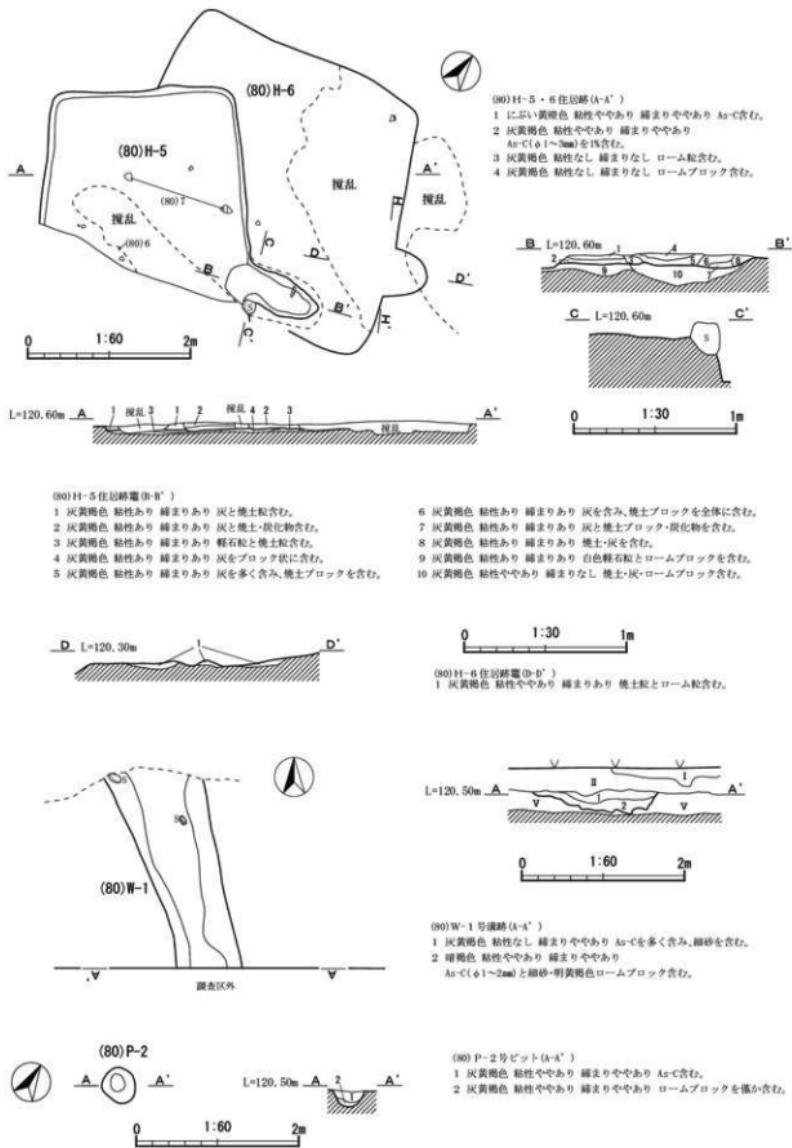


Fig. 53 (80) H-5 + 6, W-1, P-2

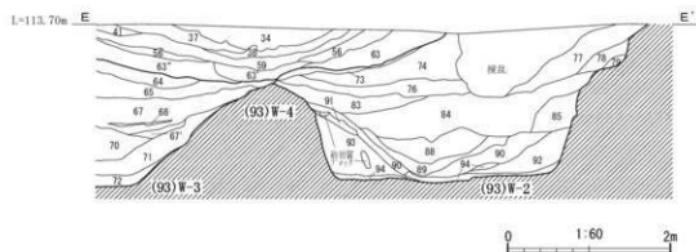
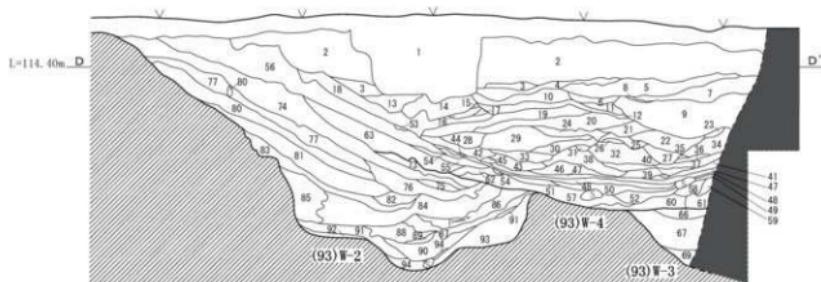
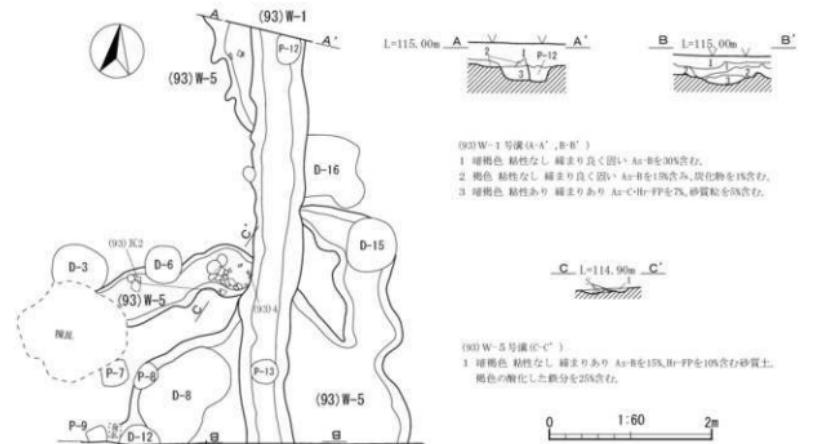


Fig. 54 (93) W-1 ~ 5

(93) W-2・3・4 2号灌漑渠(0'-0', E-E')

- 1 黒土(混土)
- 2 黒褐色 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを2%, 砂質ブロック(Φ5~10mm)を10%含む。
- 3 黒褐色 粘性あり 線まり良く固い A-Bを2%, 砂質ブロック(Φ1~5mm)を3%含む。
- 4 黒褐色 粘性あり 線まり良く固い A-Bを6%, 砂質ブロック(Φ1mm)を3%含む。
- 5 黒褐色 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを3%, 砂質ブロック(Φ5mm以下)を10%含む。
- 6 増毛層 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを3%, 砂質ブロック(Φ5mm)を2%含む。
- 7 黒褐色 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを3%, 砂質ブロック(Φ5~10mm)を3%含む。
- 8 黒褐色 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを3%, 砂質粒を2%含む。
- 9 黒褐色 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを7%, 砂質ブロック(Φ5~10mm)を10%含む。
- 10 黒褐色 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを1%, 砂質ブロック(Φ5~15mm)を3%含む。
- 11 黒褐色 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを10%, 砂質ブロック(Φ5~10mm)を10%含む。
- 12 増毛層 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを1%, 砂質ブロック(Φ5~30mm)を2%含む。
- 13 黒褐色 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを2%, 砂質粒を2%含む。
- 14 増毛層 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを6%, 砂質粒・ブロック(Φ5~10mm)を7%含む。
- 15 増毛層 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを3%, 砂質粒・ブロック(Φ5mm以下)を3%含む。
- 16 黒褐色 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを7%, 砂質粒・ブロック(Φ5~10mm)を3%含む。
- 17 増毛層 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを10%, 砂質粒・ブロック(Φ5mm以下)を3%含む。
- 18 黒褐色 粘性なし 線まり良く固い A-Bを1%, 砂質粒・ブロック(Φ10mm)を3%含む。
- 19 増毛層 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを3%, 砂質粒・ブロック(Φ10mm)を10%含む。
- 20 黒褐色 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを6%, 砂質粒・ブロック(Φ5mm)を3%含む。
- 21 黒褐色 粘性あり 線まり良く固い A-Bを6%, 砂質粒・ブロック(Φ5mm)を10%含む。
- 22 増毛層 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを3%, 砂質粒・ブロック(Φ5~10mm)を10%含む。
- 23 増毛層 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを6%, 砂質粒・ブロック(Φ5mm以下)を3%含む。
- 24 増毛層 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを6%, 砂質粒・ブロック(Φ5~10mm)を3%含む。
- 25 黒褐色 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを10%, 砂質粒・ブロック(Φ10mm)を3%含む。
- 26 黒褐色 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを3%, 砂質粒・ブロック(Φ5mm)を3%含む。
- 27 増毛層 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを3%, 砂質粒・ブロック(Φ5mm)を3%含む。
- 28 増毛層 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを3%, 砂質粒・ブロック(Φ5~20mm)を3%含む。
- 29 増毛層 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを6%, 砂質粒・ブロック(Φ5~20mm)を3%含む。
- 30 黒褐色 粘性あり 線まり良く固い A-Bを6%, 砂質粒・ブロック(Φ10mm)を3%含む。
- 31 増毛層 粘性あり 線まり良く固い A-Bを6%, 砂質粒を2%含む。
- 32 黒褐色 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを3%, 砂質粒・ブロック(Φ5~10mm)を3%含む。
- 33 増毛層 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを3%, 砂質粒・ブロック(Φ5~10mm)を3%含む。
- 34 黒褐色 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを7%, 砂質粒を3%含む。
- 35 黒褐色 粘性やや 線まり良く固い A-Bを3%, 砂質粒2%含む。
- 36 增毛層 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを3%, 砂質粒・ブロック(Φ5~20mm)を3%含む。
- 37 黒褐色 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを6%, 砂質粒・ブロック(Φ5~20mm)を3%含む。
- 38 黑褐色 粘性ややあり 線まり良く固い A-Bを6%, 砂質粒・ブロック(Φ5~10mm)を3%含む。
- 39 黑褐色 粘性あり 線まり良く固い A-Bを2%, 砂質粒・ブロック(Φ5~10mm)を3%含む。
- 40 黒褐色 粘性やややや 線まりより固い A-Bを10%, 砂質粒・ブロック(Φ5~20mm)を7%含む。
- 41 黒褐色 粘性あり 線まりより固い A-Bを7%, 砂質粒を10%含む。
- 42 増毛層 粘性やややや 線まりより固い A-Bを6%, 砂質粒・ブロック(Φ5~20mm)を3%含む。
- 43 黒褐色 粘性やややや 線まりより固い A-Bを6%, 砂質粒を3%含む。
- 44 増毛層 粘性あり 線まりより固い A-Bを3%, 砂質粒(Φ5mm)を3%含む。
- 45 増毛層 粘性あり 線まりより固い A-Bを3%, 砂質粒(Φ5mm)を3%含む。
- 46 増毛層 粘性やややや 線まりより固い A-Bを10%, 砂質粒・ブロック(Φ5~10mm)を3%含む。
- 47 黒褐色 粘性やややや 線まりより固い A-Bを3%, 砂質粒を3%含む。
- 48 黒褐色 粘性やややや 線まりより固い A-Bを3%, 砂質粒を3%含む。
- 49 黒褐色 粘性あり 線まりより固い A-Bを3%, 砂質粒を3%含む。
- 50 黒褐色 粘性なし 線まり良く固い A-Bを3%含む。
- 51 黑褐色 粘性あり 線まりより固い A-Bを3%, 砂質粒を10%含む。
- 52 黑褐色 粘性あり 線まりより固い A-Bを3%, 砂質粒を10%含む。

- 53 黑褐色 粘性やややや 線まり良く固い A-Bを3%, 砂質粒・ブロック(Φ30mm)を20%含む。
- 54 黑褐色 粘性あり 線まり良く固い A-Bを7%, 砂質粒・ブロック(Φ5~10mm)を20%含む。
- 55 黑褐色 粘性あり 線まり良く固い A-Bを7%, 砂質粒・ブロック(Φ5mm)を10%含む。
- 56 黑褐色 粘性なし 線まり良く固い A-Bを7%, 砂質粒・ブロック(Φ5mm)を7%含む。
- 57 黑褐色 粘性あり 線まりより固い A-Bを7%, 砂質粒・ブロック(Φ5~30mm)を30%含む。
- 58 黑褐色 粘性あり 線まりより固い A-Bを3%, 砂質粒を10%含む。
- 59 黑褐色 粘性あり 線まりより固い A-Bを2%, 砂質粒を7%含む。
- 60 黑褐色 粘性あり 線まりより固い A-Bを2%, 砂質粒を2%含む。
- 61 黑褐色 粘性あり 線まりより固い A-Bを7%, 砂質粒を2%含む。
- 62 黑褐色 粘性あり 線まりより固い A-Bを2%, 砂質粒を2%含む。
- 63 黑褐色 粘性なし 線まりよく固い A-Bを7%, 砂質粒を10%含む。
- 64 黑褐色 粘性やややや 線まりより固い A-Bを6%, 砂質粒を10%含む。
- 65 黑褐色 粘性あり 線まりよく固い A-Bを3%, 砂質粒・ブロック(Φ5~10mm)を3%含む。
- 66 黑褐色 粘性やややや 線まりよく固い A-Bを6%, 砂質粒を3%含む。
- 67 にじ 黄褐色 粘性なし 線まりよく固い A-Bを20%, 砂質粒を3%含む。
- 68 黑褐色 粘性あり 線まりより固い A-Bを3%, 白色粘土を2%含む。
- 69 黑褐色 粘性あり 線まりより固い A-Bを3%, 白色粘土を2%含む。
- 70 灰褐色 粘性やややや 線まりよく固い A-Bを3%, 白色砂質土を3%含む。
- 71 黑褐色 粘性あり 線まりより固い A-Bを10%, 砂質粒・ブロック(Φ5mm)を3%含む。
- 72 黑褐色 粘性なし 緿まりより固い A-Bを3%含む。
- 73 黑褐色 粘性なし 緿まりよく固い
- A-Bを6%, 砂質粒・ブロック(Φ5~20mm)を25%含む。
- 74 黑褐色 粘性ややあり 緿まりよく固い A-Bを3%, 砂質粒・ブロック(Φ5mm)を20%含む。
- 75 黑褐色 粘性あり 緿まりより固い A-Bを10%含む。
- 76 黑褐色 粘性あり 緿まりより固い A-Bを7%含む。
- 77 黑褐色 粘性なし 緿まりよく固い A-Bを15%, 砂質粒・ブロック(Φ5mm)を5%含む。
- 78 黑褐色 粘性やややや 緿まりより固い A-Bを6%, 砂質粒・ブロック(Φ5mm)を5%含む。
- 79 黑褐色 粘性やややや 緿まりより固い A-Bを10%, 砂質粒・ブロック(Φ10mm)を5%含む。
- 80 黑褐色 粘性なし 緿まりよく固い
- A-Bを6%, 砂質粒・ブロック(Φ5~20mm)を15%含む。
- 81 黑褐色 粘性なし 緿まりよく固い
- A-Bを7%, 砂質粒・ブロック(Φ5~20mm)を5%含む。
- 82 黑褐色 粘性あり 緿まりより固い A-Bを10%, 砂質粒・ブロック(Φ20mm)を5%含む。
- 83 黑褐色 粘性あり 緿まりより固い A-Bを2%, 砂質粒を5%含む。
- 84 黑褐色 粘性あり 緿まりより固い A-Bをほとんど含まず、砂質粒を5%含む。
- 85 黑褐色 粘性やややや 緿まりより固い
- A-Bを7%, 砂質粒・ブロック(Φ5~10mm)を10%含む。
- 86 黑褐色 粘性あり 緿まりより固い A-Bをほとんど含まず、砂質粒・白色粘土を7%含む。
- 87 黑褐色 粘性やややや 緿まりより固い
- A-Bを6%, 砂質粒・ブロック(Φ5mm)を20%含む。
- 88 黑褐色 粘性なし 緿まりよく固い A-Bを3%含む。
- 89 黑褐色 粘性やややや 緿まりより固い A-Bを25%, 砂質粒を5%含む。
- 90 黑褐色 粘性なし 緿まりよく固い A-Bを3%含む。
- 91 黑褐色 粘性やややや 緿まりよく固い
- A-Bを10%, 砂質粒・ブロック(Φ5mm)を10%含む。
- 92 黑褐色 粘性やややや 緿まりよく固い A-Bを7%含む。
- 93 黑褐色 粘性やややや 緿まりよく固い A-Bを3%, 砂質粒を30%含む。
- 94 黑褐色 粘性あり 緿まりややややあり A-Bをほとんど含まない。

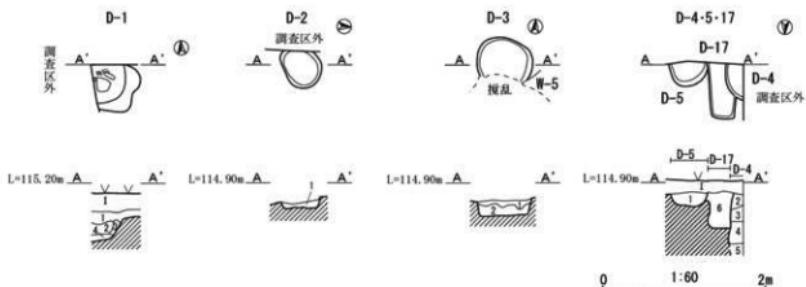


Fig. 55 (93) W-2 ~ 4、土坑群

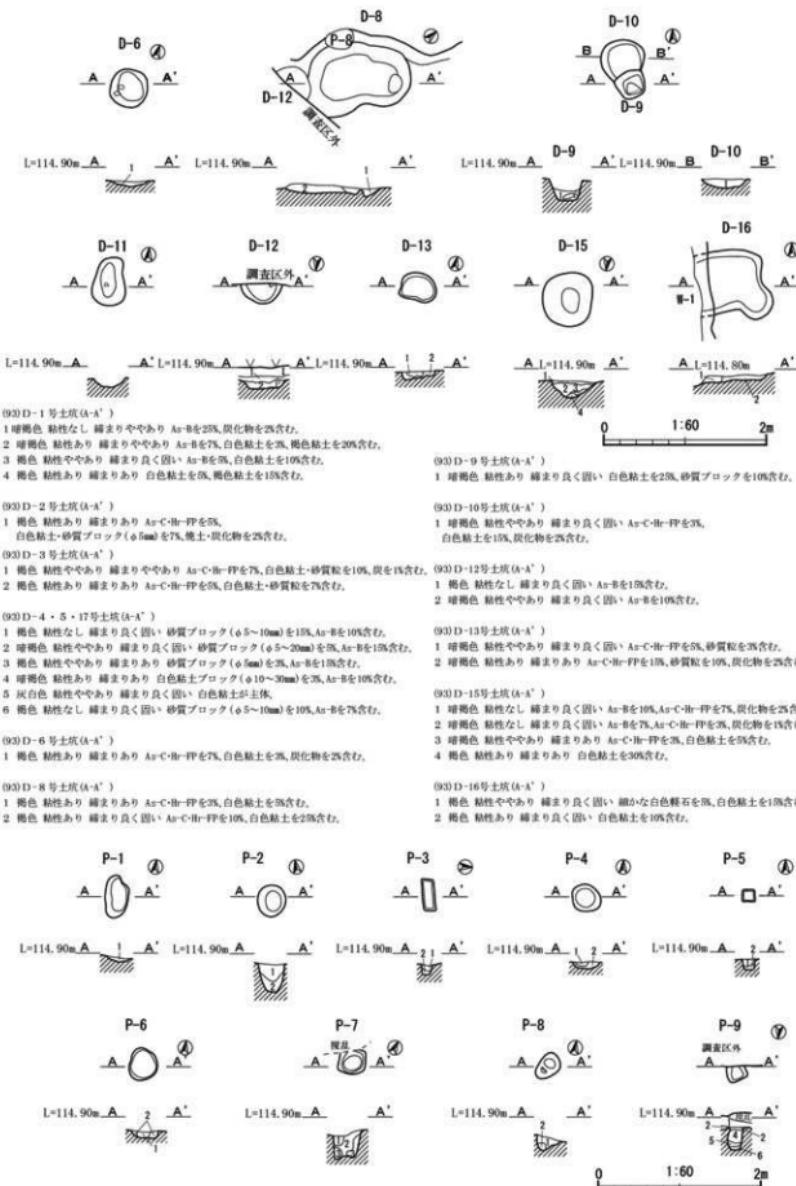
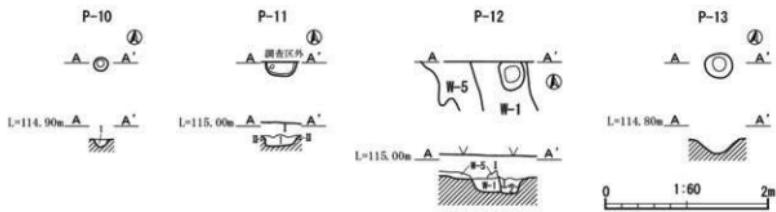


Fig. 56 (93) 土坑群、ピット群



- (93) P-1号ピット(A-A'')
- 1 黒褐色 粘性ややあり 繰まり良く固い As-C-Hr-FPを5%, 砂質土を5%, 塗化物を3%含む。
 - 2 黒褐色 粘性あり 繰まりややあり 白色粘土を10%含む。
- (93) P-2号ピット(A-A'')
- 1 黒褐色 粘性あり 繰まりややあり 白色粘土を10%含む。
 - 2 黑褐色 粘性あり 繰まりややあり 白色粘土を5%含む。
- (93) P-3号ピット(A-A'')
- 1 増雨色 粘性ややあり 繰まりあり 白色粘土を5%, 塗化物を5%含む。
 - 2 黑褐色 粘性あり 繰まりややあり 白色粘土を5%含む。
- (93) P-4号ピット(A-A'')
- 1 黒褐色 粘性ややあり 繰まりややあり As-C-Hr-FPを10%, 砂質土を5%含む。
 - 2 黑褐色 粘性あり 繰まり良く固い As-C-Hr-FPを10%, 塗化物を2%含む。
- (93) P-5号ピット(A-A'')
- 1 黒褐色 粘性あり 繰まり良く固い As-C-Hr-FPを10%, 塗化物を1%含む。
 - 2 にぶい黄褐色 粘性あり 繰まりややあり 白色粘土が主体。
- (93) P-6号ピット(A-A'')
- 1 黒褐色 粘性ややあり 繰まりややあり As-C-Hr-FPを5%含む。
 - 2 黑褐色 粘性あり 繰まりややあり As-C-Hr-FPを5%, 白色粘土を1%含む。
- (93) P-7号ピット(A-A'')
- 1 黑褐色 粘性ややあり 繰まりややあり As-Bを1%, 白色粘土を5%含む。
 - 2 增雨色 粘性ややあり 繰まりややあり As-Bを10%, 白色粘土を7%含む。
 - 3 黑褐色 粘性あり 繰まりややあり As-Bを7%, 白色粘土を1%含む。
- (93) P-8号ピット(A-A'')
- 1 黑褐色 粘性ややあり 繰まり良く固い As-C-Hr-FPを10%, 砂質土を5%含む。
 - 2 黑褐色 粘性あり 繰まりややあり 鮫石を含む、白色粘土を10%含む。
- (93) P-9号ピット(A-A'')
- 1 黒褐色 粘性土。
 - 2 黑褐色 粘性なし 繰まり良く固い As-Bを1%含む。
 - 3 增雨色 粘性ややあり 繰まり良く固い As-Bを10%含む。
 - 4 黑褐色 粘性なし 繰まり良く固い As-Bを1%含む。
 - 5 にぶい黄褐色 粘性ややあり 繰まり良く固い As-Bを5%, 白色粘土を10%含む。
 - 6 增雨色 粘性あり 繰まりややあり 白色粘土が主体。
- (93) P-10号ピット(A-A'')
- 1 黑褐色 粘性ややあり 繰まり良く固い As-C-Hr-FPを5%含む。
- (93) P-11号ピット(A-A'')
- 1 增雨色 粘性ややあり 繰まりややあり As-Bを7%, 白色粘土を1%含む。
- (93) P-12号ピット(A-A'')
- 1 增雨色 粘性ややあり 繰まり良く固い As-C-Hr-FPを20%, 塗土を1%含む。
 - 2 黑褐色 粘性ややあり 繰まり良く固い As-Bを10%, As-C-Hr-FPを5%, 塗化物を1%含む。

元社寮海遺跡群(94)全体図

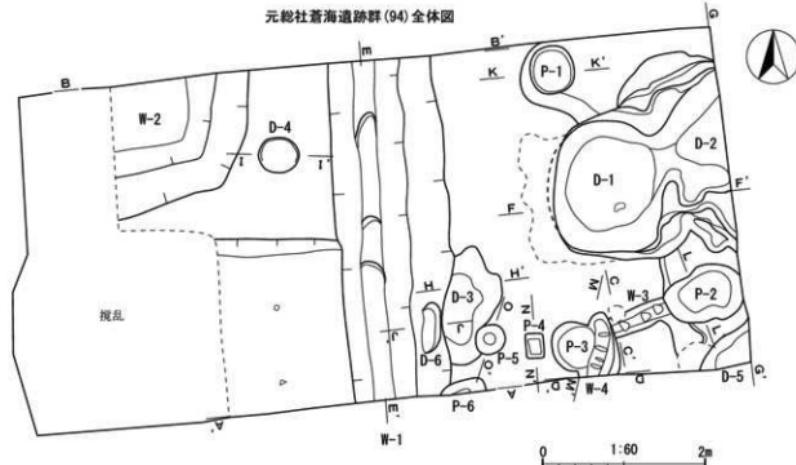
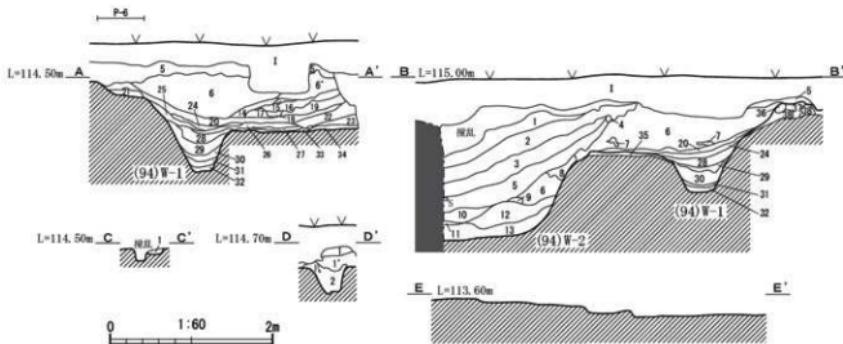


Fig. 57 (93) ピット群、(94) 全体図



(94) W-1・2号横断(A'-B')

- にぶ~黄褐色 粘性なし 締まり良く固い
ローム粘土(φ1~2mm), 砂質粘土(6~5mm)を25%含み, As-Bを10%含む。
- にぶ~黄褐色 粘性なし 締まり良く固い
ローム粘土(φ1~2mm)を5%, 砂質粘土(φ1~2mm)を10%, As-Bを25%含む。
- にぶ~黄褐色 粘性なし 締まり良く固い 砂質粘土(φ1~2mm)を75%含み, As-Bを10%含む。
- にぶ~黄褐色 粘性なし 締まり良く固い As-C-Hr-FPを25%含む。
- にぶ~黄褐色 粘性なし 締まり良く固い 砂質粘土(φ1~2mm)を10%含み, As-Bを5%含む。
- 6 帯褐色 粘性あり 締まり良く固い
白色粘土(φ0~40mm), 砂質ブロック(φ2~20mm)を5%, As-Bを50%含む。
- 7 帯褐色 粘性あり 締まり良く固い 白色粘土(φ0~10mm)を5%, As-Bを10%含む。
- 8 帯褐色 粘性あり 締まり良く固い As-C-Hr-FPを7%含む。
- 9 にぶ~黄褐色 粘性なし 締まり良く固い 砂質粘土(φ1~2mm)を2%含み, As-Bを7%含む。
- 10 にぶ~黄褐色 粘性あり 締まり良く固い 砂質粘土(φ1~2mm)を10%含み, As-Bを10%含む。
- 11 帯褐色 粘性あり 締まり良く固い 白色粘土ブロック(φ2~5mm)を7%含む。
- 12 帯褐色 粘性あり 締まり良く固い As-Bを5%含む。
- 13 黒褐色 粘性あり 締まり良く固い 白色粘土ブロック(φ2~5mm)を15%, 砂質ブロック(φ2~5mm)を35%含む。
- 14 帯褐色 粘性あり 締まり良く固い As-Bを20%, 白色粘土粘土を含む。
- 15 黄褐色 粘性なし 締まり良く固い As-Bを10%, 白色粘土粘土を1%含む。
- 16 帶褐色 粘性あり 締まり良く固い As-Bを10%, 白色粘土粘土を5%含む。
- 17 帯褐色 粘性あり 締まり良く固い As-Bを7%, 白色粘土粘土を5%含む。
- 18 帯褐色 粘性あり 締まり良く固い As-Bを7%, 白色粘土粘土を5%含む。

(94) W-3号横断(C-C')

- 褐色 粘性あり 締まり良く固い
白色粘土(φ5~10mm)を10%, 砂質ブロック(φ5mm)を7%含む。

- 19 褐色 粘性あり 締まり良く固い As-Bを7%, 白色粘土粘土を40%含む。
- 20 帯褐色 粘性あり 締まり良く固い 砂質ブロック(φ2~5mm)を7%, As-Bを15%含む。
- 21 帯褐色 粘性あり 締まり良く固い 白色粘土粘土を30%含む。
- 22 黒褐色 粘性ややあり 締まり良く固い As-Bを15%, 白色粘土粘土を5%含む。
- 23 褐色 粘性あり 締まり良く固い As-Bを10%, 白色粘土粘土を1%含む。
- 24 黑褐色 粘性あり 締まり良く固い
白色粘土ブロック(φ2~5mm)を5%, 砂質ブロック(φ2~5mm)を7%含む。
- 25 帯褐色 粘性ややあり 締まり良く固い As-Bを10%, 白色粘土粘土を5%含む。
- 26 黒褐色 粘性あり 締まり良く固い As-C-Hr-FPを5%, 白色粘土粘土を7%含む。
- 27 帯褐色 粘性あり 締まり良く固い 灰化物を2%, 白色粘土粘土を3%含む。
- 28 带褐色 粘性あり 締まり良く固い
白色粘土(φ2mm)を40%, 砂質ブロック(φ2mm)を35%含む。
- 29 带褐色 粘性あり 締まり良く固い 砂質ブロック(φ10mm)を5%, 灰化物を1%含む。
- 30 带褐色 粘性あり 締まり良く固い
白色粘土(φ2mm)を40%, 砂質ブロック(φ3~5mm)を10%, 灰化物を3%含む。
- 31 黑褐色 粘性あり 締まり良く固い Hr-FPを2%含む。
- 32 にぶ~黄褐色 粘性なし 締まり良く固い 白色粘土(φ2~5mm)を50%含む。下位に砂層。
- 33 带褐色 粘性あり 締まり良く固い 白色粘土粘土が主体。
- 34 にぶ~黄褐色 粘性あり 締まり良く固い 白色粘土粘土が主体。
- 35 黑褐色 粘性あり 締まり良く固い As-C-Hr-FPを5%, 白色粘土粘土を10%含む。
- 36 黄褐色 粘性なし 締まり良く固い 砂岩ブロック(塊山)。
- 37 带褐色 粘性なし 締まり良く固い 細かな白色石粉を15%含む(塊山)。
- 38 にぶ~黄褐色 粘性ややあり 締まり良く固い 白色粘土粘土が主体(塊山)。

(94) W-4号横断(D-D')

- にぶ~黄褐色 粘性なし 締まり良く固い As-Bを15%, 灰化物を2%含む。
- 1' にぶ~黄褐色 粘性なし 締まり良く固い As-Bを15%, 灰化物を7%, 白色粘土(φ2~3mm)を5%含む。
- 2 带褐色 粘性なし 締まり良く固い As-Bを40%, 灰化物を2%含む。

D-2

D-5

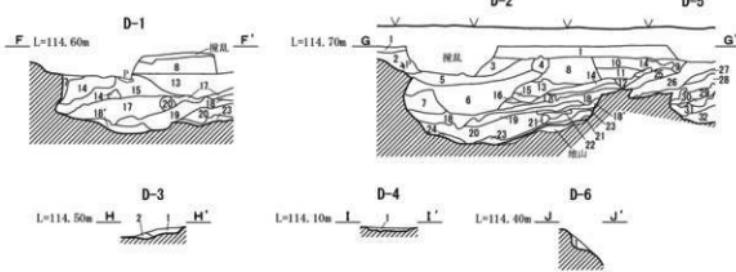


Fig. 58 (94) W-1 ~ 4, 土坑群

(94) D-1・2・5号土坑(伊^サ、G^サ)

- 1 にぶん黒褐色 粘性なし 繼まり良く固い As-Bを10%、炭化物を7%含む。
- 2 褐色 粘性なし 繼まり良く固い
As-Bを7%、炭化物を5%、白色粘土・砂質ブロックを2%含む。
- 3 褐色 粘性なし 繼まり良く固い
As-Bを10%、白色粘土ブロック(φ5~20mm)を7%、As-C-Hr-FPを5%含む。
- 4 白色 粘性ややあり 繼まり良く固い As-C-Hr-FPを3%、砂質粘土を1%含む。
- 5 墓褐色 粘性あり 繼まり良く固い
As-C-Hr-FPを7%、白色粘土ブロック(φ5~20mm)を10%、炭化物を1%含む。
- 6 墓褐色 粘性あり 繼まり良く固い
As-C-Hr-FPを7%、白色粘土ブロック・砂質ブロック(φ5~30mm)を1%含む。
- 7 灰白色 粘性あり 繼まり良く固い 白色粘土が主体。
- 8 墓褐色 粘性なし 繼まり良く固い
As-C-Hr-FPを1%、砂質ブロック(φ2~5mm)を5%含む。
- 9 にぶん 黑褐色 粘性なし 繼まり良く固い As-C-Hr-FPを3%、炭化物を1%含む。
- 10 墓褐色 粘性ややあり 繼まり良く固い
As-C-Hr-FPを10%、砂質ブロック(φ5mm)を2%、炭化物を1%含む。
- 11 褐色 粘性なし 繼まり良く固い As-C-Hr-FPを7%、砂質粘土を2%、炭化物を1%含む。
- 12 褐色 粘性なし 繼まり良く固い As-C-Hr-FPを3%、白色粘土粘・砂質粘土を5%含む。
- 13 墓褐色 粘性なし 繼まり良く固い As-C-Hr-FPを10%、砂質粘土を1%含む。
- 14 褐色 粘性ややあり 繼まり良く固い 白色粘土粘・塊を4%含む。
- 15 黒褐色 粘性ややあり 繼まり良く固い 砂質粘土・塊を4%含む。

(94) D-2号土坑(伊^サ)

- 1 褐色 粘性ややあり 繼まり良く固い As-C-Hr-FPを10%、白色粘土・砂質ブロック(φ10~50mm)を1%含む。
 - 2 褐色 粘性あり 繼まり良く固い 白色粘土ブロック(φ5~20mm)を10%含む。
- (94) D-4号土坑(伊^サ)
- 1 墓褐色 粘性あり 繼まり良く固い 白色粘土ブロック(φ2~5mm)を20%、炭化物を2%含む。
- (94) D-6号土坑(伊^サ)
- 1 墓褐色 粘性あり 繼まり良く固い As-C-Hr-FPを7%、白色粘土(φ20mm)を20%含む。
- 16 黒褐色 粘性なし 繼まり良く固い 粗砂、As-C-Hr-FPを5%含む。
 - 17 墓褐色 粘性あり 繼まり良く固い 白色粘土粘を10%、砂質粘土を7%含む。
 - 18 褐色 粘性あり 繼まり良く固い 白色粘土粘・塊を10%、砂質粘土を7%含む。
 - 19 墓褐色 粘性あり 繼まり良く固い 白色粘土粘・塊を20%、砂質粘土を10%含む。
 - 20 黒褐色 As-Bを1%、白色粘土粘を5%、砂質粘土(φ5mm)を7%含む。
 - 21 黄褐色 粘性なし 繼まり良く固い 砂質アラッタ。
 - 22 墓褐色 粘性ややあり 繼まり良く固い 白色粘土粘を10%、As-C-Hr-FPを3%含む。
 - 23 黑褐色 粘性あり 繼まり良く固い 白色粘土粘を5%、砂質粘土を3%含む。
 - 24 墓褐色 粘性あり 繼まり良く固い 砂質粘土塊を10%、白色粘土粘を5%含む。
 - 25 黑褐色 砂質粘土塊を7%、白色粘土粘を10%含む。
 - 26 墓褐色 粘性ややあり 繼まり良く固い
As-Bを7%、白色粘土粘・塊を10%、砂質粘土を10%含む。
 - 27 墓褐色 粘性あり 繼まり良く固い As-C-Hr-FPを5%、砂質粘土を3%含む。
 - 28 褐色 粘性あり 繼まり良く固い 白色粘土粘を40%、砂質粘・ブロックを20%含む。
 - 29 墓褐色 粘性あり 繼まり良く固い As-Bを10%、砂質粘土を7%含む。
 - 30 黑褐色 粘性ややあり 繼まりやすくあり 粗砂、As-C-Hr-FPを5%含む。
 - 31 墓褐色 粘性あり 繼まりやすく 砂質粘土を7%含む。
 - 32 黑褐色 粘性あり 繼まりよく 砂質粘・ブロックを10%含む。
-
- (94) P-2号ビット(L-L')
- 1 黒褐色 粘性ややあり 繼まり良く固い
As-C-Hr-FPを10%、砂質ブロック(φ5~100mm)を1%含む。

(94) P-3号ビット(O-O')

 - 1 褐色 粘性あり 繼まりややあり 白色粘土ブロック(φ20~80mm)を50%、炭化物を5%含む。

(94) P-4号ビット(N-N')

 - 1 褐色 粘性あり 繼まりややあり 白色粘土ブロック(φ20~80mm)を50%、炭化物を5%含む。

(94) P-5号ビット(O-O')

 - 1 褐色 粘性あり 繼まり良く固い As-C-Hr-FPを5%、白色粘土(φ2~10mm)を1%含む。
- Fig. 59 (94) 土坑群、ビット群
- 93 -

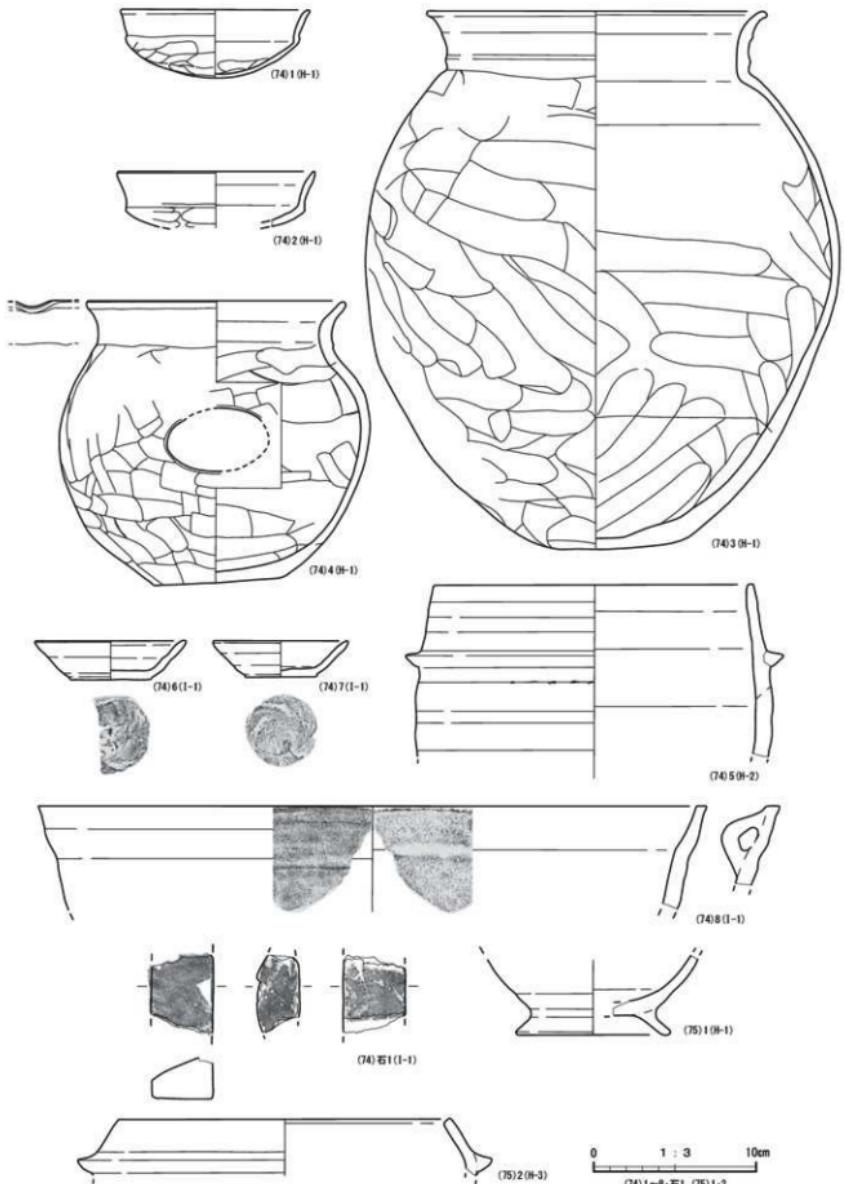


Fig. 60 (74) (75) 出土遺物

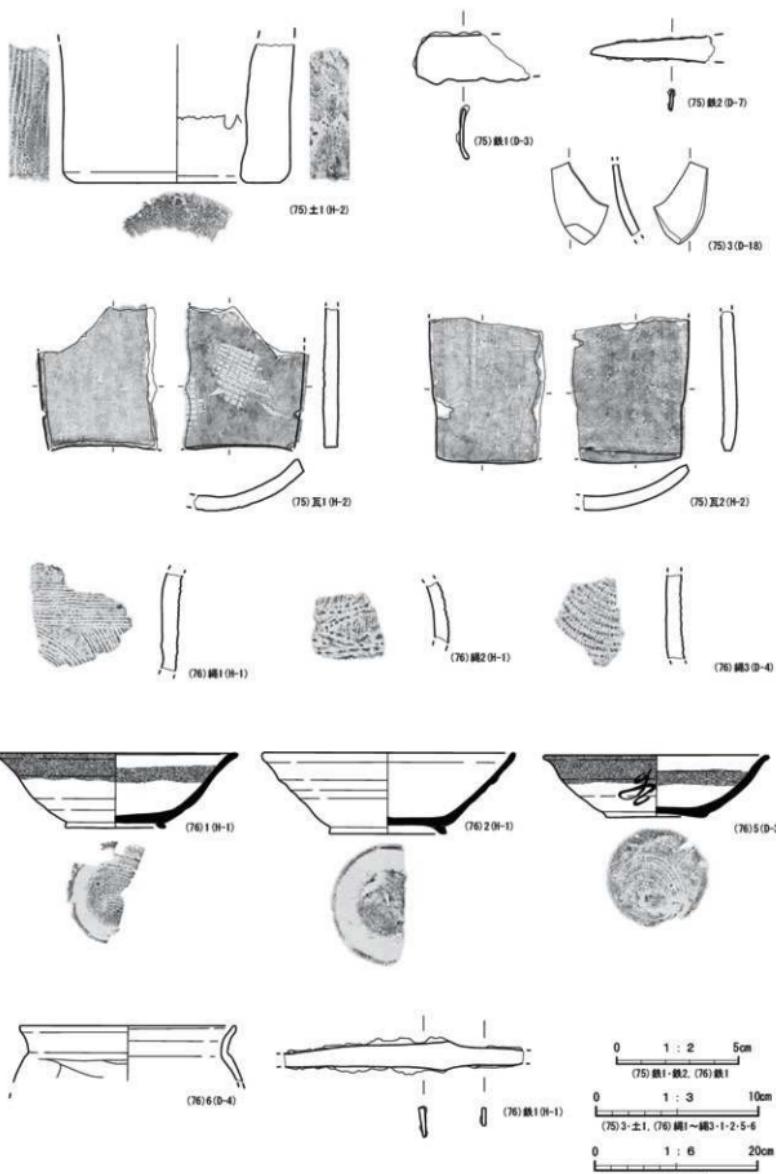


Fig. 61 (75) (76) 出土遺物

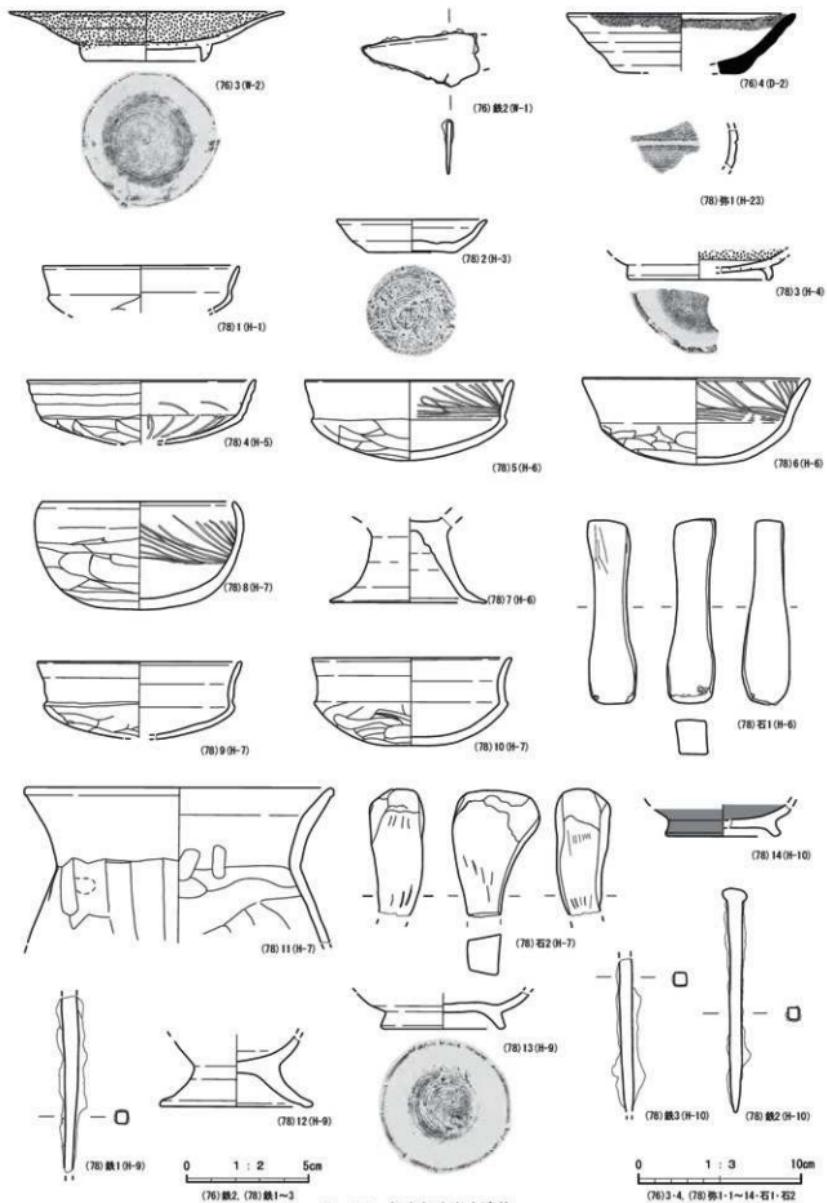


Fig. 62 (76) (78) 出土遺物

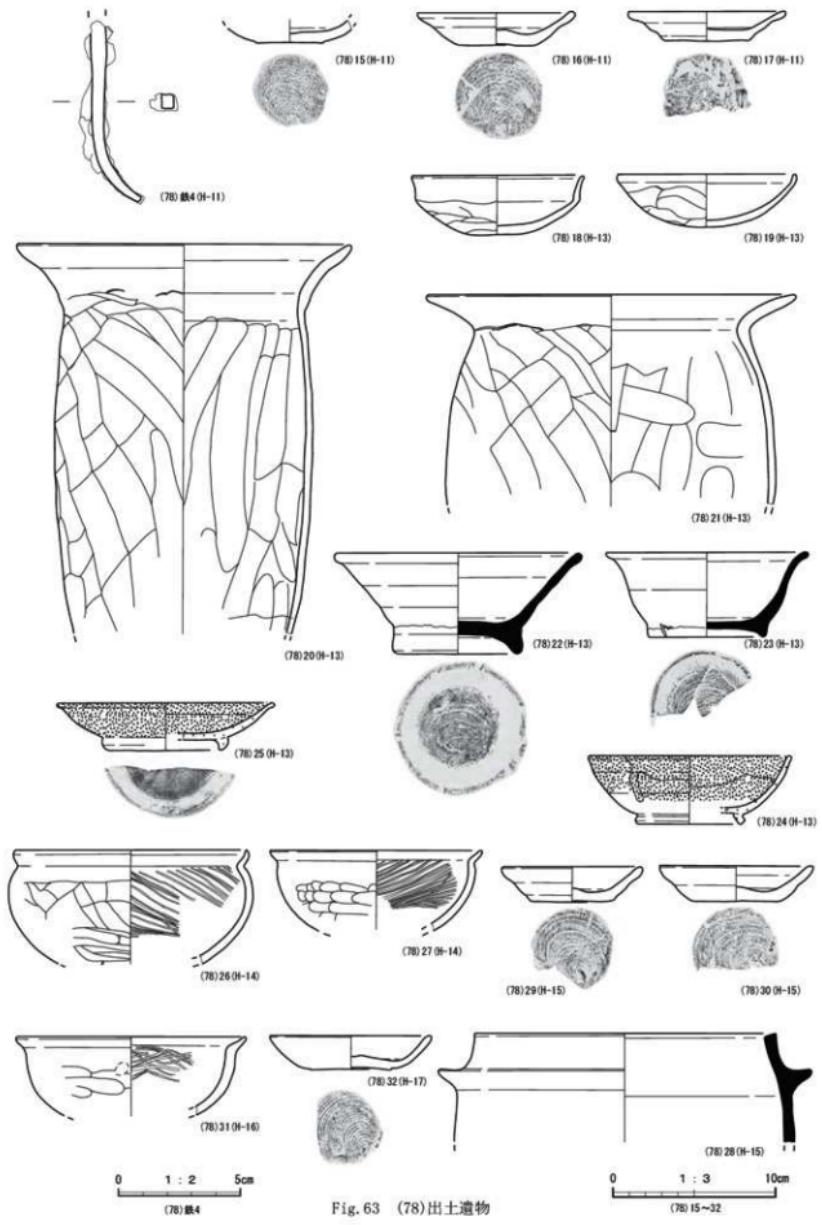


Fig. 63 (78) 出土遺物

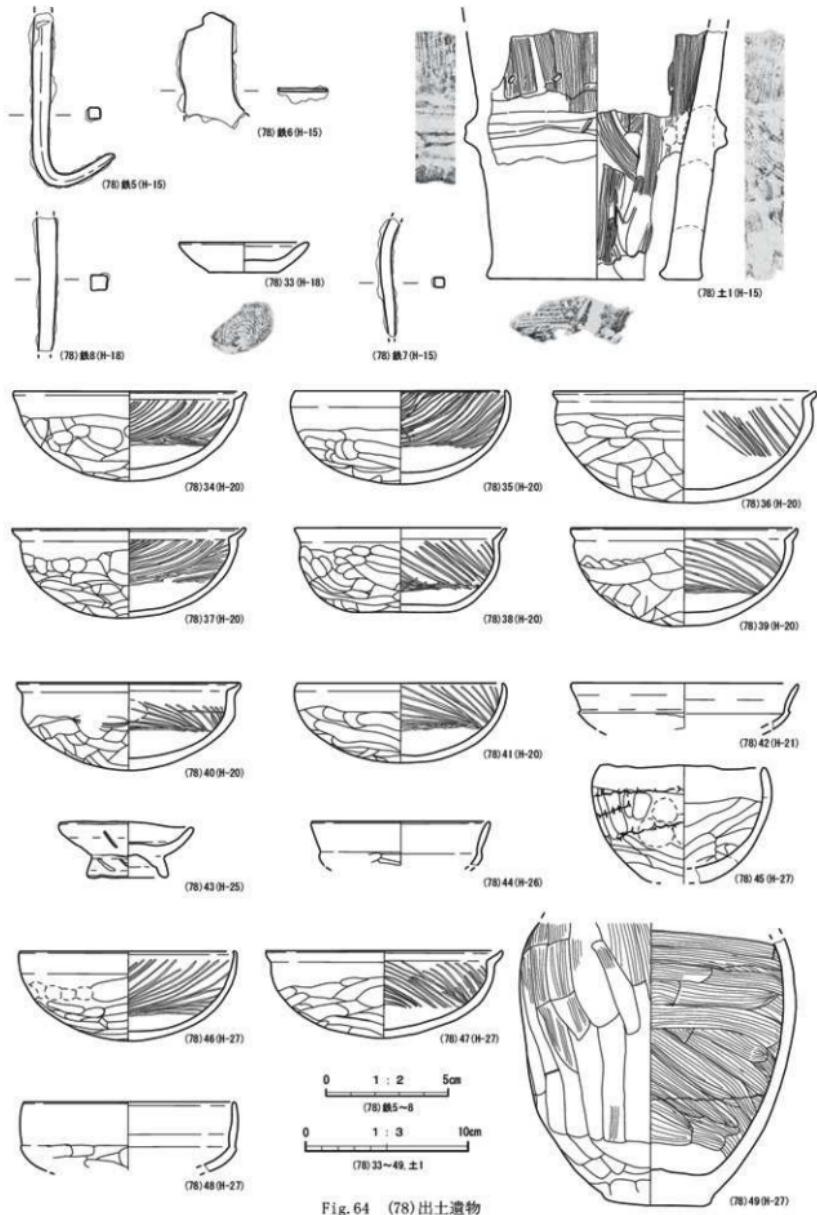


Fig. 64 (78) 出土遺物

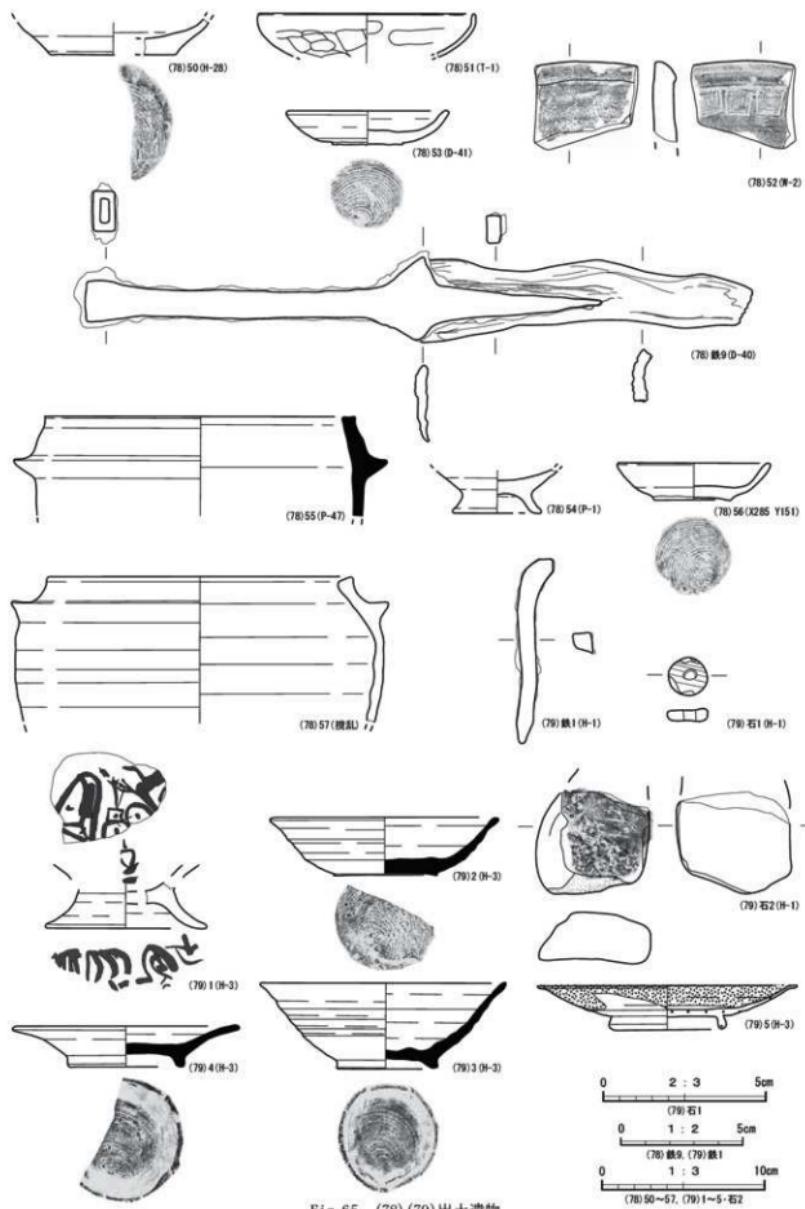


Fig. 65 (78) (79) 出土遺物

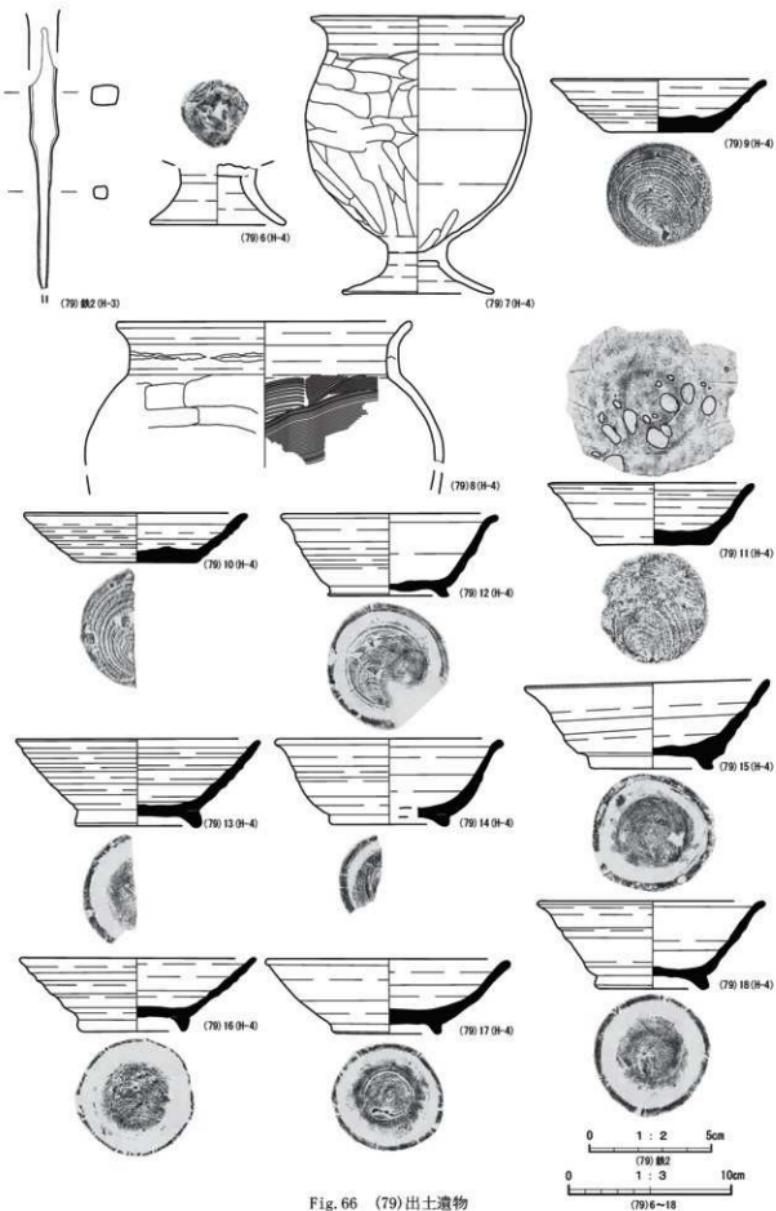


Fig. 66 (79)出土遺物

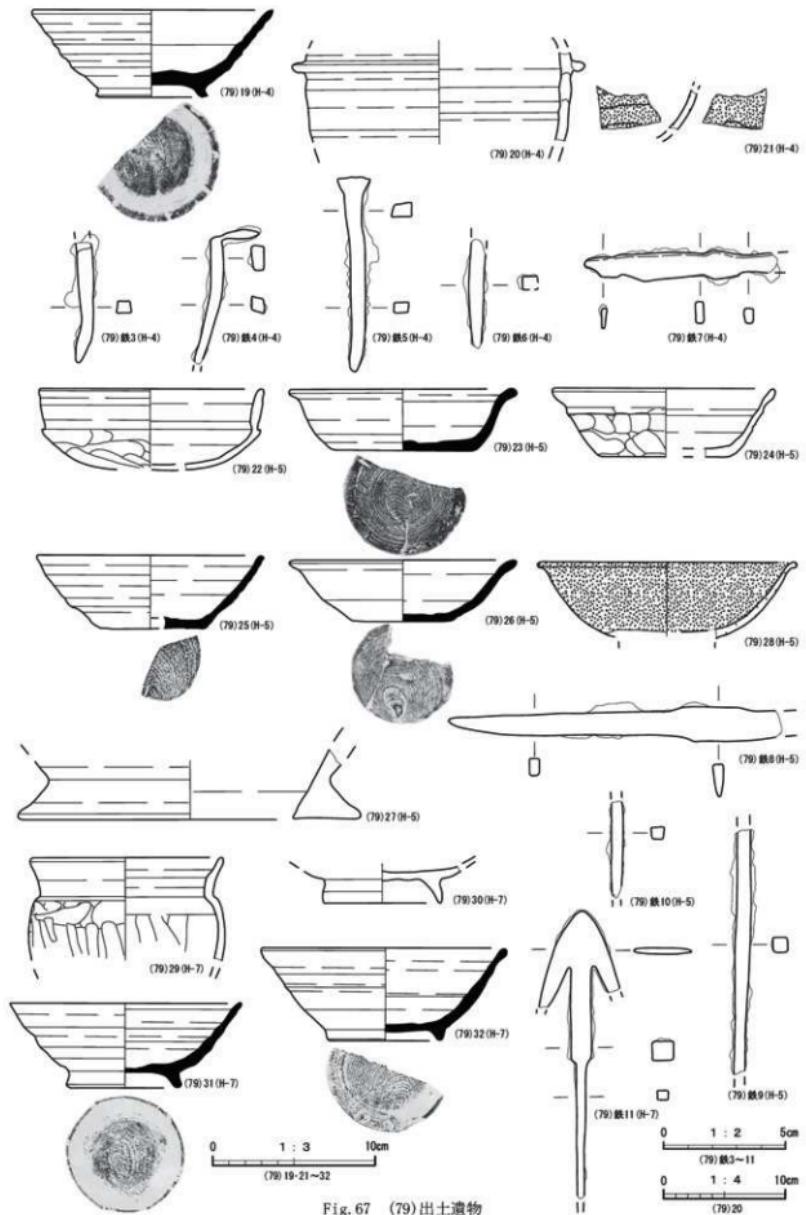


Fig. 67 (79) 出土遺物

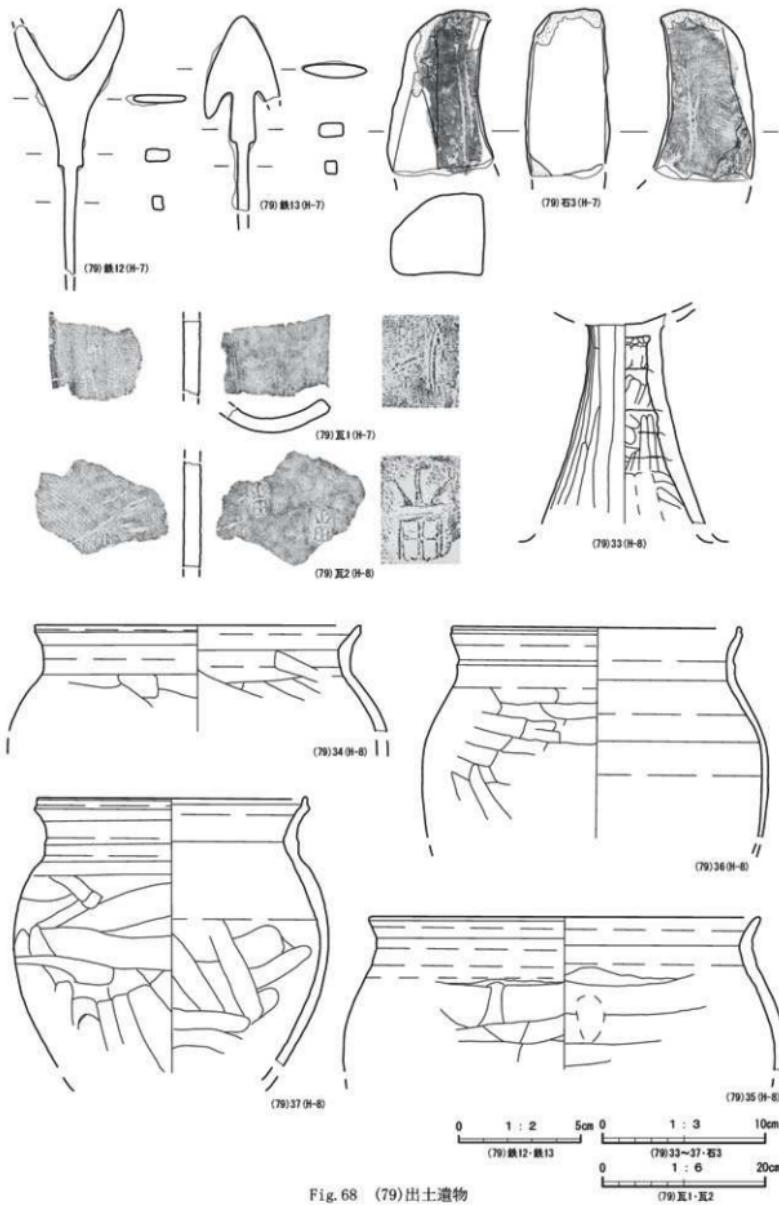


Fig. 68 (79) 出土遺物

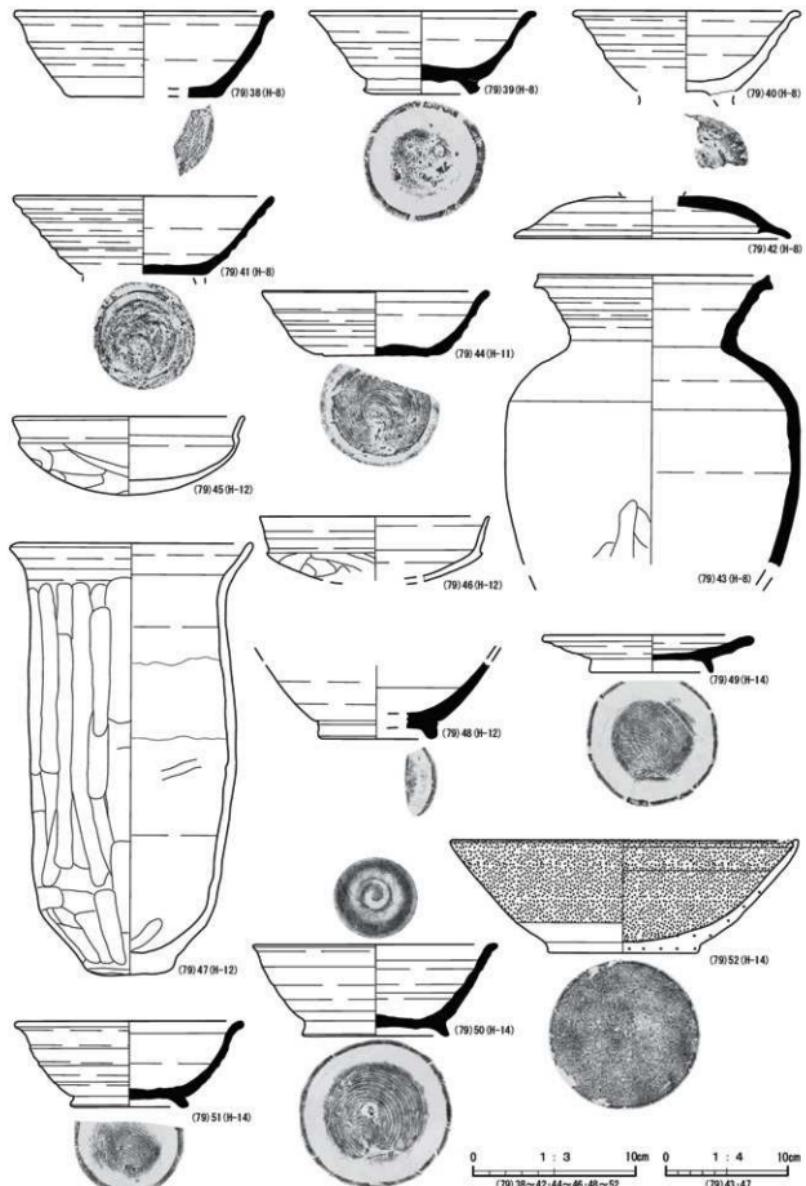


Fig. 69 (79) 出土遺物

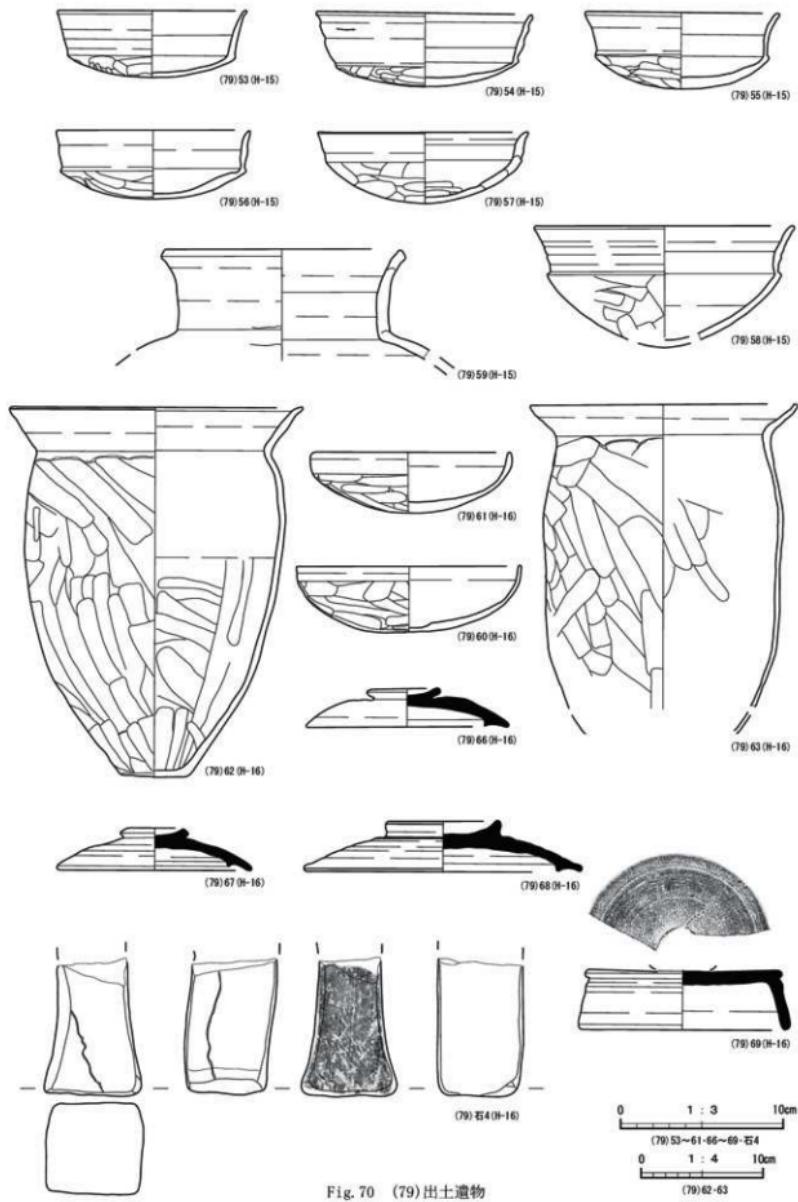


Fig. 70 (79) 出土遺物

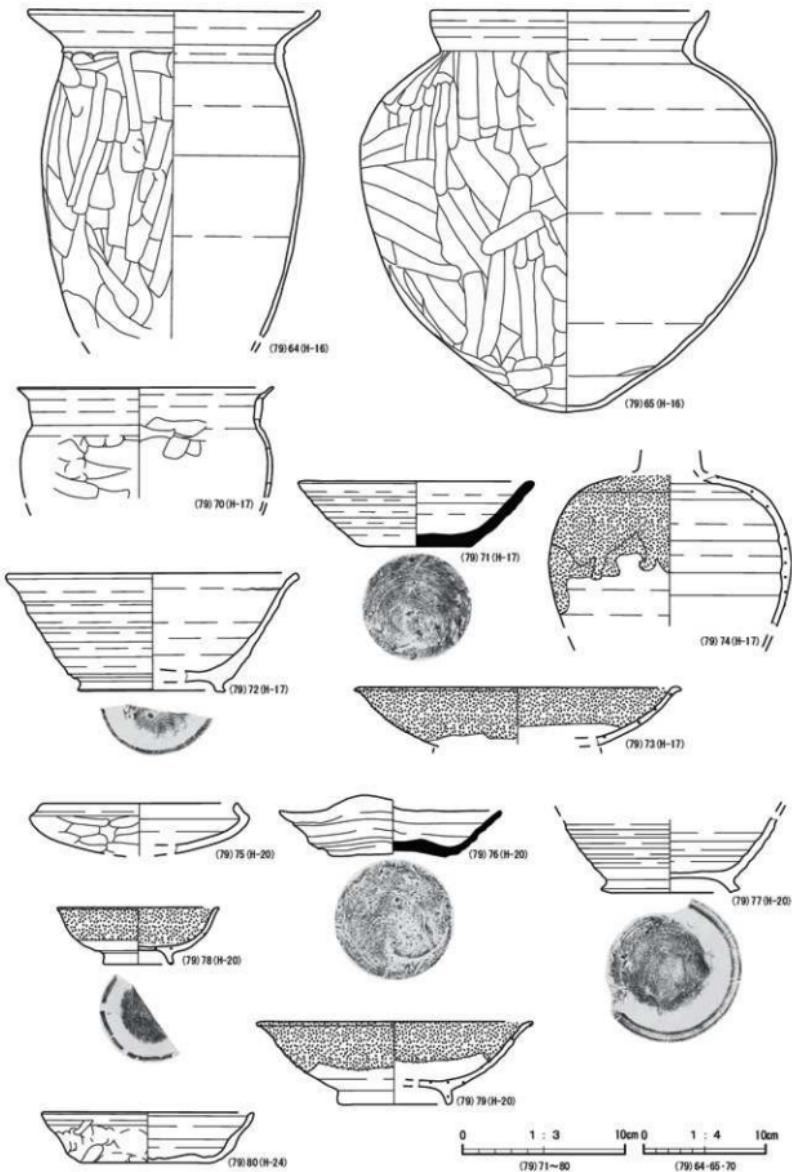


Fig. 71 (79) 出土遺物

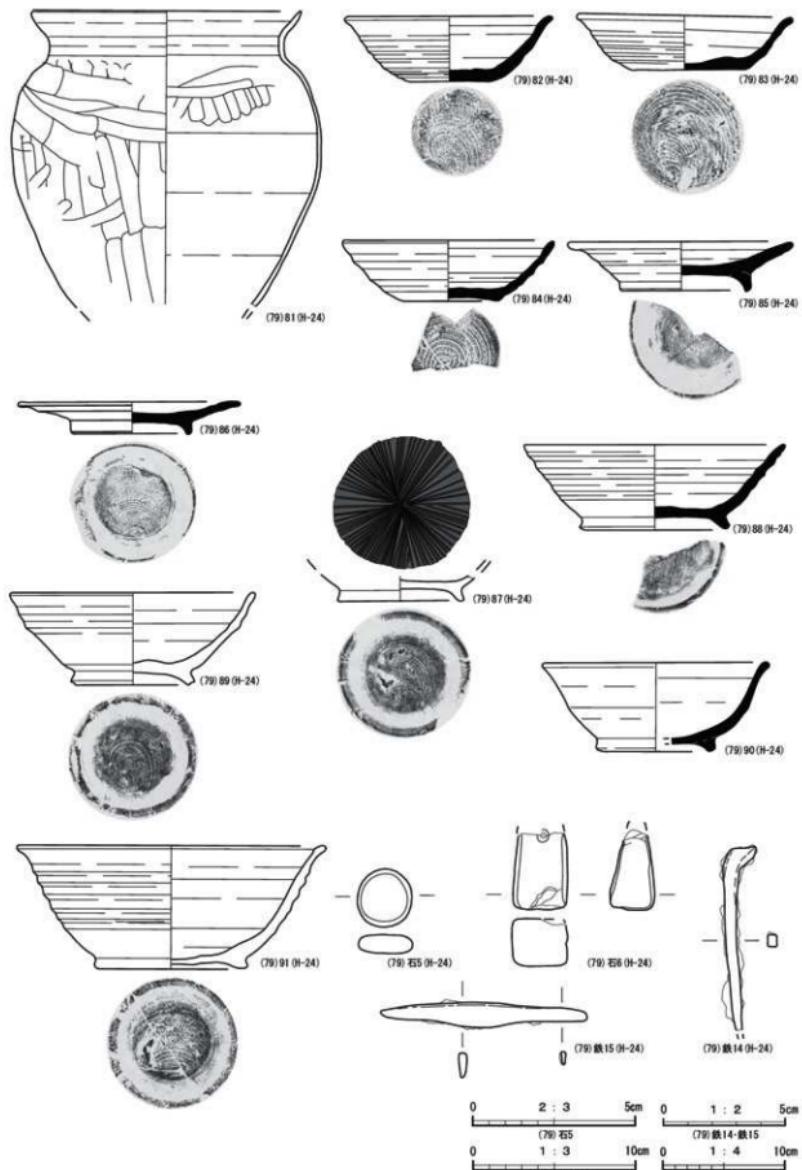


Fig. 72 (79) 出土遺物

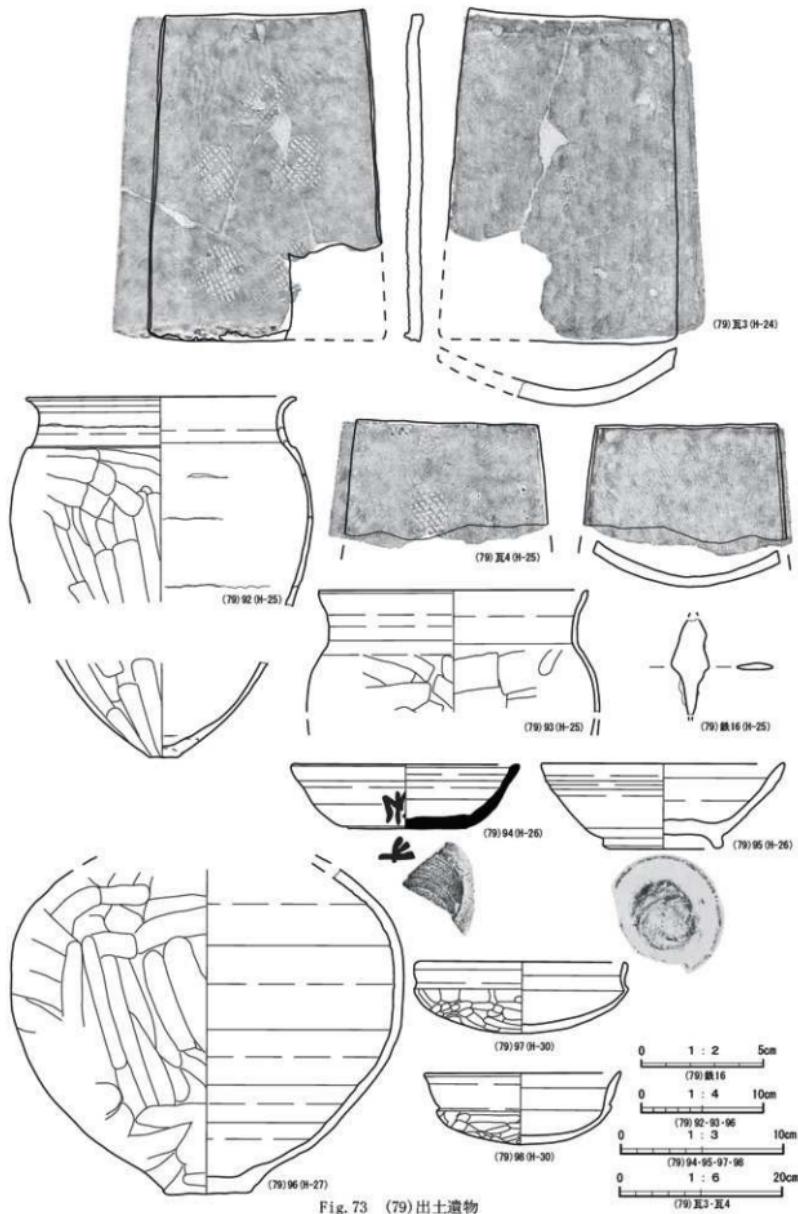


Fig. 73 (79) 出土遺物

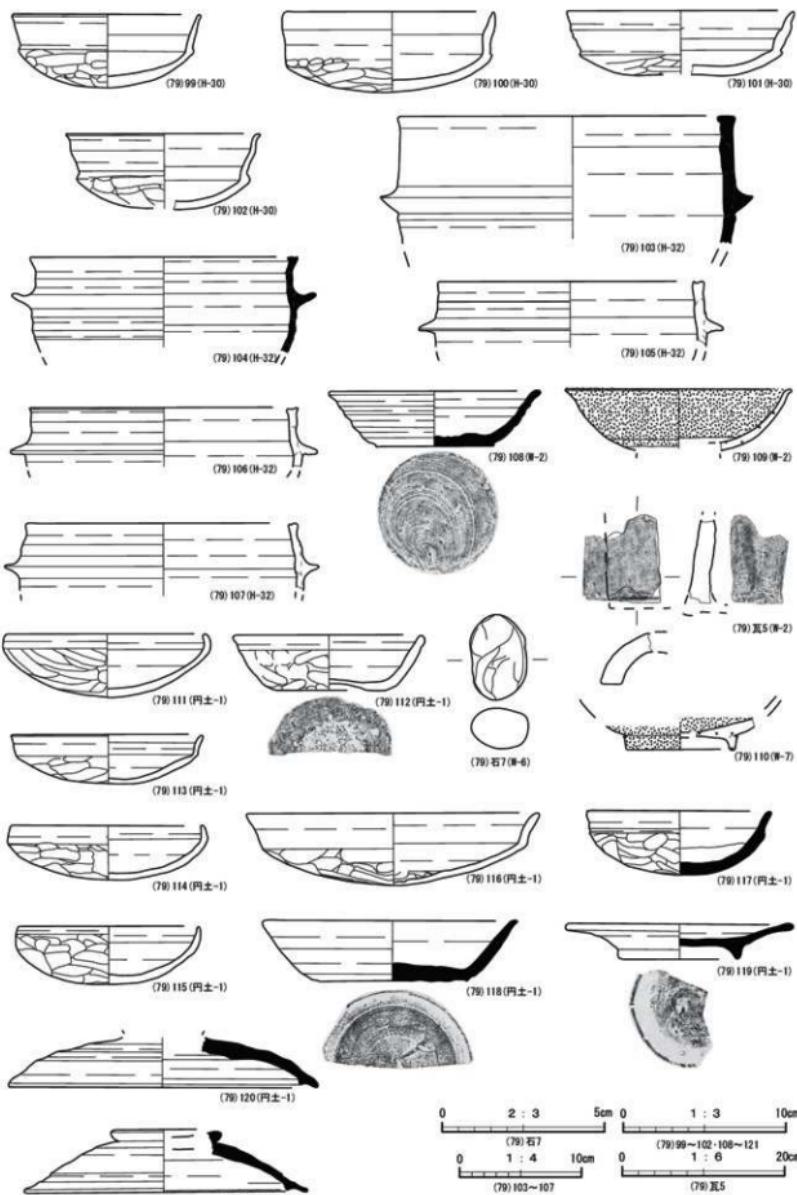


Fig. 74 (79) 出土遺物

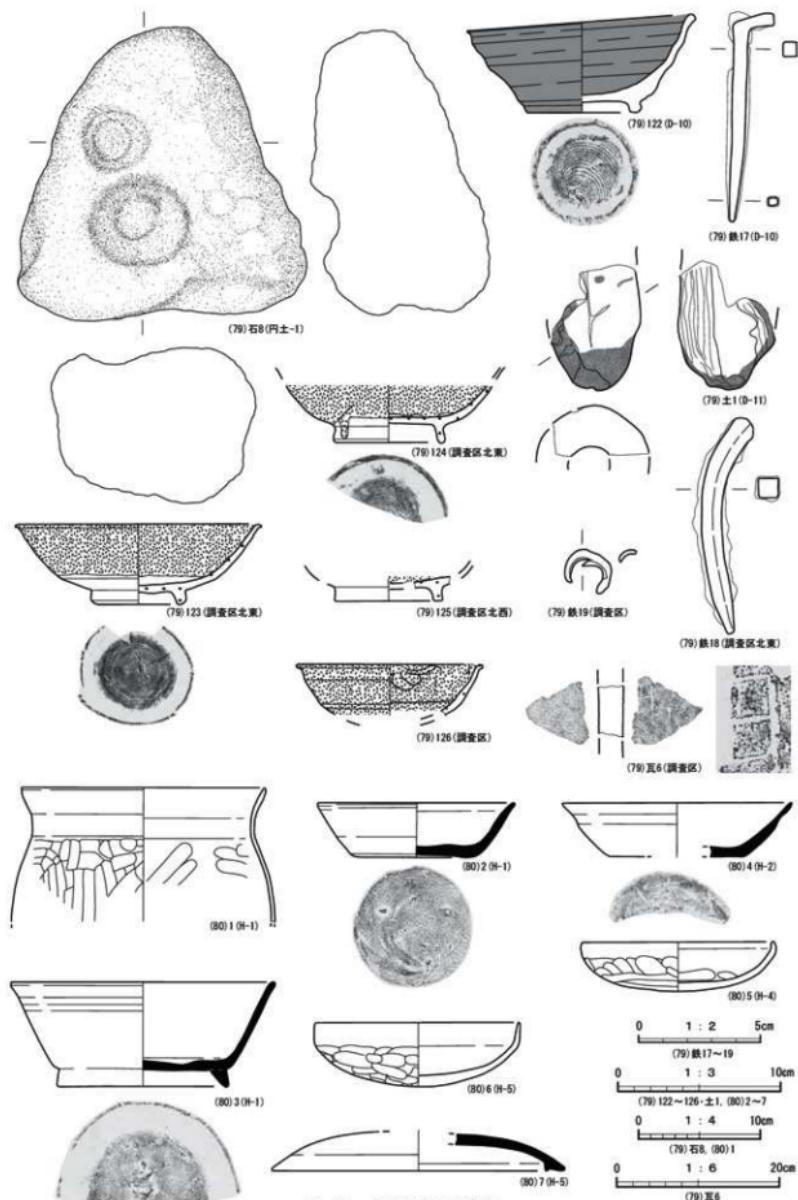


Fig. 75 (79) (80) 出土遗物

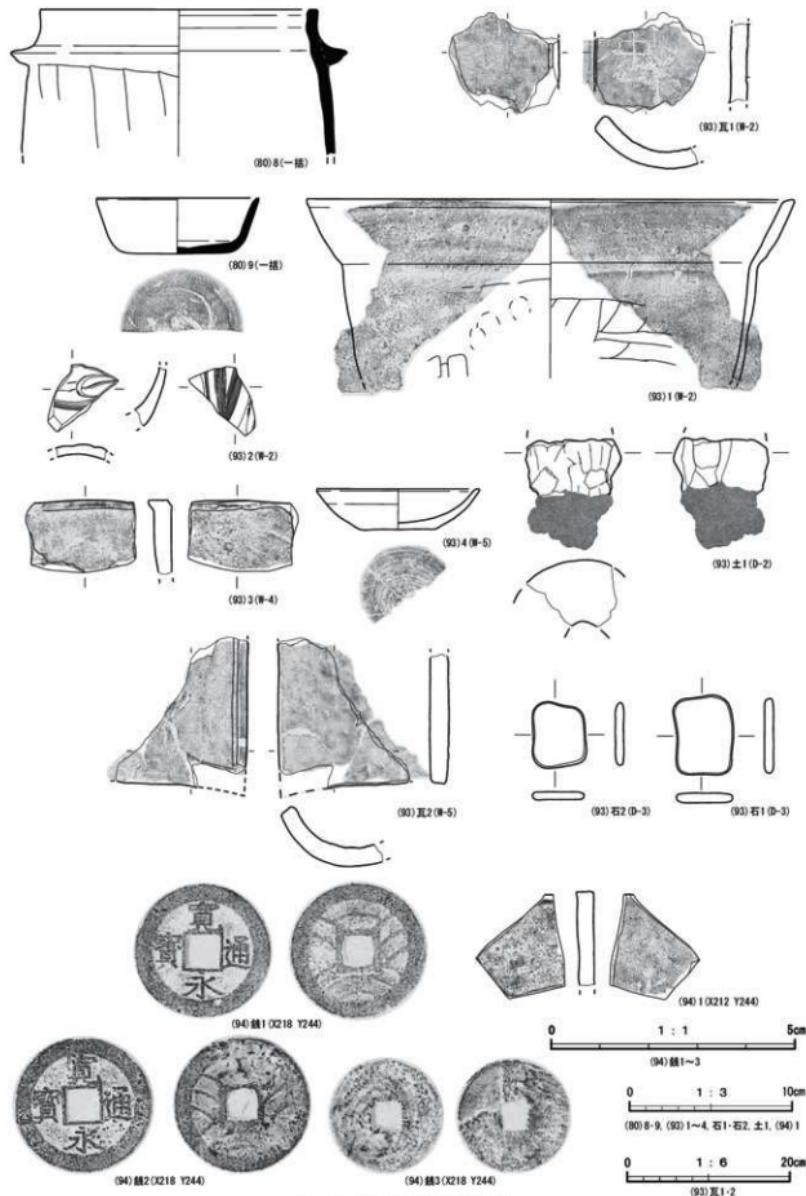


Fig. 76 (80) (93) (94) 出土遺物



(74) 西側調査区全景（西から）



(74) 東側調査区全景（北から）



(74) H-1 全景（西から）



(74) H-2 全景（北から）



(74) W-1、I-1 全景（北から）



(74) 調査区全景（北から）



(75) H-1 全景（北から）



(75) H-2 全景（北西から）



(75) H-2 窟全景（北西から）



(75) H-3 全景（北から）



(75) H-3 窟全景（西から）



(76) 調査区全景（東から）



(76) H-1 全景（西から）



(76) W-1・2、D-2 全景（北から）



(77) 調査区全景（東から）



(77) I-1 全景（東から）



(78) 調査区南端部全景（北から）



(78) H-1 全景（東から）



(78) H-2 全景（北から）



(78) H-3 全景（北から）



(78) H-4 全景（東から）



(78) H-5 挖り方全景（東から）



(78) H-6 全景（南西から）



(78) H-7 遺物出土状況（南西から）



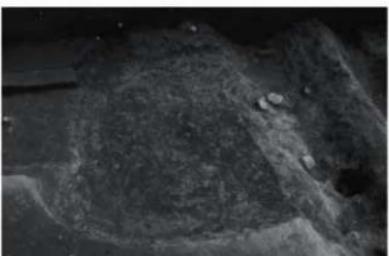
(78) H-7 竜全景（南西から）



(78) H-8・25全景（西から）



(78) H-9 全景（北西から）



(78) H-10全景（西から）



(78) H-11全景（西から）



(78) H-13・14全景（西から）



(78) H-15全景（南から）



(78) H-15・16全景（西から）



(78) H-17全景（西から）



(78) H-18全景（東から）



(78) H-19全景（東から）



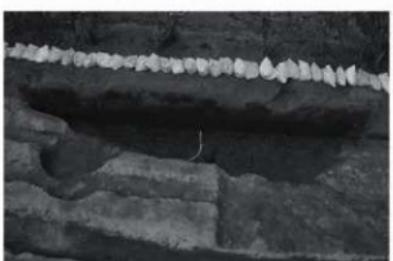
(78) H-20遺物出土状況（西から）



(78) H-21全景（西から）



(78) H-22全景（南から）



(78) H-23・28全景（南から）



(78) H-26全景（北から）



(78) H-27全景（西から）



(78) H-29全景（南から）



(78) T-1全景（西から）



(78) W-1全景（東から）



(78) W-2・3全景（東から）



(78) I-1全景（北から）



(78) D-40遺物出土状況（北から）



(78) D-40遺物出土状況（北から）



(79) H-1 全景 (西から)



(79) H-3 全景 (西から)



(79) H-4 窟全景 (西から)



(79) H-7 全景 (西から)



(79) H-7 窟全景 (西から)



(79) H-8 全景 (西から)



(79) H-8 窟全景 (西から)



(79) H-9 全景 (南から)



(79) H-12全景（南から）



(79) H-12竈全景（南から）



(79) H-15全景（南から）



(79) H-15西竈全景（東から）



(79) H-15北竈全景（南から）



(79) H-16遺物出土状況（西から）



(79) H-16竈遺物出土状況（西から）



(79) H-20全景（南から）



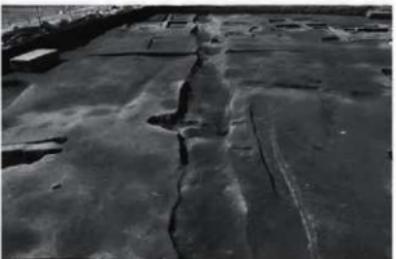
(79) H-30全景（南から）



(79) H-32窯全景（南から）



(79) H-32全景（南から）



(79) W-2 全景（東から）



(79) 円形有段遺構全景（北から）



(79) D-10全景（東から）



(79) D-10遺物出土状況（東から）



(79) D-13全景（北から）



(80) H-1 全景（西から）



(80) H-1 窟全景（西から）



(80) H-2 全景（南から）



(80) H-3 全景（南から）



(80) H-4 全景（西から）



(80) H-5・6 全景（西から）



(80) H-5 窟全景（西から）



(80) W-1 全景（北から）



(92) 調査区全景（東から）



(93) 調査区全景（東から）



(93) W-1・5 全景（南から）



(93) W-2 全景（南から）



(93) W-2 南壁断面（北から）



(93) W-3・4 全景（南から）



(93) W-3 南壁断面（北から）



(93) 調査区西側全景（北から）



(94) 調査区全景（東から）



(94) W- 1 全景（南から）



(94) W- 2 全景（南から）



(94) W- 1 南壁断面（北から）



(94) W- 3 全景（東から）



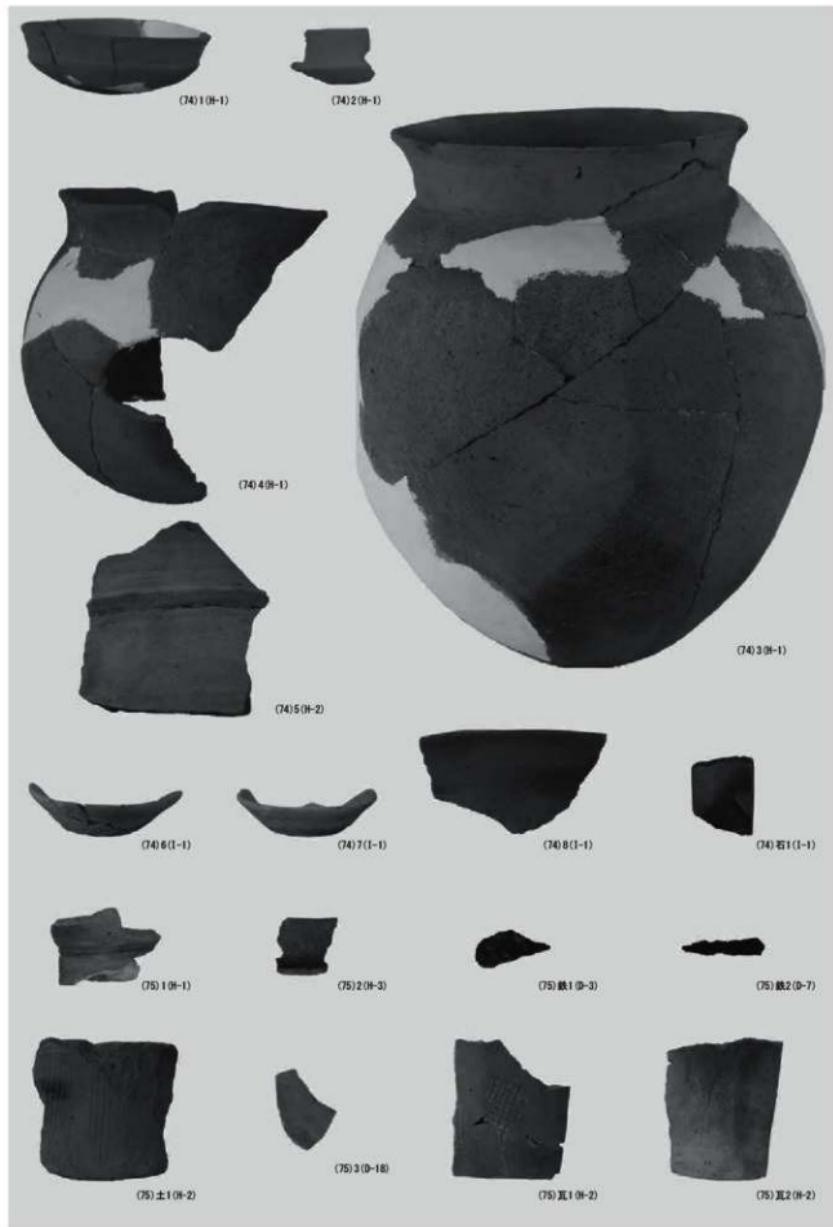
(94) D- 1・2 全景（西から）



(94) D- 2・5 東壁断面（西から）



(94) D- 3 全景（西から）

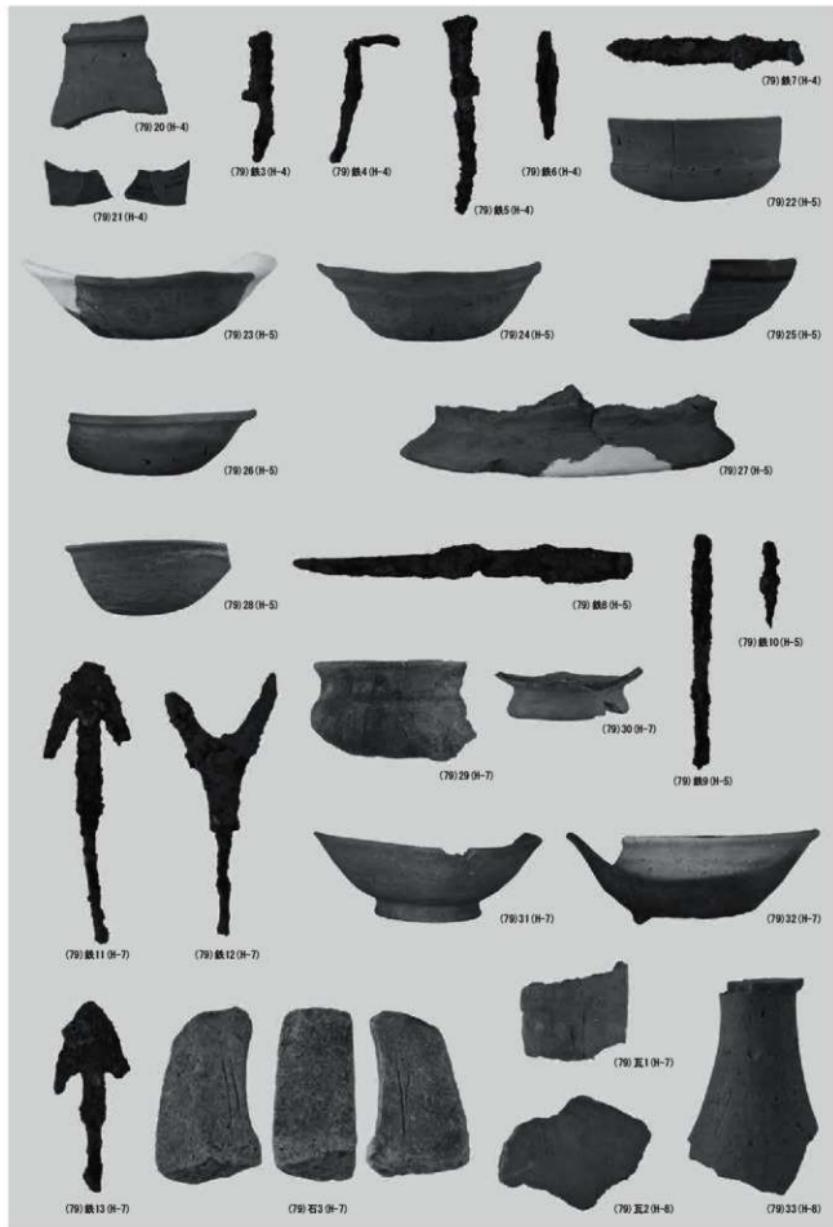


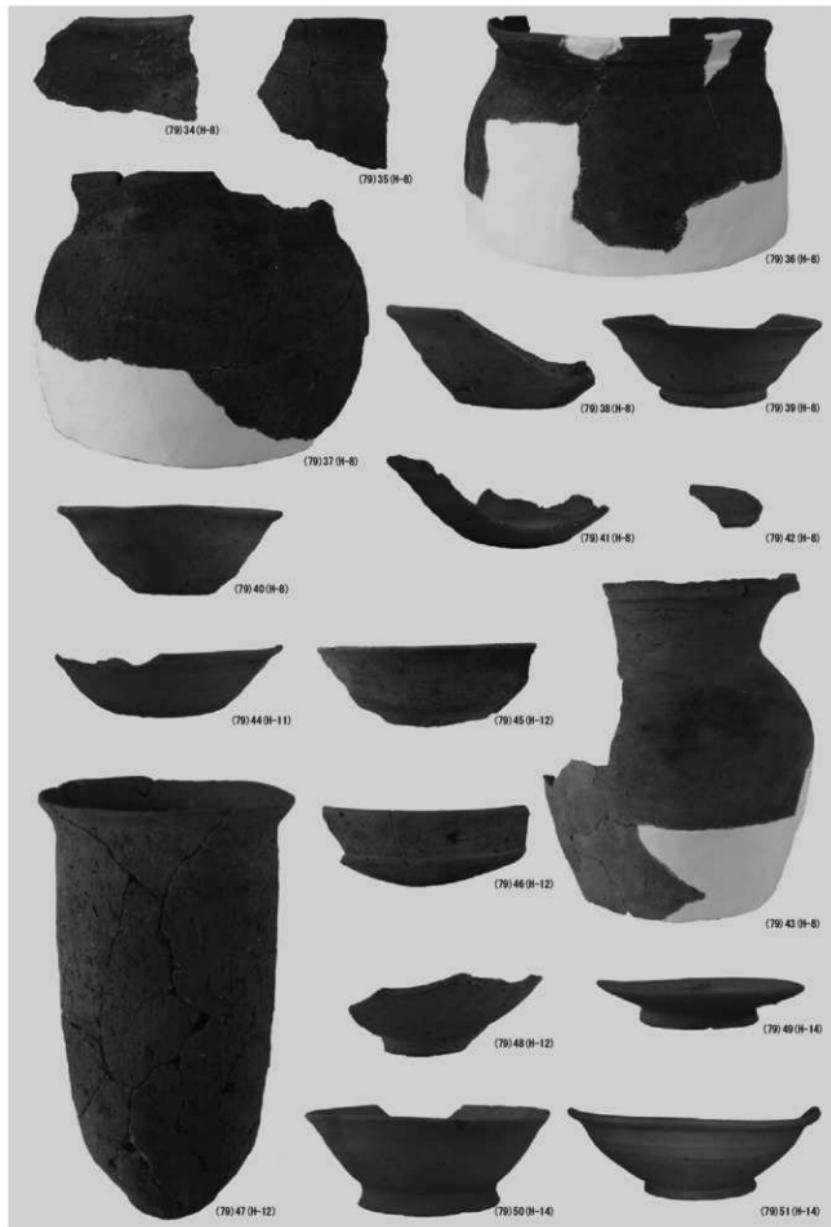




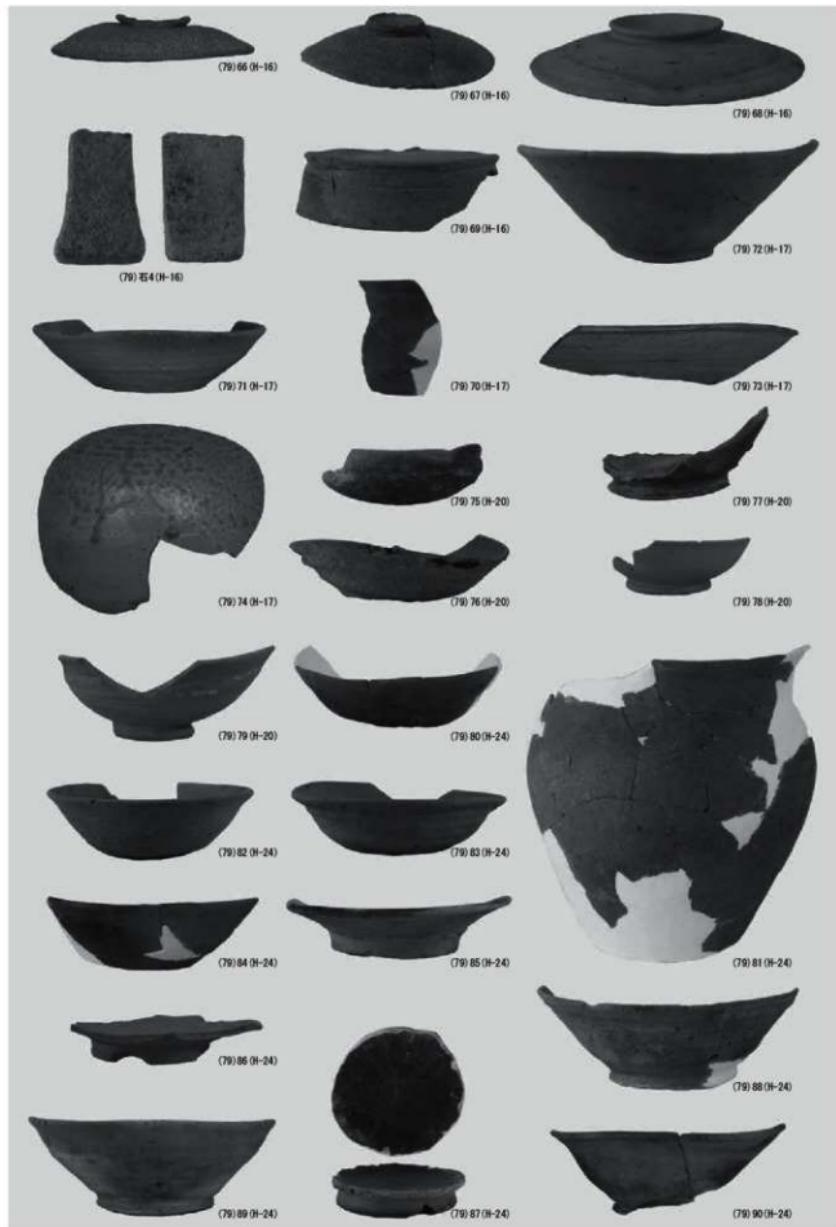


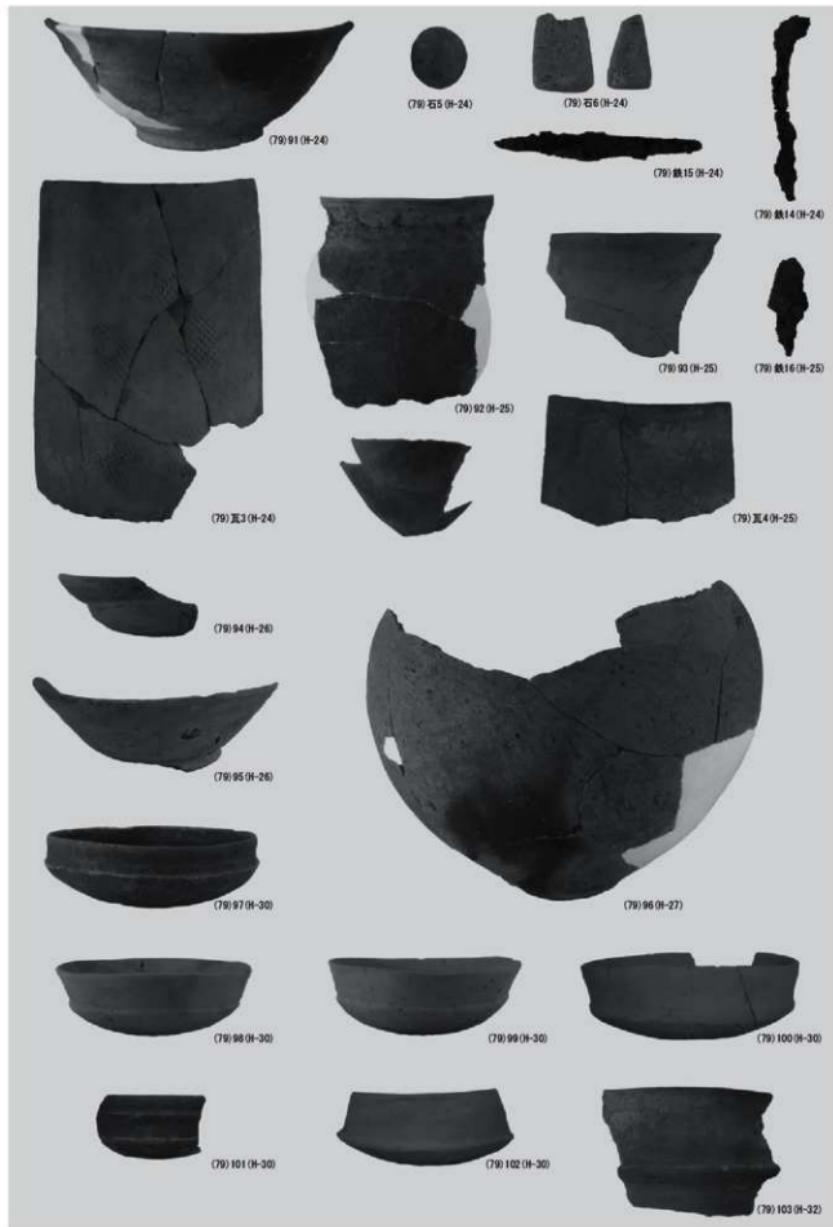




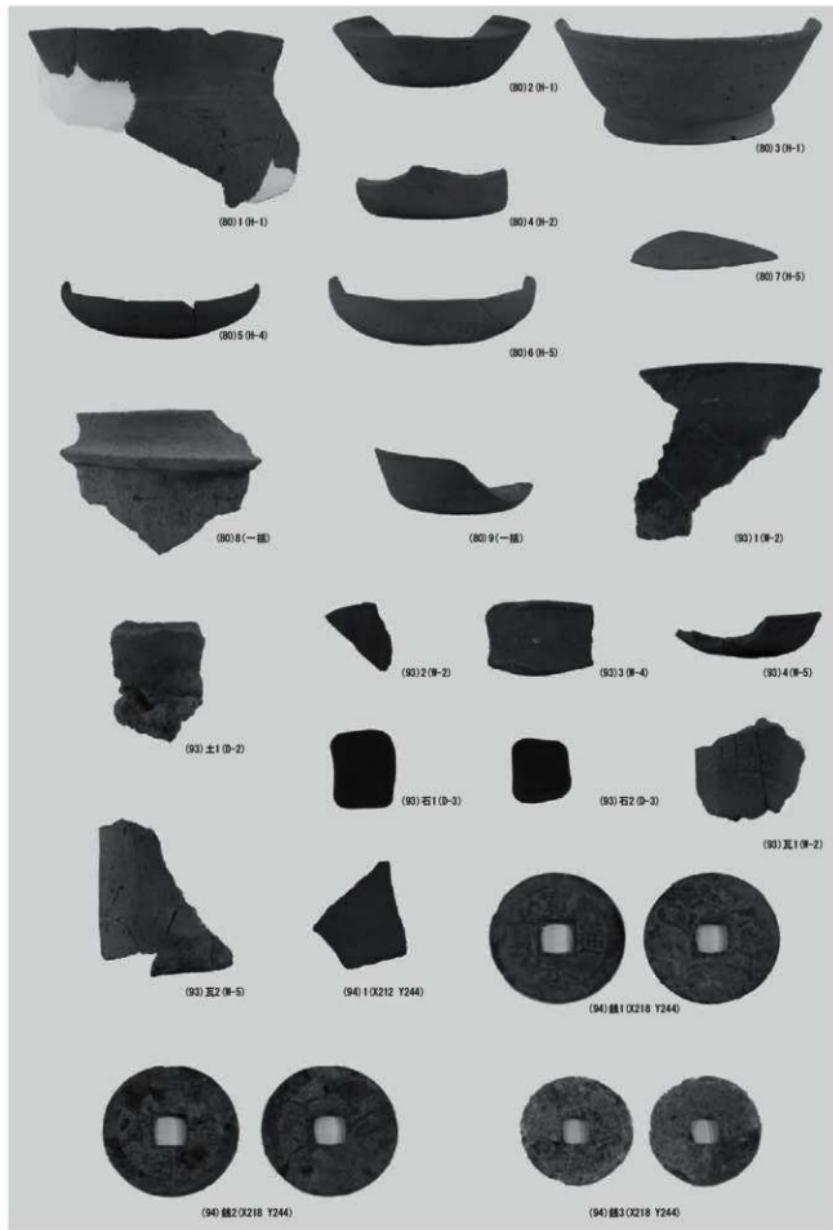












抄 録

フリガナ	モトソウジャオウミイセキグン
書名	元総社蓄海遺跡群(74)、(75)、(76)、(77)、(78)、(79)、(80)、(92)、(93)、(94)
副書名	前橋都市計画事業元総社蓄海地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	藤坂和延 (前橋市教育委員会) 板垣 宏 (スナガ環境測設株式会社)
発行機関	前橋市教育委員会
発行機関所在地	〒371-0853 群馬県前橋市総社町三丁目11番地4
発行年月日	西暦2017年3月24日

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所 在 地	コ ー ド		位 置		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北 緯	東 經			
モトソウジン オウミイセキグン 元総社蓄海遺跡群 (74)	モトソウジン オウミイセキグン 元総社蓄海遺跡群 前橋市総社町 3051-11-12・13	10201	26A168	36°23' 26"	139°02' 22"	20140926 ~ 20141018	165.9m ²	前橋都市計画 事業元総社蓄 海地区画整 理事業
モトソウジン オウミイセキグン 元総社蓄海遺跡群 (75)	モトソウジン オウミイセキグン 元総社蓄海遺跡群 前橋市 元総社町 1375	10201	26A169	36°23' 14"	139°02' 03"	20141110 ~ 20141208	117.9m ²	
モトソウジン オウミイセキグン 元総社蓄海遺跡群 (76)	モトソウジン オウミイセキグン 元総社蓄海遺跡群 前橋市 元総社町 1419-3, 1556-1, 1557, 1620-1	10201	26A173	36°23' 15"	139°01' 48"	20141020 ~ 20141111	132.0m ²	
モトソウジン オウミイセキグン 元総社蓄海遺跡群 (77)	モトソウジン オウミイセキグン 元総社蓄海遺跡群 前橋市 元総社町 2181	10201	26A174	36°23' 05"	139°02' 05"	20150108 ~ 20150119	98.4m ²	
モトソウジン オウミイセキグン 元総社蓄海遺跡群 (78)	モトソウジン オウミイセキグン 元総社蓄海遺跡群 前橋市 元総社町 3587-1	10201	26A175	36°23' 18"	139°02' 29"	20141212 ~ 20150327	398.7m ²	
モトソウジン オウミイセキグン 元総社蓄海遺跡群 (79)	モトソウジン オウミイセキグン 元総社蓄海遺跡群 前橋市 元総社町 1335	10201	26A176	36°23' 07"	139°01' 53"	20150124 ~ 20150327	648.9m ²	
モトソウジン オウミイセキグン 元総社蓄海遺跡群 (80)	モトソウジン オウミイセキグン 元総社蓄海遺跡群 前橋市 元総社町 1329-1-2-3	10201	26A177	36°23' 06"	139°01' 52"	20150203 ~ 20150313	703.8m ²	
モトソウジン オウミイセキグン 元総社蓄海遺跡群 (92)	モトソウジン オウミイセキグン 元総社蓄海遺跡群 前橋市 元総社町 2172-3	10201	26A183	36°23' 05"	139°02' 06"	20150108 ~ 20150119	101.6m ²	
モトソウジン オウミイセキグン 元総社蓄海遺跡群 (93)	モトソウジン オウミイセキグン 元総社蓄海遺跡群 前橋市 元総社町 2136, 2135-1	10201	26A184	36°23' 06"	139°02' 16"	20150227 ~ 20150320	78.4m ²	
モトソウジン オウミイセキグン 元総社蓄海遺跡群 (94)	モトソウジン オウミイセキグン 元総社蓄海遺跡群 前橋市 元総社町 2134-3	10201	26A189	36°23' 06"	139°02' 17"	20150214 ~ 20150225	45.6m ²	

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
元總社蒼海遺跡群 (74)	集落跡	古墳～奈良・平安時代 中世	堅穴住居跡2軒、溝跡1条 井戸跡1基	土師器、須恵器、 軟質陶器、砥石	
元總社蒼海遺跡群 (75)	集落跡	平安時代	堅穴住居跡4軒、土坑20 基、ピット19基	土師器、須恵器、瓦	
	城館跡	中世	溝跡1条	なし	蒼海城の堀跡
元總社蒼海遺跡群 (76)	集落跡	平安時代	堅穴住居跡1軒、溝跡2 条、土坑6基、ピット2基	土師器、須恵器、 灰釉陶器	
元總社蒼海遺跡群 (77)	集落跡	時期不明	井戸跡1基	なし	
元總社蒼海遺跡群 (78)	集落跡	古墳～奈良・平安時代	堅穴住居跡27軒、堅穴状 遺構1基、溝跡1条、土坑 36基、ピット43基	土師器、須恵器、 砥石、瓦	
		中世	溝跡2条、井戸跡1基	土師器、須恵器、火鉢	
元總社蒼海遺跡群 (79)	集落跡	古墳～奈良・平安時代	堅穴住居跡21軒、溝跡6 条、円形有段遺構1基、 土坑13基、ピット23基	土師器、須恵器、瓦 墨書き器、灰釉陶器 緑釉陶器、鐵鑑	
元總社蒼海遺跡群 (80)	集落跡	奈良・平安時代	堅穴住居跡6軒、溝跡1 条、ピット1基	土師器、須恵器	
元總社蒼海遺跡群 (92)			遺構なし	なし	
元總社蒼海遺跡群 (93)	集落跡	奈良・平安時代	溝跡1条、土坑15基、ビ ット13基	土師器、須恵器、 羽口	
	城館跡	中世	溝跡4条	軟質陶器	蒼海城の堀跡
元總社蒼海遺跡群 (94)	集落跡	古墳～奈良・平安時代	溝跡1条、土坑6基、ピッ ト6基		
	城館跡	中世	溝跡3条	古錢、陶器	蒼海城の堀跡

元總社蒼海遺跡群 (74)～(80)・(92)～(94)

発行 2017年3月17日 印刷
 2017年3月24日 発行
 前橋市教育委員会
 前橋市総社町三丁目11番4号
 編集 スナガ環境測設株式会社
 前橋市青柳町211番地の1
 印刷 朝日印刷工業株式会社